



医療を取り巻く環境は、年々、厳しさを増し、平成30年度においては診療報酬改定、働き方改革などが合いまみえ、課題が山積した年となりました。先ず、地域医療構想について、隣接する奈良県南和保健医療圏などの統廃合を例として、他府県では各医療圏における医療体制が固まっていく中、和歌山県では遅々として進まず、橋本保健医療圏も例外なく明確な方針が決まらない状況が続いています。次に、平成30年度診療報酬改定は前回改定に引き続きマイナス

改定となり、公的病院の実に9割が赤字になるという厳しい経営状況の中、当院では「選ばれる病院」を病院目標に掲げ、昨年度に引き続き黒字決算を確保することができました。働き方改革においては、都市と地方の格差はあるものの、全国的に過労死レベルとなる100時間を超過する過重労働を強いられる医師の医療現場の実態が浮き彫りとなり、各病院での改革が急務となっています。当院でも時間外勤務のあり方を見直し、各職場で業務の効率化に取り組むなど、地域の中核病院としての役割と責務を果たしつつ、勤務環境の改善に平成31年度（令和元年度）以降も引き続き取り組み、安心・安全の医療の提供に努めて参りたいと考えています。

その他、今年度はCRE（カルバペネム耐性腸内細菌科細菌）の検出が多数確認されたため、即座に感染対策本部を立ち上げ、感染対策医師及び感染管理認定看護師を中心に、奈良県立医科大学感染症センターや大阪大学医学部附属病院の専門家の指導の下、病院をあげた対策に取り組み、現在も徹底した対策に取り組んでいます。この難局を全職員の力で必ずや乗り越え、より一層安心・安全の医療が提供できる病院になっていくことと確信しています。

平成31年度（令和元年度）では、乳腺・呼吸器外科の撤退が決定しており、病院にとって逆風が吹く中のスタートとなりますが、一方では、代謝内科常勤医師2名、ER常勤医師2名、口腔外科常勤医師も2名体制になるなど補強される診療科もあり、病院としても、その時々に応じた最良の医療を提供して参りたいと考えます。職員においては、引き続き、各々が経営感覚を持ち、効率的かつ最善の医療を目指し、決して医学の進歩に遅れることなく、可能な限りの最新医療の実践に努力していただきたいと思います。

目次

巻頭言

目次

I 病院の概況

病院の理念 基本方針	1
患者の権利と義務	1
病院の沿革	2
病院の概要	4
病院組織図	8
委員会組織図	9
施設基準一覧	10

II 医事統計

1日平均患者数（入院・外来）	14
新入院患者数・退院患者数	15
平均在院日数・病棟別稼働率	16
紹介率・逆紹介率	17
救急搬送患者数	18
橋本市消防本部・伊都消防搬送先状況	19
医業収益（入院外来合計）	20
科別収益（入院）	21
科別収益（外来）	22
診療科別単価	23
行為別収益	24

III 診療情報（年次報告）

月別退院患者数	26
診療科別退院患者数	30
診療科別上位5疾患	34

IV 診療科紹介

総合内科	42
消化器内科	44
呼吸器内科	46
循環器内科	48
小児科	50
外科	51
整形外科	55
産婦人科	57
眼科	59
歯科口腔外科	61

脳神経外科	63
泌尿器科	66
放射線科	68
乳腺・呼吸器外科	69
麻酔科	72
病理診断科	73
皮膚科	74
救急科	75
健診センター	76
V 看護部紹介	77
看護部	78
外来	90
3階西病棟	91
3階東病棟	92
4階西病棟	93
4階東病棟	94
5階西病棟	95
5階東病棟	96
中央手術室 / 中央材料室	97
HCU病棟	98
VI 診療技術部紹介	99
薬剤部	100
臨床検査科	103
放射線科	105
臨床工学科	108
リハビリテーション科	110
栄養管理科	114
歯科技工室	118
地域医療部	119
医療安全管理部	129
VII 事務局紹介	133
総務課	134
医事課	135
診療情報課	136
VIII 委員会紹介	137
薬事委員会	138
診療材料検討委員会	139
診療材料システム委員会	140
救急医療対策委員会	141
クリニカル・パス推進委員会	142

診療管理（QC）委員会	143
健診センター運営委員会	144
中央手術室運営委員会	145
内視鏡センター運営委員会	146
病床運営管理委員会	147
放射線運営委員会	148
臨床検査運営委員会	149
輸血管理委員会	150
栄養管理委員会	151
NST ワーキング	152
嚥下ワーキング	153
口腔ケアワーキング	154
糖尿病ワーキング	155
がん診療対策委員会	157
緩和ケアワーキング	158
化学療法ワーキング	159
キャンサーボードワーキング	160
医療機器選定・購入委員会	161
診療情報管理委員会	162
電子カルテ運営委員会	163
院内感染対策委員会	164
AST	165
ICT	166
ICT ワーキング	168
褥瘡対策委員会	169
医療安全管理対策委員会	170
医療ガス安全管理委員会	171
災害医療対策委員会	172
DMAT 部会	173
防火委員会	174
教育研修年報作成委員会	175
まごころ委員会	178
院内広報委員会	179
図書運営委員会	180
職員安全衛生管理委員会	181
福利厚生委員会	182
医療連携運営委員会	183
倫理・治験審査委員会	184
臓器提供ワーキング	185
臨床研修管理委員会	186
専門研修管理委員会	190
IX 連携登録医名簿	191

I 病院の概況

理 念

1. 医療を介して地域の発展に尽くす
2. こころの通う医療で地域住民の健康の保持・増進に尽くす
3. 中核病院としての機能の向上に尽くす

基本方針

1. 患者の権利を尊重し、理解と納得に基づいた信頼される医療を目指します
2. 急性期医療を中心に、安全・良質で適切な医療を提供します
3. 病病連携、病診連携に努め、地域完結型医療を推進します
4. 医学の研鑽に励み、地域での医療の進歩と後進の育成に寄与します
5. 行政の医療、保健、福祉施策に積極的に参画します
6. 公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます

患者の権利

1. 人格を尊重される権利
2. 質の良い医療を平等に受ける権利
3. 病気について納得できるまで説明を受ける権利
4. 自分の病気に対する治療・検査等を自分で選択し、自分で決定する権利
5. 自分の受けている医療に対する情報を知る権利
6. 医療上生じたプライバシーを保護される権利

患者の義務

1. 診療にあたって正しい情報を提供する義務
2. 医療へ積極的に参加する義務
3. 規則を遵守して他の患者に対して迷惑をかけない義務

病院の沿革

昭和 22 年	伊都郡橋本町大字妻に 1 町 6 ヶ村組合立「国保橋本病院」開設
昭和 27 年	全館焼失
昭和 28 年	橋本市東家に移転
昭和 29 年 9 月	橋本町外七ヶ町村組合立国保病院 (内科、産婦人科、小児科、放射線科)
昭和 32 年	結核診療所 (50 床) 開設、病床数 163 床 (内科、外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、歯科)
昭和 38 年 11 月	新築第一期工事完成 「国保橋本市民病院」(総合病院) として事業開始 (内科、外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、歯科、 整形外科、眼科、神経精神科)
昭和 39 年 11 月	新築第二期工事完成 病床数 323 床 (一般 130、結核 70、精神 100、伝染 23) 付設准看護婦養成所開校 (平成 3 年 3 月閉所) 救急告示病院の指定
昭和 40 年	地方公営企業法適用 (一部適用)
昭和 45 年 5 月	有志で託児を開始 (市役所別館)
平成 3 年	医療事務業務の委託開始
平成 4 年	伝染病床、精神病床を閉鎖し、一般病床 255 床となる
平成 5 年	脳神経外科、循環器科開設
平成 5 年 10 月	病院託児所「ひまわり園」を開設
平成 6 年	訪問看護ステーション併設、橋本市介護支援センター併設、 健診センター (人間ドック) 開設
平成 7 年	看護基準 2.5 対 1 (13 対 1) の届出
平成 8 年	泌尿器科開設、眼科の常勤化
平成 9 年	麻酔科開設 地域災害拠点病院に指定
平成 11 年	物品管理システムの導入 (3 月)、給食業務の全面委託 (4 月)
平成 12 年	(橋本市) 歯科保健センター開設
平成 13 年	院外処方完全実施 (11 月)、ナースキャップの廃止 (11 月)
平成 15 年 4 月	地域医療連携室開設 院内託児所で給食を開始 (病院給食委託業者に依頼)
平成 15 年 11 月	臨床研修病院 (管理型) に指定
平成 16 年 4 月	地方公営企業法全部適用 (市長が管理者を兼務)
平成 16 年 10 月	放射線科の常勤医化
平成 16 年 11 月	橋本市小峰台に許可病床数 300 床 (稼動 250 床) で新築移転 (11 月) 病院名を「橋本市民病院」に改名 訪問看護ステーション・健診センター・歯科保健センターは併設継続、橋本市介護支 援センターは併設せず、東家地区で継続 院内託児所「ひまわり園」リニューアル
平成 17 年 1 月	院内託児所において 24 時間保育を開始
平成 17 年 10 月	病院事業管理者を設置

平成 18 年 3 月	D P C（診断群分類包括評価）対象病院の許可（厚生労働省）
平成 18 年 4 月	心臓血管外科、呼吸器科（4 月）、循環器センターの開設（4 月） 看護基準 10 対 1 看護の届出 女性専門外来、女性泌尿器外来、男性更年期外来開設
平成 18 年 6 月	乳腺・呼吸器外科開設
平成 18 年 7 月	D P C による包括診療開始 和歌山県立医科大学第二病理教室より病理医派遣 （毎週水曜日：病理診断開始）
平成 18 年 9 月	皮膚科外来診療科開始
平成 18 年 11 月	日本医療機能評価機構の認定病院となる
平成 19 年 1 月	がん診療連携拠点病院に指定
平成 19 年 3 月	地域包括医療・ケア認定施設に認定
平成 19 年 7 月	5 階東病棟 30 床稼働（うち亜急性期病床 20 床）
平成 20 年 4 月	5 階東病棟 20 床稼働（300 床フルオープン）
平成 20 年 5 月	急性期病床 288 床、亜急性期病床 12 床に変更
平成 20 年 8 月	病理診断科開設（常勤病理医着任）
平成 21 年 4 月	皮膚科常勤化、耳鼻咽喉科の非常勤体制に変更
平成 21 年 6 月	臨床研修病院（基幹型）の返上 和歌山県立医科大学の協力型として継続
平成 21 年 8 月	呼吸器内科常勤医 2 名退職し、非常勤体制に変更
平成 21 年 9 月	和歌山県立医科大学より内科地域枠常勤医師の派遣（H22.3 月まで）
平成 21 年 10 月	眼科常勤医師 2 名体制
平成 22 年 1 月	5 階東病棟閉鎖（稼働病床数 250 床）、亜急性期病床の廃止 呼吸器内科常勤化（近畿大学医学部より常勤医赴任）
平成 22 年 2 月	和歌山 DMAT 指定病院に指定
平成 23 年 4 月	腎臓内科の開設 5 階東病棟の再開、3 階東病棟を産婦人科病棟に変更し 46 床から 20 床に減床 （稼働病床数 274 床：うち亜急性期病床 8 床） （医療安全管理部、医療安全管理室の開設）
平成 23 年 7 月	病院敷地内禁煙の実施 禁煙外来の実施
平成 23 年 9 月	基幹型臨床研修病院の指定
平成 24 年 1 月	日本医療機能評価機構認定更新 Ver. 6 （認定期間 2011.11.20 ～ 2016.11.19）
平成 25 年 2 月	医療情報システムの更新
平成 26 年 5 月	HCU 病棟（6 床）開設、3 階東病棟を 50 床から 40 床に減少
平成 26 年 7 月	地域包括ケア病棟（50 床）開設（稼働病床数 300 床）
平成 27 年 4 月	へき地医療拠点病院に指定

病院の概要

施設名	橋本市民病院
開設者	橋本市長
管理者	橋本市病院事業管理者
所在地	和歌山県橋本市小峰台二丁目8番地の1
開設年月日	昭和38年11月18日
診療科	総合内科、消化器内科、代謝内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、乳腺・呼吸器外科、心臓血管外科、病理診断科、救急科、心療内科（休診中）
橋本市人口	62,788人（平成31年3月31日）
地方公営企業法適用	昭和40年4月1日
指定及び指定医療機関	保険医療機関、救急告示病院、労災保険指定病院、生活保護法指定医療機関 母体保護法医療機関、未熟児養育指定医療機関、原爆被害者一般疾病指定医療機関 妊婦一般健康診査取扱機関、国民健康保険療養取扱機関、結核予防指定医療機関 地域災害拠点病院、小児慢性特定疾患治療研究事業指定病院 特定疾患治療研究事業指定病院、指定自立支援医療機関、日本医療機能評価機構認定病院 地域がん診療連携拠点病院、臨床研修病院、助産施設、公害医療機関 産科医療補償制度加入機関、地域包括医療・ケア認定施設、日本がん治療認定研修施設 和歌山 DMAT 指定病院、基幹型臨床研修病院、へき地医療拠点病院
学会認定施設	日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本内科学会認定教育関連施設 日本高血圧学会専門医認定施設、日本消化器病学会専門医認定施設 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設 日本整形外科学会専門医研修施設、日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設 日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本口腔外科学会専門医研修機関 日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設 日本脳神経外科学会専門医プログラム研修施設、日本呼吸器学会認定施設 日本呼吸器外科学会認定修練施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設 日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児専門医研修施設 日本消化器外科学会専門医修練施設、日本乳癌学会認定医・専門医認定関連施設 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設、日本病理学会研修登録施設 日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設、日本手外科学会基幹研修施設 日本脳卒中学会認定研修教育病院、マンモグラフィ検診施設、呼吸器外科学会関連施設 日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本麻酔科学会認定専門医研修施設 日本脈管学会認定研修関連施設

許可病床数

病棟	病床数
3階西病棟	54床
3階東病棟	40床
4階西病棟	50床
4階東病棟	50床
5階西病棟	50床
5階東病棟（地域包括ケア病棟）	50床
HCU病棟	6床
合計	300床

施設の概況

地域・地区	第一種中高層住居専用地区
防火地域	指定なし
法 22 条地域	指定あり
日影規制	4 時間 / 2.5 時間 測定面積 4 m
敷地面積	43,904.08m ²

本館

建築面積		6,894.80m ²
延床面積	6 階	378.18m ²
	5 階	2,894.00m ²
	4 階	2,894.00m ²
	3 階	3,051.61m ²
	2 階	2,931.13m ²
	1 階	5,882.99m ²
	地 階	3,975.95m ²
	計	22,007.86m ²
階数		地下 1 階 地上 6 階
構造		鉄筋コンクリート造 (免震構造)
高さ		最高高さ 22.98m 軒の高さ 29.50m
駐車台数	総数	674 台
	① 一般用(うち身体障害者用)	344 台 (15 台)
	② 職員用	330 台
部門別面積	(1) 病棟部門	8,659.59m ²
	H C U	352.35m ²
	(2) 外来部門	2,114.70m ²
	一般外来部	1,923.75m ²
	救急部	190.95m ²
	(3) 診療部門	3,389.10m ²
	検査部	789.96m ²
	放射線部	1,224.18m ²
	手術部	813.57m ²
	分娩部	180.02m ²
	特殊診療部	29.02m ²
	(4) 供給部門	2,702.24m ²
	薬剤部	206.40m ²
	材料滅菌室	211.89m ²
	給食室	389.78m ²
	洗濯室	25.04m ²
保管搬送室	313.95m ²	

部門別面積	機械室	1,555.18㎡
	(5) 管理部門	3,061.91㎡
	運営関係	1,929.21㎡
	講堂	318.81㎡
	厚生関係	813.89㎡
	(6) その他	2,080.32㎡
	健診センター	87.66㎡
	総合待合	495.37㎡
	地域医療・健康情報プラザ	43.60㎡
	地域医療部	192.69㎡
	その他	1,261.00㎡
合計	22,007.86㎡	

東館

建築面積		754.74㎡
延床面積	2 階	676.62㎡
	1 階	725.31㎡
	計	1,401.93㎡
階数		地上 2 階
構造		鉄筋造（耐震構造）
高さ		最高高さ 9.93m 軒の高さ 9.28m
部門別面積	(3) 診療部門	520.01㎡
	リハビリテーション部	520.01㎡
	(5) 管理部門	705.80㎡
	運営関係	705.80㎡
	(6) その他	176.12㎡
	その他	176.12㎡
合計		1,401.93㎡

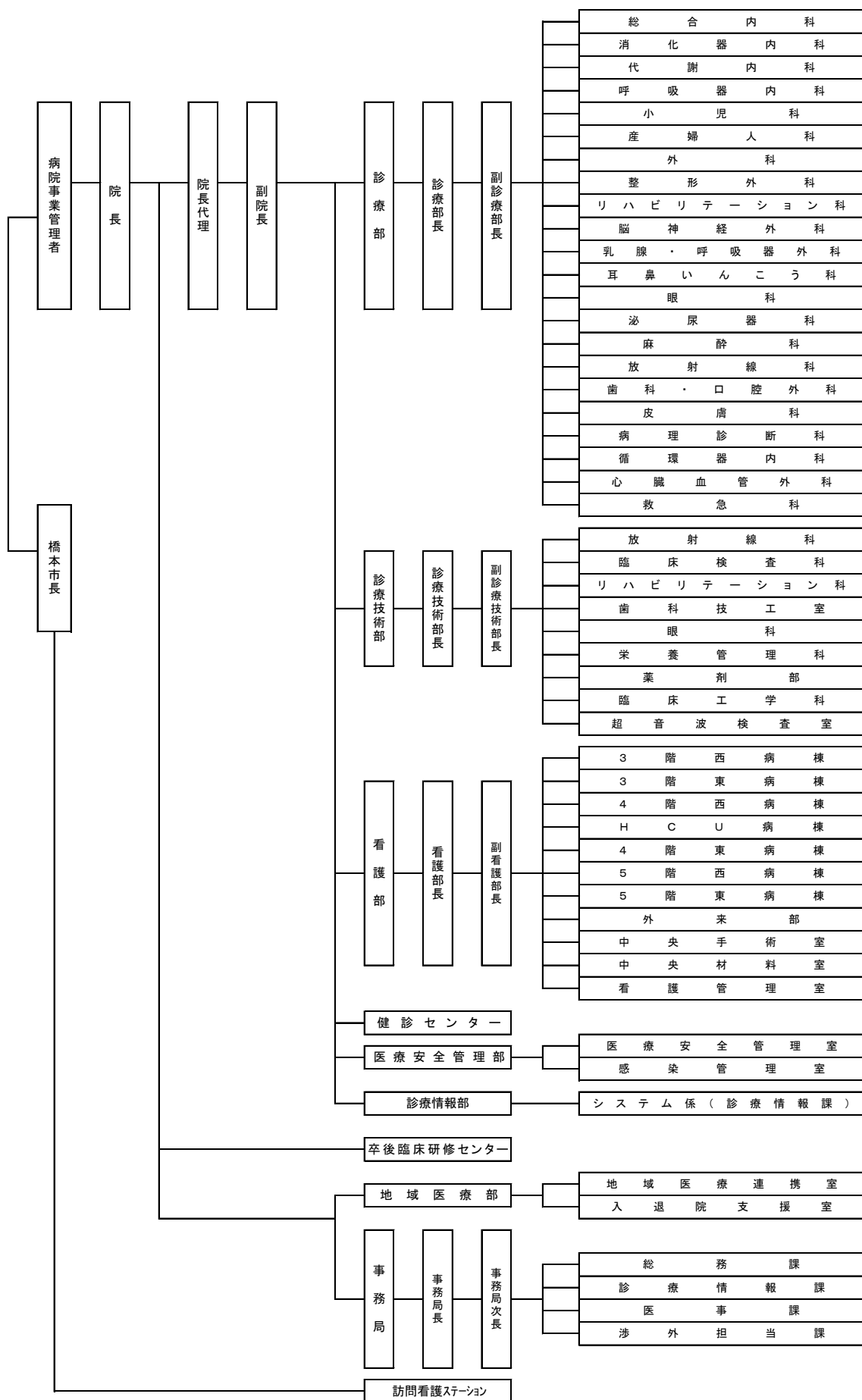
付帯設備概要 本館

(1) 電気設備	受電方式／常用・予備2回線受電方式 変圧器容量／4.825 K V A 予備電源／ガスタービン発電機、無停電電源装置 電池式 (M S E 型)
(2) 空調設備	空調方式／単一ダクト、V A V、外気処理空調機＋ ファンコイルユニット 空冷ヒートポンプ パッケージエアコン 熱 源／排熱投入型冷温水発生器×2台 ブラインチラー コージェネレーション発電機 185 K W × 2
(3) 衛生設備	給水／加圧給水ポンプ方式 給湯／中央方式 排水／汚水、雑排水分流方式
(4) 防災設備	消火／スプリンクラー設備 連結送水管設備 固定式泡消火設備 ハロン消火設備
(5) 昇降機	一般乗車4基、寝台用2基 (自家発管制運転) 人荷用4基 (内1基自家発管制運転) 小荷物用1基

東館

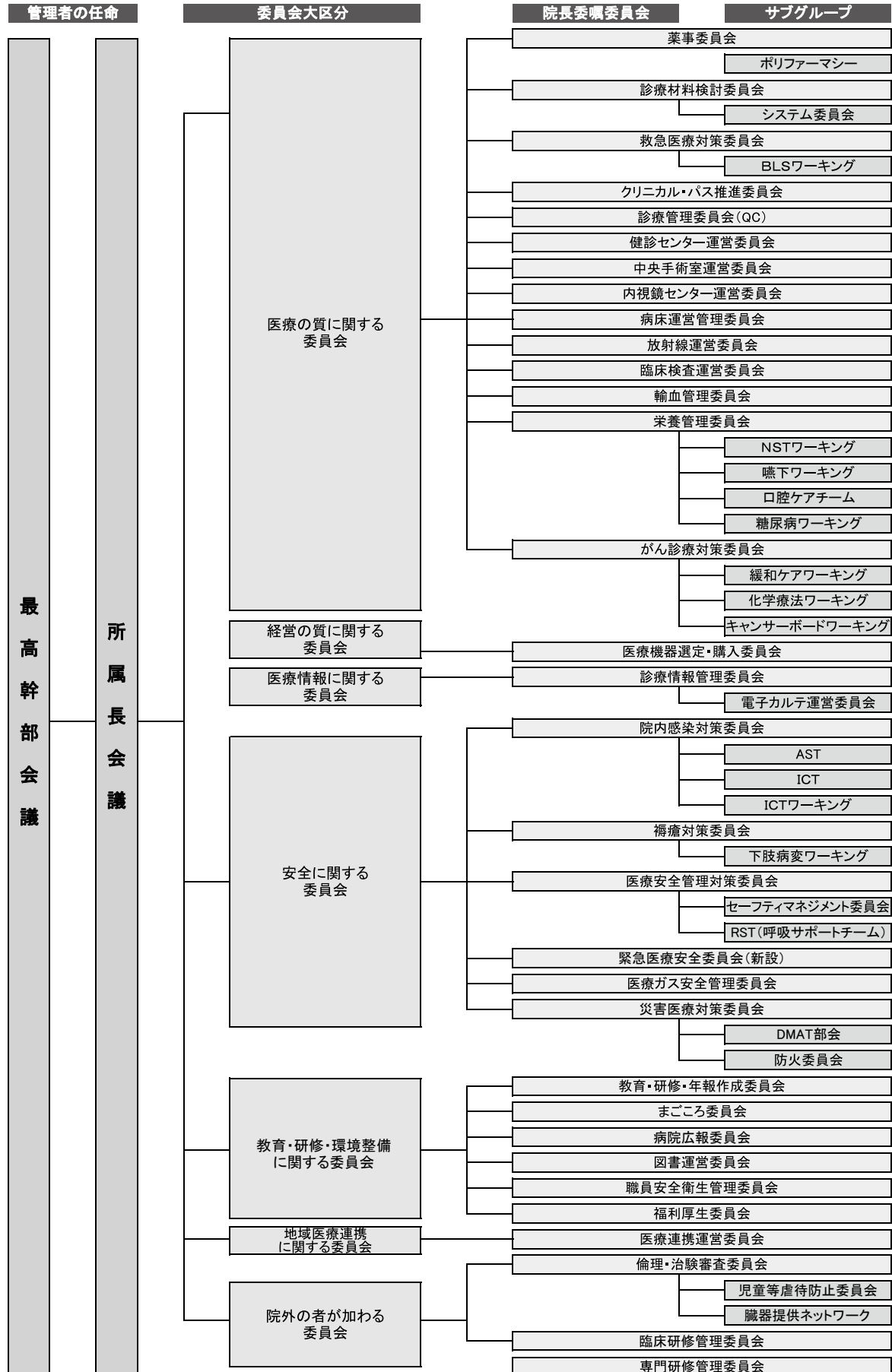
(1) 電気設備	予備電源／エンジン発電機、無停電電源装置
(2) 空調設備	空調方式／空冷ヒートポンプ パッケージエアコン
(3) 衛生設備	給水／加圧給水ポンプ方式 給湯／中央方式 排水／汚水、雑排水分流方式
(4) 防災設備	消火／スプリンクラー設備
(5) 昇降機	寝台用1基

病院組織図



委員会組織図

院内各種委員会一覧



届出施設基準等一覧

平成31年3月31日現在

基本診療料の施設基準 (届出)				
項 目		受理日付	受理番号	備 考
地域歯科支援病院歯科初診料		平成30年4月1日	(病初診) 第14号	
歯科外来診療環境体制加算2		平成30年4月1日	(外来環2) 第21号	
歯科診療特別対応連携加算		平成30年4月1日	(歯特連) 第7号	
オンライン診療料		平成30年4月1日	(オン診) 第3号	
急性期一般入院料4		平成30年5月1日	(一般入院) 第948号	
超急性期脳卒中加算		平成20年4月1日	(超急性期) 第5号	
診療録管理体制加算1		平成26年5月1日	(診療録1) 第9号	
医師事務作業補助体制加算1	50対1	平成26年4月1日	(事務補1) 第4号	
急性期看護補助体制加算	50対1	平成26年7月1日	(急性看護) 第76号	
療養環境加算		平成26年7月1日	(療) 第457号	
栄養サポートチーム加算		平成29年11月1日	(栄養チ) 第25号	
医療安全対策加算1		平成30年4月1日	(医療安全1) 第67号	
医療安全対策地域連携加算1				
感染防止対策加算1				
感染防止対策地域連携加算		平成30年4月1日	(感染防止1) 第37号	
抗菌薬適正使用支援加算				
患者サポート体制充実加算		平成25年3月1日	(患サポ) 第38号	
ハイリスク妊娠管理加算		平成21年4月1日	(ハイ妊娠) 第35号	
ハイリスク分娩管理加算		平成22年5月1日	(ハイ分娩) 第19号	
総合評価加算		平成30年4月1日	(総合評価) 第31号	
呼吸ケアチーム加算		平成29年6月1日	(呼吸チ) 第6号	
後発医薬品使用体制加算1		平成30年4月1日	(後発使1) 第8号	
データ提出加算	2 イ (200床以上の病院)	平成26年10月1日	(データ提) 第10号	
退院支援加算	1	平成28年4月1日	(退支) 第58号	
入退院支援加算1				
入院時支援加算		平成30年4月1日	(入退支) 第113号	
地域連携診療計画加算				
ハイケアユニット入院医療管理料		平成26年5月1日	(ハイケア1) 第1号	
小児入院医療管理料4		平成27年8月1日	(小入4) 第411号	
地域包括ケア病棟入院料2		平成26年7月1日	(地包ケア1) 第6号	
補助者配置加算		平成26年11月1日	(地包ケア1) 第18号	

特掲診療料の施設基準 (届出)				
項 目		受理日付	受理番号	備 考
糖尿病合併症管理料		平成20年4月1日	(糖管) 第4号	
がん性疼痛緩和指導管理料		平成22年4月1日	(がん疼) 第21号	
がん患者指導管理料イ		平成23年5月1日	(がん力) 第10号	
がん患者指導管理料ロ		平成26年4月1日	(がん指2) 第2号	
がん患者指導管理料ハ		平成26年4月1日	(がん指3) 第2号	
糖尿病透析予防指導管理料		平成25年7月1日	(糖防管) 第17号	
乳腺炎重症化予防ケア・指導料		平成30年4月1日	(乳腺ケア) 第3号	
地域連携夜間・休日診療料		平成22年4月1日	(夜) 第2号	
院内トリアージ実施料		平成30年4月1日	(トリ) 第16号	
夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算		平成30年4月1日	(救搬看護) 第10号	
ニコチン依存症管理料		平成23年7月1日	(ニコ) 第153号	
療養・就労両立支援指導料の注2に掲げる相談体制充実加算		平成30年4月1日	(両立支援) 第7号	
がん治療連携計画策定料		平成22年7月1日	(がん計) 第6号	
がん治療連携管理料1		平成24年4月1日	(がん管) 第2号	
肝炎インターフェロン治療計画料		平成22年4月1日	(肝炎) 第1号	
薬剤管理指導料		平成18年3月1日	(薬) 第435号	
地域連携診療計画管理加算		平成28年4月1日	(地連計) 第1号	
医療機器安全管理料1		平成20年4月1日	(機安1) 第19号	
歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算	I	平成28年4月1日	(医管) 第55号	
在宅療養後方支援病院		平成26年4月1日	(在宅病) 第1号	
在宅酸素療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算		平成30年4月1日	(遠隔酸素) 第1号	
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算		平成30年4月1日	(遠隔持続) 第11号	
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)		平成26年4月1日	(HPV) 第8号	

特掲診療料の施設基準 (届出)				
項目		受理日付	受理番号	備考
検体検査管理加算 (I)		平成20年4月1日	(検I) 第468号	
検体検査管理加算 (II)		平成20年4月1日	(検II) 第15号	
ヘッドアップティルト試験		平成28年1月1日	(ヘッド) 第10号	
コンタクトレンズ検査料1		平成21年4月1日	(コン1) 第279号	
小児食物アレルギー負荷検査		平成18年4月1日	(小検) 第3号	
センチネルリンパ節生検1	併用法	平成22年4月1日	(セ) 第1号	
CT撮影及びMR1撮影	16列以上のマルチスライスCT	平成24年4月1日	(C・M) 第274号	
	MRI (1.5テスラ以上)	平成24年4月1日	(C・M) 第275号	
抗悪性腫瘍剤処方管理加算		平成22年4月1日	(抗悪処方) 第11号	
外来化学療法加算1		平成29年1月1日	(外化1) 第450号	
無菌製剤処理料		平成20年4月1日	(菌) 第420号	
心大血管疾患リハビリテーション料 (I)		平成28年4月1日	(心I) 第13号	
脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)		平成29年1月1日	(脳I) 第108号	
運動器リハビリテーション料 (I)		平成22年4月1日	(運I) 第114号	
呼吸器リハビリテーション料 (I)		平成18年4月1日	(呼I) 第88号	
がん患者リハビリテーション料		平成23年5月1日	(がんリハ) 第18号	
集団コミュニケーション療法料		平成20年4月1日	(集コ) 第17号	
歯科口腔リハビリテーション料2		平成26年4月1日	(歯リハ2) 第3号	
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1		平成27年2月1日	(医処休) 第2号	
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1		平成27年2月1日	(医処休) 第2号	
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1		平成27年2月1日	(医処休) 第2号	
口腔粘膜処置		平成30年4月1日	(口腔粘膜) 第69号	
レーザー機器加算		平成30年4月1日	(手光機) 第65号	
歯科技工加算		平成22年4月1日	(歯技工) 第85号	
乳がんセンチネルリンパ節加算1	併用法	平成22年4月1日	(乳セ) 第5号	
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術	過活動膀胱に係るもの	平成29年12月1日	(仙神経交) 第2号	
乳癌悪性腫瘍手術 (乳頭乳輪温存乳房切除術 (腋窩郭清を伴わないもの) 及び乳頭乳輪温存乳房切除術 (腋窩郭清を伴うもの))		平成28年8月1日	(乳腫) 第4号	
食道縫合術 (穿孔、損傷) (内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔縫合術、胃瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、腎 (腎盂) 瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、尿管瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、膀胱瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)		平成30年4月1日	(瘻瘻閉) 第5号	
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術		平成18年3月1日	(ペ) 第412号	
大動脈バルーンパンピング法 (IABP法)		平成18年3月1日	(大) 第407号	
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術		平成25年4月1日	(早大腸) 第7号	
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍摘出術		平成29年1月1日	(腹前) 第6号	
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術		平成18年3月1日	(腎) 第406号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1		平成27年2月1日	(医手休) 第3号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1		平成27年2月1日	(医手休) 第3号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1		平成27年2月1日	(医手休) 第3号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術		平成26年4月1日	(胃瘻造) 第14号	※胃瘻造設術
輸血管理料 II		平成24年9月1日	(輸血II) 第25号	
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算		平成24年10月1日	(造設前) 第9号	
胃瘻造設時嚥下機能評価加算		平成26年4月1日	(胃瘻造嚥) 第6号	
麻酔管理料 (I)		平成18年3月1日	(麻管1) 第412号	
放射線治療専任加算		平成26年3月1日	(放専) 第414号	
外来放射線治療加算		平成26年3月1日	(外放) 第3号	
高エネルギー放射線治療		平成22年4月1日	(高放) 第434号	
1回線量増加加算		平成26年4月1日	(増線) 第3号	
病理診断管理加算1		平成24年4月1日	(病理診1) 第3号	
悪性腫瘍病理組織標本加算		平成30年4月1日	(悪病組) 第4号	
口腔病理診断管理加算1		平成26年4月1日	(口病診1) 第1号	
クラウン・ブリッジ維持管理料		平成18年3月1日	(補管) 第727号	

Ⅱ 医事統計

- ① 1日平均患者数（入院・外来）
- ② 新入院患者数 ・ 退院患者数
- ③ 平均在院日数 ・ 病棟別稼働率
- ④ 紹介率 ・ 逆紹介率
- ⑤ 救急搬送患者数
- ⑥ 橋本市消防本部・伊都消防搬送先状況
- ⑦ 医業収益（入院外来合計）
- ⑧ 科別収益（入院）
- ⑨ 科別収益（外来）
- ⑩ 診療科別単価
- ⑪ 行為別収益

① 1日平均患者数 (入院・外来)

● 1日平均患者数 (入院)

24時患者基準

(単位:人)

診療科	平成28年度	平成29年度	平成30年			平成30年						平成31年			平成30年度 平均			
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月
内科	29.7	33.7	35.5	34.4	26.7	33.1	36.8	31.7	32.8	37.4	34.5	32.1	27.8	33.0	43.5	42.9	32.3	34.8
消内	12.0	10.9	8.6	13.1	12.7	9.8	13.1	12.9	11.6	13.9	15.2	19.3	15.8	13.5	9.9	12.7	18.2	13.8
代内	3.8	0.2	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
呼内	12.1	7.5	8.7	8.6	9.6	9.4	7.7	4.2	3.3	5.5	5.9	5.9	5.5	6.8	8.9	6.4	5.0	6.2
循内	37.0	42.7	46.9	54.6	48.0	55.0	53.0	44.2	43.4	32.0	37.2	43.5	46.1	46.2	41.3	52.4	54.0	45.6
外科	39.1	39.6	38.6	34.5	39.2	39.3	41.8	42.8	48.2	41.6	39.4	34.1	37.1	35.9	32.4	34.4	36.5	38.7
整形	45.2	47.1	60.2	52.5	43.1	44.7	52.1	42.3	35.4	36.6	40.9	49.5	47.7	42.3	45.2	49.9	39.5	43.8
脳外	27.2	26.7	23.8	26.0	24.3	28.1	27.5	26.7	21.4	18.7	18.9	25.9	30.3	28.0	29.0	26.1	27.3	25.7
乳腺	10.1	9.3	7.4	8.9	8.3	7.5	6.5	8.6	10.6	11.6	11.7	7.4	7.5	10.1	13.9	16.6	5.0	9.7
心外	2.8	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
泌尿	5.6	5.8	6.6	7.1	6.4	7.8	6.8	8.3	7.7	8.3	8.9	9.3	10.0	10.3	11.4	10.0	10.2	9.1
皮膚	0.7	0.9	0.4	1.4	1.5	0.4	0.0	0.0	0.6	0.5	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.8	0.2
眼科	2.9	3.0	2.6	3.3	2.5	3.7	3.7	3.1	2.8	4.0	2.9	3.5	3.2	2.7	2.8	3.0	3.0	3.2
放射	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.7	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
耳鼻	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
麻酔	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小児	3.5	3.8	3.9	5.8	3.0	2.0	2.9	2.9	3.7	4.0	3.9	4.1	3.2	3.8	3.5	3.8	3.5	3.5
産婦	17.0	19.9	16.5	19.7	21.2	18.0	18.7	24.9	25.2	26.1	20.5	23.6	27.6	22.3	20.4	20.9	20.0	22.4
救急	1.5	1.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
歯科	1.1	2.7	2.8	2.8	2.4	2.6	4.7	3.2	2.6	2.8	2.6	3.1	4.1	2.3	1.6	3.1	3.4	3.0
合計	251.8	255.5	262.7	272.5	250.2	261.5	275.8	256.7	250.1	243.0	242.6	261.6	266.4	257.5	264.0	282.1	258.8	259.9
退院含	268.8	272.6	277.8	290.6	268.1	278.3	293.0	273.2	267.5	260.5	258.1	278.2	284.5	275.7	279.4	300.4	275.9	276.9

● 1日平均患者数 (外来)

(単位:人)

診療科	平成28年度	平成29年度	平成30年			平成30年						平成31年			平成30年度 平均			
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月
内科	36.6	40.4	44.9	42.7	36.7	31.5	32.1	29.2	30.4	34.8	37.6	34.5	35.0	36.9	51.6	43.2	36.8	35.9
消内	21.1	19.5	20.5	18.6	20.4	20.3	18.1	20.6	22.1	23.1	24.9	23.0	25.0	26.1	25.3	26.4	23.2	23.1
代内	25.4	23.5	24.3	24.1	24.3	25.6	20.2	24.4	22.0	22.6	24.7	20.9	22.8	25.4	24.5	23.4	22.9	23.2
呼内	23.2	25.4	25.3	27.4	27.4	26.7	26.0	25.2	24.5	26.5	28.6	26.9	26.7	28.9	27.8	26.8	27.8	26.8
循内	52.3	50.7	52.5	49.2	53.2	50.8	52.3	50.4	47.6	49.0	49.1	50.8	51.2	52.0	57.6	49.5	48.9	50.7
外科	33.9	31.9	33.4	30.3	31.8	31.0	30.4	29.8	32.5	27.7	31.8	28.0	30.7	31.6	31.5	28.1	32.0	30.4
整形	78.6	83.6	82.1	72.3	78.9	77.5	81.3	78.3	73.6	74.2	76.8	76.0	74.2	79.1	81.2	75.0	79.5	77.2
脳外	38.8	38.4	37.5	36.3	38.7	40.5	40.4	40.3	40.3	36.9	36.2	42.1	38.6	38.1	41.1	38.9	38.1	39.3
乳腺	12.8	12.7	13.1	12.2	13.1	10.8	11.6	12.3	12.0	11.3	13.4	12.1	11.9	13.1	11.9	8.3	10.9	11.6
心外	7.3	4.0	3.7	4.8	1.9	2.4	3.2	2.7	3.8	3.4	2.4	3.4	2.9	2.6	3.0	2.8	2.8	3.0
泌尿	60.0	58.5	63.7	57.6	61.1	60.4	57.5	56.4	65.7	55.7	63.8	60.2	59.2	65.4	69.2	59.6	64.8	61.3
皮膚	23.2	24.3	24.1	22.9	23.2	22.5	24.4	26.0	25.3	25.5	25.5	24.5	24.8	25.3	23.1	24.2	26.7	24.8
眼科	46.9	46.6	43.5	45.2	49.2	47.0	44.2	46.0	45.5	40.1	50.2	46.2	42.0	48.1	46.0	42.4	45.9	45.2
放射	13.4	10.1	9.8	14.5	10.0	7.5	6.4	7.2	6.7	6.9	6.3	9.6	11.2	9.9	11.7	17.6	14.7	9.6
耳鼻	18.6	20.0	18.8	17.2	21.9	21.7	23.1	20.4	21.8	21.3	22.6	19.1	21.2	21.3	21.9	21.9	22.4	21.5
麻酔	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	1.3	1.3	2.0	0.4
小児	61.3	42.6	51.7	49.3	35.9	34.2	35.2	33.4	41.2	38.9	38.7	31.7	33.8	41.7	47.1	35.1	40.7	37.5
産婦	36.9	35.5	35.2	34.6	37.4	30.3	33.4	31.2	33.7	32.2	35.4	36.1	34.5	37.3	38.4	36.3	38.0	34.6
救急	8.1	6.7	7.5	6.9	4.8	5.4	8.0	6.9	9.0	9.9	7.3	5.5	5.2	5.6	8.8	5.5	5.2	6.9
歯科	20.1	23.1	23.6	24.8	23.9	22.1	21.2	22.2	21.7	21.8	21.3	21.5	22.8	20.8	22.6	24.1	25.9	22.3
合計	618.4	597.8	615.3	590.7	593.5	567.7	569.2	563.0	579.5	562.0	596.7	572.4	573.7	610.4	645.6	590.3	608.7	585.5

● 全入院患者数

(単位：人)

診療科	平成28年度 平均	平成29年度 平均	平成30年			平成30年												平成31年			平成30年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	49.8	58.7	68	54	57	62	55	45	57	50	50	53	48	55	72	57	53	54.8			
消内	34.3	37.8	35	51	33	37	44	45	49	51	51	60	66	53	44	50	47	49.8			
代内	8.8	0.2	0	0	2	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0.3			
呼内	15.2	15.3	21	16	21	16	12	9	12	10	10	10	11	9	10	11	14	11.2			
循内	58.4	66.4	74	67	77	67	77	69	68	55	56	58	71	71	75	63	69	66.6			
外科	73.2	70.1	58	59	71	76	70	65	66	77	61	50	64	72	48	57	73	64.9			
整形	52.9	62.9	69	55	65	68	76	55	67	38	56	84	54	51	57	51	49	58.8			
脳外	39.6	35.1	38	27	41	40	45	34	35	38	42	38	45	44	42	36	42	40.1			
乳腺	22.7	21.0	25	16	16	16	12	22	21	23	22	21	15	13	26	17	0	17.3			
心外	5.3	0.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
泌尿	33.3	33.3	37	35	29	41	33	36	42	43	39	44	52	38	49	45	44	42.2			
皮膚	0.8	1.0	1	2	2	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0.4			
眼科	38.3	35.1	39	37	30	38	35	30	30	38	35	39	30	28	25	27	28	31.9			
放射	1.0	0.1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2			
耳鼻	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
麻酔	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	22.8	23.7	26	31	13	14	16	21	34	28	31	27	23	29	33	30	22	25.7			
産婦	47.1	43.9	33	42	49	42	47	42	52	49	40	38	35	40	60	43	38	43.8			
救急	6.6	6.3	4	1	4	0	1	3	3	1	0	3	1	5	2	3	4	2.2			
歯科	4.8	8.1	8	6	10	12	6	5	9	6	4	11	11	5	5	11	12	8.1			
合計	514.8	519.7	536	499	520	530	531	481	549	507	497	537	528	513	548	501	496	518.2			

● 全退院患者数

(単位：人)

診療科	平成28年度 平均	平成29年度 平均	平成30年			平成30年												平成31年			平成30年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	47.8	55.1	69	58	53	55	58	55	49	55	40	64	50	48	60	62	58	54.5			
消内	34.8	41.1	28	49	44	41	43	45	46	49	48	57	61	63	43	53	48	49.8			
代内	8.8	0.2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0.3			
呼内	17.9	17.5	20	17	20	20	16	12	14	14	9	11	11	11	10	16	16	13.3			
循内	62.1	70.8	63	77	88	67	84	78	79	68	49	69	87	86	69	64	79	73.3			
外科	78.5	78.0	67	58	82	80	82	63	79	82	72	71	65	83	58	58	77	72.5			
整形	46.3	40.6	28	51	45	36	43	49	39	24	22	37	37	39	26	35	39	35.5			
脳外	37.2	34.8	33	26	41	31	45	37	35	42	37	26	42	49	32	39	41	38.0			
乳腺	24.3	22.6	19	14	22	17	14	21	20	31	27	18	16	16	21	20	13	19.5			
心外	5.0	0.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
泌尿	33.1	33.3	34	30	30	40	38	35	37	42	40	45	48	45	44	43	44	41.8			
皮膚	0.9	1.2	1	1	4	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0.3			
眼科	38.3	35.1	34	37	35	38	28	37	30	38	35	31	38	28	17	27	36	31.9			
放射	1.0	0.0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2			
耳鼻	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
麻酔	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	25.6	27.3	29	34	20	17	23	22	37	32	32	31	25	31	37	31	24	28.5			
産婦	47.5	48.5	36	45	57	52	49	38	63	58	50	42	48	58	55	53	46	51.0			
救急	3.8	5.2	3.0	0.0	3.0	0	0	0	1	0	0	1	1	2	2	2	1	0.8			
歯科	4.6	8.1	6	9	9	8	10	3	10	7	3	11	11	8	3	11	7	7.7			
合計	517.3	520.0	470	506	554	504	533	496	541	543	464	514	542	567	477	514	529	518.7			

③ 平均在院日数・病棟別稼働率

● 実際の平均在院日数(単純計算)

(単位:日)

診療科	平成28年度	平成29年度	平成30年			平成30年						平成31年			平成30年度 平均			
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月
内科	18.5	18.0	16.1	17.2	15.1	17.0	20.2	19.0	19.2	22.1	23.0	17.0	17.0	19.9	20.4	20.2	18.0	19.4
消内	10.5	8.4	8.5	7.3	10.3	7.6	9.4	8.6	7.6	8.6	9.2	10.2	7.5	7.2	7.1	6.9	11.9	8.5
代内	13.1	32.0	-	-	24.7	0.0	0.0	-	9.0	-	-	20.0	4.0	-	-	-	-	6.6
呼内	22.2	13.9	13.1	14.6	14.5	15.7	17.1	12.0	7.9	14.3	18.7	17.5	15.0	21.2	27.7	13.2	10.4	15.5
循内	18.7	18.9	21.2	21.3	18.0	24.6	20.4	18.0	18.3	16.1	21.3	21.2	17.5	18.3	17.8	23.1	22.6	19.9
外科	15.7	16.3	19.2	16.5	15.9	15.1	17.0	20.1	20.6	16.2	17.8	17.5	17.3	14.4	19.0	16.7	15.1	17.1
整形	27.7	27.7	38.5	27.7	24.3	25.8	27.1	24.4	20.7	36.6	31.5	25.4	31.4	29.1	33.7	32.5	27.9	28.2
脳外	21.5	23.3	20.8	27.4	18.3	23.7	18.9	22.6	18.9	14.5	14.4	25.1	20.9	18.7	24.3	19.5	20.4	20.0
乳腺	13.0	12.9	10.4	16.5	13.5	13.6	15.6	12.0	16.0	13.3	14.4	11.7	14.6	21.5	18.4	25.1	23.7	16.0
心外	16.4	25.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
泌尿	5.2	5.3	5.8	6.1	6.7	5.8	5.9	7.0	6.1	6.1	6.7	6.5	6.0	7.7	7.6	6.3	7.2	6.6
皮膚	22.9	24.7	13.0	25.3	16.0	11.0	-	-	20.0	32.0	-	-	7.0	-	-	-	52.0	20.0
眼科	2.3	2.6	2.2	2.5	2.4	2.9	3.7	2.8	2.9	3.2	2.5	3.1	2.8	3.0	4.1	3.1	2.9	3.1
放射	19.3	2.0	-	-	-	-	22.0	44.0	7.0	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0
耳鼻	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻酔	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小児	4.4	4.5	4.4	5.0	5.6	3.9	4.7	4.0	3.2	4.2	3.7	4.3	4.0	4.0	3.1	3.4	4.8	3.9
産婦	10.9	13.1	14.8	12.7	12.4	11.5	12.1	18.7	13.6	15.1	13.7	18.3	20.0	14.1	11.0	12.2	14.8	14.3
救急	8.6	5.9	1.1	2.0	0.9	-	2.0	2.0	1.5	0.0	-	1.5	1.0	1.7	1.0	0.8	1.2	1.3
歯科	7.0	10.1	12.3	10.5	7.7	7.8	18.3	24.0	8.5	13.2	22.3	8.8	11.2	10.8	12.3	7.9	10.9	11.6
合計	14.8	15.0	16.2	15.2	14.4	15.2	16.1	15.8	14.2	14.3	15.1	15.4	14.9	14.8	16.0	15.6	15.7	15.2

● 施設基準上の平均在院日数

(単位:日)

	平成28年度	平成29年度	平成30年			平成30年						平成31年			平成30年度 平均			
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月
単月	13.3	13.6	15.2	14.1	12.8	14.7	14.9	14.6	13.0	13.0	13.5	14.5	13.9	13.2	14.3	14.6	14.5	14.0
直近3か月			13.8	14.1	14.0	14.3	14.5	14.7	14.1	13.5	13.1	13.6	14.0	13.9	13.8	14.0	14.5	

※ 健康保険適用のみ 通知別表2に該当する患者を除く

● 稼働率

(単位:%)

診療科	病棟数	平成28年度	平成29年度	平成30年			平成30年						平成31年			平成30年度 平均			
		平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月
3階西	54	88.3	87.4	88.1	89.9	83.1	88.2	92.2	85.7	85.8	80.5	71.7	79.5	86.0	82.9	85.1	93.9	81.8	84.4
3階東	40	74.2	69.1	65.1	78.9	69.0	65.7	81.4	75.0	71.2	74.3	66.0	81.4	74.4	71.5	74.3	87.5	76.7	74.9
4階西	50	85.3	89.1	92.0	93.2	85.4	94.8	94.9	87.5	88.3	79.2	83.7	82.3	89.3	83.7	86.0	95.1	85.3	87.4
4階東	50	75.0	84.2	95.7	92.7	75.9	81.3	94.7	83.9	74.5	76.6	85.0	94.4	91.2	87.7	90.2	93.2	85.7	86.5
5階西	50	83.3	79.6	82.5	88.9	85.2	89.4	89.0	80.3	78.8	76.5	77.3	86.9	90.7	87.4	91.6	93.4	89.0	85.8
5階東	50	95.0	98.8	98.7	99.5	99.2	99.3	99.3	99.1	99.7	99.2	99.5	99.9	99.4	100.0	99.7	99.9	99.7	99.6
HCU	6	84.7	80.6	77.4	86.9	82.8	86.7	75.8	85.0	77.4	67.2	78.3	73.7	81.1	77.4	76.3	92.3	69.4	78.2
全体	300	83.9	85.2	87.6	90.8	83.4	87.2	91.9	85.6	83.4	81.0	80.9	87.2	88.8	85.8	88.0	94.0	86.3	86.6

● 紹介率

(単位：%)

項目	平成28年度 平均	平成29年度 平均	平成30年			平成30年												平成31年			平成30年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
初診	1,640	1,477	1,458	1,318	1,498	1,263	1,471	1,410	1,483	1,681	1,193	1,438	1,370	1,238	1,437	1,286	1,456	1,393.8			
紹介	370	367	327	331	407	375	402	406	404	406	341	441	382	365	353	372	405	387.7			
紹介率	22.6	24.8	22.4	25.1	27.2	29.7	27.3	28.8	27.2	24.2	28.6	30.7	27.9	29.5	24.6	28.9	27.8	27.8			

● 逆紹介率

(単位：%)

項目	平成28年度 平均	平成29年度 平均	平成30年			平成30年												平成31年			平成30年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
初診	1,640	1,477	1,458	1,318	1,498	1,263	1,471	1,410	1,483	1,681	1,193	1,438	1,370	1,238	1,437	1,286	1,456	1,393.8			
提供書	578	644	601	609	730	587	648	639	621	677	519	720	680	679	618	586	716	640.8			
逆紹介率	35.2	43.6	41.2	46.2	48.7	46.5	44.1	45.3	41.9	40.3	43.5	50.1	49.6	54.8	43.0	45.6	49.2	46.0			

● 初診算定患者数（救急、時間外を除く）

(単位：人)

診療科	平成28年度 平均	平成29年度 平均	平成30年			平成30年												平成31年			平成30年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	137	154	207	145	145	133	159	119	138	180	138	149	147	128	237	155	136	151.6			
消内	22	22	19	20	29	17	18	32	30	28	24	33	43	20	23	31	25	27.0			
代内	6	3	2	4	5	3	6	3	3	5	1	2	1	2	2	3	3	2.8			
呼内	13	10	7	10	12	16	14	10	16	11	5	21	8	8	17	10	11	12.3			
循内	55	60	45	48	80	55	60	76	50	69	40	73	63	51	56	48	50	57.6			
外科	40	37	23	33	40	23	35	29	38	30	29	37	37	32	32	30	45	33.1			
整形	144	151	120	112	152	153	171	161	173	161	131	153	151	123	122	122	138	146.6			
脳外	61	64	54	55	60	56	87	69	69	71	49	64	48	48	55	72	54	61.8			
乳腺	27	24	17	28	23	13	16	23	17	31	26	27	20	31	19	12	15	20.8			
心外	15	7	8	7	1	1	8	4	8	5	7	7	6	1	3	2	5	4.8			
泌尿	56	56	57	54	51	48	44	63	73	58	42	49	46	51	48	59	63	53.7			
皮膚	66	65	58	47	69	65	74	76	77	109	47	56	52	67	46	49	71	65.8			
眼科	66	71	62	54	85	85	79	72	86	83	60	77	82	53	72	68	73	74.2			
放射	41	44	39	44	38	40	48	45	44	55	55	57	41	43	40	37	54	46.6			
耳鼻	42	40	44	30	55	44	58	51	42	64	32	31	28	33	33	46	56	43.2			
麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	639	454	481	437	425	327	371	374	413	473	316	370	379	364	406	313	411	376.4			
産婦	73	79	77	68	83	59	71	79	70	72	69	93	68	70	82	69	83	73.8			
救急	52	41	38	38	35	43	66	41	46	70	48	37	36	37	50	38	25	44.8			
歯科	84	95	100	84	110	82	86	83	90	106	74	102	114	76	94	122	138	97.3			
合計	1,640	1,477	1,458	1,318	1,498	1,263	1,471	1,410	1,483	1,681	1,193	1,438	1,370	1,238	1,437	1,286	1,456	1,393.8			

● 紹介患者

(単位：人)

診療科	平成28年度 平均	平成29年度 平均	平成30年			平成30年												平成31年			平成30年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	19	21	26	14	19	27	23	26	20	20	14	20	23	24	19	26	28	22.5			
消内	20	20	16	17	26	15	19	26	26	16	22	24	35	18	17	31	16	22.1			
代内	4	3	2	4	3	3	4	2	3	5	1	2	1	0	2	2	2	2.3			
呼内	9	6	4	8	9	8	7	6	11	6	4	18	4	6	13	4	8	7.9			
循内	37	39	27	33	39	40	46	51	31	44	29	47	45	33	38	33	34	39.3			
外科	32	27	13	20	36	28	26	22	26	29	31	32	27	26	22	20	32	26.8			
整形	46	48	45	36	52	48	55	41	52	41	38	56	34	39	33	46	45	44.0			
脳外	22	21	18	20	27	23	35	25	21	26	17	21	16	29	23	23	29	24.0			
乳腺	9	8	8	8	9	6	4	8	6	8	11	9	5	8	5	4	1	6.3			
心外	9	6	8	7	1	1	5	3	7	4	6	6	6	1	2	1	4	3.8			
泌尿	25	22	18	25	18	23	17	33	36	26	23	23	24	24	24	26	23	25.2			
皮膚	7	6	6	9	4	10	2	3	9	5	8	4	4	5	7	4	8	5.8			
眼科	19	22	27	18	25	38	25	19	31	28	20	28	41	23	26	19	23	26.8			
放射	32	38	35	41	34	35	41	38	37	47	49	54	41	42	38	37	50	42.4			
耳鼻	6	7	8	6	8	12	13	15	7	8	2	5	4	8	6	11	7	8.2			
麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	16	14	13	14	19	11	12	14	18	18	11	18	11	15	9	18	13	14.0			
産婦	20	20	13	11	25	14	24	31	23	21	18	23	11	22	27	22	22	21.5			
救急	5	5	5	4	6	1	11	10	6	8	7	8	6	6	4	3	4	6.2			
歯科	32	36	35	36	47	32	33	33	34	46	30	43	44	36	38	42	56	38.9			
合計	370	367	327	331	407	375	402	406	404	406	341	441	382	365	353	372	405	387.7			

⑤ 救急搬送患者数

● 救急車受入件数

(単位：件)

診療科	平成28年度 平均	平成29年度 平均	平成30年			平成30年												平成31年			平成30年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	29.8	39.3	52	46	37	41	28	28	35	36	33	39	38	42	54	59	34	38.9			
消内	6.8	6.2	2	9	8	4	9	12	13	14	13	22	16	17	10	11	15	13.0			
代内	3.2	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
呼内	2.4	1.3	3	2	2	0	1	0	1	2	2	2	0	1	1	1	1	1.0			
循内	27.3	31.3	32	36	44	42	37	37	25	29	23	31	25	35	29	27	33	31.1			
外科	11.2	13.1	7	11	17	18	11	15	13	21	19	10	12	22	10	7	24	15.2			
整形	27.5	29.3	33	25	32	25	36	17	42	22	32	35	30	28	33	21	19	28.3			
脳外	27.4	23.8	25	22	28	28	29	29	27	23	19	27	27	32	23	22	29	26.3			
乳腺	3.1	4.2	6	2	1	3	0	5	5	3	5	4	4	5	2	3	1	3.3			
心外	2.9	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
泌尿	2.9	2.8	5	2	4	5	6	6	3	10	3	5	9	7	8	6	3	5.9			
皮膚	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.2			
眼科	0.1	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0.1			
放射	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
耳鼻	0.0	0.1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0.1			
麻酔	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	6.6	7.1	9	10	1	4	8	3	19	9	10	6	4	6	14	7	7	8.1			
産婦	1.3	1.3	1	2	1	1	2	0	3	3	3	1	0	2	4	1	0	1.7			
救急	32.6	33.2	32	30	27	26	36	29	50	49	28	30	33	24	41	28	26	33.3			
歯科	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0.2			
合計	185.1	193.1	207	198	202	197	203	181	236	222	191	213	198	221	230	194	193	206.6			

● 救急別受入件数

(単位：件)

搬送元	平成28年度 平均	平成29年度 平均	平成30年			平成30年												平成31年			平成30年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
橋本	106.3	112.0	121	102	127	106	106	111	145	140	109	113	139	125	124	115	112	120.4			
伊都	46.7	47.7	48	55	42	53	56	42	56	40	46	67	36	58	58	48	52	51.0			
高野	8.9	8.0	6	10	7	10	10	8	16	13	12	8	12	11	12	3	4	9.9			
那賀	1.1	2.6	6	5	5	0	0	0	1	1	3	1	2	1	4	1	4	1.5			
医大	0.7	0.3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0.1			
近大	0.1	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
長野	0.3	0.5	1	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2			
堺	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
五条	16.2	17.6	23	21	18	14	20	13	14	19	14	17	7	20	27	21	15	16.8			
野迫川	0.6	0.3	0	0	0	0	2	1	0	1	2	0	0	0	3	1	0	0.8			
その他	2.9	3.3	1	4	1	13	6	4	3	5	3	5	1	6	0	5	6	4.8			
Dへリ	1.4	0.9	1	0	0	1	1	2	1	2	2	2	1	0	2	0	0	1.2			
合計	185.1	193.1	207	198	202	197	203	181	236	222	191	213	198	221	230	194	193	206.6			

● 橋本市消防収容率

(単位：%)

診療科	平成28年度 平均	平成29年度 平均	平成30年			平成30年												平成31年			平成30年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
発生件数	178.0	181.9	208	184	198	164	177	157	225	217	167	171	213	204	209	185	185	189.5			
収容件数	106.3	112.0	121	102	127	106	106	111	145	140	109	113	139	125	124	115	112	120.4			
収容率	59.7	61.6	58.2	55.4	64.1	64.6	59.9	70.7	64.4	64.5	65.3	66.1	65.3	61.3	59.3	62.2	60.5	63.5			

● 伊都消防収容率

(単位：%)

診療科	平成28年度 平均	平成29年度 平均	平成30年			平成30年												平成31年			平成30年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
発生件数	143.0	146.3	150	143	147	126	142	137	194	162	142	176	141	159	170	133	153	152.9			
収容件数	46.7	47.7	48	55	42	53	56	42	56	40	46	67	36	58	58	48	52	51.0			
収容率	32.6	32.6	32.0	38.5	28.6	42.1	39.4	30.7	28.9	24.7	32.4	38.1	25.5	36.5	34.1	36.1	34.0	33.4			

● 橋本市消防本部搬送先状況

(単位: 件)

搬送先	平成29年度 平均	平成30年			平成30年									平成31年			平成30年度 平均
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
橋本市民病院	106.3	121	102	127	106	106	111	145	140	109	113	139	125	124	115	112	120.4
紀和病院	27.7	42	30	27	17	19	19	31	21	26	16	34	34	32	26	29	25.3
山本病院	14.7	16	17	17	16	17	8	22	22	8	11	8	16	23	13	12	14.7
紀北分院	3.9	2	4	3	6	5	1	4	9	5	4	7	8	3	4	1	4.8
和歌山医大	3.6	2	2	5	1	9	3	6	5	2	8	5	3	4	2	5	4.4
日赤和歌山	2.3	3	4	2	1	0	0	0	0	2	2	1	2	5	0	0	1.1
和歌山県他	8.1	6	5	6	7	7	8	2	9	6	6	5	5	6	14	10	7.1
近大病院	6.4	9	11	7	7	5	6	9	7	8	6	9	5	5	6	9	6.8
大阪府他	2.9	5	4	2	3	7	0	4	3	0	4	4	4	3	3	4	3.3
奈良県	2.3	2	5	2	0	2	1	2	1	1	1	1	2	4	2	3	1.7
合計	178.0	208	184	198	164	177	157	225	217	167	171	213	204	209	185	185	189.5

● 橋本消防本部搬送先状況

(単位: 件)

診療科・区分	平成29年度 平均	平成30年			平成30年									平成31年			平成30年度 平均	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
内科	発生	61.4	86	68	78	59	56	47	84	74	63	48	67	68	80	78	68	66.0
	収容	24.8	34	25	34	23	18	24	36	31	30	26	43	32	26	39	29	29.8
外科	発生	9.8	6	4	15	17	8	12	13	21	10	8	15	16	14	14	10	13.2
	収容	6.0	6	3	13	11	6	9	8	13	7	5	10	13	12	4	7	8.8
小児	発生	6.4	5	7	2	3	9	5	9	11	9	7	5	5	10	9	5	7.3
	収容	4.3	3	5	1	2	4	2	7	8	8	4	3	4	5	5	3	4.6
産婦	発生	1.8	2	0	2	3	2	2	5	3	2	3	2	3	4	3	1	2.8
	収容	0.8	1	0	0	0	0	0	2	2	2	1	0	1	3	1	0	1.0
眼科	発生	0.1	0	0	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0.3	
	収容	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0.1	
整形	発生	21.5	28	27	17	8	17	16	24	18	20	18	38	27	12	16	22	19.7
	収容	9.7	14	10	11	5	9	6	16	8	12	8	22	7	4	8	9	9.5
耳鼻	発生	1.0	0	2	1	0	3	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0.5	
	収容	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
脳外	発生	9.8	10	5	11	6	9	9	13	7	6	14	15	19	4	11	14	10.6
	収容	6.0	4	3	10	3	4	9	10	5	3	12	6	11	1	8	10	6.8
泌尿	発生	2.8	3	0	6	5	4	6	4	10	3	7	5	3	7	3	5	5.2
	収容	2.3	3	0	5	5	4	4	3	9	2	5	4	3	7	3	3	4.3
循内	発生	17.3	20	22	23	18	17	20	15	17	15	15	12	17	16	14	23	16.6
	収容	13.2	16	17	21	17	17	19	9	12	15	11	8	13	14	9	17	13.4
心外	発生	2.7	3	3	4	1	4	0	1	1	2	1	3	0	3	1	0	1.4
	収容	1.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
救急	発生	40.5	44	45	35	43	46	40	56	54	35	45	44	46	57	40	34	45.0
	収容	37.9	40	39	32	40	44	38	54	52	29	41	43	41	51	38	34	42.1
他	発生	3.3	1	1	2	0	2	0	1	1	1	3	5	0	2	2	2	1.6
	収容	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.1
合計	発生	178.3	208	184	198	164	177	157	225	217	167	171	213	204	209	191	185	190.0
	収容	106.3	121	102	127	106	106	111	145	140	109	113	139	125	124	115	112	120.4

● 伊都消防本部搬送先状況

(単位: 件)

搬送先	平成29年度 平均	平成30年			平成30年									平成31年			平成30年度 平均
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
橋本市民病院	46.7	41	46	57	53	56	42	56	40	46	67	36	58	58	48	52	51.0
紀和病院	24.0	29	25	24	27	30	24	35	37	28	31	29	30	42	20	26	29.9
山本病院	9.7	18	10	12	9	6	11	11	10	5	10	15	7	10	7	14	9.6
紀北分院	31.4	41	30	26	21	24	36	55	46	44	41	37	36	43	36	33	37.7
和歌山医大	5.1	4	4	8	1	4	2	4	2	3	3	1	4	1	2	4	2.6
日赤和歌山	1.9	1	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	2	2	1	0.8
和歌山県他	23.3	24	16	31	14	21	21	30	26	15	24	21	18	14	16	20	20.0
近大病院	0.9	0	1	1	0	0	1	3	1	1	0	2	3	0	2	3	1.3
大阪府他	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
奈良県	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	143.0	158	135	160	126	142	137	194	162	142	176	141	159	170	133	153	152.9

⑦ 医業収益（入院外来合計）

● 科別収益（入院＋外来）

※室料・文書等自費を含む

（単位：千円）

診療科	平成28年度	平成29年度	平成30年			平成30年						平成31年			平成30年度 平均			
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月
内科	41,592	49,477	54,468	46,673	43,343	47,279	52,464	44,560	44,401	53,414	49,692	48,418	43,437	48,878	62,672	55,763	47,485	49,872
消内	22,896	23,970	25,074	26,794	30,106	26,251	30,757	31,619	29,754	33,153	33,089	39,079	36,117	30,833	24,559	28,076	41,242	32,044
代内	11,325	6,830	6,600	6,145	8,121	7,255	6,272	6,793	6,988	7,141	6,475	6,891	6,911	6,866	6,859	6,333	6,457	6,770
呼内	20,712	18,498	20,388	20,316	25,313	23,976	23,185	19,706	17,900	23,890	20,873	24,275	21,135	21,526	21,369	18,023	17,404	21,105
循内	78,284	85,965	86,716	92,086	92,164	91,123	107,186	88,656	84,131	70,594	71,030	85,722	101,141	104,569	92,369	102,530	113,095	92,679
外科	84,298	88,046	83,032	77,760	86,746	92,023	90,621	96,238	100,300	88,171	80,983	78,048	86,075	78,202	75,385	71,135	82,177	84,946
整形	78,376	81,022	94,057	82,637	80,158	81,251	93,541	70,179	69,731	67,369	71,605	93,775	72,745	71,564	79,156	74,220	69,394	76,211
脳外	49,877	49,335	43,605	43,115	49,623	62,007	53,697	52,179	51,346	45,718	43,569	59,337	66,823	54,959	47,726	44,169	59,801	53,444
乳腺	25,063	25,930	22,742	24,553	24,759	19,806	18,177	21,650	25,225	30,801	27,624	26,753	25,348	27,878	32,186	28,827	15,109	24,949
心外	5,934	1,899	1,202	836	361	569	580	280	678	570	477	517	468	636	516	674	674	553
泌尿	31,445	32,568	35,775	30,625	32,683	35,957	35,016	36,178	40,502	39,221	35,398	38,744	38,318	37,689	43,685	40,160	39,140	38,334
皮膚	2,718	2,952	2,728	3,638	3,271	3,224	2,082	2,675	2,522	2,525	2,396	2,171	1,733	1,360	1,169	1,262	2,818	2,161
眼科	15,809	15,963	15,270	15,367	14,320	16,962	17,340	15,033	14,556	17,915	14,411	17,748	14,896	14,136	13,710	13,341	15,307	15,446
放射	6,225	4,274	4,188	5,697	4,301	3,007	3,243	3,978	3,594	3,883	3,019	5,429	5,705	4,325	5,557	7,033	6,161	4,578
耳鼻	1,933	2,014	1,824	1,491	2,223	2,280	2,526	2,286	2,283	2,345	1,744	2,089	2,030	1,864	1,867	2,132	1,922	2,114
麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	11	15	23	5
小児	16,600	16,675	18,937	25,688	15,271	8,969	20,419	13,024	13,206	24,475	12,383	23,195	11,569	24,745	15,178	15,872	20,982	17,001
産婦	35,770	37,396	29,191	34,562	37,225	33,300	35,569	41,009	42,860	45,002	36,459	41,861	40,482	40,868	39,610	36,823	36,453	39,191
救急	3,757	3,195	2,369	1,681	1,722	1,315	2,235	2,159	2,136	2,410	1,460	2,014	1,730	1,779	1,884	1,309	1,434	1,822
歯科	4,566	7,627	8,106	6,435	7,448	8,242	8,739	8,245	7,623	7,996	5,210	10,565	11,488	5,844	7,214	8,017	8,778	8,163
合計	537,180	553,636	556,273	546,100	559,159	564,797	603,649	556,445	559,737	566,592	517,896	606,632	588,152	578,529	572,682	555,713	585,854	571,390

● 前年度平均との対比

診療科	平成29年度平均	平成30年度平均	伸率 (%)
内科	49,477	49,872	100.8
消化器内科	23,970	32,044	133.7
代謝内科	6,830	6,770	99.1
呼吸器内科	18,498	21,105	114.1
循環器内科	85,965	92,679	107.8
外科	88,046	84,946	96.5
整形外科	81,022	76,211	94.1
脳神経外科	49,335	53,444	108.3
乳腺呼吸器外科	25,930	24,949	96.2
心臓血管外科	1,899	553	29.1
泌尿器科	32,568	38,334	117.7
皮膚科	2,952	2,161	73.2
眼科	15,963	15,446	96.8
放射線科	4,274	4,578	107.1
耳鼻いんこう科	2,014	2,114	105.0
麻酔科	0	5	4150.5
小児科	16,675	17,001	102.0
産婦人科	37,396	39,191	104.8
救急科	3,195	1,822	57.0
歯科口腔外科	7,627	8,163	107.0
合計	553,636	571,390	103.2

● 科別収益（入院）

※室料・文書等自費を含む

（単位：千円）

診療科	平成28年度	平成29年度	平成30年			平成30年						平成31年			平成30年度 平均			
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月
内科	29,540	40,264	45,152	37,531	34,553	39,933	44,961	36,786	37,207	43,881	41,891	39,396	33,928	40,878	51,494	45,718	39,054	41,261
消内	16,197	17,707	16,256	20,016	22,120	16,413	21,342	21,285	19,863	21,528	24,572	30,019	26,364	23,506	17,252	20,618	28,525	22,607
代内	5,137	183	0	0	1,226	74	0	0	351	0	0	316	153	0	0	0	0	74
呼内	11,317	8,788	10,102	9,452	11,203	9,713	8,918	5,506	4,464	7,165	6,768	7,223	7,587	8,258	9,365	6,761	6,372	7,342
循内	68,086	72,607	73,849	80,145	77,313	78,143	93,525	75,158	71,620	56,635	59,850	72,602	86,688	92,948	78,495	89,507	100,146	79,610
外科	66,620	69,629	62,677	57,389	68,419	75,413	74,418	79,208	82,825	70,585	66,647	61,861	68,012	63,165	57,121	54,185	62,770	68,017
整形	57,628	69,729	83,272	72,650	69,262	70,702	82,600	59,640	59,567	57,099	63,281	83,160	62,608	62,045	68,892	64,992	58,920	66,125
脳外	33,666	42,806	37,937	36,878	42,072	55,837	46,090	44,951	44,756	38,253	38,302	51,637	60,266	48,655	41,911	38,044	53,174	46,823
乳腺	19,174	16,329	15,344	16,655	15,124	12,812	9,421	13,985	16,834	22,263	19,286	16,001	14,750	16,672	22,945	20,301	5,947	15,935
心外	5,136	856	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿	12,863	13,238	15,147	13,405	12,280	15,545	15,302	16,431	16,287	17,880	18,740	16,416	18,274	19,159	22,382	20,568	18,275	17,938
皮膚	1,036	796	430	1,242	1,630	411	0	0	754	537	0	0	269	0	0	0	1,201	264
眼科	10,336	10,603	10,965	10,813	8,765	11,939	11,745	9,892	9,340	12,702	9,713	12,143	9,932	9,265	8,775	8,996	9,970	10,368
放射	0	3	0	0	0	0	487	712	569	0	0	0	0	0	0	0	0	147
耳鼻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児	3,668	6,486	7,359	9,025	4,781	3,518	5,332	4,989	7,076	7,699	7,126	7,510	5,466	6,879	7,004	6,222	6,259	6,257
産婦	39,950	31,102	23,903	29,362	30,897	28,166	30,057	35,718	36,925	38,936	30,691	33,895	34,068	34,745	32,701	30,411	29,301	32,968
救急	2,359	1,499	499	39	386	0	44	287	204	0	0	205	61	335	141	138	134	129
歯科	1,060	4,472	4,592	3,485	4,140	4,892	5,817	4,884	4,046	4,122	2,409	5,969	8,028	2,514	2,889	4,261	4,888	4,560
合計	383,773	407,094	407,482	398,085	404,171	423,509	450,060	409,433	412,688	399,284	389,275	438,354	436,453	429,024	421,368	410,724	424,933	420,425

● 前年度平均との対比

診療科	平成29年度平均	平成30年度平均	伸率 (%)
内科	40,264	41,261	102.5
消化器内科	17,707	22,607	127.7
代謝内科	183	74	40.8
呼吸器内科	8,788	7,342	83.5
循環器内科	72,607	79,610	109.6
外科	69,629	68,017	97.7
整形外科	69,729	66,125	94.8
脳神経外科	42,806	46,823	109.4
乳腺呼吸器外科	16,329	15,935	97.6
心臓血管外科	856	0	0.0
泌尿器科	13,238	17,938	135.5
皮膚科	796	264	33.2
眼科	10,603	10,368	97.8
放射線科	3	147	4367.3
耳鼻いんこう科	0	0	-
麻酔科	0	0	-
小児科	6,486	6,257	96.5
産婦人科	31,102	32,968	106.0
救急科	1,499	129	8.6
歯科口腔外科	4,472	4,560	102.0
合計	407,094	420,425	103.3

⑨ 科別収益 (外来)

● 科別収益 (外来)

※ 室料・文書等自費を含む

(単位:千円)

診療科	平成28年度	平成29年度	平成30年			平成30年						平成31年			平成30年度			
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
内科	7,828	9,213	9,316	9,143	8,790	7,347	7,502	7,774	7,194	9,534	7,801	9,022	9,509	8,000	11,178	10,045	8,432	8,611
消内	6,047	6,263	8,818	6,777	7,986	9,838	9,415	10,334	9,891	11,624	8,517	9,060	9,753	7,327	7,307	7,458	12,717	9,437
代内	7,198	6,647	6,600	6,145	6,895	7,181	6,272	6,793	6,637	7,141	6,475	6,576	6,758	6,866	6,859	6,333	6,457	6,696
呼内	6,819	9,710	10,286	10,864	14,110	14,264	14,267	14,200	13,436	16,725	14,104	17,052	13,548	13,268	12,004	11,261	11,032	13,763
循内	13,643	13,358	12,867	11,942	14,850	12,980	13,661	13,498	12,511	13,959	11,181	13,120	14,454	11,621	13,874	13,022	12,949	13,069
外科	17,687	18,418	20,356	20,371	18,327	16,610	16,203	17,030	17,476	17,586	14,336	16,187	18,064	15,037	18,264	16,950	19,407	16,929
整形	10,140	11,293	10,784	9,987	10,895	10,549	10,941	10,538	10,164	10,270	8,324	10,615	10,138	9,519	10,264	9,228	10,475	10,085
脳外	7,217	6,529	5,668	6,237	7,550	6,170	7,607	7,228	6,589	7,465	5,267	7,699	6,558	6,304	5,814	6,125	6,628	6,621
乳腺	8,036	9,602	7,398	7,899	9,635	6,994	8,755	7,665	8,392	8,539	8,338	10,752	10,597	11,206	9,241	8,525	9,162	9,014
心外	1,670	1,042	1,202	836	361	569	580	280	678	570	477	517	468	636	516	674	674	553
泌尿	18,636	19,330	20,629	17,221	20,404	20,412	19,713	19,746	24,215	21,342	16,659	22,328	20,043	18,530	21,303	19,592	20,865	20,396
皮膚	2,087	2,156	2,298	2,396	1,641	2,813	2,082	2,675	1,768	1,987	2,396	2,171	1,464	1,360	1,169	1,262	1,617	1,897
眼科	5,151	5,359	4,305	4,555	5,555	5,023	5,595	5,141	5,216	5,213	4,697	5,605	4,964	4,871	4,934	4,344	5,336	5,078
放射	5,412	4,271	4,188	5,697	4,301	3,007	2,756	3,266	3,025	3,883	3,019	5,429	5,705	4,325	5,557	7,033	6,161	4,431
耳鼻	1,933	2,014	1,824	1,491	2,223	2,280	2,526	2,286	2,283	2,345	1,744	2,089	2,030	1,864	1,867	2,132	1,922	2,114
麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	11	15	23	5
小児	10,824	10,189	11,578	16,663	10,490	5,451	15,087	8,035	6,130	16,775	5,257	15,685	6,103	17,866	8,174	9,650	14,723	10,745
産婦	6,972	6,295	5,289	5,200	6,328	5,134	5,512	5,291	5,935	6,066	5,768	7,966	6,414	6,123	6,909	6,412	7,152	6,223
救急	2,109	1,696	1,870	1,642	1,336	1,315	2,191	1,872	1,932	2,410	1,460	1,809	1,669	1,443	1,743	1,171	1,299	1,693
歯科	2,626	3,155	3,515	2,950	3,308	3,350	2,922	3,361	3,577	3,874	2,801	4,596	3,460	3,330	4,325	3,756	3,890	3,604
合計	142,034	146,541	148,791	148,015	154,988	141,288	153,589	147,012	147,049	167,307	128,622	168,278	151,698	149,505	151,314	144,989	160,920	150,964
診療日数	20.1	20.3	19	19	21	20	21	21	21	23	18	22	21	19	19	19	20	20.3

● 前年度平均との対比

診療科	平成29年度平均	平成30年度平均	伸率 (%)
内科	9,213	8,611	93.5
消化器内科	6,263	9,437	150.7
代謝内科	6,647	6,696	100.7
呼吸器内科	9,710	13,763	141.7
循環器内科	13,358	13,069	97.8
外科	18,418	16,929	91.9
整形外科	11,293	10,085	89.3
脳神経外科	6,529	6,621	101.4
乳腺呼吸器外科	9,602	9,014	93.9
心臓血管外科	1,042	553	53.1
泌尿器科	19,330	20,396	105.5
皮膚科	2,156	1,897	88.0
眼科	5,359	5,078	94.8
放射線科	4,271	4,431	103.7
耳鼻いんこう科	2,014	2,114	105.0
麻酔科	0	5	4150.5
小児科	10,189	10,745	105.5
産婦人科	6,295	6,223	98.9
救急科	1,696	1,693	99.8
歯科口腔外科	3,155	3,604	114.2
合計	146,541	150,964	103.0

● 診療単価 (入院)

24 時患者基準

(単位：円)

診療科	平成 28 年度 平均	平成 29 年度 平均	平成 30 年			平成 30 年						平成 31 年			平成 30 年度 平均			
			1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月		1 月	2 月	3 月
内科	36,438	38,433	39,664	38,114	40,230	38,901	38,392	37,396	35,264	36,705	39,100	38,525	39,393	39,144	37,725	37,496	37,952	37,957
消内	44,611	51,808	59,851	53,980	54,426	54,086	50,743	53,547	53,891	48,396	51,951	48,576	53,974	54,912	54,844	56,105	49,624	52,182
代内	34,602	34,230	-	-	33,132	-	-	-	38,968	-	-	31,567	38,265	-	-	-	-	38,827
呼内	36,734	37,227	36,668	37,886	36,329	33,628	36,381	43,229	41,256	39,684	36,966	37,044	43,808	38,765	33,381	36,872	39,046	37,606
循内	56,182	54,713	49,829	51,604	51,009	46,205	55,730	55,345	51,870	55,358	52,473	52,999	61,525	63,757	60,231	60,388	59,020	56,240
外科	54,291	55,906	50,607	57,550	54,464	61,771	55,966	60,001	54,086	53,393	54,502	57,153	59,635	54,325	54,887	55,115	54,410	56,251
整形	48,302	47,547	43,650	48,120	50,391	51,445	50,028	45,870	52,976	49,251	50,304	53,072	42,473	45,907	47,815	45,400	46,836	48,420
脳外	50,306	51,627	49,526	49,518	55,059	65,034	52,750	54,939	66,396	65,362	66,516	63,348	65,456	55,318	45,794	51,243	61,557	59,015
乳腺	53,832	55,834	64,763	64,522	57,474	54,534	45,410	52,396	48,968	59,193	53,413	67,001	63,485	51,755	51,928	41,890	37,615	52,119
心外	48,919	42,588	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
泌尿	71,740	72,696	71,895	65,794	60,483	64,055	70,411	63,152	66,622	67,563	67,577	54,106	58,979	58,296	61,180	70,697	56,068	62,743
皮膚	31,220	29,631	33,106	32,684	33,968	33,239	-	-	33,177	33,583	-	-	38,427	-	-	-	38,618	35,494
眼科	120,936	114,122	132,710	118,179	110,597	105,438	100,377	105,575	105,374	102,150	110,207	109,861	101,548	108,045	100,282	106,265	106,566	105,004
放射	41,589	40,490	-	-	-	-	44,278	32,354	75,950	-	-	-	-	-	-	-	-	43,263
耳鼻	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻酔	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小児	52,802	55,127	59,826	54,498	51,122	56,721	56,636	56,383	58,268	59,249	59,011	57,508	55,318	56,292	63,008	58,433	55,546	57,811
産婦	48,803	45,892	41,569	47,052	42,506	47,031	45,137	44,118	42,920	43,643	44,733	42,312	38,805	44,910	46,589	46,680	42,692	43,900
救急	36,397	42,720	118,827	31,690	126,303	-	43,830	93,207	67,333	-	-	67,417	58,510	55,059	68,395	66,785	44,750	63,382
歯科	57,289	52,415	51,356	40,683	54,936	60,264	37,638	49,191	48,519	47,299	30,886	60,572	63,510	31,945	57,899	47,530	46,063	48,412
合計	49,856	50,736	48,479	50,573	50,516	52,274	50,987	51,568	51,526	51,281	51,726	52,489	53,181	52,067	50,034	50,625	51,574	51,606
退院含	47,030	47,894	45,834	47,428	47,148	49,118	47,995	48,448	48,164	47,833	48,626	49,361	49,803	48,613	47,278	47,532	48,384	49,118

● 診療単価 (外来)

(単位：円)

診療科	平成 28 年度 平均	平成 29 年度 平均	平成 30 年			平成 30 年						平成 31 年			平成 30 年度 平均			
			1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月		1 月	2 月	3 月
内科	10,336	10,901	10,581	11,046	11,101	11,418	10,822	12,329	10,985	11,656	11,254	11,355	11,903	10,730	11,097	11,967	10,949	11,370
消内	14,060	15,592	22,421	19,026	18,490	24,066	24,568	23,640	21,058	21,614	18,852	17,691	18,295	14,467	15,041	14,738	27,199	19,877
代内	14,067	13,864	14,250	13,418	13,495	14,008	14,723	13,230	14,325	13,752	14,539	14,306	14,042	14,142	14,717	14,213	14,124	14,157
呼内	14,568	18,753	21,335	20,856	24,510	26,648	26,030	26,800	26,072	27,378	27,374	28,838	24,013	24,002	22,723	22,079	19,817	25,186
循内	12,778	12,730	12,674	12,544	13,065	12,598	12,222	12,538	12,257	12,190	12,401	11,551	13,189	11,550	12,501	13,644	13,043	12,460
外科	25,706	28,107	31,815	35,107	27,273	26,570	25,172	26,957	25,301	27,258	24,822	26,068	27,775	24,846	30,157	31,462	30,149	27,164
整形	5,904	6,130	6,372	6,695	6,079	6,412	6,016	5,949	5,998	5,641	5,692	5,855	6,012	5,691	6,047	5,878	6,069	5,939
脳外	8,964	7,989	7,660	8,602	8,829	7,291	8,641	8,215	7,394	8,425	7,740	8,055	7,693	8,332	7,141	7,986	8,364	7,944
乳腺	31,033	36,855	29,452	33,868	34,708	32,343	35,564	29,581	33,030	32,654	34,322	39,954	42,082	44,690	40,685	53,920	41,965	37,878
心外	11,238	12,536	16,834	9,175	9,269	11,844	8,580	4,912	8,417	7,200	10,814	6,893	7,721	12,713	9,049	12,701	12,015	9,123
泌尿	15,376	16,184	16,986	15,681	15,840	16,840	16,275	16,578	17,494	16,541	14,419	16,745	16,024	14,804	16,114	17,209	16,012	16,269
皮膚	4,399	4,285	4,956	5,450	3,301	6,199	3,984	4,814	3,251	3,286	5,175	3,979	2,740	2,772	2,612	2,702	2,959	3,691
眼科	5,372	5,557	5,131	5,214	5,294	5,217	5,911	5,218	5,342	5,532	5,109	5,447	5,523	5,253	5,556	5,291	5,714	5,426
放射	20,085	20,634	22,343	20,625	20,314	20,067	20,347	21,571	21,529	24,305	26,421	25,521	24,110	22,865	24,950	20,943	21,011	22,704
耳鼻	5,102	4,880	5,049	4,486	4,772	5,210	5,109	5,271	4,889	4,689	4,219	4,919	4,513	4,490	4,417	5,008	4,225	4,752
麻酔	-	1,430	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	511	430	628	598	550
小児	8,435	11,277	11,419	17,471	13,573	7,723	20,016	11,013	6,656	18,390	7,146	22,059	7,642	21,966	8,871	14,169	17,796	13,660
産婦	7,556	6,856	5,933	6,006	6,220	6,535	6,062	6,376	6,833	6,633	7,193	8,510	7,434	6,911	7,474	7,714	7,874	7,158
救急	12,461	11,857	12,540	12,064	13,029	11,563	12,726	12,544	10,058	10,190	10,868	14,376	14,836	13,141	10,011	10,803	11,690	11,675
歯科	6,418	6,632	7,756	6,163	6,538	7,516	6,489	7,153	7,801	7,638	7,212	9,602	7,100	8,276	10,001	8,107	7,418	7,851
全体	11,102	11,712	12,391	12,859	12,110	12,157	12,546	12,133	11,766	12,652	11,685	13,057	12,199	12,506	12,006	12,619	12,906	12,362

⑪ 行為別収益

● 行為別収益（入院）

（単位：千円）

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年			平成30年												平成31年			平成30年度
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均			
初診	517	564	620	568	616	562	537	546	545	618	666	552	577	541	515	566	538	564			
指導	1,698	2,034	2,115	2,145	1,892	2,636	2,652	2,544	2,522	2,298	1,947	2,170	2,170	1,991	1,988	1,852	1,747	2,210			
在宅	704	624	514	582	939	489	690	678	821	882	401	446	522	992	973	649	869	701			
投薬	2,295	2,232	1,709	2,247	2,924	1,707	2,484	2,131	3,053	2,001	1,496	2,246	1,992	2,174	2,299	2,553	2,439	2,215			
注射	1,448	1,458	1,969	2,899	1,594	731	690	2,052	1,955	1,156	758	634	815	1,337	1,010	895	2,090	1,177			
処置	1,030	906	1,471	914	825	1,167	1,100	1,690	1,418	1,229	734	580	845	964	1,378	1,681	1,739	1,210			
手術	90,099	93,946	84,985	91,246	87,809	111,575	119,264	105,785	107,672	105,948	103,371	124,191	125,158	114,791	100,637	105,137	115,365	111,574			
検査	4,303	4,070	3,385	3,822	4,205	4,270	4,534	4,379	4,325	4,037	3,167	4,725	4,778	4,467	4,219	4,008	4,399	4,276			
画像	747	779	682	700	719	1,323	1,073	850	991	1,019	683	1,052	838	792	1,191	880	1,281	998			
他	15,506	17,522	17,614	16,436	17,322	17,675	20,239	18,477	17,445	16,750	15,361	18,887	18,603	18,626	19,821	18,730	17,842	18,205			
入院	90,033	94,214	96,047	93,821	93,218	73,606	78,579	72,300	73,697	74,552	71,025	76,508	77,134	77,984	77,205	70,775	77,284	75,054			
DPC	159,822	162,048	168,709	156,718	165,699	180,163	188,758	171,881	171,007	162,497	163,965	179,188	177,166	176,188	183,525	177,972	173,865	175,515			
食事	13,581	13,937	14,944	13,822	14,036	14,130	15,390	13,816	13,977	13,310	12,889	14,564	14,423	14,701	14,668	14,141	14,372	14,198			
計	381,782	394,336	394,765	385,919	391,799	410,034	435,991	397,127	399,427	386,298	376,464	425,742	425,021	415,547	409,429	399,839	413,829	407,896			
室料	10,404	10,043	10,531	9,242	9,789	11,063	10,754	10,124	10,440	10,178	10,501	10,076	9,925	10,838	9,555	8,560	8,835	10,071			
文書	172	157	148	145	135	158	164	175	151	172	121	136	129	162	130	132	171	150			
産科	2,372	2,128	1,650	2,341	2,001	1,916	2,660	1,663	2,195	2,104	1,822	1,717	780	1,933	1,616	1,780	1,706	1,824			
他	415	431	388	437	447	338	491	344	475	533	367	683	599	545	638	413	393	485			
計	13,363	12,759	12,717	12,166	12,372	13,474	14,069	12,306	13,261	12,987	12,811	12,612	11,432	13,478	11,939	10,885	11,104	12,530			
入院計	395,146	407,094	407,482	398,085	404,171	423,509	450,060	409,433	412,688	399,284	389,275	438,354	436,453	429,024	421,368	410,724	424,933	420,425			

● 行為別収益（外来）

（単位：千円）

診療科	平成28年度	平成29年度	平成30年			平成30年												平成31年			平成30年度
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均			
初診	5,155	4,881	5,915	4,859	4,870	4,154	4,964	4,588	5,232	5,614	4,252	4,505	4,275	4,516	6,169	4,720	4,928	4,826			
再診	6,978	6,974	6,614	6,503	7,192	6,783	6,990	6,990	7,107	7,620	6,422	7,552	7,230	6,944	7,195	6,587	7,167	7,049			
指導	6,054	5,320	4,813	4,455	4,938	5,509	5,658	5,304	6,425	6,582	5,453	5,569	5,563	5,551	6,360	5,183	5,421	5,715			
在宅	11,818	12,299	10,851	16,226	11,739	9,474	18,950	10,975	7,979	18,648	8,048	18,663	8,638	18,824	8,020	11,247	15,264	12,894			
投薬	576	959	3,072	2,848	2,487	4,315	4,440	4,384	3,376	4,405	2,359	2,282	2,325	584	1,118	473	6,550	3,051			
注射	25,902	30,667	34,192	33,146	35,340	31,480	31,683	31,428	32,520	35,406	29,779	38,454	35,719	30,406	35,824	33,905	34,542	33,429			
処置	1,245	1,563	2,001	1,936	1,646	1,166	1,328	1,283	1,421	1,359	1,334	1,301	1,525	1,426	1,394	1,274	1,447	1,355			
手術	3,498	3,447	3,417	2,352	2,405	3,149	3,430	2,425	3,056	2,762	1,677	3,718	3,565	2,922	2,412	2,541	3,366	2,919			
検査	40,301	40,983	40,799	37,887	43,644	39,105	38,766	40,742	41,190	44,121	36,631	43,346	40,958	39,229	42,163	39,623	40,454	40,527			
画像	25,544	25,555	23,742	23,589	26,896	24,631	25,785	27,029	26,565	27,483	21,918	28,491	26,017	24,943	25,644	24,386	26,705	25,800			
他	10,821	9,725	9,430	10,519	9,781	8,251	7,971	8,286	8,312	9,543	7,637	10,533	11,141	9,706	10,963	11,584	11,259	9,599			
計	137,892	142,374	144,847	144,322	150,938	138,019	149,965	143,434	143,184	163,544	125,511	164,413	146,957	145,050	147,260	141,523	157,103	147,163			
文書	1,914	2,001	1,922	1,786	1,983	1,610	1,677	1,792	2,015	1,899	1,378	1,900	1,893	2,007	1,933	1,814	1,823	1,812			
他	2,227	2,167	2,022	1,907	2,067	1,659	1,947	1,786	1,850	1,864	1,733	1,965	2,848	2,448	2,122	1,652	1,994	1,989			
計	4,142	4,168	3,944	3,693	4,050	3,269	3,625	3,578	3,865	3,764	3,111	3,865	4,741	4,455	4,055	3,466	3,817	3,801			
外来計	142,034	146,541	148,791	148,015	154,988	141,288	153,589	147,012	147,049	167,307	128,622	168,278	151,698	149,505	151,314	144,989	160,920	150,964			

Ⅲ 診療情報

Ⅲ 診療情報（年次報告）

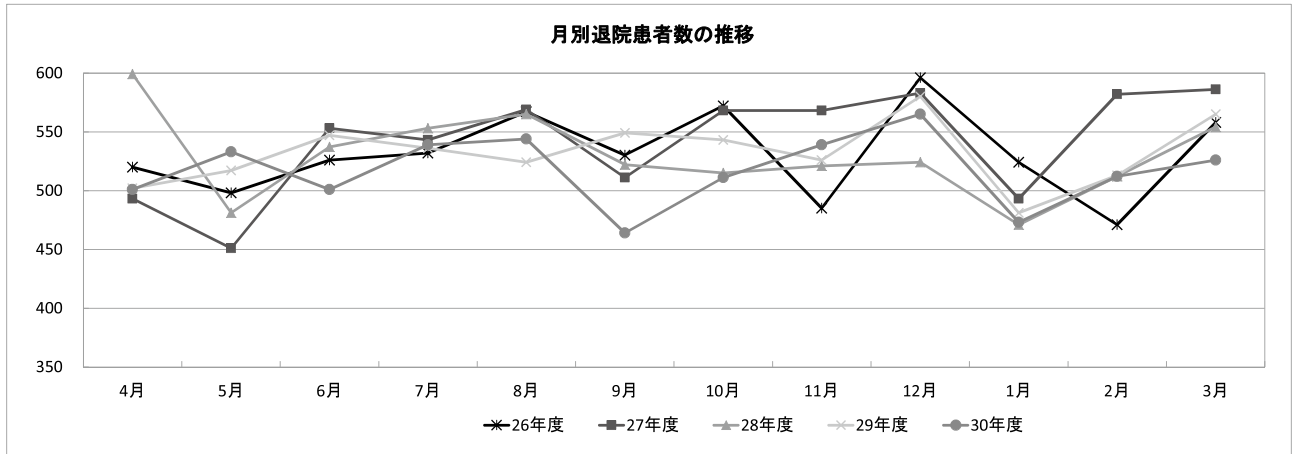
【分類及び集計方法】

- ① この病歴年報は平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日までの間に退院した患者 6,208 名を対象として作成した。
- ② 疾病分類は世界保健機関（WHO）により定められた「疾病および関連保健問題の国際統計分類第 10 回改正」に基づいて作成された厚生労働省大臣官房統計調査部編第 10 回改正「疾病・傷病および死因統計分類提要」ICD-10（2003 年度版）準拠を使用した。
- ③ 退院患者情報はすべて、橋本市民病院 退院サマリシステム「Medi-Bank」より抽出した。
- ④ 同一患者がこの期間に数回退院した場合、各退院時の退院サマリからそれぞれ情報を抽出した。
- ⑤ 地域包括ケア病棟の患者については、主治医の診療科を主科として抽出した。

①月別退院患者数 (平成 30 年度)

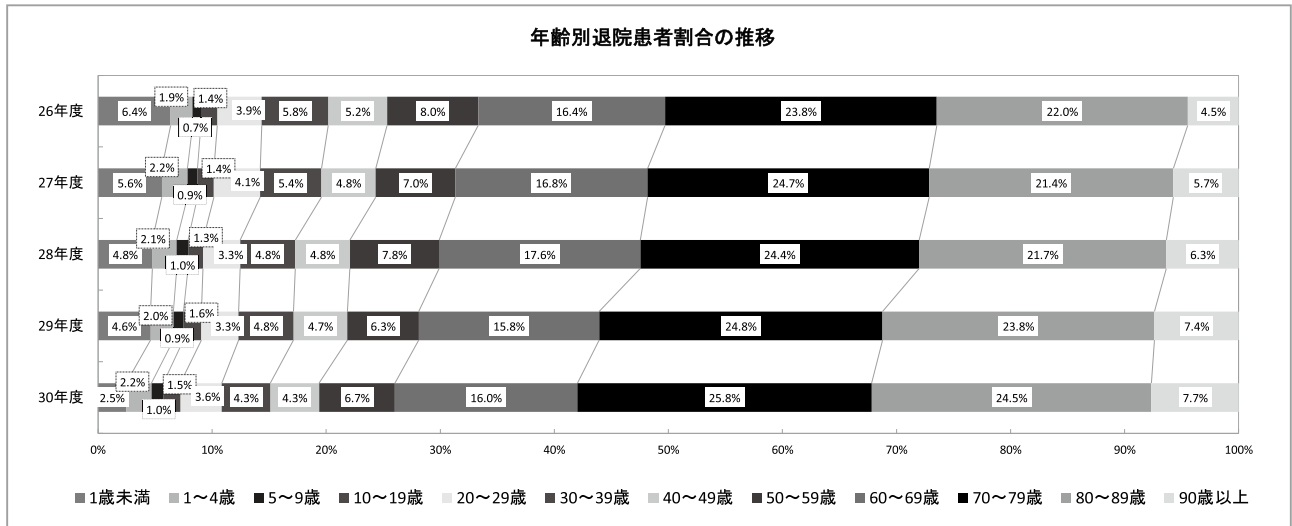
① - I : 性別 (月別)

性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	29年度	28年度	27年度	26年度
男	268	253	258	274	283	264	281	278	305	246	271	268	3,249	-55	3,304	3,375	3,282	3,206
女	233	280	243	265	261	200	230	261	260	227	241	258	2,959	-120	3,079	2,979	3,218	3,173
合計	501	533	501	539	544	464	511	539	565	473	512	526	6,208	-175	6,383	6,354	6,500	6,379
前年度差異	-1	16	-46	3	20	-85	-32	13	-15	-8	-1	-39	-175					
29年度	502	517	547	536	524	549	543	526	580	481	513	565	6,383					
28年度	599	481	537	553	565	522	515	521	524	471	512	554	6,354					
27年度	493	451	553	543	569	511	568	568	583	493	582	586	6,500					
26年度	520	498	526	532	567	530	572	485	596	524	471	558	6,379					



① - II : 年齢別

性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	29年度	28年度	27年度	26年度
1歳未満	9	16	9	14	13	17	13	12	11	14	12	13	153	-141	294	303	364	406
1～4歳	8	7	12	19	11	9	15	9	12	13	15	8	138	10	128	135	146	122
5～9歳	2	3	3	5	7	9	8	5	9	3	6	4	64	8	56	64	56	47
10～19歳	7	8	9	6	16	2	5	4	11	13	4	9	94	-6	100	83	94	92
20～29歳	27	22	11	29	25	16	13	15	11	23	15	17	224	16	208	207	264	248
30～39歳	20	21	21	24	23	20	26	17	23	24	23	23	265	-43	308	306	349	373
40～49歳	23	20	25	21	27	26	21	27	27	19	12	17	265	-36	301	305	309	329
50～59歳	38	29	31	35	41	38	43	30	29	27	42	30	413	13	400	497	454	509
60～69歳	72	93	71	83	85	79	78	99	95	78	77	83	993	-17	1,010	1,121	1,095	1,045
70～79歳	119	122	127	132	132	121	135	137	171	110	140	156	1,602	17	1,585	1,553	1,605	1,520
80～89歳	134	152	133	132	115	99	117	148	124	117	124	127	1,522	1	1,521	1,377	1,391	1,403
90歳以上	42	40	49	39	49	28	37	36	42	32	42	39	475	3	472	403	373	285
合計	501	533	501	539	544	464	511	539	565	473	512	526	6,208	-175	6,383	6,354	6,500	6,379

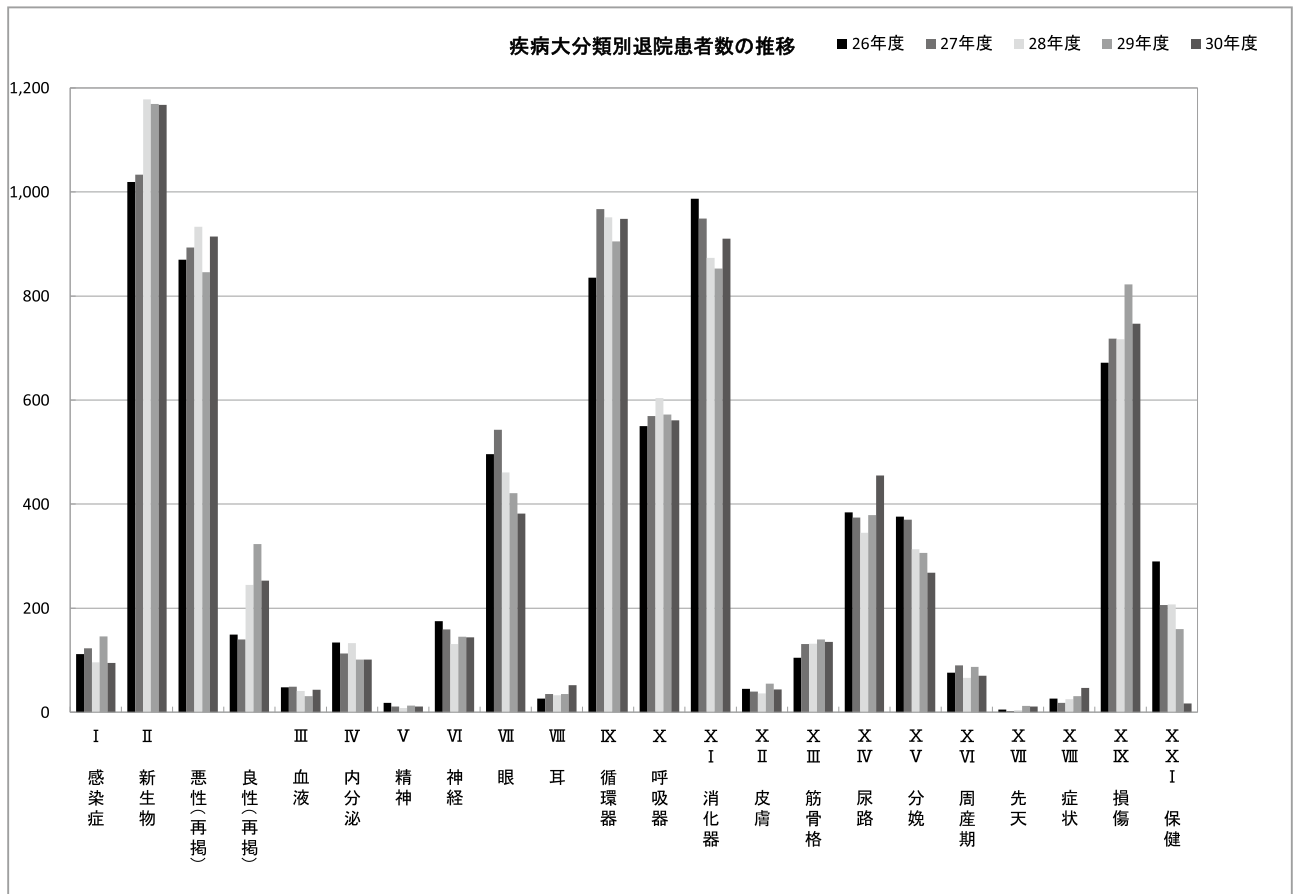


①月別退院患者数 (平成 30 年度)

①-Ⅲ：疾病大分類

疾病大分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	29年度	28年度	27年度	26年度
感染症および寄生虫症	11	5	3	4	14	9	9	5	11	10	6	8	95	-51	146	96	123	112
新生物	80	92	94	115	103	94	98	107	92	95	102	95	1,167	-2	1,169	1,178	1,033	1,019
悪性（再掲）	62	71	73	91	77	76	74	81	70	79	78	82	914	68	846	933	893	870
良性（再掲）	18	21	21	24	26	18	24	26	22	16	24	13	253	-70	323	245	140	149
血液・造血器疾患、免疫機構の障害	7	3	5	4	3	6	3	4	3	2	1	2	43	12	31	41	49	48
内分泌、栄養および代謝疾患	10	7	7	15	9	3	9	12	10	6	6	7	101	0	101	133	113	134
精神および行動の障害	1	1	0	3	1	0	2	1	2	0	0	0	11	-2	13	8	11	18
神経系の疾患	12	11	11	16	12	8	12	9	16	11	12	14	144	-1	145	131	159	175
眼および付属器の疾患	38	28	37	30	38	35	31	38	27	17	27	36	382	-39	421	461	543	496
耳および乳様突起の疾患	1	10	6	5	7	3	3	2	3	4	6	2	52	17	35	33	35	26
循環器系の疾患	64	92	73	71	74	67	66	92	101	78	73	97	948	43	905	951	967	835
呼吸器系の疾患	47	44	41	49	47	46	42	42	45	54	62	42	561	-11	572	604	569	550
消化器系の疾患	76	80	77	67	87	69	80	78	94	57	68	77	910	57	853	873	949	987
皮膚および皮下組織の疾患	2	2	3	6	8	2	7	3	2	2	2	5	44	-11	55	36	40	45
筋骨格系および結合組織の疾患	12	9	17	12	9	12	16	11	9	3	14	11	135	-5	140	132	131	105
泌尿器系の疾患	37	34	33	33	47	35	39	44	39	41	34	39	455	76	379	345	374	384
妊娠・分娩・産じよく	24	26	18	30	23	22	18	16	20	26	24	21	268	-38	306	313	370	376
周産期に発生した病態	6	10	6	7	6	3	5	4	6	6	5	6	70	-17	87	66	90	76
先天奇形・変形・染色体異常	2	1	1	0	1	3	0	2	0	0	1	0	11	-1	12	4	2	5
症状・徴候、他に分類されないもの	4	3	7	6	7	1	3	1	3	2	3	7	47	16	31	25	18	26
損傷・中毒・外因の影響	62	75	61	65	48	45	65	68	80	57	65	56	747	-75	822	717	718	672
保健サービスの利用	5	0	1	1	0	1	3	0	2	2	1	1	17	-143	160	207	206	290
合計	501	533	501	539	544	464	511	539	565	473	512	526	6,208	-175	6,383	6,354	6,500	6,379

Ⅲ 診療情報

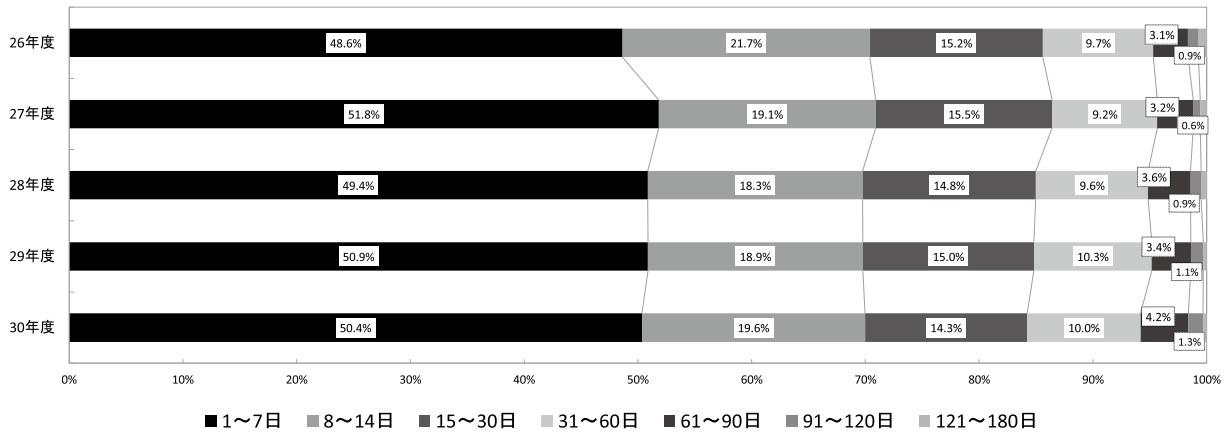


①月別退院患者数 (平成 30 年度)

① - IV : 在院期間別

在院期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	29年度	28年度	27年度	26年度
1～7日	256	250	251	268	283	249	252	274	279	236	250	278	3,126	-120	3,246	3,290	3,368	3,101
8～14日	105	109	103	95	104	99	99	103	113	105	93	89	1,217	12	1,205	1,193	1,240	1,387
15～30日	72	82	60	85	79	59	77	81	83	58	79	70	885	-75	960	939	1,008	969
31～60日	45	61	55	56	46	37	51	52	54	44	58	60	619	-41	660	609	600	619
61～90日	13	25	22	27	23	15	22	20	28	24	21	20	260	40	220	230	205	195
91～120日	9	4	7	8	6	4	8	8	7	5	9	6	81	12	69	57	41	59
121～180日	1	2	3	0	3	1	2	0	1	1	2	3	19	0	19	30	36	45
181日以上	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	-3	4	6	2	4
合計	501	533	501	539	544	464	511	539	565	473	512	526	6,208	-175	6,383	6,354	6,500	6,379

在院期間別退院患者割合の推移

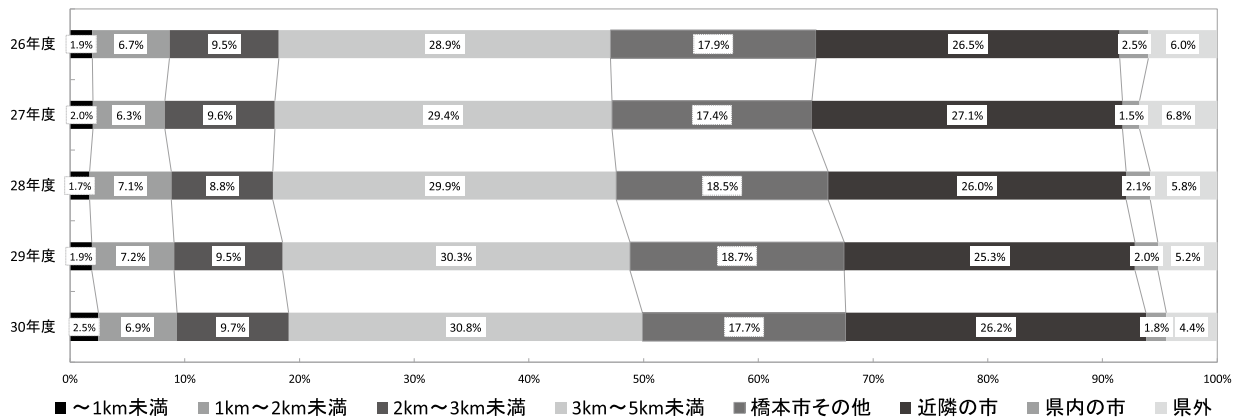


① - V : 地区別

地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	29年度	28年度	27年度	26年度
～1km未満	17	8	16	9	11	11	12	13	13	10	14	19	153	32	121	108	129	124
1km～2km未満	27	35	30	33	38	40	37	46	36	28	40	36	426	-32	458	453	408	429
2km～3km未満	59	42	54	58	60	45	51	50	52	39	52	42	604	0	604	562	623	608
3km～5km未満	155	156	155	183	179	132	160	149	165	169	152	159	1,914	-18	1,932	1,903	1,909	1,845
橋本市その他	82	99	78	86	87	81	108	106	115	79	85	95	1,101	-92	1,193	1,173	1,132	1,143
近隣の市※	128	159	141	134	131	126	116	145	149	113	133	149	1,624	7	1,617	1,650	1,759	1,688
県内の市	11	5	10	11	10	8	8	9	10	9	12	7	110	-18	128	134	96	159
県外	22	29	17	25	28	21	19	20	25	26	24	19	275	-55	330	371	440	383
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	4	0
合計	501	533	501	539	544	464	511	539	565	473	512	526	6,208	-175	6,383	6,354	6,500	6,379

※近隣の市・・・九度山町、かつらぎ町、高野町、五條市、河内長野市

地区別退院患者割合の推移

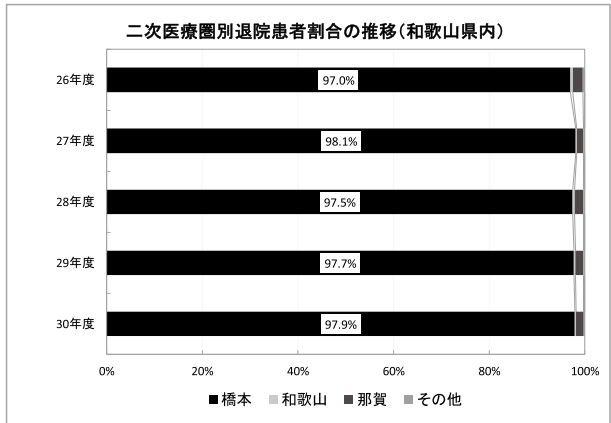
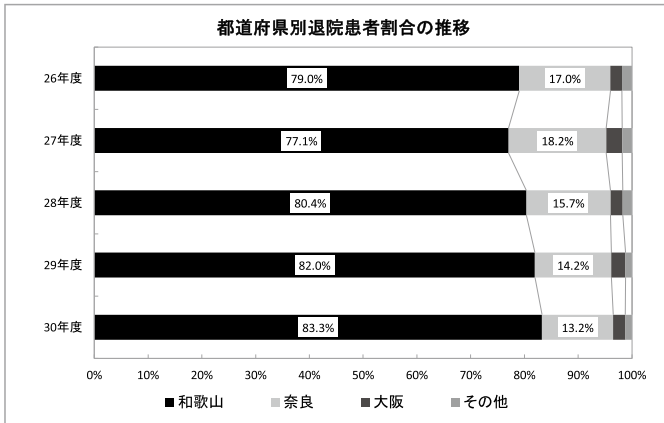


①月別退院患者数 (平成 30 年度)

① - VI : 二次医療圏別

都道府県	二次医療圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	29年度	28年度	27年度	26年度
北海道	南空知			1										1	1				
宮城	仙台					1								1	1				
福島	会津			1										1	1				
埼玉	東部	2												2	2	1	2	3	4
	中央							1						1	1				
千葉	東葛南部					3								3	2	1	1	2	3
東京	区中央部				2									2	2				
	区西南部	1	2									1		4	1	3	2	4	4
	区西部								1	1				2	2				
	区西北部				2									2	2				
	南多摩												1	1	1				
	北多摩北部									1				1	1				
神奈川	横浜南部		1									1		2	2				
	川崎北部										1	2		3	1	2	1	2	1
	湘南東部									1				1	1				
石川	能登北部										1			1	1				
	岐阜											1		1	1				
静岡	中東遠					1			1			1	1	4	4				
	西遠								1					1	1				
愛知	名古屋									1				1	-1	2	10	3	4
	尾張北部								1					1	1				
	知多半島										1			1	1				
	西三河北部				1			1						2	0	2	0	0	0
	東三河北部		1											1	1				
三重	北勢					1								1	1				
	中勢伊賀											1		1	-7	8	4	3	3
滋賀	湖南													2	2				
	湖東									1				2	2				
京都	中丹							2						2	2				
	京都・乙訓							1		1	2			6	5	1	2	7	1
	南山城		1											1	-3	4	1	0	0
大阪	豊能				2	1	2							5	1	4	5	11	10
	三島			1		2					1			7	5	2	4	6	0
	北河内			1							2			5	-1	6	3	7	0
	中河内		1					1		1				3	-4	7	18	7	5
	南河内	3	3	4	5	3	3	2	2	5	9	7	2	48	-5	53	53	77	48
	堺市	5	1	1	3		1	1	5	4	1			22	-19	41	18	26	30
	泉州	1	2		4	3	3	2	1	2		3	3	24	-2	26	10	31	15
	大阪市	2	2		2	4		1	3	1	9	1	1	26	-4	30	33	28	29
兵庫	神戸			1				2			1			4	3	1	3	6	1
	阪神南								1			1		2	0	2	2	6	8
	阪神北					1	1							2	-1	3	3	0	0
	東播磨											1		1	-1	2	5	0	0
	中播磨		1											1	1				
	但馬		3											3	3				
奈良	北和	1						1						2	-9	11	4	3	18
	中和	3	5	2	2	5	2	1		4	2	1	2	29	-26	55	63	73	47
	南和	63	87	72	59	59	70	62	66	63	55	57	78	791	-50	841	929	1,105	1,018
和歌山	和歌山			1		2	3	1	3			2	2	14	-2	16	21	11	26
	那賀	10	3	6	9	6	5	7	5	10	8	8	4	81	-7	88	94	70	105
	橋本	409	418	406	443	449	364	429	445	467	384	420	427	5,061	-50	5,111	4,976	4,913	4,888
	有田		1	1						1			1	4	0	4	7	9	8
	御坊		1	1	2							1	1	6	4	2	3	2	3
	新宮	1					2							4	-3	7	3	2	5
島根	出雲							1					1	1					
広島	広島			1		1							2	2					
福岡	北九州			1	1								2	2					
大分	中津下毛				1								1	1					
	外国・その他								1					1	-47	48	76	86	99
合計		501	533	500	539	544	464	511	539	565	473	512	526	6,208	-175	6,383	6,354	6,500	6,379

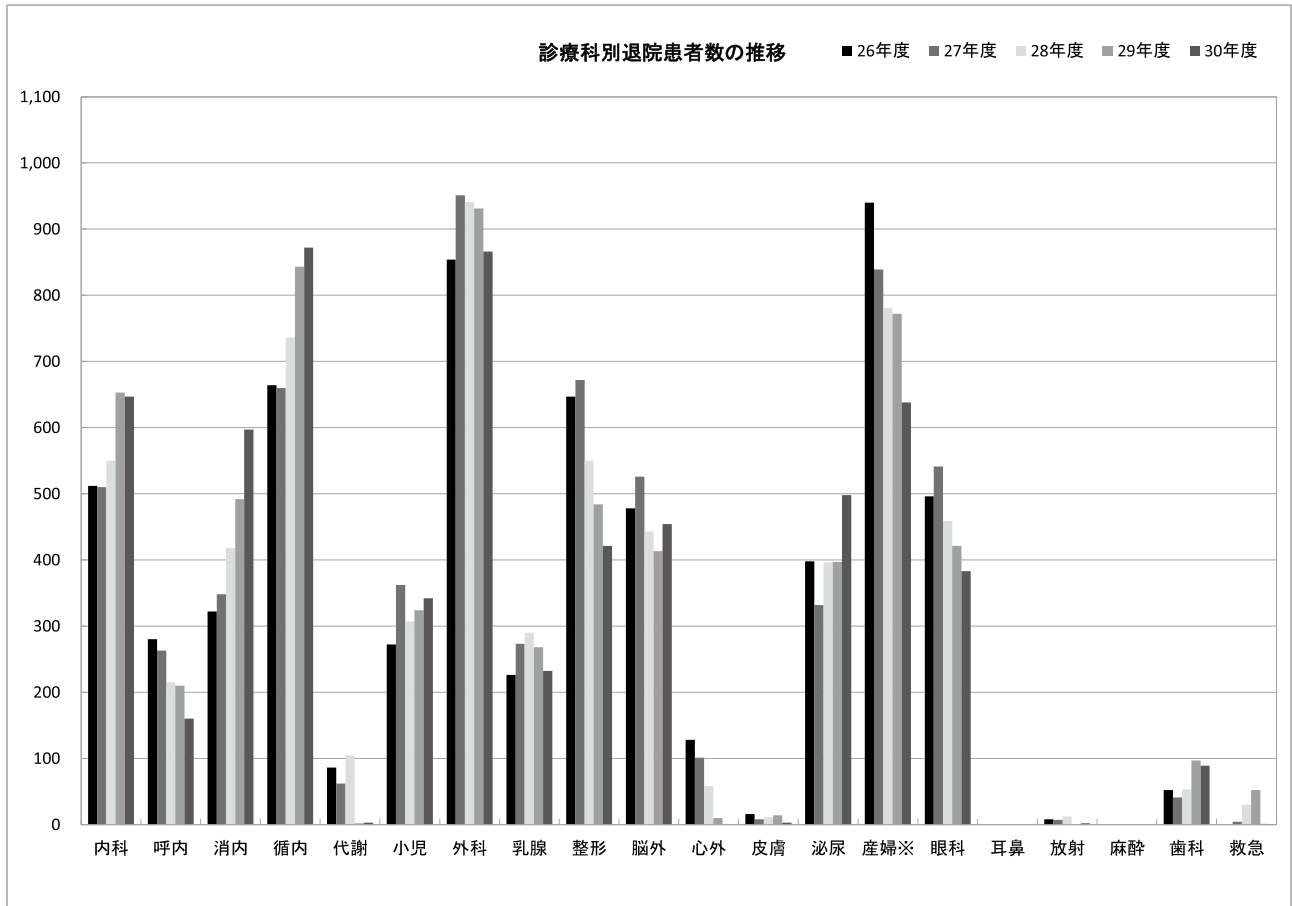
※外国 / その他は 26 ~ 29 年度に退院した二次医療圏で 30 年度退院のないもの



②診療科別退院患者数（平成 30 年度）

②- I：性別（診療科別）

性別	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
男	286	105	384	470	2	180	503	147	226	273		2	412	34	177		2		46		3,249
女	361	55	213	402	1	162	363	85	195	181		1	86	604	206				43	1	2,959
合計	647	160	597	872	3	342	866	232	421	454	0	3	498	638	383		2		89	1	6,208
前年度差異	-6	-50	105	29	1	18	-65	-36	-63	41	-10	-11	101	-134	-38		2		-8	-51	-175
29 年度	653	210	492	843	2	324	931	268	484	413	10	14	397	772	421		0		97	52	6,383
28 年度	550	215	418	736	104	307	941	290	550	443	58	11	396	781	459		12		53	30	6,354
27 年度	510	263	348	660	62	362	951	273	672	526	101	8	332	839	541		7		41	4	6,500
26 年度	512	280	322	664	86	272	854	226	647	478	128	16	398	940	496		8		52		6,379



②- II：年齢別

年齢	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計	
1 歳未満						153															153	
1～4 歳						133			4	1											138	
5～9 歳				1		33	1		20											9	64	
10～19 歳	6		2	1		23	12	4	28	5			1	7						5	94	
20～29 歳	20		2	9			12	4	22	3			2	147						3	224	
30～39 歳	14	4	4	10			20	1	27	7			5	171						2	265	
40～49 歳	11	7	19	25			42	8	42	18			11	77	2					3	265	
50～59 歳	41	14	51	56	2		65	16	37	35		1	41	37	11					6	413	
60～69 歳	71	28	126	127			156	48	67	83			130	56	79					22	993	
70～79 歳	120	40	202	221	1		284	86	69	145		1	191	68	157				1	16	1,602	
80～89 歳	228	56	157	301			214	58	78	121		1	103	62	121				1	20	1,522	
90 歳以上	136	11	34	121			60	7	27	36			14	13	13					3	475	
合計	647	160	597	872	3	342	866	232	421	454		3	498	638	383		2			89	1	6,208

②診療科別退院患者数（平成 30 年度）

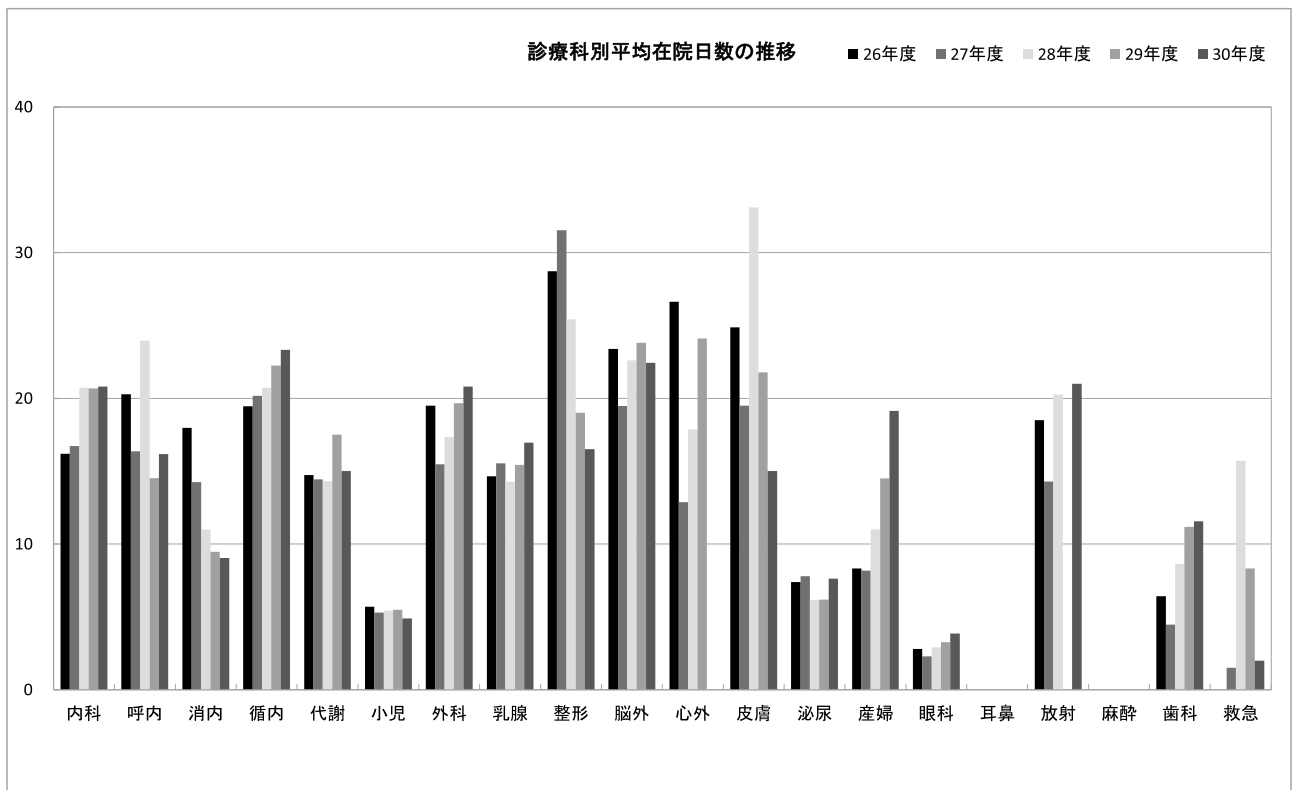
②-Ⅲ：疾病大分類																					
疾病大分類	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
感染症および寄生虫症	30	15	16	5		20	2	2		2		1		2							95
新生物	27	15	249	10			261	181	12	18			245	126			2		21		1,167
悪性（再掲）	27	14	126	9			246	179	5	6			242	49			2		9		914
良性（再掲）		1	123	1			15	2	7	12			3	77					12		253
血液・造血器疾患、 免疫機構の障害	14		7	9		5	5	1					1	1							43
内分泌、栄養および 代謝疾患	58		4	30	3	1	5														101
精神および行動の障害	4		2	4						1											11
神経系の疾患	14	40		11		6	1		25	46				1							144
眼および付属器の疾患															382						382
耳および 乳様突起の疾患	17		3	30		1				1											52
循環器系の疾患	43	2	11	571			5	1	4	306				5							948
呼吸器系の疾患	192	83	16	37		193	4	30		1			1	4							561
消化器系の疾患	101		277	10		7	457	2	2				3	3					48		910
皮膚および 皮下組織の疾患	16		2	1		1	3		13			1	1	1					5		44
筋骨格系および 結合組織の疾患	18	1		14		12	15		61					14							135
尿路性器系の疾患	68		6	22		10	7	2					238	102							455
妊娠・分娩・産じょく														268							268
周産期に発生した病態						70															70
先天奇形・変形・ 染色体異常							2			1			5	1					2		11
症状・徴候、 他に分類されないもの	18	4	1	2		8	2	3		7			1							1	47
損傷・中毒・外因の影響	22		3	116		8	88	10	304	71		1	3	107	1				13		747
保健サービスの利用	5						9							3							17
合計	647	160	597	872	3	342	866	232	421	454	0	3	498	638	383	0	2	0	89	1	6,208

②診療科別退院患者数（平成 30 年度）

② - IV：在院期間別

在院期間	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
1～7日	170	81	363	355		298	328	77	216	152			376	302	383				24	1	3,126
8～14日	173	21	151	120	1	43	181	58	78	113		2	75	157			1		43		1,217
15～30日	170	29	61	162	2	1	171	54	58	75		1	29	54					18		885
31～60日	89	19	18	130			112	37	43	89			12	66			1		3		619
61～90日	38	7	2	83			54	5	12	17			4	37					1		260
91～120日	5	3		20			14		11	7			2	19							81
121～180日	2		2	2			6	1	3					3							19
181日以上										1											1
合計	647	160	597	872	3	342	866	232	421	454	0	3	498	638	383	-	2	-	89	1	6,208
平均在院日数※	20.8	16.2	9.0	23.3	15.0	4.9	20.8	17.0	16.5	22.4		15.0	7.6	19.1	3.9		21.0		11.6	2.0	16.3
前年度差異	0.1	1.7	-0.4	1.1	-2.5	-0.6	1.1	1.5	-2.5	-1.4	-24.1	-6.8	1.4	4.6	0.6				0.4		0.6
29年度	20.7	14.5	9.5	22.3	17.5	5.5	19.7	15.4	19.0	23.8	24.1	21.8	6.2	14.5	3.3				11.2	8.3	15.7
28年度	20.7	24.0	11.0	20.7	14.3	5.4	17.3	14.3	25.4	22.6	17.9	33.1	6.2	11.0	2.9		20.3		8.6	15.7	15.6
27年度	16.7	16.4	14.3	20.2	14.4	5.3	15.5	15.5	31.5	19.5	12.9	19.5	7.8	8.2	2.3		14.3		4.5	1.5	14.9
26年度	16.2	20.3	18.0	19.5	14.7	5.7	19.5	14.6	28.7	23.4	26.6	24.9	7.4	8.3	2.8		18.5		6.4		15.3

※小数点第 2 位を四捨五入



② - V：地区別

地区	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
～1km未満	29	9	22	25		8	22	3	8	6			5	7	8				1		153
1km～2km未満	59	9	56	54		11	55	22	26	34		2	24	26	44				4		426
2km～3km未満	84	18	45	65		52	74	37	46	37			43	63	33				7		604
3km～5km未満	215	52	200	256	2	107	253	61	116	159		1	146	187	132		1		26		1,914
橋本市その他	80	25	117	181		46	189	49	79	89			94	97	34		1		20		1,101
近隣の市※	156	43	137	266	1	77	248	48	108	107			138	147	123				24	1	1,624
県内の市	7	1	10	4		2	7	4	20	7			19	21	2				6		110
県外	17	3	10	20		39	18	8	18	15			29	90	7				1		275
住所不明等				1																	1
合計	647	160	597	872	3	342	866	232	421	454	-	3	498	638	383	-	2	-	89	1	6,208

※近隣の市・・・九度山町、かつらぎ町、高野町、五條市、河内長野市

②診療科別退院患者数（平成 30 年度）

② - VI : 二次医療圏別																						
都道府県	二次医療圏	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
北海道	南空知									1												1
宮城	仙台						1															1
福島	会津										1											1
埼玉	東部						1								1							2
	中央										1											1
千葉	東葛南部						2								1							3
東京	区中央部						1								1							2
	区西南部				1		1								2							4
	区西部				2																	2
	区西北部															2						2
	南多摩															1						1
	北多摩北部	1																				
神奈川	横浜南部						1			1												2
	川崎北部														3							3
	湘南東部										1											1
	県央														1							1
石川	能登北部	1																				1
岐阜	岐阜														1							1
静岡	中東遠			3			1															4
	西遠														1							1
愛知	名古屋									1												1
	尾張北部														1							1
	知多半島						1															1
	西三河北部										1				1							2
	東三河北部						1															1
三重	北勢									1												1
	中勢伊賀										1											1
滋賀	湖南						1								1							2
	湖東	1									1											2
京都	中丹						1								1							2
	京都・乙訓							1	1					1	3							6
	南山城										1											1
大阪	豊能							1			1				3							5
	三島						1								6							7
	北河内	1					1			1					2							5
	中河内									2					1							3
	南河内	3	2		5		5	1		6				15	10	1						48
	堺市	1		1	3		7			1	1				2	6						22
	泉州		1		1				9	1	1				7	4						24
	大阪市	2		1	1		5	1		2	1				2	11						26
兵庫	神戸	1			1		1							1								4
	阪神南									1					1							2
	阪神北														2							2
	東播磨										1											1
	中播磨							1														1
	但馬						2								1							3
奈良	北和	1												1								2
	中和	2		2	2		3	2	5	1					11	1						29
	南和	92	30	76	123		39	74	23	29	44			40	100	112				9		791
和歌山	和歌山	2		1				1		3	1			5							1	14
	那賀	3	1	9	4		2	4	4	15	6			11	16	1				5		81
	橋本	535	126	504	728	3	263	769	198	354	390			3	410	434	267		2	74	1	5,061
	有田								2						1	1						4
	御坊	1									2					3						6
島根	新宮													2	1	1						4
	出雲														1							1
広島	広島										1				1							2
福岡	北九州						1								1							2
大分	中津下毛														1							1
	外国・その他				1																	1
合計		647	160	597	872	3	342	866	232	421	454	-	3	498	638	383	-	2	-	89	1	6,208

③診療科上位5疾患

診療科	順位	平成30年度			平成29年度			平成28年度			平成27年度			平成26年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
内科	1位	固形物および液状物による肺炎	64	29.9	固形物および液状物による肺炎	92	27.8	固形物および液状物による肺炎	62	31.9	固形物および液状物による肺炎	57	24.7	腸のその他の疾患	92	3.1
	2位	肺炎、病原体不詳	58	16.3	肺炎、病原体不詳	50	14.5	肺炎、病原体不詳	56	19.0	肺炎、病原体不詳	37	18.0	固形物および液状物による肺炎	34	24.6
	3位	尿路系のその他の疾患	38	26.7	腸のその他の疾患	40	2.1	腸のその他の疾患	36	2.3	腸のその他の疾患	34	2.4	肺炎、病原体不詳	24	17.2
	4位	腸のその他の疾患	33	2.3	尿路系のその他の疾患	26	29.5	尿路系のその他の疾患	22	19.6	尿路系のその他の疾患	25	18.3	腸の血行障害	21	9.1
	5位	前庭機能障害	17	15.8	その他の体液、電解質および酸塩基平衡障害	24	23.5	腸の憩室性疾患	16	10.9	腸の憩室性疾患	21	13.1	腸の憩室性疾患	17	8.9
呼吸器内科	1位		40	2.0	肺炎、病原体不詳	40	25.8	肺炎、病原体不詳	68	30.0	肺炎、病原体不詳	82	22.2	肺炎、病原体不詳	74	26.0
	2位	肺炎、病原体不詳	30	25.9	睡眠障害	34	2.1	睡眠障害	33	2.0	睡眠障害	42	2.0	気管支および肺の悪性新生物	37	5.6
	3位	その他の間質性肺疾患	18	27.2	その他の非結核性抗酸菌による感染症	25	3.4	気管支および肺の悪性新生物	20	5.0	気管支および肺の悪性新生物	32	6.7	睡眠障害	31	2.1
	4位	その他の非結核性抗酸菌による感染症	15	3.7	気管支および肺の悪性新生物	20	2.4	その他の間質性肺疾患	15	37.5	その他の非結核性抗酸菌による感染症	21	2.9	固形物および液状物による肺炎	24	41.3
	5位	気管支および肺の悪性新生物	13	14.8	その他の間質性肺疾患	16	23.0	肺炎	10	37.2	固形物および液状物による肺炎	20	28.4	その他の間質性肺疾患	14	18.2
循環器内科	1位	狭心症	249	6.8	狭心症	239	5.4	狭心症	226	5.4	狭心症	201	6.2	狭心症	153	6.9
	2位	心不全	140	35.8	心不全	150	32.6	心不全	146	35.7	心不全	132	37.2	心不全	81	37.4
	3位	急性心筋梗塞	55	19.5	急性心筋梗塞	46	17.1	慢性虚血性心疾患	62	4.3	急性心筋梗塞	70	26.3	急性心筋梗塞	53	21.3
	4位	大腿骨骨折	45	59.8	大腿骨骨折	46	62.2	急性心筋梗塞	52	25.8	慢性虚血性心疾患	54	6.0	慢性虚血性心疾患	37	6.2
	5位	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	35	9.8	慢性虚血性心疾患	34	5.5	心房細動および粗動	20	13.2	心房室ブロックおよび左脚ブロック	21	24.0	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	31	9.4

③診療科上位5疾患

診療科	順位	平成30年度			平成29年度			平成28年度			平成27年度			平成26年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
代謝内科	1位	インスリン非依存性糖尿病<NIIDDM>	3	15.0	インスリン非依存性糖尿病<NIIDDM>	2	17.5	インスリン非依存性糖尿病<NIIDDM>	62	14.0	インスリン非依存性糖尿病<NIIDDM>	49	12.8	インスリン非依存性糖尿病<NIIDDM>	68	14.0
	2位						インスリン依存性糖尿病<IIDDM>	5	13.2	インスリン依存性糖尿病<IIDDM>	7	14.7	インスリン依存性糖尿病<IIDDM>	15	15.1	
	3位						詳細不明の糖尿病	5	17.2	脳梗塞	3	26.7				
	4位						肺炎, 病原体不詳	3	17.7							
	5位						細菌性肺炎, 他に分類されないもの	3	22.7							
小児科	1位	肺炎, 病原体不詳	83	4.2	肺炎, 病原体不詳	73	4.4	肺炎, 病原体不詳	95	4.4	肺炎, 病原体不詳	126	4.7	肺炎, 病原体不詳	89	4.9
	2位	急性気管支炎	38	4.1	急性気管支炎	38	4.5	急性気管支炎	48	4.4	急性気管支炎	62	7.2	急性気管支炎	28	4.4
	3位	ウイルス肺炎, 他に分類されないもの	28	4.1	その他および詳細不明の原因による新生児黄疸	32	5.6	喘息	24	4.2	感染症と推定される下痢および胃腸炎	18	3.6	その他および詳細不明の原因による新生児黄疸	27	7.4
	4位	妊娠期間短縮および低出生体重に関連する障害, 他に分類されないもの	20	8.6	新生児の呼吸窮<促>迫	20	7.0	妊娠期間短縮および低出生体重に関連する障害, 他に分類されないもの	22	8.7	急性気管支炎	15	3.9	その他の多量の溶血による新生児黄疸	22	7.9
	5位	その他および詳細不明の原因による新生児黄疸	17	6.9	結節性多発(性)動脈炎および関連病態	14	7.8	その他および詳細不明の原因による新生児黄疸	20	7.4	喘息	14	3.9	新生児の呼吸窮<促>迫	13	8.2
外科	1位	胆石症	73	14.1	胆石症	101	12.3	胆石症	113	14.5	胃の悪性新生物	132	17.8	胃の悪性新生物	105	25.6
	2位	腸のその他の疾患	71	6.5	そけい<単径>ヘルニア	86	5.1	胃の悪性新生物	88	16.8	そけい<単径>ヘルニア	86	5.8	結腸の悪性新生物	87	24.5
	3位	麻痺性イレウスおよび腸閉塞, ヘルニアを伴わないもの	68	13.3	結腸の悪性新生物	70	18.6	そけい<単径>ヘルニア	75	5.1	腸のその他の疾患	79	4.0	麻痺性イレウスおよび腸閉塞, ヘルニアを伴わないもの	85	19.9
	4位	そけい<単径>ヘルニア	59	5.8	麻痺性イレウスおよび腸閉塞, ヘルニアを伴わないもの	67	13.0	腸のその他の疾患	68	2.8	結腸の悪性新生物	70	17.8	そけい<単径>ヘルニア	82	6.3
	5位	結腸の悪性新生物	59	22.9	直腸の悪性新生物	61	20.8	結腸の悪性新生物	66	21.7	胆石症	69	11.0	胆石症	79	15.4

③診療科上位5疾患

診療科	順位	平成30年度			平成29年度			平成28年度			平成27年度			平成26年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
乳胸呼吸器外科	1位	気管支および肺の悪性新生物	121	14.9	気管支および肺の悪性新生物	104	20.2	気管支および肺の悪性新生物	104	16.0	気管支および肺の悪性新生物	101	16.0	気管支および肺の悪性新生物	111	14.2
	2位	乳房の悪性新生物	23	12.9	中耳、呼吸器および胸腔内臓器の性状不詳または不明の新生物	33	7.3	中耳、呼吸器および胸腔内臓器の性状不詳または不明の新生物	49	4.7	乳房の悪性新生物	61	9.0	乳房の悪性新生物	31	10.0
	3位	気胸	20	21.3	乳房の悪性新生物	28	14.4	乳房の悪性新生物	38	12.6	気胸	25	9.7	乳房の悪性新生物	28	9.2
	4位	呼吸器および消化器の続発性悪性新生物	19	21.7	気胸	20	15.5	気胸	24	10.8	その他および詳細不明の胸腔内臓器の損傷	16	9.8	呼吸器および消化器の続発性悪性新生物	9	18.3
	5位	その他の部位の続発性悪性新生物	8	18.1	中皮腫	9	10.7	その他および詳細不明の胸腔内臓器の損傷	8	10.9	呼吸器および消化器の続発性悪性新生物	10	22.1	その他および詳細不明の胸腔内臓器の損傷	8	11.3
整形外科	1位	前腕の骨折	69	9.1	前腕の骨折	76	7.2	大腿骨骨折	114	46.0	大腿骨骨折	173	46.4	大腿骨骨折	184	39.9
	2位	大腿骨骨折	42	43.8	大腿骨骨折	62	36.5	前腕の骨折	68	8.9	下腿の骨折、足首を含む	82	32.5	下腿の骨折、足首を含む	71	31.6
	3位	肩および上腕の骨折	37	8.7	下腿の骨折、足首を含む	60	21.4	下腿の骨折、足首を含む	63	31.5	前腕の骨折	55	8.8	腰椎および骨盤の骨折	59	30.4
	4位	下腿の骨折、足首を含む	36	9.6	肩および上腕の骨折	34	11.0	肩および上腕の骨折	44	17.6	肩および上腕の骨折	54	18.6	前腕の骨折	58	15.2
	5位	手首および手の骨折	28	6.5	上肢の単一ニューロパチ<シ>	31	2.8	腰椎および骨盤の骨折	33	29.7	腰椎および骨盤の骨折	44	35.0	肩および上腕の骨折	51	28.1
脳神経外科	1位	脳梗塞	154	23.7	脳梗塞	149	23.7	脳梗塞	158	24.0	脳梗塞	173	23.5	脳梗塞	123	26.7
	2位	頭蓋内損傷	66	36.6	頭蓋内損傷	70	17.3	頭蓋内損傷	83	16.5	頭蓋内損傷	90	14.0	頭蓋内損傷	73	17.5
	3位	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかつたもの	44	4.2	脳内出血	55	32.0	脳内出血	47	36.9	脳内出血	45	29.5	水頭症	57	28.7
	4位	脳内出血	41	37.2	てんかん	22	12.8	てんかん	32	16.1	てんかん	30	15.0	脳内出血	53	25.3
	5位	その他の脳血管疾患	36	4.4	その他の脳血管疾患	18	10.6	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかつたもの	16	11.2	前庭機能障害	26	6.2	てんかん	32	14.5

③診療科上位5疾患

診療科	順位	平成30年度			平成29年度			平成28年度			平成27年度			平成26年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
心臓血管外科	1位				大動脈瘤および解離	4	52.5	下肢の静脈瘤	14	2.0	下肢の静脈瘤	49	2.1	下肢の静脈瘤	22	3.1
	2位				下肢の静脈瘤	2	2.0	大動脈瘤および解離	14	21.9	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	10	32.7	大動脈瘤および解離	22	25.6
	3位				頭部の表在損傷	2	4.5	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	6	25.7	大動脈瘤および解離	8	21.9	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	16	31.2
	4位							肺塞栓症	4	14.8	蜂巣炎<蜂窩織炎>	3	10.7	狭心症	16	38.9
	5位							動脈の塞栓症および血栓症	4	31.0	静脈炎および血栓(性)静脈炎	3	12.7	非リウマチ性大動脈弁障害	12	36.7
泌尿器科	1位			139	前立腺の悪性新生物	136	3.6	前立腺の悪性新生物	163	4.4	腎結石および尿管結石	81	5.3	腎結石および尿管結石	100	5.4
	2位			84	腎結石および尿管結石	68	4.2	腎結石および尿管結石	61	4.5	前立腺の悪性新生物	77	4.3	前立腺の悪性新生物	85	3.2
	3位			75	膀胱の悪性新生物	57	9.4	膀胱の悪性新生物	49	8.4	膀胱の悪性新生物	53	8.5	膀胱の悪性新生物	65	8.4
	4位			68	前立腺肥大(症)	52	6.3	前立腺肥大(症)	44	6.3	前立腺肥大(症)	35	6.6	前立腺肥大(症)	42	6.7
	5位			18	急性尿細管間質性腎炎	10	10.0	下部尿路結石	9	3.8	前立腺の炎症性疾患	16	7.8	前立腺の炎症性疾患	24	8.5
皮膚科	1位			1	帯状疱疹[帯状ヘルペス]	4	10.8	蜂巣炎<蜂窩織炎>	4	13.3	皮膚のその他の悪性新生物	2	21.0	帯状疱疹[帯状ヘルペス]	4	7.5
	2位			1	多形紅斑	2	29.5	帯状疱疹[帯状ヘルペス]	2	7.0	体幹の熱傷および腐食	2	23.5	蜂巣炎<蜂窩織炎>	3	23.3
	3位			1	熱傷および腐食, 部位不明	2	50.5	股関節部および下肢の熱傷および腐食, 足首および足を除く	2	73.5	股関節部および下肢の熱傷および腐食, 足首および足を除く	2	15.5	多形紅斑	2	18.5
	4位															
	5位															

③診療科上位5疾患

診療科	順位	平成30年度			平成29年度			平成28年度			平成27年度			平成26年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
産婦人科	1位	単胎自然分娩	135	6.9	単胎自然分娩	163	6.6	単胎自然分娩	182	6.9	単胎自然分娩	230	6.8	出生児, 出生の場所による	288	7.4
	2位	大腿骨骨折	47	65.1	出生児, 出生の場所による	148	6.6	出生児, 出生の場所による	181	6.9	出生児, 出生の場所による	205	6.9	単胎自然分娩	242	7.1
	3位	子宮平滑筋腫	40	8.5	子宮平滑筋腫	42	9.2	卵巣の悪性新生物	37	11.1	偽腫痛	42	12.8	子宮平滑筋腫	48	9.9
	4位	偽腫痛	26	21.2	大腿骨骨折	34	62.5	偽腫痛	30	25.2	子宮平滑筋腫	40	9.8	卵巣の悪性新生物	26	9.3
	5位	女性性器のポリープ	22	1.2	偽腫痛	32	14.7	女性生殖器の性状不詳または不明の新生物	29	8.3	女性性器のポリープ	25	1.0	女性性器のポリープ	25	1.4
眼科	1位	老人性白内障	377	3.9	老人性白内障	417	3.3	老人性白内障	456	2.9	老人性白内障	541	2.3	老人性白内障	482	2.8
	2位	その他の白内障	2	1.0	その他の白内障	3	2.3	その他の白内障	3	2.0	その他の白内障			その他の白内障	12	3.6
	3位	水晶体のその他の障害	2	3.5												
	4位															
	5位															
耳鼻咽喉科	1位															
	2位															
	3位															
	4位															
	5位															

③診療科上位5疾患

診療科	順位	平成30年度			平成29年度			平成28年度			平成27年度			平成26年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
放射線科	1位							肝および肝内胆管の悪性新生物	6	9.0	肝および肝内胆管の悪性新生物	4	10.5	乳房の悪性新生物	5	6.0
	2位						前立腺の悪性新生物	3	38.0				肝および肝内胆管の悪性新生物	2	8.5	
	3位															
	4位															
	5位															
麻酔科	1位															
	2位															
	3位															
	4位															
	5位															
歯科・口腔外科	1位	歯髄および根尖歯周組織の疾患	15	7.9	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物	19	7.9	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物	12	7.2	口腔部のうく囊>胞, 他に分類されないもの	14	4.9	口腔部のうく囊>胞, 他に分類されないもの	17	5.2
	2位	顎骨のその他の疾患	15	14.4	頭蓋骨および顔面骨の骨折	18	13.2	埋伏歯	7	3.7	埋伏歯	8	3.8	埋伏歯	8	4.0
	3位	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物	10	9.9	歯肉炎および歯周疾患	14	7.1	歯肉炎および歯周疾患	5	3.8	骨および関節軟骨の良性新生物	4	4.5	骨および関節軟骨の良性新生物	6	5.7
	4位	頭蓋骨および顔面骨の骨折	9	12.6	歯髄および根尖歯周組織の疾患	6	7.2	頭蓋骨および顔面骨の骨折	5	15.8	唾液腺疾患	3	3.7	歯の発育および萌出の障害	3	3.0
	5位	歯の発育および萌出の障害	7	3.3	口腔および消化器の性状不詳または不明の新生物	5	10.6	歯の発育および萌出の障害	3	3.0	顎骨のその他の疾患	3	8.0	顎骨のその他の疾患	3	7.0

③診療科上位5疾患

診療科	順位	平成30年度			平成29年度			平成28年度			平成27年度			平成26年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
消化器内科	1位	結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物	105	2.9	結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物	116	3.5	腸のその他の疾患	79	2.9	腸のその他の疾患	82	2.6	腸のその他の疾患	54	3.0
	2位	腸のその他の疾患	99	3.0	腸のその他の疾患	63	3.4	結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物	69	4.0	胃の悪性新生物	23	8.3	肺炎、病原体不詳	19	29.7
	3位	胃の悪性新生物	58	9.6	胃の悪性新生物	31	11.8	胃の悪性新生物	43	10.6	胆石症	20	15.9	腸の悪性疾患	15	11.2
	4位	胆石症	21	12.6	胆石症	26	16.2	消化器系のその他の疾患	23	13.0	胃潰瘍	18	13.1	麻痺性イレウスおよび腸閉塞、ヘルニアを伴わないもの	12	16.8
	5位	腸の悪性疾患	20	7.7	消化器系のその他の疾患	19	8.4	胆石症	17	16.7	消化器系のその他の疾患	17	8.7	急性膵炎	11	19.5
救急科	1位	気道からの出血	1	2.0	熱および光線的作用	7	4.6	固形物および液状物による肺膿炎	8	35.6	その他の膵内分泌障害	2	1.5			
	2位				頭部の開放創	6	2.3	脳その他の障害	2	2.0						
	3位				頭蓋内損傷	5	2.2	気道からの出血	2	2.0						
	4位				頭部の表在損傷	5	2.4	大腿骨骨折	2	2.5						
	5位				脳その他の障害	4	7.5	胸水、他に分類されないもの	2	5.5						

IV 診療科紹介

IV 診療科紹介

総合内科

消化器内科

呼吸器内科

循環器内科

小児科

外科

整形外科

産婦人科

眼科

歯科口腔外科

脳神経外科

泌尿器科

放射線科

乳腺・呼吸器外科

麻酔科

病理診断科

皮膚科

救急科

健診センター

総合内科

【概要】

私達、内科は平成28年4月をもって、総合内科と名称を変更いたしました。総合内科といっても聞き馴染みのない方も多いかと思います。簡単に申し上げますと、広く内科疾患をみるようになります。その地域や病院にあわせて、役割が変わることも特徴です。当院の総合内科では、主にふたつの大きな役割があります。

ひとつにはどこを受診すればいいか分からない患者さんの対応をいたします。胸が痛いから心臓の専門の先生を受診すれば良いかという必ずしもそうではありません。胸が痛くなる原因としては確かに、心臓に問題があることもありますが、他にも肺や胃、皮膚や筋肉に問題があることも少なくありません。また、熱が続く、なんとなくだるいといった、どこが悪いか分からない時もあると思います。そういった際に、総合内科を受診して頂ければ、どこに行ったら良いか分からない患者さんの窓口として対応致します。

また、もうひとつの役割としてそれ以外にも色々悪いところがある方の入院の対応も役割のひとつです。色々な病気があり、様々な科にまたがって治療されている場合、どこの科に入院するかが問題となることがあります。その際も各科と連携して、当科で対応を致します。

外来に関しては、初診患者さんを中心に対応し、状態が安定したら地域の開業医の先生と連携し、開業医の先生へご紹介するようにしております。どこにいけば良いか分からない患者さんを中心に対応いたします。どうしても分からない際にはなんでもご相談ください。

【実績】

1日平均患者数

外来 35.9名

入院 34.8名

【取り組みと今後の展望、その他】

現在当科では通常診療に加えて以下の3点に取り組んでおります。

① Polypharmacy (多剤内服)

高齢化や医師の専門化に伴い、薬剤の処方数が増えていることが世界中で問題となっております。特に日本は医療機関へのアクセスが良いため、複数医療機関を受診することも多く、また高齢化も相まって Polypharmacy という問題が近年取り上げられています。当科と薬剤部と地域包括ケア病棟が連携して、地域包括ケア病棟へ入院した患者さんを対象に対策を始めました。

② 高齢者食思不振

認知症を罹患されている患者や高齢者では原因がよくわからない食思不振が多く受診・入院されてきます。原因として臓器の疾患だけでなく、食事の内容の問題や口腔ケアの問題など病気以外にも問題があることがあるため、言語聴覚士や管理栄養士と連携しながら対応にあたっています。より良く対応出来るため、対策を立てる予定です。

③ 多職種連携チーム

当科では ICT、NST、RST といった多職種と連携したチームへ参加しております。今後よりよく連携出来るために定期的な勉強会や意見交換会を更に深めていきたいと考えております。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>そうがわ ひろみち</small> 寒川 浩道 補職名：医長 専門領域：総合内科 循環器内科 消化器内科 感染症	日本プライマリ・ケア連合学会 / プライマリ・ケア認定医・指導医 日本内科学会 / 認定内科医 日本心血管インターベンション治療学会 / 心血管インターベンション治療認定医 日本感染症学会 / インфекションコントロールドクター (ICD 制度協議会) 日本循環器学会 / 専門医 臨床研修指導医 BLS、ACLS 修了
氏名： <small>かわばた よしたか</small> 川畑 仁貴 補職名：副医長 専門領域：総合内科	日本内科学会 / 認定内科医 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医 (同上) / インフェクションコントロールドクター (ICD 制度協議会) 日本医師会認定産業医 日本エイズ学会 / 認定医 臨床研修指導医
氏名： <small>はしもと ただゆき</small> 橋本 忠幸 補職名：副医長 専門領域：総合内科	日本内科学会 / 認定内科医 (同上) / 総合内科専門医 臨床研修指導医 AHA ACLS Experienced プロバイザー
氏名： <small>あおき たつや</small> 青木 達也 専門領域：総合内科	日本内科学会 / 認定内科医
氏名： <small>さいがん まこと</small> 西願 誠 専門領域：総合内科	
氏名： <small>やぶうち としのぶ</small> 藪内 俊宜 専門領域：総合内科	日本内科学会 / 認定内科医
氏名： <small>いとう きょうへい</small> 伊藤 恭平 専門領域：総合内科	JMECC (内科救急・ICLS 講習会) 修了
氏名： <small>やまだ ひろき</small> 山田 裕規 専門領域：総合内科	JMECC (内科救急・ICLS 講習会) 修了
氏名： <small>たなか まさのり</small> 田中 将規 専門領域：総合内科	

業績

発表

No	発表月	学会名	演題	発表者	共同発表者	開催都市
1	平成30年6月	プライマリ・ケア学会総会	減薬について処方医と交わした診療情報提供書から考えるポリファーマシーに対する意識と実際の処方数	青木 達也	橋本 忠幸、北島 正大、奥田 昌子、山本	津市
2	平成30年8月	AMEE 2018	EPA of residents-as-teachers	Tadayuki Hashimoto	Junji Otaki, Junichi Taniguchi, Syunsuke Kosugi, Takashi Kanazawa, Makoto Kikukawa	Basel, Swiss
3	平成31年2月	第18回日本病院総合診療医学会	頭部外傷後の手術を契機として発症した後天性第V因子インヒビターの一例	伊藤 恭平	橋本 忠幸、川畑 貴仁、青木 達也、藪内 俊宜、山田 裕規、田中 将規、佐々木貴浩	沖縄県
4	平成31年2月	第18回日本病院総合診療医学会	正常妊娠を契機に下垂体前葉機能低下症に伴った empty sella 症候群の一例	西願 誠	橋本 忠幸、川畑 貴仁、青木 達也、伊藤 恭平、山田 裕規、田中 将規	沖縄県
5	平成31年2月	第18回日本病院総合診療医学会	大腿骨頭部骨折にて整形外科入院し突然の呼吸苦より、脂肪塞栓症を発症した1例	藪内 俊宜	橋本 忠幸、川畑 貴仁、青木 達也、伊藤 恭平、山田 裕規、田中 将規	沖縄県
6	平成31年3月	第223回日本内科学会近畿地方会	顎関節痛を主訴に来院した潰瘍性大腸炎の1例	山田 裕規	橋本 忠幸、川畑 貴仁、青木 達也、伊藤 恭平、藪内 俊宜、西願 誠、仲地健一郎	京都府

論文・雑誌掲載

No	採択月	雑誌名	タイトル	著者	共著者	年号 Vol(ページ)
1	平成31年3月	THE「手あて」の医療	死亡確認後の家族への声かけ	川畑 仁貴	平島 修	p220
2	平成31年3月	THE「手あて」の医療	サプリメント	橋本 忠幸	平島 修	p220
3	平成31年1月	プライマリ・ケア	教育について	橋本 忠幸		p65
4	平成31年1月	プライマリ・ケア	RaTsについて	橋本 忠幸		p63
5	平成30年10月	プライマリ・ケア	RaTsについて	橋本 忠幸		p63
6	平成30年7月	プライマリ・ケア	カリキュラム開発	橋本 忠幸		p60
7	平成30年4月	プライマリ・ケア	研修医のメンタルヘルス	橋本 忠幸		p60

消化器内科

【概要】

消化器内科は、主に消化器病を中心とした一般内科で腹痛、嘔吐、下痢、血便といった消化管（食道、胃、小腸、大腸）の疾患と、胆石、肝炎、胆嚢炎や膵炎などの肝胆膵の疾患があります。これらの消化器内科疾患に対し薬剤による治療、内視鏡治療、エコー下透視下での治療を積極的に行っています。

日々の診療においては「患者さんの話をよく聞くこと」、「時間と経費を無駄にしない診療」、「患者さん一人一人の病状に合わせた治療」を心がけ、また、開業医の先生方、近隣の病院との連携、情報提供や紹介入院治療などを行っています。

【診療実績】

当院で完結することを目指して、積極的治療を行ってきました。

平成30年の入院患者は576人で、平成26年から300人以上増加させてきました。

1日平均患者数

外来 23.1名

入院 13.8名

平成30年度 ESD件数

食堂ESD	12件
食道EIS	11件
胃ESD	58件
上部内視鏡的止血術	27件
小腸カプセル内視鏡	21件
大腸ポリペクトミー	325件
大腸ESD	22件
下部内視鏡的止血術	30件

【取り組みや今後の展望、その他一言】

内視鏡治療の需要は今後も高いと思われます。今後も当院で完結できるように、低い合併症率、高いクオリティを維持できるようにしたいと考えております。ただ、拡大内視鏡や超音波内視鏡、小腸内視鏡の件数がまだ少ないことが現在の課題となっています。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>なかち けんいちろう</small> 仲地 健一郎 補職名：医長 専門領域：消化器内科	日本内科学会 / 認定内科医 日本消化器内視鏡学会 / 専門医、指導医 日本消化器病学会 / 専門医
氏名： <small>あらい としお</small> 荒井 俊夫 補職名：副医長 専門領域：消化器内科	日本内科学会 / 認定内科医 (同上) / 総合内科専門医 日本消化器病学会 / 専門医 日本消化管学会 / 胃腸科認定医 日本消化器内視鏡学会 / 専門医 日本医師会認定産業医
氏名： <small>えだがわ たけや</small> 枝川 剛也 専門領域：消化器内科	日本内科学会 / 認定内科医

業績 発表

No	発表月	学会名	演題	発表者	共同発表者	開催都市
1	平成30年10月	Parasitology seminar (McGill University)	Tape worms protect young mice from experimental colitis by recall memory response	荒井 俊夫		Montreal, Canada
2	平成31年2月	第15回日本消化管学会総会学術集会	心電図RR間隔を指標とした虚血性大腸炎、イレウスの自律神経評価	荒井 俊夫	山田 裕規、枝川 剛也、仲地健一郎	佐賀県 佐賀市
3	平成31年3月	第88回日本寄生虫学会	Narro-band Imaging (NBI) 併用内視鏡を用いたトメントール補助下での虫体摘出が有用であった胃アニサキス症の1例	荒井 俊夫	山田 裕規、枝川 剛也、仲地健一郎	長崎県 長崎市

呼吸器内科

【概要】

診療スタッフは、常勤医（日本呼吸器学会専門医、指導医）1人で、外来は、近畿大学医学部附属病院呼吸器・アレルギー内科、近畿大学医学部奈良病院 呼吸器・アレルギー内科より、応援していただいています。日々の診療は、和歌山県立医大附属病院から前期研修医の先生がこられ、病棟診療を共に、実践しています。

施設は、日本アレルギー学会、日本呼吸器学会、日本内科学会の認定または関連認定施設で、主として、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、慢性呼吸不全、胸部異常陰影（肺腫瘍等）、呼吸器感染症、急性呼吸不全、睡眠時無呼吸症候群等、一般呼吸器疾患の診断、治療を行います。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 26.8名

入院 6.2名

検査については、肺機能検査、気管支鏡検査（年間 約100例）、睡眠時無呼吸検査等（年間 約70例）施行しています。呼吸不全での在宅酸素療法の導入、非侵襲的人工呼吸管理（NIPPV）も症例により導入しています。

【取り組みや今後の展望、その他一言】

気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患の診断、加療を中心に、一般呼吸器疾患全般で、患者さんのQOL（quality of life）の向上を目指したいと考えています。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：藤田 悦生 補職名：副院長 部長 専門領域：呼吸器内科 アレルギー疾患	日本内科学会 / 認定内科医 (同上) / 総合内科専門医 日本呼吸器学会 / 呼吸器専門医、指導医 日本アレルギー学会 / 専門医、指導医 日本気管食道科学会 / 気管食道科専門医 (内科気道系) 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医 日本呼吸器内視鏡学会 / 気管支鏡専門医、指導医 日本心療内科学会 / 登録医 日本感染症学会 / インфекションコントロールドクター (ICD 制度協議会)

業績 発表

No	発表月	学会名	演題	発表者	共同発表者	開催都市
1	平成30年4月	The 58th Annual Meeting of The Japanese Respiratory Society (第58回日本呼吸器学会学術講演会)	Evaluation of swallowing tests in patients with aspiration pneumonia	Etsuo Fujita	Fuminori Ohta, Megumi Kiyoi, Kensaku Shojima, Kousuke Shimada, Yusaku Nishikawa, Yuji Tohda, Katsuhiro Yamamoto	Osaka
2	平成30年6月	第220回日本内科学会近畿地方会	AsthmaでPrednisolone dependent casesでのomalizumabとmepolizumabの使用例の検討	藤田 悦生	石川 佳奈、福地 芳浩、青木 達也、橋本 忠幸、川畑 仁貴、星屋 博信、河原 正明、嶋田 浩介、山本 勝廣	大阪市
3	平成30年6月	第67回 日本アレルギー学会	AsthmaでBDI等の効果をretrospectiveにpulmonary function testでフォローした経過	藤田 悦生	大野 大地、太田 文典、清井めぐみ、柴川 浩道、高畑 昌弘、小林 克暢、匹本 樹寿、星屋 博信、川畑 仁貴、青木 達也、橋本 忠幸、仲地健一郎、西村日出子、北山 淳一、河原 正明、前田 恒宏、坂田 好史、嶋田 浩介、山本 勝廣	千葉市

No	発表月	学会名	演題	発表者	共同発表者	開催都市
4	平成30年7月	第86回和歌山医学会総会	嗄声をきたし Egogram, 肺機能検査で Vocal cord dysfunction syndrome と鑑別を要した症例	藤田 悦生	北村 要輔, 太田 文典, 西村日出子, 橋本 忠幸, 川畑 仁貴, 嶋田 浩介, 西川 裕作, 東田 有智, 山本 勝廣	和歌山市
5	平成30年7月	第91回日本呼吸器学会近畿地方会	Upper airway resistance syndrome (UARS) と推定され, MAS (mandibular advancement splint) を導入した OSAS 例	藤田 悦生	田中 章夫, 石川 佳奈, 福地 芳浩, 山下 大亮, 尾多貫裕介, 青木 達也, 橋本 忠幸, 川畑 仁貴, 加山 雄太, 中村 諒, 藪内 俊宜, 向井 陽祐, 星屋 浩信, 西村日出子, 服部 舞子, 河原 正明, 坂田 好史, 嶋田 浩介, 山本 勝廣	神戸市
6	平成30年6月	第108回日本肺癌学会関西支部学術集会	BAL SCC 測定と併せ, TBLB で診断し得た osteochondroma の1例	藤田 悦生	石川 佳奈, 福地 芳浩, 橋本 真, 山田万里央, 青木 達也, 橋本 忠幸, 川畑 仁貴, 寒川 浩道, 小林 克暢, 匹本 樹寿, 星屋 浩信, 内藤 古真, 角井 一之, 河原 正明, 嶋田 浩介, 山本 勝廣	大阪市
7	平成30年10月	World Congress of Asthma 2018	EGOGRAM EVALUATION FOR THE MANAGEMENT OF ASTHMATIC PATIENTS	Etsuo Fujita	Tatsuya Aoki, Yoshitaka Kawabata, Issei Hirai, Koma Naito, Hironobu Hoshiya, Kousuke Shimada, Kyuya Gose, Yuji Tohda, Katsuhiko Yamamoto	Tokyo
8	平成30年11月	第55回日本臨床生理学会総会	当科における OSAS または夜間 hypoxemia の有無の診断での PSG の実施状況	藤田 悦生	寒川 浩道, 星屋 博信, 石川 佳奈, 福地 芳浩, 西岡 照平, 藪内 俊宜, 川畑 仁貴, 田中 章夫, 嶋田 浩介, 河原 正明, 御勢 久也, 東田 有智, 山本 勝廣	福岡市
9	平成30年12月	第92回日本呼吸器学会近畿地方会	呼吸器疾患で Treadmill exercise test で評価した O2 投与量の評価	藤田 悦生	西上 英樹, 千田 修平, 山下 大亮, 石川 佳奈, 福地 芳浩, 安村 香穂, 松本 直也, 青木 達也, 川畑 仁貴, 小林 克暢, 寒川 浩道, 榊野 富蔵, 匹本 樹寿, 星屋 博信, 河原 正明, 園立 晃成, 坂田 好史, 嶋田 浩介, 山本 勝廣	奈良市
10	平成31年3月	第223回日本内科学会近畿地方会	Aspiration pneumonia を含む呼吸器疾患での nutrition の評価	藤田 悦生	西上 英樹, 青木 達也, 川畑 仁貴, 平井 一成, 内藤 古真, 星屋 博信, 河原 正明, 嶋田 浩介, 山本 勝廣	京都市

論文・雑誌掲載

No	採択月	雑誌名	タイトル	著者	共著者	年号 Vol(ページ)
1	平成30年4月	Unconsciousness level improved by care and music (Lambert Academic Publishing)	Unconsciousness level improved by care and music	Etsuo Fujita	Koji Kakishita, Yoshiro Owai, Yoshikazu Matsuda, Fuminori Ohta, Megumi Kiyoi, Maiko Hattori, Kazunori Shindo, Masahiko Kioka, Mito Hayashi, Yousuke Kitamura, Hironobu Hoshiya, Kenichi Furukawa, Kousuke Shimada, Takayuki Takahama, Yusaku Nishikawa, Yuji Tohda, Katsuhiko Yamamoto	2018 (1-14)
2	平成30年8月	Journal of Clinical Physiology (日本臨床生理学会雑誌)	Measurement of the tumor marker CYFRA in bronchoalveolar lavage (BAL) and in serum	Etsuo Fujita	Daichi OHYA, Yousuke KITAMURA, Risa YAMAMURA, Kana ISHIKAWA, Miki SAGIMORI, Fuminori OHTA, Megumi KIYOI, Yoshitaka KAWABATA, Tadayuki HASHIMOTO, Tatsuya AOKI, Yuta KAYAMA, Yosuke MUKAI, Ryo NAKAMURA, Toshinobu YABUUCHI, Katsuyuki FURUTA, Shigetoshi HIKIMOTO, Masahiro TAKAHATA, Hironobu SOUGAWA, Katsunobu KOBAYASHI, Hironobu HOSHIYA, Kenichiro NAKACHI, Miwa IKEJIMA, Kenichi FURUKAWA, Masaaki KAWAHARA, Takayuki TAKAHAMA, Yusaku NISHIKAWA, Yuji TOHDA, Kousuke SHIMADA, Katsuhiko YAMAMOTO	2018 Vol 48 (3) (127-133)
3	平成30年7月	Journal of Clinical Physiology (日本臨床生理学会雑誌)	Exhaled gas analysis using FitmateR in respiratory diseases	Etsuo Fujita	Hironobu Sougawa, Masahito Takahata, Shigetoshi Hikimoto, Hironobu Hoshiya, Katsunobu Kobayashi, Tadayuki Hashimoto, Yuta Kayama, Tatsuya Aoki, Yoshitaka Kawabata, Fuminori Ohta, Megumi Kiyoi, Kana Ishikawa, Kenichi Furukawa, Yoshifumi Sakata, Kousuke Shimada, Yusaku Nishikawa, Yuji Tohda, Katsuhiko Yamamoto	2019 Vol 49 (1) (17-22)

循環器内科

【概要】

常勤医師は、山本管理者（昭和 52 年卒、循環器専門医）、星屋副院長（昭和 60 年卒、循環器専門医）、小林医長（平成 11 年卒）、寒川医長（平成 17 年卒）、榊野副医長、匹本医師の 6 人です。主要な検査及び治療方針は、心臓血管外科ともカンファレンス等を通じて密に連携し、循環器センターとしての共通の認識のもとに行っています。

循環器内科では、虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）、弁膜症、心筋症、心不全、不整脈、高血圧、動脈瘤、閉塞性動脈硬化症等の循環器疾患全般の診断・治療を行っています。特に、5 人体制となってから、365 日 24 時間体制で、急性心筋梗塞、不安定狭心症、心不全等に対する救急治療を積極的に行っています。

【診療実績】

平成 30 年度の新入院患者は 800 人で、そのうち循環器疾患は 549 人（虚血性心疾患 48%、不整脈 10%、弁膜症 8%、心筋症 1%）でした。そのうち急性心筋梗塞は 76 例で、発症 24 時間以内の 53 例に対して緊急冠動脈インターベンション治療（PCI）を行いました。再灌流療法以外に 340 件の冠動脈造影を行い、177 例に PCI を施行しました。その他、末梢動脈に対する血管形成術（PTA）35 件、永久ペースメーカー植え込み術 26 件でした。

1 日平均患者数

外来 50.7 名

入院 45.6 名

非観血的検査

トレッドミル運動負荷試験	13 件
心エコー	3,216 件
ホルター心電図	349 件
心臓核医学（RI）検査	117 件

観血的検査・治療

総心臓カテーテル検査	404 件
冠動脈造影検査	393 件
冠動脈インターベンション（PCI）	230 件
経皮的血管形成術 PTA	35 件
永久ペースメーカー植え込み術 新規	19 件
交換	7 件

【取り組みや今後の展望、その他一言】

当院周辺には循環器専門施設がなく、急性心筋梗塞等の循環器救急疾患の搬送先はほぼ当院に限られます。当科では、24 時間体制で循環器救急疾患に対応する方針としていますが、医師 5 名で 24 時間体制を持続可能なものとするには地域の医療機関の協力が不可欠であり、そのため連携パスや開業医の先生方との勉強会等を通じ、地域連携の強化に今後一層の取り組んでいきたいと考えています。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：山本 勝廣 補職名：病院管理者 専門領域：循環器内科	日本内科学会 / 認定内科医、近畿地方会評議員 日本循環器学会 / 循環器専門医、近畿地方会評議員 日本高血圧学会 / 高血圧指導医 日本心血管インターベンション治療学会 / 心血管インターベンション治療認定医、指導医 地域包括医療・ケア認定医（全国国民健康保険診療施設協議会）
氏名：星屋 博信 補職名：副院長 診療部長 部長 専門領域：循環器内科	日本内科学会 / 認定内科医 日本循環器学会 / 専門医
氏名：小林 克暢 補職名：医長 専門領域：循環器内科	日本消化管学会 / 胃腸科認定医
氏名：寒川 浩道 補職名：医長 専門領域：※省略（総合内科参照）	※省略（総合内科参照）
氏名：榊野 富造 補職名：副医長 専門領域：循環器内科	
氏名：匹本 樹寿 専門領域：循環器内科	

業績

発表

No	発表月	学会名	演題	発表者	共同発表者	開催都市
1	平成30年4月	KCJL2018	iFRとFFRに垂離を認め特異的なOCT所見を認めた1例	寒川 浩道		大阪市
2	平成30年6月	第9回プライマリケア学会学術集会	総合内科医からみたPCI後消化管出血の検討～消化管出血の治療を含めて～	寒川 浩道		津市
3	平成30年9月	第66回日本心臓病学会学術集会	iFR値とOCTで観察した病変性状と病変長の検討	寒川 浩道		大阪市
4	平成30年11月	第94回日本消化器内視鏡学会学術集会 <JDDW2018>	PCI後消化管出血の検討 今後の憩室出血の重要性	寒川 浩道		神戸市
5	平成30年11月	第94回日本消化器内視鏡学会学術集会 <JDDW2018>	抗血栓療法患者における消化管出血の現状と危険因子について	寒川 浩道		神戸市

講演（院内も含む）

No	講演月	会名	演題	講演者	開催都市
1	平成30年7月	第36回 伊都医師会循環器研究会	iFRとFFRに垂離を認め特異的なOCT所見を認めた1例	寒川 浩道	橋本市
2	平成30年9月	第38回和歌山CITC	総合内科医からみたPCI後消化管出血の検討（消化管出血の治療を含めて）	寒川 浩道	白浜町
3	平成30年11月	和歌山地域医療学術講演会	冠動脈塞栓による急性心筋梗塞にエドキサパンが有効であった一例	寒川 浩道	白浜町

小児科

【概要】

小児科は、常勤医師が3名で月曜から金曜の午前診、午後診と月、木、土曜の時間外診療をしています。一般的な小児急性疾患から2次救急まで担当するとともに、小児心身症、アレルギー疾患などに漢方薬、小児鍼等も活用し、専門的かつ総合的な治療に力を入れています。小児循環器疾患には和歌山県立医科大学附属病院から派遣の非常勤医師が担当しています（週1回水曜午前診）。

年間入院数は約300人で、その多くは肺炎、気管支炎、胃腸炎などの急性疾患及び気管支喘息、けいれんなどですが、川崎病、ネフローゼ症候群、化膿性髄膜炎も少数みられます。新生児（年間出生200～250人）の対応、処置も行っています。

1日外来患者数は約38人で急性疾患のほか、気管支喘息、アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患、てんかんなどの痙攣性疾患にも対応しています。院内出生児の1ヶ月健診、各種予防接種（アレルギーやけいれんのあるこどもにも対応）も行っています。

小児救急医療は近隣の南奈良総合医療センター、和歌山県立医科大学附属病院紀北分院、公立那賀病院と広域連携し、また地域の開業医院と平日ミニ輪番制で漏れのない対応を目指しています。

橋本市の4ヶ月健診（月1回）、1歳8ヶ月健診（年6回）や、あやの台チルドレンセンターとつくしんぼ園の内科健診（年2回）に出務しています。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 37.5名

入院 3.5名

【取り組みや今後の展望、その他一言】

小児救急医療、小児心身症、アレルギー疾患などに対し、総合的かつ専門的な治療の充実を目指したいと考えています。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>おおし こう</small> 大石 興 補職名：副診療部長 部長 専門領域：感染症 免疫アレルギー疾患 心身症 漢方治療 小児鍼	日本小児科学会 / 小児科専門医
氏名： <small>ひかいやま ひろのぶ</small> 向山 弘展 補職名：医長 専門領域：小児科 腎臓病	日本小児科学会 / 小児科専門医 臨床研修指導医 小児慢性特定疾病指定医 難病指定医
氏名： <small>たちばな しんや</small> 立花 伸也 専門領域：小児科	

業績

雑誌掲載

No	採択月	雑誌名	タイトル	著者	共著者	年号 Vol(ページ)
1	平成30年4月	初学者のための小児心身医学テキスト	漢方薬の使い方	日本小児心身医学会(編)	大石 興	2018 (90-96P)

【概要】

(1) はじめに

外科スタッフは5名（名誉院長は非常勤）、日本外科学会、日本消化器外科学会の指導医、専門医が中心となって手術にあたっています。胸腔鏡下食道がん手術や腹腔鏡下手術、肝胆膵悪性腫瘍手術にも一層力を入れています。主に消化器外科領域の診療を行っており、特に消化器がんの治療が中心になっています。平成30年度は451件の手術を行いました（内訳は後述）。

手術内容は食道がん、胃がん、大腸がんでは、がん治療ガイドラインに沿った治療を行っており、先に述べたように胸腔鏡、腹腔鏡下手術を積極的に取り入れています。胸腔鏡、腹腔鏡下手術は単に整容性に優れているだけでなく、胸壁、腹壁破壊が少ないことから早期離床、早期社会復帰が可能となります。また、手術操作自体も鏡視による拡大視効果を利用することでより精密で繊細な手術が可能となっています。肝胆膵悪性腫瘍手術についても、症例カンファレンスで手術適応や術式などを十分検討したうえで実施しています。

手術以外の治療では、放射線科の協力の下で経動脈的血管塞栓術（TACE）を行っています。さらに内視鏡下治療としては、胃がんや大腸がんでは超音波内視鏡（EUS）で粘膜がんを診断できれば内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を行っています。また総胆管結石に対する内視鏡的乳頭切開（EST）による碎石術、食道静脈瘤に対する内視鏡的食道静脈瘤結紮術（EVL）、痔核に対する内視鏡的痔核結紮術（EHL）、大腸ポリープに対する内視鏡的粘膜切除術（EMR）、内視鏡的胃瘻造設術（PEG）などを多数行っています。

ここ数年で消化器がんに対する化学療法が大きく変化し、当科でも抗がん剤に分子標的薬を追加した外来化学療法や免疫チェックポイント阻害剤による治療を積極的に導入しています。非常に効果的な症例には切除不能であった症例でも conversion surgery で切除できるようになった症例も多く認めます。

また、地域のがん拠点病院であるために、和歌山県のがんの地域連携パス（胃がん、大腸がん、肝臓がん）に沿って、地域の開業医へのフィードバック及び連携を行っています。

さらに、院内の化学療法ワーキング、緩和ケアワーキング、栄養運営委員会（NST 活動）などの中心的役割を担っています。すなわち、消化器がんに対して、早期がんには内視鏡的治療、これより少し進んだがんには根治的手術、また再発、進行がんにおける化学療法、終末期などにおける緩和的治療、およびこれら全ての時期における栄養サポートといった、消化器癌に対するあらゆる治療を当科中心に実施しています。

また、当院は災害拠点病院で当科に地域災害医療コーディネーターも在籍しており、救急、災害医療部門の充実と院内外の啓蒙活動にも力を入れています。

(2) 診察内容

一般外科、消化器外科の疾患に対応しています。

対象疾患：消化器疾患（食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肛門）、肝・胆・膵疾患、各種ヘルニア（臍、鼠径、大腿、腹壁）が主な疾患です。

(3) 検査、処置、手術

検査：消化管透視、内視鏡、超音波検査（腹部）、CT、MRI、穿刺細胞診

処置：内視鏡的処置（ポリープ切除、粘膜切除、粘膜下層剥離術、マイクロ波凝固術、アルゴンレーザー凝固術、食道静脈瘤硬化療法、食道静脈瘤結紮術、乳頭切開術、乳頭バルーン拡張による碎石術etc.）

肝腫瘍に対するラジオ波凝固術

黄疸に対する減黄術（経皮的胆道ドレナージ術、内視鏡的胆道ドレナージ術） 腸閉塞に対するイレウス管挿入術

経皮的（内視鏡的）胃瘻造設術

メタリックステントを用いた胆管・消化管狭窄の治療ALTAによる痔核の硬化療法
手術：月、水、金に施行

(4) 主な医療機器

胸腔鏡・腹腔鏡下手術セット、超音波画像診断装置、電子内視鏡セット、ラジオ波凝固装置など

【診療実績】

1日平均患者数

外来 30.4名

入院 38.7名

手術件数

全身麻酔 390件

脊椎硬膜外麻酔 25件

局所麻酔 36件

合計 451件

疾患別

疾患、術式別	件数(うち胸腔鏡、腹腔鏡下手術)
食道がん	6 (4)
胃がん	26 (7)
結腸がん	38 (27)
直腸がん	23 (17)
肝切除術	11
膵頭十二指腸切除術	8
イレウス	18 (1)
胆石症	74 (65)
ヘルニア	74 (38)
痔核、痔瘻	16
その他	157 (5)
総計	451 (164)

【取り組みや今後の展望、その他一言】

- ① 患者本位の医療を心がける
- ② 医療過誤、医療事故がないように努め、安全な医療を提供する
- ③ 主要学会の指導医、専門医の取得、施設認定の維持
- ④ 救急医療のさらなる充実と院内外の啓蒙活動、DMAT 活動、災害拠点病院としての訓練
- ⑤ NST のさらなる充実と地域連携 NST 活動、連携パス
- ⑥ 学会活動、論文作成の増量
- ⑦ がん診療拠点病院としてのがん治療のさらなる充実、啓蒙活動など

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：嶋田 浩介 補職名：院長 地域医療連携部長 専門領域：消化器外科 栄養 災害医療 排便機能	日本外科学会 / 専門医、指導医 日本消化器外科学会 / 消化器外科専門医・指導医 (同上) / 消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会 / 専門医 日本静脈経腸栄養学会 / TNT 修了 日本医師会認定産業医 臨床研修指導医 緩和ケア指導医 BLS、ACLS 修了 JPTEC 修了 JATEC 修了 DMAT
氏名：坂田 好史 補職名：筆頭部長 専門領域：消化器外科 化学療法 災害医療	日本外科学会 / 専門医、指導医 日本消化器外科学会 / 消化器外科専門医・指導医 (同上) / 消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会 / 専門医、指導医 日本消化器内視鏡学会 / 専門医、指導医 臨床研修指導医 がん治療認定医 (日本がん治療認定医機構) DMAT、災害医療コーディネーター
氏名：前田 恒宏 補職名：部長 専門領域：消化器外科 栄養療法	日本外科学会 / 専門医 日本消化器外科学会 / 消化器外科認定医 日本消化器内視鏡学会 / 専門医 日本消化器病学会 / 専門医 日本静脈経腸栄養学会 / 認定医 PEG・在宅医療学会 / 専門胃瘻造設者 (同上) / 専門胃瘻管理者 (同上) / 認定胃瘻教育者 がん治療認定医 (日本がん治療認定医機構) 臨床研修指導医 日本医師会認定産業医
氏名：小澤 悟 補職名：部長 専門領域：消化器外科 緩和治療	日本外科学会 / 専門医 日本消化器外科学会 / 消化器外科専門医 日本消化器病学会 / 専門医 日本消化器内視鏡学会 / 専門医 がん治療認定医 (日本がん治療認定医機構) 臨床研修指導医 DMAT
氏名：加藤 紘隆 専門領域：消化器外科	
氏名：阪中 俊博 専門領域：消化器外科	
氏名：青木 洋三 補職名：名誉院長 専門領域：消化器外科 外科栄養学 胆膵生理機能 健康管理学	日本外科学会 / 専門医、指導医、評議員 日本消化器外科学会 / 消化器外科専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、特別会員 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医、評議員 (同上) / インフュージョンコントロールドクター (ICD 制度協議会) 和歌山医学会 / 功労会員 日本人間ドック学会 / 人間ドック認定医 (同上) / 人間ドック健診専門医・指導医 (同上) / 人間ドック健診情報管理指導士 検診マンモグラフィ読影認定医 (日本乳がん検診精度管理中央機構) 日本医師会認定産業医 地域包括医療・ケア認定医 (全国国民健康保険診療施設協議会) 日本臨床外科学会 / 特別会員 日本外科代謝栄養学会 / 評議員 日本肝胆膵外科学会 / 評議員

業績 発表

No	発表月	学会名	演題	発表者	共同発表者	開催都市
1	平成30年6月	第49回日本脳神経学会大会	下血で発症した非機能性膵頭部神経内分泌腫瘍の1例	坂田 好史	前田 恒宏、小澤 悟、阪中 俊博、 嶋田 浩介、青木 洋三	和歌山市
2	平成30年7月	第73回日本消化器外科学会総会	当科で経験した若年性大腸癌4例の検討	前田 恒宏	坂田 好史、小澤 悟、阪中 俊博、 嶋田 浩介、青木 洋三	鹿児島市
3	平成30年10月	第56回日本癌治療学会学術集会	十二指腸体部濾胞性リンパ腫の経過観察中に乳頭部癌を発症した1例	坂田 好史	前田 恒宏、小澤 悟、阪中 俊博、 加藤 結隆、嶋田 浩介、青木 洋三、 上田 弘樹	横浜市
4	平成30年10月	第19回和歌山救急・災害医療研究会	柿胃石を中心とした食餌性イレウス5例の特徴と治療	前田 恒宏	坂田 好史、小澤 悟、阪中 俊博、 嶋田 浩介	和歌山市
5	平成30年11月	第80回日本臨床外科学会総会	高齢者汎発性腹膜炎症例の検討	坂田 好史	前田 恒宏、小澤 悟、阪中 俊博、 加藤 結隆、嶋田 浩介、青木 洋三	東京
6	平成30年12月	第31回日本内視鏡外科学会総会	腹腔鏡下腹会陰直腸切断術後に人工肛門として挙上したS状結腸が小腸で圧排され横行結腸穿孔を発症した1例	坂田 好史	前田 恒宏、小澤 悟、阪中 俊博、 加藤 結隆、嶋田 浩介	福岡市
7	平成30年12月	第31回日本内視鏡外科学会総会	腹腔鏡下で治療した鈍的腹部外傷後の遅発性小腸狭窄の1例	前田 恒宏	坂田 好史、小澤 悟、阪中 俊博、 嶋田 浩介	福岡市
8	平成31年2月	第24回和歌山内視鏡治療研究会	腹腔鏡下胆嚢摘出術を安全に行うための当院での工夫	阪中 俊博	坂田 好史、前田 恒宏、小澤 悟、 嶋田 浩介、青木 洋三	和歌山市
9	平成31年2月	第34回日本静脈経腸栄養学会総会	modified Glasgow Prognosis Score と小野寺の PNI は大腸癌に対する抗癌化学療法継続指標となる	前田 恒宏	田中 章夫、青木 達也、高橋 佐智、 木村ナオ子、前垣内真由美、川北 ひさ、 嶋田 浩介	東京

講演 (院内も含む)

No	講演月	会名	演題	講演者	開催都市
1	平成30年5月	伊薬剤師会研修会	橋本市民病院での経口抗癌剤治療について	坂田 好史	橋本市

整形外科

【概要】

平成 30 年度の整形外科診療体制は、平成 29 年度と変わらず常勤医師 5 名で診療にあたります。施設として、当院は日本整形外科学会認定研修施設および日本手外科学会認定基幹研修施設に指定されております。

高齢化社会の本格的な到来に伴い、整形外科疾患の治療に対する需要は年々増加傾向にあります。運動器疾患による日常生活上の障害を速やかに回復改善するために積極的に手術治療も行われるようになってきました。

このような社会的背景もあって、最近 10 年で当院整形外科の手術件数は 2 倍近くに増加し、労力の多くが手術治療に注がれるようになっていきます。

この地域で最も多い外傷疾患は大腿骨近位部骨折であり、標準化した治療を患者さんに提供しています。

また 10 年前では橈骨遠位端骨折（手首の骨折）の治療と言えばギプス固定による治療が一般的でしたが、近年では手術が行われる機会が多くなっています。手術治療が安全に行われ、治療成績が向上したために、このような部位にも手術がどんどん行われるようになっていきます。

一般外傷だけでなく、手外科では緊急性の高い上肢外傷（切断肢指、広範皮膚欠損創など）に対し、速やかな対応を行うべく、休日時間外にも整形外科医師がオンコールで待機し、対応にあたります。

関節外科として、主に人工股関節置換術、人工膝関節置換術などを行い、満足度の高い安定した治療成績が得られています。

脊椎疾患では腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、頸椎症が多く、様々な保存的治療を提供致します。

【診療実績】

1 日平均患者数

外来 77.2 名

入院 43.8 名

全手術件数（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日） 総症例 728

骨折	422 件
大腿骨近位部骨折	146 件
人工骨頭	49 件
観血的整復固定術	97 件
下肢骨折（大腿骨骨幹部～足趾）	122 件
上肢骨折	146 件
上腕骨頭	1 件
上腕観血的整復固定術	26 件
前腕	71 件
手指	48 件
鎖骨	8 件
関節	27 件
人工関節置換術	23 件
股関節	11 件
膝関節	11 件
肩関節	1 件
膝関節鏡	2 件
膝靭帯再建	1 件
授動術	1 件
手外科・足外科	131 件
腱損傷、神経損傷、血管損傷、靭帯断裂、皮弁など	35 件
肘部管症候群、手根管症候群	41 件
腱鞘切開	31 件
ばね指	29 件
ドケルバン	2 件
関節固定	6 件
四肢切断	10 件
アキレス腱断裂	4 件
リンパ管静脈吻合	2 件
手関節形成	2 件

外反母趾	1件
脊椎	4件
頸椎	2件
胸椎	1件
腰椎	1件
骨軟部腫瘍	23件
軟部腫瘍	19件
骨腫瘍	4件
その他	121件
骨内異物除去術	82件
感染洗浄	18件
創傷処理	10件
脱臼整復（観血もしくは徒手）	6件
異物摘出	5件

【取り組みや今後の展望、その他一言】

多岐にわたる整形外科疾患に対して、良質な治療をできるように日々研鑽努力していきたいと思っております。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：林 未統 補職名：部長 専門領域：手外科 四肢外傷 マイクロサージャリー	日本整形外科学会 / 専門医 日本手外科学会 / 専門医 中部日本整形外科学会災害外科学会（評議員） 身体障害者福祉法第15条指定医師（肢体） 医学博士
氏名：木岡 雅彦 補職名：医長 専門領域：整形外科一般 脊椎外科	日本整形外科学会 / 専門医 （同上） / 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医 （同上） / 日本整形外科学会認定スポーツ医 身体障害者福祉法第15条指定医師（肢体）
氏名：峰 巨 補職名：医長 専門領域：整形外科一般 関節外科	日本整形外科学会 / 日本整形外科学会認定リウマチ医 （同上） / 日本整形外科学会認定リハビリテーション医 日本専門医機構認定整形外科専門医 身体障害者福祉法第15条指定医師（肢体）
氏名：神藤 一紀 専門領域：整形外科一般	日本整形外科学会 / 専門医
氏名：山川 量平 専門領域：整形外科一般	
氏名：西岡 修平 専門領域：整形外科一般	

業績

発表

No	発表月	学会名	演題	発表者	共同発表者	開催都市
1	平成30年7月	第44回骨折治療学会	大腿骨第三転子は半損ピンロックと干渉し得る	峰 巨	西岡 修平、神藤 一紀、木岡 雅彦、林 未統	岡山市
2	平成30年10月	第45回日本股関節学会	人工骨頭置換術後の地域包括ケア病棟の利用状況について	峰 巨	西岡 修平、神藤 一紀、木岡 雅彦、林 未統	名古屋市
3	平成31年2月	第49回日本人工関節学会	セメント手技において working time を確保するためには手術用グロブの選択が重要である	峰 巨	宮崎 展行、山川 量平、神藤 一紀、木岡 雅彦、林 未統	東京都

論文・雑誌掲載

No	採択月	雑誌名	タイトル	著者	共著者	年号 Vol(ページ)
1	平成30年8月	Hip Joint	大腿骨人工骨頭置換術の術前に金属アレルギーの既往に対し金属パッチテストを施行した関節リウマチ患者の1例	峰 巨	神藤 一紀、宮崎 展行	44巻2号 861-863

産婦人科

【概要】

(1) 婦人科の特徴

子宮体がん、子宮頸がん、卵巣がんなどの悪性腫瘍は、手術、放射線療法、化学療法を組み合わせた集学的な治療を行っています。子宮体がん、卵巣がんでは傍大動脈リンパ節郭清術を積極的に行い完全な腫瘍の摘出を目指しています。子宮頸がんは、子宮頸部円錐切除から広汎性子宮全摘術までガイドラインに従って手術を行っています。Ⅲb期以上の子宮頸がんは、化学療法同時併用放射線療法を行っています。子宮筋腫は、薬物療法にて月経困難症や月経過多症などの症状の軽減を図りますが、このような保存的な治療に効果がないときは手術を行います。手術には従来から行われてきた腔式手術や腹式手術だけでなく、内視鏡手術（腹腔鏡、子宮鏡）も行っています。特に子宮鏡下手術は、1～2日間の入院で済み、退院翌日より職場復帰が可能であるため適応のある子宮筋腫には積極的に行っています。良性卵巣腫瘍は、原則的に腹腔鏡下手術を行います。

子宮脱や膀胱瘤は、骨盤支持装置が障害され発生する疾患で排尿障害や排便障害、外陰部不快感などQOLが大きく損なわれる疾患です。当科では膀胱瘤、子宮下垂に対しては経膈メッシュ手術、子宮脱に対しては腔式子宮全摘術+膈断端仙骨子宮靱帯固定術、膈閉鎖術を行っています。

(2) 産科の特徴

当院では安全で快適な分娩を目指しています。妊娠、分娩、育児に対する不安をできるだけ小さくして安心して出産を迎えられるように助産師が指導させていただきます。どのようなお産をしたいか希望を伺い、妊婦自身が積極的に出産に臨めるようにしています。最近では従来の分娩台で仰向けになり分娩することは少なくなり、側臥位や四つん這いなど産婦が楽な姿勢での分娩（フリースタイル）を行い、満足度の高い分娩を目指しています。分娩後は、母児の早期接触を行い、その後の母児同室により自宅での哺育が順調に行えるように指導しています。その結果、たくさんの症例が母乳栄養で哺育できるようになっています。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 346名

入院 224名

分娩数	203件
主要手術件数	224件
婦人科悪性腫瘍手術	34例
子宮悪性腫瘍手術	12例
卵巣悪性腫瘍手術	1例
子宮頸部円錐切除	21例
婦人科良性腫瘍手術	52例
子宮全摘術	37例
腹式	28例
腔式	9例
子宮筋腫核出術	11例
付属器切除術	4例
鏡視下手術	87例
腹腔鏡下手術	34例
子宮鏡下手術	53例
子宮鏡下子宮筋腫摘出術	15例
性器脱手術	20例
TVM	9例
帝王切開	31例
帝王切開率	13.7%

【今後の展望】

和歌山県、特に伊都橋本地区の子宮がん検診の低い受診率が問題になっています。子宮頸がんワクチン普及が思うように進まない中、新規子宮がん検診受診者の増加がより一層望まれます。子宮がん検診の啓蒙活動を行い、新規がん検診受診者、特に若い世代の増加に努めていきたいと思えます。早期の病変で発見し小さな手術で治療できる症例を増やしていきたいと思えます。

当院は和歌山県で最初にメッシュを使用した性器脱手術を導入し良好な成績を取っています。和歌山県でこの手術を行っている産婦人科施設はまだありません。メッシュ手術の有用性と問題点を機会ある毎に説明し、和歌山県下にメッシュ手術を広めていきたいと考えています。

産科は、助産師の専門性を活用して和歌山県下では数少ない助産外来を開設し、医師と助産師が協力して妊娠、分娩、産褥管理を行うとともに育児相談にも重点を置いて対応しています。行政、保健所などと協力して妊娠から育児まで切れ目のない支援を目指しています。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>ふるかわ けんいち</small> 古川 健一 補職名：院長代理 診療技術部長 部長 専門領域：生殖内分泌 不妊症 婦人科腫瘍学 周産期医学	日本産婦人科学会 / 専門医、指導医 母体保護法指定医師 医学博士
氏名： <small>いけしま みわ</small> 池島 美和 補職名：医長 専門領域：産婦人科	日本産婦人科学会 / 専門医 母体保護法指定医師
氏名： <small>ほりうち ゆうこ</small> 堀内 優子 補職名：副医長 専門領域：産婦人科	日本産婦人科学会 / 専門医 医学博士
氏名： <small>ひらやま じゅんや</small> 平山 純也 専門領域：産婦人科	

業績

発表

No	発表月	学会名	演題	発表者	共同発表者	開催都市
1	平成30年4月	和歌山県医師会母体保護法指定医師研修会	平成29年度近産婦医療安全部会報告	古川 健一		和歌山市
2	平成30年5月	第64回和歌山県産婦人科医会学術集会	性器脱手術における tension-free vaginal mesh (TVM) 手術と VT+Shull 手術の比較検討	古川 健一	平山 純也、堀内 優子、池島 美和	和歌山市
3	平成30年7月	第15回和歌山県母性衛生学会	当院での EPDS の評価と対応	池島 美和	平山 純也、堀内 優子、古川 健一	和歌山市
4	平成30年7月	第15回和歌山県母性衛生学会	社会的支援の必要な妊婦のピックアップと地域連携の必要性	堀内 優子		和歌山市
5	平成30年11月	第94回日本消化器内視鏡学会学術集会 <JDDW2018 >	抗血栓療法患者における消化管出血の現状と危険因子について	寒川 浩道		神戸市

論文・雑誌掲載

No	採択月	雑誌名	タイトル	著者	共著者	年号 Vol(ページ)
1	平成30年4月	Case Reports in Obstetrics and Gynecology	Postpartum Methicillin-Resistant Staphylococcus aureus Toxic Shock Syndrome Cased by a Perineal Infection.	Yoko Deguchi	Yuko Horiuchi, Kensaku Shojima, Naoyuki Iwahashi, Miwa Ikejima, Kazuhiko Ino and Kenichi Furukawa	2018, 4, ID2670179

眼科

【概要】

平成8年度の眼科常勤化以降、平成15年度・平成16年度のみ常勤医2名体制であったほかは常勤医は1名体制でしたが、平成21年10月に廣瀬順一医師が赴任し、現在、常勤医2名体制で診療にあたっています。

眼科手術は主に白内障手術を行っていますが、近隣で手術を行っている施設が少ないため、年々手術件数が増加しています。近隣の診療所の先生方にご協力いただき、周術期は当院で、術後の経過観察については診療所という連携を推進しています。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 45.2名

入院 3.2名

手術件数（平成30年度） 計 637件

（内訳）

白内障手術	621件
その他の手術	16件

【取り組みや今後の展望、その他一言】

常勤医2名体制となったことにより、手術件数を増加させることができるようになり、手術待ちの期間を短縮させることができました。今後も、地域の先生方とより一層の連携をとり、可能な限り手術件数を増加させて手術待ちの期間をさらに短縮させたいと思います。

今後、白内障以外の手術加療が可能となるように、引き続き常勤医の増員を希望しています。

診療内容

眼科診療全般を取り扱っておりますが、網膜剥離および硝子体手術を要する網膜症・硝子体出血等については当院での手術ができませんので、他施設への紹介とさせていただきます。また、硝子体内注射治療については現在のところ取り扱っていません。

スムーズな受診と外来待ち時間短縮のため、当科を初めて受診される方は、紹介状をお持ちいただくようお願いしています。

検査・処置・手術

特に白内障手術については症例数が多くなっております。

白内障手術では、片眼の手術では日帰り入院（月曜日または水曜日午後手術）または2泊3日入院（水曜日午前入院・同日午後手術）で行っています。両眼の手術を希望される方は、日帰り入院での手術の場合は1週間あけての手術、入院での手術を希望の方は4泊5日入院の間に両眼の手術を行います。ご紹介いただいた初回の診察時に手術日程についてご相談させていただき、日程を確定しています。

白内障手術の際に挿入する眼内レンズについては、現在のところ、乱視矯正眼内レンズ、多焦点眼内レンズのお取り扱いはしていません。

主な医療機器

(主な検査機器)

細隙灯顕微鏡、無散瞳眼底カメラ、蛍光造影眼底カメラ、自発蛍光眼底カメラ、各種眼圧計、光干渉式眼軸長測定装置、Aモードエコー、Bモードエコー、スペキュラーマイクロスコープ、ゴールドマン視野計、ハンフリー自動視野計、中心フリッカー測定器、ERG、Hess スクリーン検査、OCT

(アノマロスコープ、角膜形状解析、ICG 眼底造影などは他施設紹介となります)

(主な手術装置)

超音波白内障手術装置、マルチカラーレーザー手術装置、YAG レーザー手術装置

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>きん けいしゅ</small> 金 桂洙 補職名：部長 診療情報部長 専門領域：眼科一般 白内障	
氏名： <small>ひろせ じゅんいち</small> 廣瀬 順一 補職名：医長 専門領域：眼科一般 白内障	日本眼科学会 / 専門医

業績

発表

No	発表月	学会名	演題	発表者	共同発表者	開催都市
1	平成30年6月	第20回日本医療マネジメント学会	患者サービス向上の取り組み	金 桂洙		札幌市

講演 (院内も含む)

No	講演月	会名	演題	講演者	開催都市
1	平成31年3月	院内医療安全研修	他業種から学ぶ医療安全	金 桂洙	橋本市

歯科口腔外科

【概要】

(1) 科の紹介（特徴）・取り組み等

平成31年4月から、常勤医2名（和歌山医科大学・口腔外科学教室）、歯科衛生士3名、歯科技工士1名、火曜日のみ非常勤医+1名（隔週）で診療を行います。

地域の歯科医師会ならびに医師会と病診連携をとりながら、病院歯科口腔外科としての特徴を最大限に活かして外来診療・入院治療を行えるよう取り組んでおります。

なお、平成25年10月より日本口腔外科学会准研修施設の認定を受けています。

(2) 診察内容

口腔外科として診療対象は一般の歯科医院では対応困難な埋伏歯や顎口腔領域の炎症、顎骨の骨折や歯の脱臼などの外傷、嚢胞、腫瘍、顎変形症、先天異常、口腔粘膜疾患、唾液腺疾患と多岐にわたります。また、ウイルス感染症による口内炎や神経性疾患などの口腔内科的な診断・診療も範疇となります。多様な基礎疾患をもつ患者様に対しても、各科と協力しながら身体機能の早期回復を目指して治療に取り組んでおり、睡眠時無呼吸症候群の治療の一環として口腔内装具の作成なども行っています。

また病院歯科として口腔機能の維持・改善を行うことにより早期の経口摂取の開始、誤嚥性肺炎の防止などにつとめ、1日も早い回復を目指した口腔ケアにも積極的に取り組んでいます。近年、オーラルマネージメントの重要性が取り上げられており、当院でも栄養サポートチーム（NST）、呼吸サポートチーム（RST）、摂食嚥下リハビリチーム、緩和ケアサポートチームに参加しております。また糖尿病の教育入院の一環として口腔衛生指導にも取り組んでいます。

なお、地域の歯科医師会との病診連携を明確にしているため、循環器疾患や脳血管障害、糖尿病などの有病者の方の抜歯などは当科で担当し、その後の一般歯科治療は紹介元の歯科医院に逆紹介させていただいています。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 22.3名

入院 3.0名

外来初診件数 1,850件

外傷（骨折：25件、歯の外傷35件、軟組織創傷91件）

炎症（膿瘍48件、顎骨炎61件、上顎洞炎25件、インプラント周囲炎6件）

睡眠時無呼吸症候群1件

口腔粘膜疾患（口腔乾燥症122件、白板症6件、扁平苔癬10件、

ウイルス性疾患5件、その他の口腔粘膜疾患230件）

嚢胞（歯源性嚢胞50件、非歯源性嚢胞1件、軟組織嚢胞18件）

良性腫瘍および腫瘍類似疾患（歯源性腫瘍1件、非歯源性腫瘍8件、腫瘍類似疾患24件）

歯科心身症25件

顎関節疾患（顎関節症195件、顎関節脱臼3件）

神経性疾患（神経痛1件、神経麻痺10件、その他の神経疾患16件）

唾液腺疾患（唾液腺炎17件、唾石症8件、唾液腺腫瘍4件）

悪性腫瘍（癌腫22件、その他1件）

歯（P/Perなど413件、Perico/埋伏歯/位置異常363件）

先天異常・発育異常6件

入院手術件数 99 件

- 歯・歯槽外科手術（智歯抜歯術 17 件、智歯以外の抜歯術 12 件、その他の手術 8 件）
- 消炎手術（膿瘍切開術 3 件、顎骨骨髓炎消炎手術 2 件、腐骨除去術 5 件）
- 良性腫瘍・嚢胞・腫瘤形成性疾患等の手術（顎骨腫瘍切除術 4 件、顎骨嚢胞摘出・開窓術 12 件）
- 唾液腺関連手術（唾石摘出術 1 件、顎下腺摘出術 2 件、唾液腺悪性腫瘍手術 1 件）
- 上顎洞関連手術（口腔上顎洞瘻閉鎖術 1 件）
- 顎顔面外傷手術 / 異物除去手術（下顎骨骨折手術 2 件、関節突起骨折手術 3 件、頬骨・頬骨弓骨折手術 4 件、顔面多発骨折手術 3 件、異物除去術 1 件、その他の手術 3 件）
- 癌 / 前癌病変関連手術（舌部分切除術 2 件、頬粘膜切除術 3 件、上顎部分切除術 2 件、下顎辺縁切除術 3 件、選択的頸部郭清術 1 件、その他の手術 2 件）
- 再建外科手術（局所皮弁再建術 1 件、有茎筋皮弁再建術 1 件）

【取り組みや今後の展望、その他一言】

高齢化社会による疾病構造の変化とともに有病者率は年々増加傾向にあります。それにあわせ抗凝固・抗血小板療法や免疫抑制剤の使用、ビスフォスフォネート製剤による顎骨壊死のリスクなど、歯科治療に際して注意を要する対象も増加しています。今後は更に安心・安全な医療の提供が求められるようになり、悪性腫瘍の手術や放射線・化学療法における周術期の口腔ケアなど、病院歯科としての口腔外科のニーズはますます高まってきています。また、地域における中核病院の歯科口腔外科として、医科・歯科の病診連携がよりスムーズになるように頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：田中 章夫 補職名：部長 専門領域：口腔外科全般	日本口腔外科学会 / 専門医 日本小児口腔外科学会 / 認定医 日本口腔ケア学会 / 口腔ケア認定 4 級 AHA-BLS インストラクター

業績発表

No	発表月	学会名	演題	発表者	共同発表者	開催都市
1	平成 30 年 4 月	第 15 回日本口腔ケア学会総会・学術大会	当院における口腔ケアの実態調査	北河 寛子	田中 章夫、川畑 仁貴、青木 達也、近藤 史子、坂井 俊文、門林 千朱、片山 季也、植西 好美、和田 健	福岡市
2	平成 30 年 11 月	第 23 回和歌山栄養療法研究会	重度精神疾患合併食道癌の術後に発症した誤嚥性肺炎に対して積極的な栄養療法が奏功した 1 例	小代紗矢香	前垣内真由美、船野 真紀、坂井 俊文、高橋 佐智、藤本佐和子、青木 達也、田中 章夫、坂田 好史、前田 恒宏	和歌山市
3	平成 30 年 12 月	第 46 回和歌山悪性腫瘍研究会	2 経路注入による導入化学療法が奏功した口腔扁平上皮癌の 4 例	田中 章夫	和田 健、垣下 浩二、松田 芳和、宮本 政幸、森 恵一、新谷ゆかり、岡本健一朗、東條 格、藤田 茂之	和歌山市
4	平成 30 年 12 月	第 46 回和歌山悪性腫瘍研究会	口腔がんに対するネオアジュバント化学療法の病理組織学的効果についての検討	和田 健	田中 章夫、前倉 俊治、木村 雅友、宮本 政幸、新谷ゆかり、岡本健一朗、鈴木 滋、東條 格、藤田 茂之	和歌山市
5	平成 31 年 2 月	第 34 回日本静脈経腸栄養学会学術集会	高齢のため栄養管理に苦慮した顎顔面外傷患者の一例	田中 章夫	前田 恒宏、和田 健、青木 達也、川北 ひさ、前垣内真由美、高橋 佐智、藤本佐和子、東條 格、嶋田 浩介、藤田 茂之	東京
6	平成 31 年 2 月	第 34 回日本静脈経腸栄養学会学術集会	modified Glasgow Prognosis Score (mGPS) と小野寺の PNI は大腸癌に対する抗腫瘍化学療法の継続指標となる	前田 恒宏	田中 章夫、青木 達也、高橋 佐智、木村ナオ子、前垣内真由美、川北 ひさ、嶋田 浩介	東京
7	平成 31 年 2 月	第 34 回日本静脈経腸栄養学会学術集会	MNA-SF 判定の推移別による在院日数および死亡率の比較検討	高橋 佐智	川北 ひさ、前垣内真由美、木村ナオ子、青木 達也、田中 章夫、嶋田 浩介、前田 恒宏	東京

脳神経外科

【概要】

当科は一般外来および入院患者さんの診療に加え、伊都、橋本地域の頭部外傷、脳卒中に対して24時間体制で救急に対応しております。2018年度入院患者内脳卒中患者は半数近くに及び、年々増加しています。2018年4月より脳血管内治療専門医である、吉村 良先生を迎え、脳血管内治療センターをオープンし、積極的に脳卒中治療を行い、超急性脳梗塞には経静脈的血栓溶解療法(tPA 12例)に加え、急性期血栓機械的血栓捕捉術9例を行っております。

本年度より、tPA、急性期血行再開術の恩恵をより多くの患者さんにうけていただくよう、Code Stroke systemを整備し、救急隊からの連絡を直接聞き、早期に対応準備し、治療までのtimeをいかに短縮できるかを試みています。

今年度、LEICA社の顕微鏡システムを導入し、術中蛍光色素による脳血管撮影が可能となり、脳腫瘍手術では、腫瘍と正常脳との境界を明らかにする、蛍光色素をもちいた、臨床研究も行っています。

当科では県下で3施設でしか行えない「画像支援ナビゲーション手術」を行っています。この手術で使用されるMedtronic社製のニューロナビゲーターStealth Stationは、自動車の道案内に用いられる「カーナビ」のようなものです。病変部と周辺組織の立体的位置を正確に表示してくれるため、手術の際にどこを切開しどのように進めば安全に病変部まで到達できるのか、といったことが一目瞭然です。その結果、神経や血管を傷つけることなく安全に病変部を取り除くことができるようになり脳腫瘍の治療で成果をあげています。さらに、重要脳神経や重要機能を司る脳(手足の動き、言語)近傍脳腫瘍摘出時には神経モニタリングを併用し画像支援ナビゲーションと共に病変部を切除する精度を高めるだけでなく安全性の向上に努めています

また平成25年9月から和歌山県下では数少ない専門外来「物忘れ外来」(担当:大饗医師)を開設しております。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 39.3名

入院 25.7名

手術実績 141例

脳血管障害	
開頭ネッククリッピング術	5例
開頭血腫除去術	6例
定位的血腫吸引除去術	2例
脳動静脈奇形摘出術	0例
バイパス術	1例
脳室ドレナージ術	3例
外減圧術	3例
脳腫瘍	
開頭脳腫瘍摘出術	10例
経蝶形骨洞下垂体腫瘍摘出術	0例
生検術	0例
外傷	
開頭血腫除去術	2例
頭蓋形成術	8例
慢性硬膜下血腫穿頭洗浄術	36例
水頭症	
脳室腹腔シャント術	3例
腰椎くも膜下腔腹腔シャント術	0例
その他	3例
血管内手術	
脳動脈瘤コイル塞栓術	16例

頰動脈ステント留置術	13例
鎖骨下動脈ステント留置術	1例
頭蓋内血管拡張術	10例
急性期血栓捕捉術	9例
AVM塞栓術	0例
脳腫瘍栄養血管塞栓術	1例
鼻出血（動脈塞栓術）	5例
慢性硬膜下血腫（動脈塞栓術）	7例

【取り組みや今後の展望、その他一言】

新しい手術技術の導入を行い、新規患者の獲得
地域社会への啓蒙活動の強化

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： ^{かきた こうじ} 垣下 浩二 補職名：筆頭部長 専門領域：脳腫瘍 脳卒中の外科治療 神経機能の外科治療	日本脳神経外科学会 / 専門医、指導医 日本脳卒中学会 / 専門医 日本定位・機能神経外科学会 / 機能的定位脳手術技術認定医 日本頭痛学会 / 認定頭痛専門医
氏名： ^{おおい よしひろ} 大饗 義仁 補職名：部長 専門領域：脳腫瘍の外科治療	日本脳神経外科学会 / 専門医 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 / 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
氏名： ^{よしむら りょう} 吉村 良 補職名：医長 専門領域：脳卒中 脳血管内治療 災害医療	日本脳神経外科学会 / 専門医、指導医 日本脳神経血管内治療学会 / 専門医 日本脳卒中学会 / 専門医 社会医学系指導医（社会医学系専門医協会） 日本DMAT隊員（総括DMAT） ISLS（脳卒中初期診療コース）コーディネーター JATEC（外傷初期診療コース）インストラクター 日本DMATインストラクター MCLS（多数傷病者初期診療コース）世話人 ADLS/BDLS（アメリカ災害医学コース）インストラクター

業績 発表

No	発表月	学会名	演題	発表者	共同発表者	開催都市
1	平成30年5月	Baylake 脳血管内治療手術法 workshop	治療に課題を残した超高齢者 PICA-involved 破裂動脈瘤の一例	吉村 良		大阪市
2	平成30年6月	第2回日本脳神経外科認知症学会	レビー小体型認知症の早期診断における DAT SPECT の役割	大饗 義仁	吉村 良、垣下 浩二	東京
3	平成30年7月	順天堂大学 center of excellence	脳動脈瘤の2例	吉村 良		東京
4	平成30年10月	第76回日本脳神経外科学会総会	心房細動合併脳内出血例の抗凝固療法至適再開時期について	垣下 浩二	吉村 良、大饗 義仁	仙台市
5	平成30年11月	第46回日本頭痛学会総会	前庭性片頭痛から、RCVSを伴う群発頭痛移行例に塩酸ロメリジンが著効した1例	垣下 浩二	吉村 良、大饗 義仁	神戸市
6	平成30年11月	The first Shaolin international neurosurgical conference and central China cerebrovascular disease forum	Endovascular treatment for cerebral aneurysms	Ryo Yoshimura		Zhengzhou, China
7	平成30年11月	第29回和歌山脳・神経画像研究会	特発性正常圧水頭症にレビー小体型認知症を合併した症例の検討	大饗 義仁	吉村 良、垣下 浩二	和歌山市
8	平成31年1月	CVD Winter Seminar	Basic strategy for Carotid Artery Stenting	Ryo Yoshimura		Nagoya, Japan
9	平成31年1月	CVD Winter Seminar	2D perfusion color mapping can predict hyperperfusion syndrome	Ryo Yoshimura		Nagoya, Japan
10	平成31年2月	第24回日本脳神経外科救急学会	脳血管内治療医1名から始める急性期脳梗塞チーム医療	吉村 良	大饗 義仁、垣下 浩二、山本奈保美、嶋田美由紀、池田 景子、世良 佳奈、中井 一光、宮田 政明、西井 千裕、福塚 咲	大阪市
11	平成31年3月	第44回日本脳卒中学会総会	当院における抗血栓療法中脳内出血例の特徴と再開時期について	垣下 浩二	吉村 良、大饗 義仁	横浜市
12	平成31年3月	第44回日本脳卒中学会学術総会	脳血管内治療医1名から始める急性期脳梗塞チーム医療	吉村 良	大饗 義仁、垣下 浩二、山本奈保美、嶋田美由紀、池田 景子、世良 佳奈、中井 一光、宮田 政明、西井 千裕、福塚 咲	横浜市
13	平成31年3月	第44回日本脳卒中学会総会	ダビガトランを含む抗血栓剤3剤内服中に、止血困難な鼻出血に対し、イダルシズマブの投与をおこなった症例	大饗 義仁	吉村 良、垣下 浩二	横浜市

講演 (院内も含む)

No	講演月	会名	演題	講演者	開催都市
9	平成30年4月	ペーリンガーインゲルハイム 社内勉強会	抗血栓療法中の脳内出血	垣下 浩二	和歌山市
1	平成30年6月	バイエル社内講演会	脳神経外科医からみた心原性脳塞栓症の現状と展望	吉村 良	橋本市
2	平成30年7月	診療懇話会	脳卒中 最近の話題と当院の取り組み	吉村 良	橋本市
3	平成30年8月	平成30年度橋本市市民病院健康セミナー	認知症の予防と対応策について	大饗 義仁	橋本市
10	平成30年8月	平成30年度 紀北地方栄養士等研修会	嚥下障害への取り組みと地域連携～県内の嚥下調整食の共通理解を目指して～	大饗 義仁	岩出市
4	平成30年8月	認知症セミナー	認知症を伴うパーキンソン病について	大饗 義仁	橋本市
5	平成30年9月	伊都薬剤師会研修会	パーキンソン病の病態と治療	垣下 浩二	橋本市
6	平成30年9月	第23回日本脳腫瘍の外科学会	もし家族が認知症になったら～認知症の方への対処法～	大饗 義仁	和歌山市
7	平成30年9月	平成30年度橋本市市民病院健康セミナー	認知症の予防と対応策について	大饗 義仁	高野口
8	平成30年9月	第10回関西脳神経外科認知症研究会	脳神経外科によるBPSDの対応～BPSDによる抗認知症薬の使い分け～	大饗 義仁	大阪市
9	平成30年10月	第2回みんなの健康フェア	もしかして家族が認知症!? ～予防・症状・寄り添うために～	大饗 義仁	和歌山市
10	平成30年12月	富田林医師会学術講演会	認知症診療における医療機関の役割 ～診断治療から地域連携～	大饗 義仁	富田林市
11	平成30年12月	ISLS 研究会	急性期脳梗塞の治療と当院の取り組み	吉村 良	和歌山市
12	平成31年1月	かかりつけ医のための認知症とてんかんセミナー in 紀南	認知症とまざらわしい高齢者てんかん	大饗 義仁	田辺市
13	平成31年1月	ペーリンガー社内講演会	脳神経外科医からみた心原性脳塞栓症の現状と展望	吉村 良	和歌山市
14	平成31年1月	貝塚市医療講演会	脳の病気のお話—あなたの脳を守るために—	吉村 良	貝塚市
15	平成31年2月	桑名病院特別講演会	1人から始めるチーム医療	吉村 良	新潟市
16	平成31年2月	和歌山脳血管内治療研究会	細かすぎて伝わらない脳血管内治療 TIPS	吉村 良	みなべ町
17	平成31年2月	和歌山脳血管内治療デバイスセミナー	知っていても役に立たないデバイスの知識—コイル編—	吉村 良	和歌山市
18	平成31年3月	第3回みんなの健康フェア	認知症の正しい知識 ～認知症になっても住み良い街づくり～	大饗 義仁	和歌山市

泌尿器科

【概要】

これまで行ってきた上部尿路結石に対する細径尿管鏡を用いた経尿道的手術（TUL）、前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺レーザー核出術（HoLEP）や膀胱がんに対する経尿道的膀胱腫瘍切除術（TUR - Bt）、女性泌尿器科疾患に対する手術も安定して行っています。加えて、上部尿路がん（腎盂がんや尿管がん）や腎がんなどの泌尿器科悪性腫瘍に対する腹腔鏡手術も積極的に実施するようになり、別記の通り一定の症例数を重ね、安定した手術成績を示しております。平成 29 年 1 月に腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術の施設認定を獲得し、限局性前立腺がんに対する腹腔鏡下手術も継続実施しております。平成 30 年 1 月からは難治性の過活動膀胱に対する仙骨神経刺激療法（SNM）についても施設認定を受けました。

平成 30 年 4 月より上野駿先生が赴任され、3 人体制となりました。

これまでどおり、患者さんの生活の質（QOL）を重視しつつ診療に取り組みたいと考えております。

●診療内容

次のような泌尿器科疾患を対象としています。

- ① 泌尿器科悪性腫瘍（腎がん、腎盂がん、尿管がん、膀胱がん、前立腺がん、精巣腫瘍など）
- ② 排尿障害（前立腺肥大症、神経因性膀胱など）
- ③ 尿路結石（膀胱結石、腎結石、尿管結石など）
- ④ 尿路性器感染症（膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎、性感染症など）
- ⑤ 小児泌尿器科（停留精巣、包茎など）
- ⑥ 性機能障害（ED、男性更年期など）
- ⑦ 女性泌尿器科（尿失禁、性器脱など）

【診療実績】

1 日平均患者数

外来 61.3 名

入院 9.1 名

手術日は火曜日、木曜日、金曜日の午後です。主に火曜日に全身麻酔手術を予定しております。手術実績に関しては 1 月から 12 月のものを掲載いたします。

手術名	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
副腎摘除術（鏡視下）	0	1 (1)	3 (3)	3 (3)
根治的腎摘除術（鏡視下）	1	2 (2)	2 (2)	1 (1)
単純腎摘除術	0	0	0	1
腎部分切除術	0	0	0	1 (1)
腎尿管全摘膀胱部分切除術（鏡視下）	0	5 (5)	7 (7)	5 (5)
経尿道的尿管碎石術（TUL）	78	65	78	72
腹腔鏡下腎盂形成術	0	0	1 (1)	3 (2)
膀胱全摘除術（開腹）	0	1	2	2
回腸（結腸）導管造設術	0	1	2	1
経尿道的膀胱腫瘍切除術	37	43	50	49
尿失禁手術（TVT、TOT）	1	4	7	9
高位精巣摘出術	0	2	4	3
経尿道的前立腺レーザー核出術	39	45	41	83
前立腺全摘除術（鏡視下）	0	10	9 (7)	6 (6)
膀胱碎石術	10	11	7	12
陰嚢内小手術	7	7	9	7
その他手術	13	15	5	6
合計	166	212	227	264

() 内破腹腔鏡下手術件：全件数（腹腔鏡下手術件数）

【取り組みや今後の展望、その他一言】

常に患者さんに寄り添い、生活の質をできる限り損なわないできるだけ低侵襲な治療を考えながら診療を進めていきたいと考えております。地域医療に少しでも貢献できるよう努力いたします。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： ^{いながき たけし} 稲垣 武 補職名：筆頭部長 専門領域：泌尿器科全般 悪性腫瘍 腹腔鏡手術	日本泌尿器科学会 / 専門医、指導医 日本泌尿器科内視鏡学会 / 泌尿器腹腔鏡技術認定医
氏名： ^{ひらばやし やすを} 平林 康男 補職名：部長 専門領域：泌尿器一般 尿路結石 尿失禁 前立腺肥大症 下部尿路機能	日本泌尿器科学会 / 専門医、指導医 日本性感染症学会 / 認定医 医学博士
氏名： ^{うえの しゅん} 上野 駿 専門領域：泌尿器一般	

業績 発表

No	発表月	学会名	演題	発表者	共同発表者	開催都市
1	平成30年4月	第106回日本泌尿器科学会総会	前立腺肥大症に対するホルミウムレーザー前立腺核出術(Holep)後、前立腺癌と診断された患者の検討	稲垣 武	川端 大輝、上野 駿、平林 康男	京都市
2	平成30年10月	第68回日本泌尿器科学会中部総会	右尿管結石を合併した下大静脈後尿管に対して、腹腔鏡下尿管形成術および切石術を施行した1例	川端 大輝	上野 駿、平林 康男、稲垣 武	名古屋市
3	平成30年11月	第32回日本泌尿器内視鏡学会	峡部離断術と腎盂形成術を施行した馬蹄腎の1例	上野 駿	川端 大輝、平林 康男、柑本 康夫、稲垣 武	仙台市

講演 (院内も含む)

No	講演月	会名	演題	講演者	開催都市
1	平成30年8月	Wakamyama Urology Conference	ゾレドロン酸長期投与中に両側大腿骨非定型骨折をきたした1例	上野 駿	和歌山市

放射線科

【概要】

スタッフは、平成16年10月に当院で放射線科開設以来、一人体制（放射線科専門医）で画像診断、アンギオ撮影、TAE、動注などのIVR、放射線治療などを行っています。

画像診断は、X線、CT、MRI、RI、血管造影検査などによって、得られた画像を読影して、病気の診断をします。血管造影では、診断だけでなく、肺、肝、膀胱、子宮などの臓器に対して、塞栓術（ジェルパート、コイルなど）、抗がん剤の動注、リザーバー留置、なども行っています。

放射線治療は、新病院移転に伴い、平成17年1月より稼動し、平成18年は70名、その後徐々に治療患者数が増加し、21年に当院では初めて100件を超え、8年連続で100件を越えていましたが、今年は超えませんでした（放射線治療患者数の計算は1月～12月で計算）。

部位は、頭部、肺、肝、子宮、前立腺など多岐にわたっています。CTシミュレーターのため、照射部位がしぼられ、周囲の照射による副作用を軽減でき、しいては、照射線量を増加させることができます。例えば、前立腺は透視シミュレーターの場合は約60Gyであるが、当院では、72Gyまで照射しています。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 9.6名

入院 1名

画像診断（CT、MRI、RI等）	約6,800件
検診の画像診断（胸部単純、胃透視）	約2,700件
アンギオ	10件
放射線治療	90件

【取り組みや今後の展望、その他一言】

放射線治療、アンギオ治療はがん診療連携拠点病院には欠かせない治療です。末期治療、疼痛緩和治療としても放射線治療は必要です。一昨年度より前立腺がんの治療薬であるゾーフィゴが当院でも使用可能になりました。これは、核医学製剤としては2番目の治療薬であり、骨転移のある患者さんに対して効果が期待出来ます。一ヶ月に一回を6度、6ヶ月かかります。患者さんの疼痛緩和、QOLの意味からも有用な薬剤となることが期待されています。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>つのい かずゆき</small> 角井 一之 補職名：部長 専門領域：放射線科	日本医学放射線学会 / 専門医

乳腺・呼吸器外科

【概要】

■診療体制について

乳腺呼吸器外科は平成 18 年 6 月に開設されました。平成 24 年度 4 月より呼吸器外科専門医が常勤し、乳腺疾患のみならず肺がんをはじめとする呼吸器外科疾患の診療も積極的に行っています。また平成 24 年度 10 月より医師増員により常勤医 2 名となり充実した診療体制で乳腺、呼吸器疾患の診療を行っております。

■診療について

乳腺領域では乳がんの治療を中心に診療を行っています。

日本における乳がんの罹患数は年間 7 万人を超え、女性のがんの中では最も頻度が高くなっています。年齢別に見ると、30 歳後半から徐々に増加し、40 代後半および 60 代前半にピークがあり、その後徐々に減少していく傾向があります。

早期発見・早期治療を目的に、自覚症状の無い場合は 40 歳以上の女性を対象に 2 年に 1 度、乳がん検診を受けることが推奨されています（市町村または職域の対策型検診）自己検診でしこりや分泌物など自覚症状がある場合は検診を待たずに診察を受けることをお勧めします。

乳がん診療ではマンモグラフィや超音波で画像評価を行い、必要に応じて細胞診や組織診を行います。乳がんと確定した場合、乳房造影 MRI を用いたがんの広がり診断や、組織検査による予後予測診断等を組み合わせ治療方針を決定します。

乳がんの治療では手術・放射線治療・薬物治療を組み合わせることで根治率を高めることができます。同じ乳がんでも、進行度、がんの性質、患者さんの身体状況等により個々で治療内容が異なります。患者さんに十分病状を説明し、理解していただき、適した治療方針を相談した上で決定し、個別に最善の治療が提供できるように心がけています。

呼吸器外科領域では肺がん、気胸、縦隔腫瘍を中心に診療を行っています。こちらも乳腺同様に画像・気管支鏡検査による検査から手術・化学療法・放射線療法まで一貫した診療を行います。手術は胸腔鏡を用いた完全鏡視下もしくはハイブリッド手術による低侵襲手術を主に行います。気胸はほぼ全例完全鏡視下手術を行い、若年層の特発性気胸手術では手術翌々日退院が普通です。肺がん手術は主に鏡視下ハイブリッド手術で、最小 6 cm と 2 cm の 2 カ所の創部から肺葉切除を行います。開胸器を用いないため創部痛が少ない特徴があります。

近年の肺癌治療の進歩は著しく、化学療法の進歩に加え、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬が登場し、病期と組織学的診断に基づいて最も適した治療法を選択する時代となっています。当科ではさらに個々の症例の事情に応じて手術も含めたテーラーメイドの治療計画を立て、看護部、薬剤部、リハビリテーション科を含めた多職種との協働によりきめ細かいケアができるよう心がけています。入院治療においても「がんリハビリ」を積極的に行い患者の ADL 改善を大切に考えています。

【診療実績】

1 日平均患者数

外来 11.6 名

入院 9.7 名

平成 30 年度手術実績（内訳）

【手術統計】

手術症例（2018 4/1～2019/3/31）	計 61 例	70 件
(1) 胸部の手術……………	33 例	術式……………33 件
原発性肺癌……………	18 例	葉切除（小開胸＋VATS）…12 例
		（スリーブ・ウェッジ葉切除…0 例）
		全摘除……………0 例
		区域切除……………1 例

転移性肺腫瘍…………… 9 例	部分切除 (VATS)…………… 5 例
	VATS 肺部分切除…………… 8 例
	VATS 腫瘍核出…………… 1 例
MALT リンパ腫 …… 1 例	VATS 肺部分切除…………… 1 例
気胸…………… 3 例	VATS ブラ切除…………… 3 例
縦隔腫瘍…………… 1 例	VATS 摘出術…………… 1 例
胸膜腫瘍…………… 1 例	VATS 摘出術…………… 1 例
(2) 乳腺の手術…………… 19 例	術 式……………28 件
原発乳癌…………… 15 例	乳腺部分切除…………… 6 例
	乳腺全摘 / 乳房切除…………… 5 例
	乳腺全摘 + 再建…………… 2 例
	乳腺部分切除 + 再建…………… 1 例
腋窩手技	センチネルリンパ節生検 …… 7 例
	腋窩郭清…………… 3 例
再発乳癌…………… 2 例	乳房切除・腋窩郭清…………… 1 例
	乳房切除…………… 1 例
良性乳腺腫瘍…………… 2 例	摘出術…………… 2 例
(3) その他の手術…………… 9 例	
CV ポート挿入…………… 2 例	
腫瘍摘出…………… 2 例	
リンパ節生検…………… 3 例	
気管切開…………… 1 例	
気管ステント留置… 1 例	

【取り組みや今後の展望、その他一言】

このたび、人員の不足から平成 30 年度末をもって常勤医が不在となります。これまでのように入院診療を行うことができなくなりますが、乳腺外来は今しばらく、呼吸器外科外来は当座、外来診療を続けて参ります。入院治療が必要な場合には総合内科をはじめ他の診療科に協力を依頼しております。専門的な治療が必要な場合にも、近隣施設と協力して診療を行い、近隣住民のみなさまに大きな不便をおかけするこの無いように努力して参ります。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： ^{ひらい いっせい} 平井 一成 補職名：副院長 部長 専門領域：呼吸器外科	日本外科学会 / 専門医 日本乳癌学会 / 乳腺認定医 インフェクションコントロールドクター（ICD 制度協議会） 検診マンモグラフィ読影認定医（日本乳がん検診精度管理中央機構）
氏名： ^{ないとう こま} 内藤 古真 補職名：医長 専門領域：乳腺外科	日本外科学会 / 専門医 日本乳癌学会 / 乳腺専門医 がん治療認定医（日本がん治療認定医機構） 検診マンモグラフィ読影認定医（日本乳がん検診精度管理中央機構）

業績 発表

No	発表月	学会名	演題	発表者	共同発表者	開催都市
1	平成 30 年 5 月	第 26 回日本乳癌学会学術総会	乳房皮下にサルコイド反応を認め進行乳がんとの鑑別に苦慮した微小浸潤癌の一例	内藤 古真	平井 一成、玉置 剛司、岩橋 吉史	京都市

講演（院内も含む）

No	講演月	会名	演題	講演者	開催都市
1	平成 30 年 8 月	橋本市民病院地域医療ネットワーク会議	一般病院の呼吸器外科医から見た肺がん	平井 一成	橋本市
2	平成 30 年 10 月	地域医療連携勉強会	一般病院の呼吸器外科医から見た肺がん	平井 一成	橋本市
3	平成 30 年 10 月	地域医療連携勉強会	橋本市民病院での乳がん診療	内藤 古真	橋本市

麻酔科

【概要】

スタッフは常勤1名と非常勤が週4日各1名です。

麻酔科が担当する麻酔症例は全身麻酔が中心で、硬膜外麻酔、脊椎麻酔も行っています。当院は外科系診療科が多く、症例も一般的な手術は殆ど行っているため、麻酔症例の偏りはありません。

全身麻酔は、レミフェンタニルを併用した吸入麻酔、静脈麻酔で行っており、症例によっては硬膜外麻酔を併用しています。

【診療実績】

平成30年度の総手術件数は2507症例、そのうち麻酔科が管理した症例は879症例、全身麻酔症例は755症例です。

【取り組み・今後の展望・その他一言】

患者の高齢化、ハイリスク患者の増加、手術の複雑化に伴い、麻酔科の必要性はますます増加しています。また、日本医療機能評価認定や施設認定規準等にも麻酔科は必須項目になってきています。

今後とも、麻酔科の必要性が増し、その地位、待遇の改善が進むと見込まれます。

麻酔科関係の新しい薬剤や機器が日々開発され、麻酔の安全性は飛躍的に向上しています。麻酔の進歩に遅れることなく、それらの新しい薬剤、機器、知識を速やかに取り入れ麻酔の安全性の向上に努めていきます。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：西浦 徳裕 補職名：部長 専門領域：麻酔科領域全般	日本麻酔科学会 / 専門医

病理診断科

【概要】

地域中規模病院の病理診断科です。担当職員は病理常勤医1名、非常勤医2名、技師3名（うち細胞検査士は2名）です。来年度は、細胞診検査士3名体制を目指します。今年度、病理診断科をローテートした臨床研修医は4名です。若い先生方に研修に来て頂き、一般病院での病理医の役割を知って頂いたら幸いです。近い将来、病理診断はすべてAIが行うようになり、病理医は絶滅危惧種になるのでしょうか。しかし、病理学を学ぶことは医学者として research mind を持ち続けるための土台になると考えています。気楽に病理のローテート研修を選択して頂き、病理診断学、病理学、博物学の世界に触れて頂いたらよいかと考えます。

【診療実績】

組織件数： 2,688 件、 ブロック数： 7,738 個、 プレパラート枚数： 12,585 枚
細胞診件数： 5,841 件、 プレパラート枚数： 9,427 枚
免染枚数： 2,062 枚 特染枚数： 335 枚
迅速件数： 54 件、 迅速細胞診： 5 件 剖検件数： 2 件

- ・ 臨床との症例検討：適時
- ・ 外科－病理症例検討会（毎週金曜日 8 時 30 分より）85 症例
- ・ CPC1 回

平成 31 年 3 月 7 日 呼吸苦を主訴に来院し、肝酵素高度上昇と乳酸アシドーシスを認め、人口呼吸器での酸素改善なく亡くなった 50 歳代男性

臨床：研修医：西岡先生、病理：研修医：西上先生

- ・ 研修医の受け入れ

平成 30 年 12 月山下先生、平成 31 年 1 月渡辺先生、平成 31 年 2,3 月西上先生、平成 31 年 3 月福地先生

【取り組みや今後の展望、その他一言】

積極的に臨床・病理カンファレンスを実施する。

医療安全の立場を踏まえて、病理解剖を積極的に取り組む意識を持つ。

専門性の高い病理技師、細胞検査士の育成。

病理検査室の独立と大学病院ならびに周囲関連病院との積極的な病理連携。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>まえくら しゅんじ</small> 前倉 俊治 補職名：副院長 部長 専門領域：病理診断	日本病理学会 / 専門医 日本臨床細胞学会 / 細胞診専門医 日本臨床検査医学会 / 臨床検査管理医

皮膚科

【概要】

皮膚科は平成 21 年より常勤体制となり、現在も常勤医師 1 名、応援医師数名交代制で主に外来を中心に診療を行っています。周辺に皮膚科専門の開業医の数が少ないため、common skin diseases 中心ですが、原因究明のため血液検査や DLST 検査、金属パッチテストなどの貼付試験、皮内反応などを可能な限り行っています。病理組織学的検査により診断精度の上がることを期待できる症例に関しては、積極的に皮膚生検検査や外来で行える範囲での小切除も行っています。

平成 24 年 11 月より紫外線治療機器が導入となり、尋常性乾癬や菌状息肉症などの皮膚疾患に対して光線療法を行えるようになりました。

また、他科と連携し褥瘡をはじめ入院中の皮膚疾患に対しても積極的にかかわり治療に携わっています。入院加療が必要な場合（熱傷、帯状疱疹、薬疹など）は入院による加療も行っています。

【診療実績】

1 日平均患者数

外来 24.8 名

入院 0.2 名

【取り組みや今後の展望、その他一言】

皮膚科は基本的に外来中心の科ですが、できれば入院患者数の増加も目指していく予定です。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：服部 舞子 補職名：医長 専門領域：皮膚科一般	日本皮膚科学会 / 専門医

救急科

【概要】

平成 26 年 4 月より専従常勤医が配置され、救急科の運営がスタートしました。従来は各科が持ち回り担当していた時間内の救急患者を救急科で受け持ちしております。必要に応じて院内の各科専門医と連携し、引き継ぎや入院診療を円滑に行うようにしております。当院の位置付けとしては 2 次救急となっておりますが、実態として当科では 1 次から 3 次まで様々な疾患に対応し、初療の後に必要があれば高次医療機関への搬送を行っています。また、地域のメディカルコントローラーとして、消防とのホットラインを救急科にて所持しております。平成 29 年度より救急ワークステーションを設置し、週 1 回ではありますが、当市救急隊が常駐しております。

【診療実績】

救急車受入数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
救急者数	197	203	181	236	222	191	213	198	221	230	194	193	206.6

救急科受付患者数

(人)

	平・日	平・夜	休・日	休・夜	合計
患者数	2,433	2,719	3,104	2,060	10,316
うち入院	721	720	854	363	2,658

【取り組み・今後の展望・その他一言】

救急科だけの取り組みでなく、総合的に院内での活動を充実させていきます。たとえば院内 BLS、ACLS の推進や災害医療への参画、救急救命士の実習受入など、幅広く活動を行います。また週 1 回の当市救急隊が常駐しているワークステーション時には、今後必要に応じて医師が同乗し、現場で処置を行うことを行っていく予定です。当院は地域の中核病院とされ、質の高い医療が求められます。研修医の受け入れも行って、少しでも多種多様な症例を経験できるよう配慮しております。円滑な運営のために院内各科や地域医師会、また各消防と連携を図り、定期的な勉強会を開催し、顔の見える関係を築いていきます。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>くにたつ こうせい</small> 国立 晃成 専門領域：救急一般	日本救急医学会 / 専門医 日本外科学会 / 専門医

健診センター

【概要】

健診センターは平成18年4月からは常勤医1人体制で、週に3日間運営していましたが、平成20年4月からは名誉院長と2人体制となり毎日の健診が可能となり、現在は事務員6名とともに健診業務を行っています。

当健診センターでは、人間ドック（一日ドック、二日ドック等）、生活習慣病健診（協会けんぽ等）、がん検診（肺がん、胃がん、大腸がん等）、脳ドック、女性検診（乳がん検診、子宮がん検診等）、その他の健診（各企業の定期健診、雇用時や入学時の健診等）、さらには職員健診も含め、様々な健診業務を、診療各科や診療技術部の協力も得ながら実施しています。

また、平成20年度から特定健康診査、特定保健指導が義務付けられ、当健診センターでも当面は特定健康診査のみではありますが実施しています。

なお、平成23年7月からは禁煙治療のための禁煙外来が、2週間に1回ではありますが健診センター内に開設されています。

【診療実績】

平成30年度 健診センター実績（平成30年4月～平成31年3月）

健診受診者総数	4,080名
(内訳)	
人間ドック（一日、二日、生活習慣病健診）	1,196件
特定健康診査（国保、社保）	622件
がん検診（肺、胃、大腸）	1,816件
脳ドック	220件
女性検診（子宮がん、乳がん）	1,195件
その他の健診	1,137件

平成30年度 禁煙外来実績（平成30年4月～平成31年3月）

禁煙外来受診者数	12名
12週間計5回の禁煙治療を終了した者	7名
禁煙に成功した者	7名
途中で治療を中止したが中止時に禁煙していた者	2名
喫煙を止めた者の割合	75%

【取り組みや今後の展望、その他一言】

平成20年度から特定健康診査が開始されましたが、今後は特定保健指導も行うことで、特に生活習慣病の早期発見、予防に取り組んでいきたいと思っています。

健診センターでは、二次予防である一般的な健康診断のほか、生活習慣の指導、啓蒙等の一次予防も行い、これら予防医学全般を通じて地域住民の健康の保持、増進に貢献出来ればと考えています。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>たきだに ひろお</small> 瀧谷 裕緒 補職名：部長 専門領域：内科 糖尿病	日本内科学会 / 認定内科医 (同上) / 総合内科専門医 日本糖尿病学会 / 糖尿病専門医 (同上) / 糖尿病研修指導医 臨床研修指導医 日本医師会認定産業医
氏名： <small>あおき ようぞう</small> 青木 洋三 補職名：名誉院長 専門領域：※省略 外科参照	※省略 外科参照

V 看護部紹介

V 看護部紹介

看護部

外来

3階西病棟

3階東病棟

4階西病棟

4階東病棟

5階西病棟

5階東病棟

中央手術室 / 中央材料室

HCU病棟

【概要】

●看護職

看護部長 西 未知子
副看護部長 井上 敏江

外来	看護師長	廣西 和代
3階西病棟	看護師長	船野 真樹
3階東病棟	看護師長	西林 和美
4階西病棟	看護師長	木村 久美子（平成30年10月より）
4階東病棟	看護師長	宮内 豊路子（平成30年10月より）
5階西病棟	看護師長	東本 桂
5階東病棟	副看護師長	伊藤 いづみ（師長代行）
	看護師長	脇ノ谷 典子（平成30年10月1日～11月30日）
中央手術室	看護師長	川北 ひさ
中央材料室	看護師長	川北 ひさ（兼務）
HCU	看護師長	近藤 史子

看護職スタッフ総数（平成31年3月31日現在）

助産師 : 14人
看護師 : 202人
准看護師 : 8人
看護補助者 : 22人（救急救命士含む）

【取り組み等】

●理念・基本方針・目標

看護部の理念

私たちは、「患者の権利」を尊重し、安心、安全、安楽な看護を提供します。

看護部の基本方針

1. 患者の生命の尊厳と人権を尊重した看護をおこないます。
2. 急性期病院の看護専門職として、常に自己研鑽を重ね、後進の育成に努めます。
3. 病床機能に応じて、それぞれの職種が専門職性を活かした看護を提供します。
4. 多職種連携に努め、地域完結型看護をめざします。

看護部教育理念

患者満足と安心・安全を基本とし、急性期病院の医療に対応した専門的な看護を提供できる看護職を育成する。

看護部教育方針

- ＋ 病院の理念、看護部の理念に基づいて、質の高い看護を提供できる看護職を育成する。
- ＋ 現任教育・新人教育・看護補助者教育・後進育成・看護研究の5つの柱とし、それぞれの立場と段階に応じた教育と教育的な援助を行う。
- ＋ 看護の専門職人として看護実践能力を高め、看護の質的向上を図ることを支援する。
- ＋ 職位、役割に応じた研修、学会などに参加する機会を提供する。

看護部目標

1. 円滑なコミュニケーションを図り、医療・看護の質向上を目指す
 - ・笑顔で挨拶の徹底
 - ・思いやりをもった対応
 - ・情報の共有
2. 医療安全・感染対策に努める
 - ・インシデント・アクシデントは、速やかに報告
 - ・原因・対策を共有する
3. 地域との連携を図り、患者の信頼と満足の向上に努める
4. 無駄・無理・ムラを無くし働きやすい職場づくりを行う
 - ・経営に参画
 - ・時間管理
5. 自己研鑽とスキルアップに努める

【今後の課題】

1. 質の高い看護を提供するため、教育体制を見直し実施していく
2. 自己研鑽に努める
3. 職場改善

【実績】

別紙参照

平成 30 年度委員会・会議 参加者リスト

	部 署	氏 名	月 日	時 間	委員会名	場 所
1	中材	脇ノ谷 典子	4/6 (金)	14:00 ~ 16:00	第 8 回 県役員・関する委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
2	外来	米本 加奈子	4/7 (土)	13:00 ~ 14:00	平成 30 年度和歌山県がん化学療法看護研修企画・運営会議	和歌山県立医科大学
3	5 西	広尾 果苗	4/17 (火)	半 日	和歌山看護教育機関連絡協議会におけるワーキング活動 (看護研究資料作成)	橋本市市民病院
4	退院支援	曾和 倫代	4/18 (水)	15:00 ~ 16:00	伊都医師会 在宅医療ケア事業 診療所カンファレンス	松岡医院
5	HCU	山本 奈保美	4/18 (水)	15:00 ~ 16:00	伊都医師会 在宅医療ケア事業 診療所カンファレンス	松岡医院
6	3 東	和所 直美	4/20 (金)	10:00 ~ 16:00	第 11 回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
7	外来	廣西 和代	4/24 (水)	14:00 ~ 17:00	伊都地区支部役員会 (4 月)	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
8	4 東	市村 智子	4/28 (土)	午後	関西 STOMA ならびに関西ストーマケア講習会 実行委員会 (講習会準備)	大阪市立総合医療センター
9	中材	脇ノ谷 典子	5/11 (金)	14:00 ~ 16:00	第 9 回 県役員・関する委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
10	看護管理	上田 久美	5/11 (金)	15:00 ~ 16:30	平成 30 年度 リンク・ワーク・ショップ運営委員会	橋本市保健福祉センター
11	外来	廣西 和代	5/12 (土)	8:30 ~ 12:00	平成 30 年度 看護週間行事「一日まちの保健室」	やっちゃん広場
12	4 東	市村 智子	5/12 (土)	午後	関西 STOMA ならびに関西ストーマケア講習会 実行委員会 (講習会準備)	大阪市立総合医療センター
13	5 西	広尾 果苗	5/15 (火)	半 日	和歌山看護教育機関連絡協議会におけるワーキング活動 (看護研究資料作成)	橋本市市民病院
14	HCU	村井 春菜				
15	4 西	市村 智子	5/15 (火)	0.2 日間	診療所カンファレンス	前田医院
16	退院支援	曾和 倫代	5/16 (水)	13:30 ~ 16:30	第 1 回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
17	OP 室	川北 ひさ	5/22 (火)	13:30 ~ 17:00	第 1 回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
18	HCU	山本 奈保美	5/23 (水)	14:00 ~ 15:00	伊都医師会 在宅医療ケア事業 診療所カンファレンス	医療法人 荻原 荻原内科小児科
19	外来	廣西 和代	5/29 (火)	15:00 ~ 17:00	伊都地区支部役員会 (5 月)	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
20	OP 室	川北 ひさ	5/30 (水)	9:30 ~ 16:30	「第 1 回 医療安全管理者養成研修」開催協力員	和歌山県看護研修センター
21	中材	脇ノ谷 典子	6/9 (土)	10:00 ~ 12:00	第 10 回 県役員・関する委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
22	5 西	尾崎 加代	6/10 (日)	12:00 ~ 16:30	平成 30 年度 和歌山県看護協会通常総会	県民文化会館 小ホール
23	4 東	小西 千晶	6/10 (日)	12:00 ~ 16:30	平成 30 年度 和歌山県看護協会通常総会	県民文化会館 小ホール
24	OP 室	川北 ひさ	6/14 (木)	13:30 ~ 17:00	第 2 回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
25	5 西	広尾 果苗	6/19 (火)	半 日	和歌山看護教育機関連絡協議会におけるワーキング活動 (看護研究資料作成)	橋本市市民病院
26	HCU	村井 春菜				
27	3 東	和所 直美	6/20 (水)	10:00 ~ 16:00	第 1 回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
28	退院支援	曾和 倫代	6/20 (水)	9:30 ~ 16:30	第 2 回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
29	地域連携	金本 純子	6/22 (金)	13:30 ~ 17:00	第 1 回 「まちの保健室」運営委員会	和歌山県看護研修センター
30	4 東	市村 智子	6/23 (土)	午後	関西 STOMA ならびに関西ストーマケア講習会 実行委員会 (講習会準備)	大阪市立総合医療センター
31	外来	廣西 和代	6/30 (土)	12:00 ~ 15:30	平成 30 年度 伊都地区支部研修会 協力員	九度山町ふるさとセンター
32	地域連携	金本 純子	7/5 (木)	18:00 ~ 20:00	和歌山県糖尿病対策会議	和歌山県民文化会館
33	3 東	和所 直美	7/7 (土)	9:00 ~ 12:00	第 3 回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
34	4 東	市村 智子	7/14 (土)	午後	関西 STOMA ならびに関西ストーマケア講習会 実行委員会 (講習会準備)	大阪市立総合医療センター
35	HCU	村井 春菜	7/17 (火)	半 日	和歌山看護教育機関連絡協議会におけるワーキング活動 (看護研究資料作成)	橋本市市民病院
36	地域連携	金本 純子	7/21 (土)	10:00 ~ 15:00	まちの保健室「健康チェック・保健指導」	スーパーセンターオークワ セントラルシティ和歌山店
37	外来	廣西 和代	7/25 (水)	15:00 ~ 17:00	伊都地区支部役員会 (7 月)	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
38	地域連携	染原 佳代子	7/26 (木)	11:00 ~ 12:00	伊都医師会 在宅医療ケア事業 診療所カンファレンス	横田整形外科
39	OP 室	川北 ひさ	7/26 (木)	13:30 ~ 17:00	第 3 回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
40	中材	脇ノ谷 典子	8/3 (金)	14:00 ~ 16:00	第 1 回 県役員・関する委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
41	退院支援	曾和 倫代	8/8 (水)	13:30 ~ 16:30	第 4 回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
42	HCU	村井 春菜	8/21 (火)	半 日	和歌山看護教育機関連絡協議会におけるワーキング活動 (看護研究資料作成)	公益社団法人和歌山県看護協会
43	3 東	和所 直美	8/21 (火)	10:00 ~ 16:00	第 2 回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
44	3 西	関口 美佐子	8/24 (金)	13:30 ~ 16:00	看護学科一部 実習施設合同指導者会	和歌山県立高等看護学院
45	4 東	釜本 仁美	8/24 (金)	13:30 ~ 16:00	看護学科一部 実習施設合同指導者会	和歌山県立高等看護学院
46	3 東	森本 順子	8/24 (金)	15:00 ~ 17:00	母子保健連絡会議	橋本市保健福祉センター
47	3 東	和所 直美	8/25 (土)	12:00 ~ 17:00	「平成 30 年度 第 1 回助産師研修会」開催協力員	和歌山県看護研修センター
48	地域連携	金本 純子	8/31 (金)	13:30 ~ 17:00	第 2 回 「まちの保健室」運営委員会	和歌山県看護研修センター
49	3 東	和所 直美	9/1 (土)	12:30 ~ 17:00	保健師・助産師・看護師職能合同研修会	和歌山県看護研修センター
50	OP 室	川北 ひさ	9/6 (木)	13:30 ~ 17:00	第 4 回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
51	中材	脇ノ谷 典子	9/7 (金)	14:30 ~ 16:00	第 2 回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
52	地域連携	金本 純子	9/10 (月)	10:30 ~ 14:00	和歌山県立向陽高等学校文化祭「健康チェック・保健指導」	和歌山県立向陽高等学校
53	退院支援	曾和 倫代	9/18 (火)	9:00 ~ 17:00	「災害看護Ⅱ (災害支援ナース育成研修)」開催協力員	和歌山県看護研修センター
54	3 西	船野 真樹	9/18 (火)	13:00 ~ 17:00	医療安全対策地域連携加算 相互ラウンド実施	公立那賀病院
55	HCU	村井 春菜	9/18 (火)	半 日	和歌山看護教育機関連絡協議会におけるワーキング活動 (看護研究資料作成)	橋本市市民病院
56	3 東	和所 直美	9/26 (水)	10:00 ~ 16:00	第 3 回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
57	3 東	宮本 靖代	9/26 (水)	15:00 ~ 17:00	第 1 回 推薦委員会	和歌山県看護研修センター
58	退院支援	曾和 倫代	9/28 (金)	9:30 ~ 16:30	第 5 回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
59	4 西	曾和 倫代	10/3 (水)	9:30 ~ 16:30	第 6 回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
60	地域連携	金本 純子	10/6 (土)	13:00 ~ 15:00	和歌山刑務所 矯正展「健康チェック・保健指導」	和歌山刑務所 矯正展
61	外来	廣西 和代	10/10 (水)	15:00 ~ 17:00	伊都地区支部役員会 (10 月)	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
62	地域連携	金本 純子	10/12 (金)	13:30 ~ 17:00	第 3 回 「まちの保健室」運営委員会	和歌山県看護研修センター
63	3 東	西林 和美	10/12 (金)	13:30 ~ 15:45	第 2 回 看護職員教育に関する地域連携 意見交換会	和歌山県立医科大学
64	外来	廣西 和代	10/12 (金)	13:30 ~ 15:45	第 2 回 看護職員教育に関する地域連携 意見交換会	和歌山県立医科大学
65	OP 室	川北 ひさ	10/16 (火)	9:00 ~ 17:00	第 4 回 「医療安全管理者養成研修」開催協力員	和歌山県看護研修センター
66	HCU	村井 春菜	10/16 (火)	半 日	和歌山看護教育機関連絡協議会におけるワーキング活動 (看護研究資料作成)	橋本市市民病院
67	5 東	脇ノ谷 典子	10/18 (木)	13:30 ~ 15:00	リーダー研修	新橋ビル (JR 和歌山駅中央口直ぐ)
68	外来	池田 景子	10/18 (木) 15:00 ~ 10/20 (土) 17:00		第 20 回 日本救急看護学会学術集会開催における協力員	和歌山県民文化会館 ホテルアパローム紀の国

	部署	氏名	月日	時間	委員会名	場所
69	外来	嶋田 美由紀	10/19 (金)	7:50 ~ 18:00	第 20 回 日本救急看護学会学術集会開催における協力員	和歌山県民文化会館 ホテルアバローム紀の国
70	OP 室	横芝 真紀	10/19 (金)	7:50 ~ 18:00	第 20 回 日本救急看護学会学術集会開催における協力員	和歌山県民文化会館 ホテルアバローム紀の国
71			10/20 (土)	7:50 ~ 17:00		
72	看護管理	南 真理	10/20 (土)	7:50 ~ 17:00	第 20 回 日本救急看護学会学術集会開催における協力員	和歌山県民文化会館 ホテルアバローム紀の国
73	3 東	和所 直美	10/20 (土)	9:00 ~ 16:30	産科管理者交流及び保健師・助産師合同職能集会	和歌山県看護研修センター
74	OP 室	川北 ひさ	10/25 (木)	13:30 ~ 17:00	第 5 回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
75	地域連携	金本 純子	10/27 (土)	10:30 ~ 14:00	信愛女子短期大学学園祭「健康チェック・保健指導」	和歌山信愛女子短期大学
76	3 東	和所 直美	10/30 (火)	10:00 ~ 16:00	第 4 回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
77	5 東	脇ノ谷 典子	11/2 (金)	14:30 ~ 16:00	第 3 回 県役員・委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
78	3 西	船野 真樹	11/13 (火)	14:00 ~ 17:00	感染防止対策地域連携相互ラウンド参加	公立那賀病院
79	OP 室	川北 ひさ	11/13 (火)	14:00 ~ 17:00	感染防止対策地域連携相互ラウンド参加	公立那賀病院
80	4 西	曾和 倫代	11/14 (水)	9:30 ~ 16:30	第 7 回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
81	地域連携	金本 純子	11/17 (土)	9:30 ~ 13:30	まちの保健室「健康チェック・保健指導」	フィットミー和歌山店
82	OP 室	川北 ひさ	11/19 (月)	9:00 ~ 17:00	第 6 回「医療安全管理者養成研修」開催協力員	和歌山県看護研修センター
83	3 東	和所 直美	11/20 (火)	10:00 ~ 16:00	第 5 回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
84	地域連携	染原 佳代子	11/20 (火)	17:00 ~ 18:30	「ファシリテーター打ち合わせ」	医療法人南労会 紀和病院
85	HCU	村井 春菜	11/20 (火)	半日	和歌山看護教育機関連絡協議会におけるワーキング活動(看護研究資料作成)	和歌山県看護協会
86	外来	廣西 和代	11/28 (水)	15:00 ~ 17:00	伊都地区支部役員会(11月)	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
87	4 西	曾和 倫代	11/29 (木)	9:00 ~ 17:00	「災害看護フォローアップ研修」開催協力員	和歌山県看護研修センター
88	OP 室	川北 ひさ	11/30 (金)	13:00 ~ 17:00	橋本保健所主催 紀和病院 感染ラウンド参加	南労会 紀和病院
89	3 西	船野 真樹	11/30 (金)	13:00 ~ 17:00	橋本保健所主催 紀和病院 感染ラウンド参加	南労会 紀和病院
90	外来	藤川 恵司	12/1 (土)	9:55 ~ 16:45	産科管理者交流及び保健師・助産師合同職能集会	藍野大学 キャリア開発・研究センター
91	地域連携	染原 佳代子	12/1 (土)	14:00 ~ 16:30	「医療と介護の連携セミナー」	橋本市保健福祉センター
92	3 東	和所 直美	12/2 (日)	10:30 ~ 17:00	「平成 30 年度 近畿地区助産師職能合同研修会」開催協力員	兵庫看護協会
93	3 西	船野 真樹	12/5 (水)	13:00 ~ 17:00	医療安全対策地域連携加算 紀和病院 感染ラウンド参加	南労会 紀和病院
94	OP 室	川北 ひさ	12/6 (木)	9:00 ~ 12:00	橋本保健所主催 紀北分院 感染ラウンド参加	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
95	3 東	田中 君枝	12/11 (火)	14:00 ~ 15:00	和歌山県看護連盟 青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
96	4 西	曾和 倫代	12/12 (水)	9:30 ~ 16:30	第 8 回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
97	3 東	和所 直美	12/12 (水)	10:00 ~ 16:00	第 6 回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
98	地域連携	金本 純子	12/14 (金)	13:30 ~ 17:00	第 4 回「まちの保健室」運営委員会	和歌山県看護研修センター
99	OP 室	川北 ひさ	12/21 (金)	9:30 ~ 17:00	第 6 回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
100	4 西	木村 久美子	12/21 (金)	半日	病院感染症連絡会 山本病院ラウンド評価のため	社会医療法人 博寿会 山本病院
101	3 東	宮本 靖代	平成 31 年 1/9 (水)	15:00 ~ 17:00	第 2 回 推薦委員会	和歌山県看護研修センター
102	4 西	山本 陽子	1/11 (金)	13:30 ~	第 5 回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
103	4 西	曾和 倫代	1/16 (水)	9:30 ~ 16:30	第 9 回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
104	外来	廣西 和代	1/16 (水)	15:00 ~ 17:00	伊都地区支部役員会(1月)	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
105	地域連携	金本 純子	1/19 (土)	10:00 ~ 15:00	まちの保健室「健康チェック・保健指導」	スーパーセンターオークワ セントラルシティ和歌山店
106	3 東	田中 君枝	1/22 (火)	14:00 ~ 15:00	和歌山県看護連盟 青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
107	3 東	和所 直美	1/23 (水)	10:00 ~ 16:00	第 8 回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
108	OP 室	川北 ひさ	1/24 (木)	9:00 ~ 17:00	「医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修」開催協力員	和歌山県看護研修センター
109	OP 室	川北 ひさ	1/30 (水)	13:30 ~ 17:00	第 7 回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
110	外来	前垣内 真由美	2/1 (金)	13:30 ~ 16:00	第 5 回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
111	地域連携	金本 純子	2/8 (金)	13:30 ~ 17:00	第 5 回「まちの保健室」運営委員会	和歌山県看護研修センター
112	4 西	曾和 倫代	2/13 (水)	9:30 ~ 16:30	第 10 回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
113	3 東	和所 直美	2/16 (土)	9:00 ~ 16:00	第 2 回 助産師研修会 及び 第 9 回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
114	3 東	高水 佳代	2/19 (火)	13:30 ~ 16:00	平成 30 年度 吉野保健所市町村・産科医療機関連携推進会議	南和広域医療企業団南奈良総合医療センター
115	3 東	田中 君枝	2/19 (火)	14:00 ~ 15:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
116	OP 室	川北 ひさ	2/20 (水)	13:30 ~ 17:00	第 8 回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
117	外来	前垣内 真由美	3/1 (金)	13:30 ~ 16:00	第 7 回 県役員・関する委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
118	看護管理	南 真理	3/8 (金)	18:00 ~ 19:00	平成 30 年度 和歌山県がん診療連携協議会緩和ケア・研修教育部会	和歌山県立医科大学附属病院
119	3 東	田中 君枝	3/12 (火)	14:00 ~ 15:00	和歌山県看護連盟 青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
120	4 西	曾和 倫代	3/13 (水)	9:30 ~ 16:30	第 11 回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
121	OP 室	川北 ひさ	3/14 (木)	13:30 ~ 17:00	紀北分院 医療安全相互ラウンド	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
122	看護管理	西 未知子	3/14 (木)	13:30 ~ 15:00	平成 30 年度 第 2 回「施設会員代表者会議(地区別)」	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
123	外来	廣西 和代	3/14 (木)	13:30 ~ 15:00	平成 30 年度 第 2 回「施設会員代表者会議(地区別)」	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
124	外来	廣西 和代	3/14 (木)	15:00 ~ 17:00	伊都地区支部役員会(3月)	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
125	3 東	和所 直美	3/19 (火)	10:00 ~ 16:00	第 10 回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
126	OP 室	川北 ひさ	3/20 (水)	13:30 ~ 17:00	第 9 回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
127	地域連携	金本 純子	3/22 (金)	13:30 ~ 17:00	第 6 回「まちの保健室」運営委員会	和歌山県看護研修センター

平成 30 年度看護補助者研修

月 日	研修名	参加職種	参加人数	講 師	担 当
6月1日	医療安全 PDA の取り扱い	ケアワーカー	3名	恋中	恋中
6月4日	医療安全 PDA の取り扱い	ケアワーカー	2名	恋中	恋中
6月13日	医療安全 PDA の取り扱い	ケアワーカー	4名	恋中	恋中
6月14日	医療安全 PDA の取り扱い	ケアワーカー	2名	恋中	恋中
6月15日	医療安全 PDA の取り扱い	ケアワーカー	1名	恋中	恋中
6月6日～ 7月12日	感染 抗菌薬適正使用チーム	ケアワーカー	16名	栞田	栞田
10月3日	おむつの当て方	ケアワーカー	7名	ユニチャーム(株) 柳生	伊藤
10月3日	エンゼルケア	ケアワーカー	8名	植田	伊藤
10月4日	エンゼルケア	ケアワーカー	5名	植田	仲谷
10月25日	おむつの当て方	ケアワーカー	5名	ユニチャーム(株) 柳生	曾和
11月26日	感染研修	ケアワーカー	9名	栞田	森本
11月27日	感染研修	ケアワーカー	8名	栞田	森本
12月11日	清潔ケア (清潔・入浴・排泄)	ケアワーカー	8名	曾和	曾和
12月21日	清潔ケア (清潔・入浴・排泄)	ケアワーカー	6名	曾和	曾和
平成 31 年 1月18日	食事介助	ケアワーカー	7名	山本奈	狩谷
平成 31 年 1月25日	食事介助	ケアワーカー	5名	山本奈	狩谷
平成 31 年 2月18日	移動・移送 / 酸素ボンベ・輸液ポンプ	ケアワーカー	8名	前垣内 米本	前垣内 米本
平成 31 年 2月25日	移動・移送 / 酸素ボンベ・輸液ポンプ	ケアワーカー	13名	前垣内 米本	前垣内 米本

平成 30 年度新人看護師研修

	月 日	研修内容	参加者数	担当・講師
1	4月2日～ 4月6日	新規採用オリエンテーション	9	15
2	4月9日	看護技術研修：ナーシングスキル視聴・実技演習 (バイタルサイン測定、ポジショニング、口腔ケア、食事介助)	9	2
3	4月10日	看護技術研修：ナーシングスキル視聴・実技演習 (与薬、内服管理、注射：静脈注射・エラスター挿入・筋肉注射)	9	2
4	4月11日	看護技術研修：ナーシングスキル視聴・実技演習 (排泄ケア、酸素療法、喀痰吸引、看護倫理と接遇、臨床検査研修)	9	2
5	4月12日	新人技術研修：実技演習 (BLS) 実技演習：ME 機器の使用法、注意点について (シリンジポンプ、輸液ポンプ、心電図モニター、低圧持続吸引、AED)	9	2
6	4月13日～ 4月27日	各部署ローテーション研修	9	4
7	5月22日	フィジカルアセスメント：座学	9	2
8	6月26日	輸血・麻薬の取り扱いについて：座学	9	1
9	7月24日	褥瘡管理：座学	9	2
10	8月28日	オムツ交換の実際：実技演習	9	2
11	10月23日	医療安全 KYT 研修：座学 + 演習	6	2
12	12月25日	一次救命処置 演習	9	2
13	平成 31 年 2月20日	コミュニケーションスキル 座学 + 演習	8	2
14	平成 31 年 3月26日	認知症患者の対応	9	2
		ナラティブ研修	9	1

平成 30 年度 院外研修参加リスト

	月	研修名	主催	人数	
1	平成 30年 4月	新人看護職員オリエンテーション 【SO】	4/16 (月)	公益社団法人和歌山県看護協会	9
2		平成 30 年度 新人職員研修会	4/18 (水)	公益社団法人和歌山県病院協会	11
3		平成 30 年度 和歌山県看護教育機関連絡協議会 第 17 回 総会および研修会	4/22 (日)	和歌山県看護教育機関連絡協議会	6
4		身につけよう! 正しい知識と使える看護技術 【1】	4/24 (火)	公益社団法人和歌山県看護協会	9
5	5月	新人看護職員実地指導者研修 (全 5 回) 【44】 ① 5/24 (木) ② 6/13 (水) ③ 6/28 (木) ④ 8/29 (水) ⑤ 11/19 (月)		公益社団法人和歌山県看護協会	1
6		医療安全管理者養成研修 (全 8 回) 【48】 ① 5/30 (水) ② 6/12 (火) ③ 9/21 (金) ④ 10/16 (火) ⑤ 11/5 (月) ⑥ 11/19 (月) ⑦ 12/5 (水) ⑧ H31.1/11 (金)		公益社団法人和歌山県看護協会	5
7		医療の改善活動推進セミナー in 北九州	6/2 (土)	医療の TQM 推進協議会	2
8		認定看護管理者教育課程 ファーストレベル 【46】 6/7 (木) 開講式 ~ 8/22 (水) 閉講式 (全日程 28 日間)		公益社団法人和歌山県看護協会	1
9		看護管理に必要な基礎知識 【46-1】	6/8 (金)	公益社団法人和歌山県看護協会	4
10		第 21 回南大阪医療安全ネットワーク研修会	6/9 (土)	南大阪医療安全ネットワーク事務局	5
11		あきらめない! 認知症看護 【12】	6/16 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
12	6月	第 9 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会・コンベンションリンクージ	6/16 (土)・17 (日)	三重大学大学院医学系研究科家庭医療学・ 医学部附属病院総合診療科 教授 竹村 洋典	1
13		平成 30 年度 和歌山県保健師助産師看護師実習指導者講習会 【43】 6/18 (月) ~ 8/14 (火) * 土・日・祝を除く		公益社団法人和歌山県看護協会	2
14		人材育成の方法 【46-2】	6/22 (金)	公益社団法人和歌山県看護協会	4
15		18 重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者研修	6/24 (日)	ヴェクソンインターナショナル (株)	11
16		和歌山県がん化学療法看護研修 (ベーシックコース)	6/30 (土)	和歌山県立医科大学附属病院	11
17		平成 30 年度伊都地区支部看護研修会	6/30 (土)	和歌山県看護協会 伊都地区支部	12
18		第 15 回和歌山県母性衛生学術集会	7/7 (土)	橋本市民病院	13
19	7月	平成 30 年度和歌山県 ELNEC-J コアカリキュラム 看護師教育プログラム	7/14 (土)・15 (日)	和歌山県がん診療連携協議会 和歌山県立医科大学附属病院	1
20		もう悩まない! 深める倫理、使えるコミュニケーションスキル 【3】	7/28 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	8
21		第 24 回 みらいの看護部研究会セミナー	8/3 (金)	株式会社メディネット みらいの看護部研究会	1
22		平成 30 年度大規模地震時医療活動訓練における DMAT 訓練 8/3 (金) 13:00 ~ 17:15 (半日)・8/4 (土) 1 日		独立行政法人国立病院機構災害医療センター 厚生労働省 DMAT 事務局	4
23		テルモスマイルセミナー	8/4 (土)	テルモ株式会社	1
24		人工呼吸器セミナー みんなと学ぶ人工呼吸器ケア	8/8 (水)・22 (水)	医療法人南労会 本部 経営広報企画室	3
25		第 40 回 関西ストーマケア講習会 大阪・和歌山ブロック	8/10 (金) ~ 12 (日)	関西ストーマケア講習会・関西 STOMA 研究会	1
26	8月	日本地域看護学会 第 21 回学術集会	8/11 (土)・12 (日)	日本地域看護学会 第 21 回学術集会事務局	2
27		インターネット配信研修 (オンデマンド) 災害支援ナースの第一歩~災害看護の基本的知識~ 【16】	8/21 (火)・22 (水)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
28		平成 30 年度 看護業務研究会	8/22 (水)	和歌山県看護業務研究会	1
29		平成 30 年度 全国自治体病院協議会 看護管理研修会 (第 1 回)	8/22 (水) ~ 24 (金)	公益社団法人全国自治体病院協議会	2
30		第 22 回 日本看護管理学会	8/24 (金)・25 (土)	一般社団法人 日本看護管理学会	1
31		平成 30 年度助産師研修会「CTG による胎児心拍モニタリング」 【61】	8/25 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	3
32		18 重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者研修	8/26 (日)	ヴェクソンインターナショナル (株)	11
33			県職員・市町村職員・事業所職員向け手話講座 (全 5 回) ① 9/6 (木) ② 9/20 (木) ③ 10/11 (木) ④ 10/25 (木) ⑤ 11/1 (木)		伊都振興局 健康福祉部 保健福祉課
34	9月	平成 30 年度 エイズブロック拠点病院 HIV/AIDS 看護師研修会 * 初心者コース 第 1 回 9/10 (月)・11 (火) * 応用コース H31.1/7 (月)・8 (火)		独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター	1
35		《インターネット配信研修》認知症高齢者の看護実践に必要な知識 【19】 * 「認知症ケア加算 2」に対応した研修。	9/11 (火)・12 (水)	公益社団法人和歌山県看護協会	2
36		災害看護Ⅱ (災害支援ナース育成研修) 【20】	9/18 (火)・19 (水)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
37		新人ナースのためのフィジカルアセスメント 【4】	9/23 (日)	公益社団法人和歌山県看護協会	8
38		見る・聴く・触るを極める! フィジカルアセスメント 【21】	9/25 (火)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
39		新人のための医療安全 【5】	10/2 (火)	公益社団法人和歌山県看護協会	8
40		平成 30 年度 第 2 回 医療安全管理者養成研修会~京都~ 10/5 (金) ~ 7 (日)・11/1 (木) ~ 3 (土)		医療の質・安全学会主催	1
41		平成 30 年度 全国自治体病院協議会 看護管理研修会 (第 2 回)	10/10 (水) ~ 12 (金)	公益社団法人全国自治体病院協議会	2
42		訪問看護入門研修 (県受託事業) 【51】	10/10 (水)・10/17 (水) 1 日実習 ・10/24 (水)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
43	10月	平成 30 年度 がん看護専門分野指導者研修 【がん患者の退院支援・在宅療養支援コース】	10/11 (木)・12 (金)・H31. 2/8 (金)	国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策情報センター	1
44		平成 30 年度 第 1 回施設会員代表者会	10/13 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	9
45		平成 30 年度 産科管理者交流会	10/20 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	2
46		平成 30 年度 保健師・助産師合同職能集会	10/20 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	2
47		第 23 回和歌山県病院協会学術大会	10/28 (日)	公益社団法人和歌山県病院協会	20
48		臨床教育ストラテジーセミナー	11/6 (火)	大阪府立大学 大学院看護学研究所	1
49		「新人及び若手会員対象研修」	11/10 (土)	和歌山県看護連盟	1
50		医療機器、未来へ~ 医療機器安全管理研究会 キックオフセミナー	11/10 (土)	滋慶医療科学大学院大学 医療機器安全管理研究会	2
51		現場で活かせる予防的・治療的スキンケア 【29】	11/15 (木)	公益社団法人和歌山県看護協会	2
52		S-QUE 院内研修 1000' 新特別企画 第 34 回病院環境フォーラム '18 大阪 地域に根差した病院を目指すための外来部門の強化	11/17 (土)	S-QUE 研究会	1
53	11月	平成 30 年度看護職員認知症対応力向上研修 (和歌山県委託事業) 【55】 11/20 (火)・21 (水)・28 (水)		公益社団法人和歌山県看護協会	4
54		平成 30 年度 全国自治体病院協議会和歌山県支部 医療安全管理対策研修会	11/22 (木)	全国自治体病院協議会和歌山県支部 国保野上厚生総合病院	12
55		第 13 回 医療の質・安全学会学術会	11/24 (土)・25 (日)	一般社団法人 医療の質・安全学会	3
56		第 1 回 看護師の特定行為フォーラム 特定行為研修の課題~本学初の修了者を輩出して~	11/27 (火)	和歌山県立医科大学	1
57		平成 30 年度 全国自治体病院協議会 看護管理研修会 (第 3 回)	11/28 (水) ~ 30 (金)	公益社団法人全国自治体病院協議会	2

V 看護部紹介

月	研修名	主催	人数
58	平成 30 年度 和歌山県災害医療従事者研修会 12/4 (火)	和歌山県・公立大学法人和歌山県立医科大学 (県総合災害医療センター)	1
59	働き方改革を実現する看護と職員定着のための労務管理 Q & A 12/8 (土)	株式会社学研メディカルサポート	1
60	部下のやる気を育てる目標管理 【42】 12/15 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
61	第 17 回 和歌山県看護教育機関連絡協議会研修会 臨床と看護教育の連携をめざして交流する 12/15 (土)	和歌山看護専門学校 事務局	3
62	平成 30 年度 第 1 回和歌山県看護協会・看護連盟合同研修 テーマ:「日本看護協会の動向を踏まえ、自立したリーダーシップ、メンバーシップの発揮」 12/16 (日)	公益社団法人和歌山県看護協会 和歌山県看護連盟	2
63	今からでも遅くないー学ぼう心電図ー(午前の部) 【35-1】 12/18 (火)	公益社団法人和歌山県看護協会	9
64	看護師基礎教育を考える会 12/19 (水)	公益社団法人日本看護協会	1
65	認定看護師制度再構築に関する説明会 12/27 (木)	公益社団法人日本看護協会	1
66	わかりやすい文章の書き方と効果的なプレゼンテーション 【36】 H31. 1/10 (木)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
67	看護ファシリテーターの神様!『内藤知佐子先生』の実習実践版! ~ファシリテーションを活かした看護職研修~ H31. 1/20 (日)	ニプロ株式会社	6
68	平成 30 年度 第 3 回 和歌山県母子保健コーディネータースキルアップ研修 H31. 1/23 (水)	和歌山県福祉保健部健康局	2
69	医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修 【49】 H31. 1/24 (木)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
70	【Ⅲ期生】 特定行為研修「共通科目実習」 H31. 1/24 (木)・25 (金)・30 (水)・31 (木)・2/1 (金)・4 (月)	和歌山県立医科大学附属病院	1
71	TeamSTEPS シミュレーショントレーニング H31. 1/26 (土)・27 (日)	テルモ株式会社	1
72	和歌山県立医科大学附属病院 第 80 回腫瘍センター勉強会(緩和ケアセンター担当) H31.1/31 (木)	和歌山県立医科大学附属病院	1
73	第 180 回 医療情報システム研究会 看護業務を支援する情報システム(パート 32) 「ICT による看護師の働き改革」~業務・記録・電子カルテ~ H31. 2/2 (土)	医療情報システム研究会	4
74	平成 30 年度 認定看護師フォローアップ研修会 H31.2/2 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	2
75	平成 30 年度 近畿地方 DMAT ブロック訓練 H31.2/3 (日)	独立行政法人国立病院機構災害医療センター 厚生労働省 DMAT 事務局	2
76	「医療連携協定病院・医療連携病院の集い」 H31. 2/6 (水)	近畿大学医学部附属病院院長	1
77	平成 30 年度 和歌山県看護研究学会 H31. 2/9 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	16
78	平成 30 年度助産師研修会 「CDM 合併妊産褥婦・新生児の管理と支援」【助産師職能研修】 H31. 2/16 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	2
79	和歌山県看護協会・看護連盟 合同研修 H31.2/16 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会 和歌山看護連盟	3
80	18 看護必要度ステップアップ研修 患者評価データの活用と入退院支援による臨床看護マネジメント ~看護師のマネジメント能力を高める~ H31.2/24 (日)	ヴェクソンインターナショナル(株)	2
81	高血圧・循環器病予防療養指導士講習会 H31.3/10 (日)	日本高血圧学会・日本循環器病予防療養学会 日本動脈硬化学会	1
82	実践から学ぶ セカンドレベル・サードレベル フォローアップ H31.3/17 (日)	大阪府看護協会 桃谷センター	1
83	和歌山県看護協会・看護連盟地区支部合同研修会 H31.3/23 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会 和歌山看護連盟	13
研修参加者合計			296

■ 新人看護師の研修

平成 30 年度 イベント参加

	イベント名	主催	月日	参加者	人数
1	平成 30 年度 入学式	学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校	4月5日(木)	上田 久美	1
2	平成 30 年度 (第 21 回) 入学宣誓式	学校法人天満学園 太成学院大学	4月5日(木)	東本 桂	1
3	平成 30 年度 入学式	公益社団法人和歌山県病院協会立 和歌山看護専門学校	4月6日(金)	西 未知子	1
4	平成 30 年度 入学式	東京医療保健大学 和歌山看護学部	4月8日(日)	山本 勝廣	1
5	平成 30 年度 入学式	和歌山県立高等看護学院	4月10日(火)	西 未知子	1
6	「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2018 わかやま」	リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2018	4月14日(土)	米本 加奈子 植田 志保	2
7	奨学金説明会	東京医療保健大学 和歌山看護学部	4月14日(土)	広尾 果苗 阪口 智美	2
8	2018 年度第 3 期 和歌山県立医科大学看護師特定行為研修開講式	公立大学法人和歌山県立医科大学	4月17日(火)	川北 ひさ	1
9	新入生向け奨学金病院説明会	公益社団法人和歌山県病院協会立 和歌山看護専門学校	4月26日(木)	濱野 里香 米阪 公希	2
10	看護学生就職説明会	和歌山県立高等看護学院	5月2日(水)	村井 春菜 平田 伊緒奈	2
11	平成 30 年度看護週間行事「一日まちの保健室」	公益社団法人和歌山県看護協会	5月12日(土)	廣西 和代	1
12	看護学生就職説明会	和歌山県なぎ看護学校	5月14日(月)	平田 伊緒奈 角谷 星来	2
13	滋慶学園 就職説明会	大阪城ホール	5月14日(月)	井塚 奈々 徳竹 葵	2
14	平成 30 年度和歌山県認定看護管理者教育課程 ファーストレベル 開講式	和歌山県看護研修センター	6月7日(木)	森本 順子	1
15	第 50 回伊都地方特別支援学級設置校長会 伊都地方特別支援教育研究会	伊都地方特別支援学級設置校長会 伊都地方特別支援教育研究会	7月6日(金)	池田 景子	1
16	平成 30 年度 子ども冒険村	橋本市教育委員会	8月8日(水) 8:00~ 8月9日(木) 9:00	小守 博輝 池田 景子	2
17	平成 30 年度 救急週間行事 ナースカー	橋本消防署	①橋本消防本署(東家) 9月10日(月)・14日(金) ②橋本北消防署(小峰台) 9月11日(火)・13日(木)	池田 景子 ① 9/10 (月) 釜本 仁美 ② 9/11 (火) 古垣 秀治 ② 9/13 (木) 濱野里香 ① 9/14 (金)	4
18	「看護の心をはぐくむ日」	学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校	10月2日(火)	西 未知子	1
19	平成 30 年度 看護宣誓式	和歌山県立高等看護学院	10月5日(金)	西 未知子	1
20	第 28 回 (平成 30 年度) 戴帽式	公益社団法人和歌山県病院協会立 和歌山看護専門学校	10月30日(火)	川北 ひさ	1
21	麻生飯塚病院施設見学 (ナースコールシステム見学のため)	麻生飯塚病院 (福岡県飯塚市)	11月21日(水)	西 未知子 川北 ひさ	2
22	学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校 創立 40 周年記念祝賀会	学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校	11月22日(木)	西 未知子	1
23	「四天王寺大学看護学部 開設記念講演会」	学校法人 四天王寺学園 四天王寺大学	11月24日(土)	廣西 和代	1
24	平成 31 年 和歌山県看護連盟 「年賀会」	和歌山看護連盟	平成31年1月19日(土)	西 未知子 廣西 和代 近藤 史子 木村 久美子 恋中 理恵	5
25	平成 30 年度行事「かつらぎ町ボランティアまつり」	公益社団法人和歌山県看護協会	平成31年2月2日(土)	廣西 和代	1
26	四天王寺大学 看護棟竣工式	学校法人 四天王寺学園 四天王寺大学	平成31年2月13日(水)	西 未知子 廣西 和代	2
27	和歌山県立高等看護学院 平成 30 年度卒業式	和歌山県立高等看護学院	平成31年3月1日(金)	西 未知子	1
28	卒業証書授与式・修了証書授与式	奈良文化高等学校	平成31年3月1日(金)	廣西 和代	1
29	学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校 平成 30 年度 卒業式	学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校	平成31年3月1日(金)	廣西 和代	1
30	平成 30 年度 3 年課程 (第 26 期生) 卒業式	公益社団法人和歌山県病院協会立 和歌山看護専門学校	平成31年3月5日(火)	川北 ひさ	1
31	大阪暁光高等学校 看護専攻科 修了証書授与式	大阪暁光高等学校	平成31年3月7日(木)	東本 桂	1
32	キャリタス看護フォーラム (大阪)	DISCO	平成31年3月9日(土) 13:00~17:00	濱野 里香 中崎 優	2
33	「平成 30 年度 卒業式」(2 校合同) 大阪ハイテクノロジー専門学校・ 大阪保健福祉専門学校	学校法人 大阪滋慶学園 大阪ハイテクノロジー専門学校 大阪保健福祉専門学校	平成31年3月12日(火)	廣西 和代	1
34	平成三十年度 (第十八回) 学位記授与式	学校法人天満学園 太成学院大学	平成31年3月12日(火)	東本 桂	1
35	太成学院大学 看護学部説明会	学校法人天満学園 太成学院大学	平成31年3月18日(月) 9:30~12:00	徳竹 葵 井塚 奈々	2

平成 30 年度 学会発表

	学会名	主催	月日	演題	発表者	共同演者
1	平成 30 年度和歌山県国保医学会総会・第 53 回学術集会 並びに 国保直診在宅医療研究会第 21 回研究集会	和歌山県国保医学会 和歌山県国民健康保険診療施設連絡協議会 和歌山県国民健康保険団体連合会	平成 30 年 6 月 9 日 (土) 14:00 ~	入退院支援室の稼働までの経緯と現状	廣西 和代	西 未知子
2	第 49 回 (平成 30 年度) 日本看護学会 - 在宅看護 - 学術集会	公益社団法人 日本看護協会 / 公益社団法人 佐賀県看護協会	7 月 27 日 (金) 7 月 28 日 (土)	心不全を患った全盲患者への退院支援を通じて退院支援看護師の役割を考える	西林 和美	
3	第 57 回 全国自治体病院学会 in 福島	公益社団法人 全国自治体病院協議会	10 月 18 日 (木) 10 月 19 日 (金)	ポリファーマシー対策 チーム発足後の A 病棟看護師への意識調査	奥田 昌子	橋本 忠行 青木 達也 北島 正大 宮内 豊路子
4	第 55 回日本糖尿病学会近畿地方会 第 54 回日本糖尿病協会近畿地方会	株式会社 JTB 西日本 MICE 事業部	10 月 27 日 (土)	診療所に勤務する看護師の糖尿病患者への療養支援と勤務特性との関連	金本 純子	大阪市立大学 大学院 熊谷 たまき
5	日本医療マネジメント学会 第 14 回和歌山支部学術集会	国保日高総合病院	平成 31 年 2 月 2 日 (土)	救急外来における院内緊急度判定支援システムの導入 小児 1 型糖尿病サマーキャンプにおける災害教育の取組み 災害時における福福連携～被災地の専門職を支援する～	池田 景子 金本 純子 吉高 賢司	廣西 和代

平成 30 年度 講師派遣

項目	主催	月日	時間(週時間数)	場所	講師
1 成人看護活動論Ⅳ (脳神経)	和歌山県立高等看護学院 看護学科一部	平成 30 年 6 月～7 月	10 (2)	和歌山県立高等看護学院	山本 奈保美
2 成人看護活動論Ⅱ (循環器系)		5 月～6 月	10 (2)		戸川 千佳
3 母性看護学概論Ⅱ (異常看護)		10 月～12 月	10 (2)		田中 早苗
4 臨床看護実務Ⅱ (災害時看護)		9 月	4 (4)		曾和 倫代
5 母性看護活動論Ⅱ (妊娠・分娩・産褥・新生児の異常時の看護)	和歌山県立高等看護学院 看護学科二部	平成 30 年 10 月～11 月	10 (4)	和歌山県立高等看護学院	田中 早苗
6 看護の統合と実践Ⅰ 看護管理		11 月～12 月	22 (2)		廣西 和代 近藤 史子
7 成人看護活動論Ⅰ 脳神経機能障害患者の看護		5 月～6 月	6 (2)		山本 奈保美
8 統合分野 看護の統合と実践Ⅱ (医療安全)	和歌山看護専門学校 (担当学年: 3 年生)	平成 30 年 4 月 11・18 日 5 月 1・16・21・ 24 日 7 月 9 日	15	和歌山看護専門学校	川北 ひさ

項目	主催	月日	時間	場所	講師
1 認知症サポーター養成講座	橋本市健康福祉部いきいき長寿課	平成 30 年 4 月 19 日 (木)	13:30 ~ 16:00	橋本市教育文化会館 3 階 第 2 研修室	上田 久美
2 思春期教室の講師派遣	公益社団法人和歌山県看護協会	7 月 19 日 (木)	10:50 ~ 11:40	和歌山市立高積中学校	和所 直美
3 第 4 回 真夏の祭典! 紀和カーニバル	紀和カーニバル実行委員会事務局	7 月 28 日 (土)	15:00 ~ 17:00	医療法人南労会 紀和クリニック	池田 景子
4 関西 STOMA 研究ならびに 関西ストーマケア講習会	関西ストーマケア講習会・関西 STOMA 研究会	8 月 10 日 (金) ~ 12 日 (日)	9:00 ~ 17:30 (予定)	大阪市立総合医療センター さくらホール	市村 智子
5 「がん薬物療法を受ける患者の特徴と看護」	公益社団法人和歌山県看護協会	9 月 27 日 (木)	10:00 ~ 16:00 (内 1 時間休憩)	和歌山県看護研修センター	米本 加奈子
6 「ノロウイルス、食中毒、インフルエンザ対策について」	社会福祉法人うねび会 ほれほれケアセンター白樫	10 月 26 日 (金)	16:30 ~ 17:30 18:00 ~ 19:00	ほれほれケアセンター白樫 ほれほれホール	栢田 美加子
7 第 13 回 まっせ・はしもと	橋本市経済推進部農林振興課	11 月 4 日 (日)	9:00 ~ 16:00	県立橋本体育館	池田 景子
8 平成 30 年度 健康セミナー「腰痛の予防と対策」	橋本市民病院	11 月 15 日 (木)	13:30 ~ 15:00	神野々ふれあい会館	山本 奈保美
9 職業別ガイダンスの講師派遣	和歌山県立橋本高等学校	11 月 16 日 (金)	13:20 ~ 15:15	橋本高等学校	池田 景子
10 「すこやか橋本まなびの日」	和歌山県看護協会 / 伊都地区支部	11 月 25 日 (日)	9:00 ~ 15:30	和歌山県立橋本体育館	廣西 和代 池田 景子 戸川 千佳
11 平成 30 年度 ナーシングセミナーにおける講師派遣	伊都医師会 橋本・伊都 在宅医療・介護連携支援センター	11 月 28 日 (木)	18:00 ~ 19:00	和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院 3 階 会議室	曾和 倫代
12 「和歌山 FITTER ワークショップ 2018」	伊都医師会	12 月 15 日 (土)	14:00 ~ 17:40	橋本市民病院	金本 純子
13 脳卒中患者の離床計画と進め方・リスク管理について	医療法人 共栄会 名手病院	平成 31 年 1 月 16 日 (水)	17:00 ~ 18:00	名手病院 1 階 わかばホール	山本 奈保美
14 平成 30 年度 きのくにがん薬物療法チーム研修会	和歌山県がん診療連携協議会	平成 31 年 1 月 26 日 (土)	10:30 ~ 17:00	和歌山県立医科大学 高度医療人育成センター 5 階	米本 加奈子
15 平成 30 年度 ジュニアリーダー研修会	橋本市教育委員会生涯学習課	平成 31 年 3 月 22 日 (金) 14:30 ~ 3 月 23 日 (土) 9:00		紀北青少年の家	小守 博輝 池田 景子
16 「橋本市民病院健康セミナー」 緊急対応や急変時の対応に関すること	JA 紀北かわかみ ふれあい部	平成 31 年 3 月 26 日 (火)	18:00 ~ 19:00	JA 紀北かわかみ デイサービスセンターえびす	池田 景子

平成 30 年度 認定・その他学会資格取得者 / 研修修了一覧

	資格・研修修了	主 催	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1	がん化学療法看護認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
2	感染管理認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	2名	2名
3	皮膚・排泄ケア認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	/	1名	1名	1名	1名
4	緩和ケア認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	/	1名	1名	1名	1名
5	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
6	救急看護認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	/	/	1名	1名	1名
7	認定看護管理者	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
8	サードレベル教育課程修了	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	2名	3名	2名
9	セカンドレベル教育課程修了	公益社団法人 日本看護協会	12名	12名	15名	17名	15名
10	ファーストレベル教育課程修了	公益社団法人 日本看護協会	22名	25名	26名	30名	29名
11	アドバンス助産師	公益社団法人 日本看護協会	/	4名	5名	5名	5名
12	医療安全管理者養成研修	公益社団法人 日本看護協会	2名	2名	2名	2名	1名
13	医療安全管理者養成研修	公益社団法人 和歌山県看護協会	8名	11名	15名	18名	21名
14	医療安全管理者養成研修	一般社団法人 医療の質・安全学会	1名	2名	2名	2名	3名
15	医療安全対策にかかる研修	公益財団法人 日本医療機能評価機構	/	2名	2名	2名	2名
16	医療安全分科会研修	日本医療マネジメント学会	/	/	/	1名	1名
17	退院支援看護師養成研修修了	公益社団法人 和歌山県看護協会	8名	8名	8名	8名	8名
18	退院支援看護師	都道府県知事	/	/	/	3名	3名
19	教員養成課程	県医務課	2名	2名	2名	1名	1名
20	臨床指導者研修修了	都道府県知事	21名	22名	22名	23名	21名
21	新人看護職員研修責任者研修修了	和歌山県看護協会	7名	9名	12名	13名	13名
22	認定心理士	公益社団法人 日本心理学会	/	/	1名	1名	1名
23	循環器専門ナース	公益社団法人 臨床心臓病学教育研究会	1名	1名	2名	2名	2名
24	栄養サポートチーム専門療法士	日本静脈経腸栄養学会	/	/	2名	2名	2名
25	周術期管理チーム	公益社団法人 日本麻酔科学会	/	/	1名	1名	1名
26	呼吸療法認定士	3学会合同（胸部外科・呼吸器麻酔科）	2名	2名	2名	3名	3名
27	認知症ケア専門士	一般社団法人 日本認知症ケア学会	3名	4名	4名	4名	2名
28	消化器内視鏡技師	日本消化器内視鏡学会	5名	5名	4名	4名	3名
29	日本糖尿病療養指導士	一般社団法人 日本糖尿病療養指導士認定機構	4名	4名	4名	4名	4名
30	和歌山糖尿病指導士	和歌山 LCDE 認定委員会	14名	15名	16名	14名	13名
31	糖尿病重症化予防（フットケア）研修会	公益社団法人 和歌山県看護協会	4名	4名	5名	5名	7名
32	フットケア指導士認定セミナー修了	一般社団法人 日本フットケア学会	/	1名	1名	1名	1名
33	リンパ浮腫指導技師者	リンパ浮腫指導技能者養成協会	1名	1名	2名	2名	1名
34	関西ストーマケア講習会修了	関西ストーマケア攻守会実行委員会	1名	1名	1名	1名	2名
35	移植コーディネーター	日本臓器移植	4名	4名	4名	4名	5名
36	キャラバンメイト養成研修修了	和歌山県福祉保健施策局	/	/	2名	2名	1名
37	弾性ストッキング・コーディネーター	日本静脈学会	2名	2名	2名	2名	2名
38	オムツフィッター（2級）	はいせつ総合研究所	/	1名	2名	2名	2名
39	オムツフィッター（3級）	はいせつ総合研究所	3名	4名	4名	4名	4名
40	シニア福祉アドバイザー	財団法人 職業技能振興会	/	1名	1名	1名	1名
41	排尿機能検査士	日本排尿機能学会	1名	1名	1名	1名	1名
42	禁煙コーディネーター	JSSCS 日本禁煙科学会	6名	6名	7名	9名	9名
43	普通第1種圧力容器取扱い作業主任	一般社団法人 日本ボイラ協会京滋支部	3名	3名	3名	3名	3名
44	一般社団法人口腔ケア学会4級認定	一般社団法人 日本口腔ケア学会	1名	1名	1名	1名	1名
45	CRC 養成研修会修了	一般社団法人 日本病院薬剤師会	1名	1名	1名	1名	1名
46	JTAStm コース	一般社団法人 日本救急看護学会	1名	1名	1名	1名	2名
47	日本臨床救急医学会認定 ISLS コース修了	和歌山 ISLS 研究会	11名	13名	13名	13名	31名
48	二次救命処置（ICLS コース）	一般社団法人 日本救急医学会	/	/	8名	22名	25名
49	JADM	日本集団災害医学会	/	/	3名	7名	7名
50	DMAT 技能維持研修修了	厚生労働省	6名	5名	5名	6名	4名
51	災害支援ナース登録者	公益社団法人 和歌山県看護協会	11名	11名	14名	14名	14名

【概要】

外来診察がスムーズに行え、待ち時間などにも配慮し患者満足度を向上出来るように努めています。スタッフの構成は、看護師長1名・副看護師長2名・主任看護師4名・看護師28名・クラーク（委託含む）13名です。外来看護師が外来患者の症状や訴えだけでなく、観察や情報収集を行うことで、その人にとって必要な支援を行い診療がスムーズに受けられるよう努力しています。今年度より救急外来では、救急科医師が2名体制と増員され、救急看護認定看護師1名と看護スタッフで共に救急医療を担っています。中央処置室では、がん化学療法認定看護師を2名配置し、がん患者の身体面だけでなく、精神面や社会復帰に向けての援助、症状マネジメントなどを外来患者だけでなく入院患者さんにも行っています。また病棟で実施する化学療法が安全に行えるように、看護師への教育も行っています。専門外来では、皮膚排泄ケア認定看護師によるストマ外来、糖尿病療養指導士による糖尿病療養支援外来、フットケア外来を行っています。他にも医師の指示のもと、リンパ浮腫指導技能者が患者の相談・リンパドレナージなどの処置を行っています。

【外来目標】

1. 医療・看護ケアの質向上に努める
 接遇を強化し、患者満足度を向上させる
 - ・患者と常に対面し、訴えに耳を傾けるように意識しています。
 - ・名札を見せ、名乗ることで自分の行動に責任を持つように心がけています。
2. 医療安全・感染対策に努める
 インシデントなど速やかに報告、原因・対策を考えチーム全体で共有する。
 - ・各委員が積極的に啓発活動を行っています。
 - ・ミーティングを行い、情報共有・振り返りを行っています。
3. 地域連携の推進
 地域との連携を図るため、外来看護師としての役割を理解する
 - ・退院後初回診察の患者さんについては、必ず看護サマリーを確認し退院後の生活について問題はないかを確認し、看護介入の必要性を考えるようになって来ています。
 - ・通院中に必要な情報は共有するように、看護記録の徹底に努めています。

【取り組み等】

病棟勉強会

5月	クレアチニン分析装置・簡易測定器の使用法	10月	インフルエンザ検査について
6月	空気感染について	12月	アデノウイルス感染症について
7月	鼻出血時の対応と処置・看護について	1月	造影剤使用時の同意書の必要性について
8月	プララエント皮下注について		

【今後の課題】

- ・患者さんの声を聴き、看護専門職としての責任と行動が取れる
- ・医療安全に努める
- ・病棟、地域との継続看護につなげるための情報提供と情報共有
- ・必要な情報をセレクトし、「見える」看護記録の徹底

【概要】

消化器外科37床、総合内科17床による54床の混合病棟です。看護師長、副看護師長、主任看護師2名、看護師19名、ケアワーカー2名、退院支援看護師1名・医療ソーシャルワーカー1名、病棟クラーク1名を含む28名で構成し、チームナーシングと受け持ち制で看護を展開しています。

高齢化に伴い、当病棟で治療を受ける患者さんは、様々な既往歴があり重症な患者さんも多く入院されています。そのため、病状に合わせながら安全かつスムーズな離床の促進、異常の早期発見や合併症の予防に努めています。また、受け持ち看護師を中心とし、入院時から入院前生活情報について患者さんご家族からお話を伺い、医師・看護師・薬剤師・理学療法士・医療ソーシャルワーカー等の多職種で関わりを持ち、早期に社会復帰や在宅生活に戻れるように支援を行っています。

【病棟目標】

1. 円滑なコミュニケーションを図り、医療・看護の質の向上を図る
 - ・看護専門職として自己研鑽に努め、積極的に研修会等へ参加する。
 - ・組織人として自己の役割を理解し、倫理的に望ましい行動が取れる。
 - ・患者の立場に立った対応をする。
2. 医療安全・感染対策に努める
 - ・「報告・連絡・相談」の徹底。
 - ・インシデントの速やかな情報共有、検証から対策と評価を行う。
 - ・「対策は整理整頓から」を意識する。
3. 地域との連携を図り、患者の信頼と満足の上に努める
 - ・患者が見える看護サマリーの作成。
 - ・多職種と情報交換を行い、医療、看護の充実を図る。

【病棟の取り組み】

1. 院内研修への参加、また、ほとんどのスタッフが院外研修にも参加できた。研修内容が偏ることなく、幅広い分野で研修へ参加し、部署内で伝達講習を実施。
2. インシデント発生時には、カンファレンスを行い、スタッフ全員で原因と対策を考える機会を設けてきた。事例に対して、行動を振り返ること、対策をスタッフ全員で検討することでチーム力を高めていくことができた。しかし、スタッフのリスク感性には、個人差があり継続した指導が必要である。
3. 入院中の様子から、今後を引き継いでいかなければならない内容が示された看護サマリーが作成できるよう受け持ち看護師に指導を行った。

【今後の課題】

質の高い看護を提供するための自己研鑽、患者さんに寄り添った暖かい看護の実践が継続して行えるよう取り組みます。また、退院後は患者さんが安心して生活の場に戻れるよう、地域を含めた多職種と連携を図り、患者さんを支援していきたいと考えています。

【概要】

産科・婦人科・消化器内科・眼科・皮膚科の40床の混合病棟です。産科では、日本助産評価機構より認定を受けた助産師が中心となり、妊娠前から産後の育児まで、助産外来、病棟と継続した支援を行っています。また特定妊婦制度が開始となり、地域の保健師や訪問看護師と連携を図ることで妊婦・褥婦さんを支援しています。婦人科では手術、化学療法、終末期患者さんの看護を院内の他職種とも連携し患者さんを支援しています。消化器内科では主に内視鏡手術を受けられる患者さんが多く、眼科の白内障手術を受けられる患者さんと同様にクリニカルパスを用いて、術前、術後の看護を行っています。

【病棟目標】

- 1) 円滑なコミュニケーションを図り、医療・看護の質の向上を目指す
- 2) 医療安全・感染対策を徹底して行う
インシデント・アクシデント報告をすみやかに行う
事例検討を行い、原因と対策を全体で共有する
- 3) 病院経営に参画する
クリニカルパスを活用し、有効なベッドコントロールを行う
地域との連携を図り、患者の生活を見据えた退院支援を行う
- 4) 自己研鑽とスキルアップに努める
定期的に病棟勉強会を実施する。 看護研究学会・学術集会に参加する

【取り組み・実績】

- ・医療安全委員会を中心に部署内で起こったことを共有して対応を検討しました。「ベビーの事前カルテ作成手順」など多職種と協議し、マニュアルを作成しました。
- ・消化器内科のパス（ESD・EMR・ERCP等）を順次作成して本格的に5月から運用を開始しています。（消化器内科パス適応件数は29年度3件から30年度335件と増加し、パス利用率は眼科100%・産婦人科72%・消化器内科48%）でした。
- ・特定妊婦・気がかり妊婦への出産前・出産後における地域（保健師・訪問看護師など）との連携を行い、平成30年度については、保健師と連携した件数は20件でした。
- ・毎月担当者を決めて勉強会を実施

5月	消化器内科パスについて	10月	BLS 病棟での急変時の対応
6月	NST モニター・アラームについて	11月	心電図モニター・不整脈のみかた
7月	消化器内科治療・内視鏡手術について	12月	手指衛生について
8月	退院支援と退院調整 痙攣時の対応	1月	消化器内科疾患について
9月	消化器疾患のドレーン管理	2月	NCPR アルゴリズム

- ・助産師を中心に学会準備を行い和歌山県母性衛生学会学術集会を開催しました。また同学術集会で演題発表を行いました。
- ・第49回日本看護協会・在宅看護学術集会で演題発表を行いました。

【今後の課題】

- ・インシデントの内容を共有して、原因を分析し対策を検討していく。
- ・感染対策を徹底し、アルコール・ゴーグルの使用量から、皆に注意喚起していく。
- ・受け持ち助産師・看護師が、支援が必要な妊婦・褥婦・患者を地域につなげることができる。
- ・毎月の勉強会を継続する。

【概要】

4階西病棟は、循環器内科30床、乳腺呼吸器外科6床、総合内科8床、歯科口腔外科2床、呼吸器内科4床の混合病棟です。循環器内科では24時間体制で循環器疾患治療が必要な患者さんの受け入れを行っています。乳腺呼吸器外科では、肺がん、乳がんの診断や手術治療が行われます。また、終末期患者の緩和ケアも行われています。

病棟スタッフの構成は、看護師長1名、副看護師長1名、主任看護師2名、看護師21名、看護補助者2名の27名体制です。チームナースングと受け持ち制を取り、看護を展開しています。定期的に医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなど他職種カンファレンスを行い、患者さんに必要な治療・看護を提供し、順調に回復過程をたどることができるよう努めています。

【病棟目標】

- 1 円滑なコミュニケーションを図り、医療・看護の質向上を目指す
- 2 医療安全・感染対策に努める
- 3 地域との連携を図り、患者の信頼と満足の向上に努める
- 4 無駄・無理・ムラを無くし、働きやすい職場づくりを行う
- 5 自己研鑽とスキルアップ

【取り組み等】

- ・重傷患者をスタッフ全員で情報共有するため、ハドル、デブリーフィングを導入し、スタッフ間での協力が図れるようペア制を取り入れ実施しました。またコミュニケーションにまつわる安全標語を作成し、毎朝唱和する事でお互いの声掛けが増えました。
- ・医療安全委員を中心に、0レベル報告の内容をスタッフにフィードバックし未然に防げるよう努めました。
- ・患者さんに応じた経路別感染対策が行われているのか確認し、感染対策について勉強会を行いました。定期的にアルコールジェル消毒の使用量のチェックを行い、適切なタイミングについても感染管理委員、リンクナースとともに適宜チェックを行い指導をしました。
- ・退院支援カンファレンスを朝礼時に行うよう変更した事でスタッフとの情報交換の場となった。またスタッフにより情報交換内容の偏りが無いよう、情報収集用紙を作成し活用しました。
- ・時間外を申請制に変更した事により時間管理に対す認識を高めることが出来ました。
- ・毎月、担当を決め勉強会を実施

5月	脳梗塞病態、看護	6月	心筋梗塞病態、看護
7月	循環器で使用する薬剤について	8月	パートナーシップについて
10月	化学療法について	11月	スキンケアについて
12月	ペースメーカーについて	1月	一次ペーシング
2月	胸膜癒着術	2月	動注療法（化学療法）

【今後の課題】

- ・引き続き、ハドル、デブリーフィング、ペア体制を継続し、患者さんの情報共有を行い、安全に看護の提供が行えるよう努めていきます。また、定期的な勉強会を継続して行い、専門性を高め、患者さんに応じた看護の展開をおこなえるよう知識、看護技術力を身につけていきます。また、退院される患者さん個々に応じた支援ができるよう取り組んでいきます。
- ・インシデント内容から、原因を分析し対策を検討、実施する事で安全な看護の提供に努めていきます。

【概要】

整形外科43床、小児科5床、呼吸器内科2床の混合病棟です。突然の事故や病気で入院生活を余儀なくされた方に、環境の変化によって生じる不安をできる限り軽減し、安心して入院生活が送れるように支援を行っています。

【病棟目標】

1. 円滑なコミュニケーションを図り、医療・看護の質向上を目指す
 - 1) 笑顔で挨拶する事を習慣づける
 - 2) 相手に対して思いやりを忘れない
 - 3) 意見交換のできる風通しのいい風土づくり
 - 4) 速やかな報告・連絡・相談を行う
2. 医療安全・感染対策に努める
 - 1) インシデントレポートの積極的な記入
 - 2) 整理整頓を習慣づける
 - 3) マニュアル遵守に努める
3. 地域との連携を図り、患者さんの信頼と満足の向上に努める
 - 1) 患者・家族のご意見に関して誠意をもった対応を行う
 - 2) 看護過程を含んだ看護サマリーの充実
4. 無駄・無理・ムラを無くし、働きやすい職場づくりを行う
 - 1) DPCを意識した退院調整の実施
 - 2) タイムスケジュールを立て時間管理を行い時間外勤務を減らす
 - 3) 業務改善、整理を行い効率的な業務につなげる

【病棟の取り組み】

1. 若手看護師の発言が少ないことから、意見が言いやすいように、カンファレンスを少人数制に変更し、業務は先輩看護師とペアで行うこととしたことで、発言が増え、意見交換ができるようになりました。
2. 術後の回復期に転倒が多いことから、事前に転倒リスクを話し合い、環境整備に努めました。転倒件数が前年46件/半年→今年17件/半年、36.9%削減できました。
3. 看護サマリーが症状経過中心となっていたため、継続した看護が提供出来るように、スタッフへの指導回数を増やし、患者さんが見える看護サマリーの記載となるようにしています
4. 時間管理ができておらず、残務時間が超過していたため、業務内容の見直しを行い、看護をペアですること、時間管理をより意識するようになりました。

【今後の課題】

看護師が受け持ち患者の看護に責任をもって行えるよう、教育環境を整え、相談しやすい環境を提供していきます。

【概要】

5階西病棟は、脳神経外科31床、呼吸器内科7床、泌尿器科7床、総合内科5床の混合病棟です。

脳神経外科では、24時間体制で救急患者を受け入れており、そのため救急での入院患者が多くを占めます。脳血管治療後や脳内手術治療後の看護、脳卒中後のリハビリ看護がメインになります。泌尿器科においては、検査入院からがんの診断、手術、化学療法、放射線療法、ターミナルケアと検査から最期を迎えるまでの様々な場面に携わります。周手術期看護や緩和ケアなど医師を交えて話し合いを持ち、その患者さんの状態にあった適切な看護を提供しています。呼吸器内科、総合内科では幅広く多くの疾患が対象なためその人の生活習慣をともに振り返り、治療だけではなく患者さんの心理的、精神面のサポートも行うよう心がけています。

病棟スタッフ構成は、病棟師長1名、副師長1名、主任2名、看護師24名、ケアワーカー4名で構成し、チームナーシングと受け持ち制で看護を展開しています。疾患を幅広く看るため、スタッフ同士の連携はかかせず、日々カンファレンスを行うことで適切なケアを考え、個別に応じた看護を提供できるようにしています。安心して安全な入院生活を送って頂けるよう多職種が協働し、情報交換を密にし医療、看護の質向上に努めています。

【病棟目標】

1. 円滑なコミュニケーションを図り、医療・看護の質の向上を目指す
 - 1) 接遇マナーの向上に努める
 - ・挨拶に関して、受け持ち患者さんには勤務毎に挨拶を行い、スタッフの95%以上は挨拶ができています。
 - ・患者及び家族、面会の方にも積極的に挨拶ができるようになっています。
2. 医療安全・感染対策に努める
 - 1) マニュアルを遵守し、医療安全・感染管理に努める
 - ・インシデント発生時は、速やかにチームカンファレンスを行い原因を考え対策を早期に立てる。啓発標語の掲示や、定期的に注意喚起をするなど対策継続することで同じインシデントが防止できています。
 - ・転倒に関する対策では、運動機能障害や高次機能障害が残った患者さんへの関わりを言語療法士とともに行うこと、転倒予防のためのベッドサイドの環境整備など、多職種で関わり患者の安全に努めています。
 - ・感染管理では、アルコールジェルを携帯し、手指衛生の5つのタイミングで適切に行い感染防止に努めています。
3. 地域との連携を図り、患者の信頼と満足度の向上に努める
 - 1) 受け持ち看護師が中心となり、患者看護を展開する
 - ・受け持ち看護師が患者さんやそのご家族から得た情報を速やかに看護サマリーに記載する。患者カンファレンスで、多職種に患者さんの入院生活情報の提供ができ、よりよい退院支援に結びついています。

【今後の課題】

- ・今後も自ら挨拶することを徹底し接遇に関してスタッフ同士が注意しあえる環境を目指します。
- ・インシデントに関しては、要因・対策を早急に考え、安全対策を継続し再発を防止します。
- ・受け持ち看護師がタイムリーに看護サマリーを記載し、患者カンファレンスに必要な情報提供が行えることを継続していきます。

【概要】

5階東病棟は、地域包括ケア病棟として、退院後も、その方に適した療養が受けられるように退院支援を行っています。看護師配置13：1、看護補助者配置25：1で、看護を提供しています。

【病棟目標】

1. 医療、看護の質向上を目指す
 - ・誰にでも笑顔で挨拶し、相手の立場に立った対応をしよう
 - ・自己研鑽とスキルアップを図ろう
2. 医療安全・感染対策に努める
 - ・その場面に遭遇、発見の場合は、すぐ報告し、対応しよう
 - ・原因を追及し、改善策を共有しよう
 - ・整理整頓の徹底
3. 地域との連携を図る
 - ・サマリーは心のこもった手紙と心得、解りやすく伝えよう

【病棟の取り組み】

1. 明るい雰囲気です挨拶を積極的に行うことで、患者さんからお褒めの言葉を頂けるようになったので継続していきたい。一方、自己研鑽には消極的であった。
2. 転倒防止対策を行うため、リハビリ担当のセラピストと共にカンファレンスを行い、患者さんのベッド周囲の環境整備を行った。セラピストとのコミュニケーションも良くなり、受け持ち看護師が積極的に相談し、より安全な環境整備ができるようになった。
3. 看護サマリーの内容が、病状経過中心であった。看護の内容を詳しく、解りやすく記載できるよう、受け持ち看護師と何度も修正を行った。徐々にではあるが、解りやすくなったと、他施設のスタッフの方から評価を頂けるようになってきた。継続した看護が提供できるよう、さらなる改善が必要である。

【今後の課題】

患者さんが、住み慣れた地域で生活ができるように、5階東病棟スタッフ一同、心を込めた看護を提供したいと考えています。そのためにも自己研鑽を継続することが課題です。受け持ち看護師中心に、外来スタッフや地域の皆様との連携強化を継続していきたいと思いをします。

【概要】

手術室は5ルームあり、外科、整形外科、脳神経外科、眼科、産婦人科、乳腺呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、歯科口腔外科の手術を行っています。今年度の手術件数は、2,507件でした。手術体制は365日24時間待機制としており緊急手術にも迅速に対応しています。スタッフは、看護師長1名、主任看護師2名、看護師10名、臨床工学技士2名で構成されています。それぞれの役割を定め、手術室の質を担保するために専門性を発揮し業務を行っています。

手術室では、患者に安全な医療・看護が提供できるようカンファレンス、研修会などを通じ日々研鑽しています。特に今年度は、医療安全・感染対策の目標に対しての対策を強化し、より安全・安心な手術看護が提供できるよう取り組みを実施しました。

【目標】

1. 円滑なコミュニケーションを図り、医療看護の質向上を目指す
 - 1) 自ら笑顔で、誰にでも挨拶を行う
 - 2) 看護専門職として身だしなみを整える
 - 3) 倫理的感性を高めるため、カンファレンスを実施する
 - 4) 職種、上下問わず疑問や間違いを指摘でき、素直に受け入れることができる
2. 医療安全・感染対策に努める
 - 1) 0レベル報告書の記入の必要性を理解し毎月10件の報告を目標とする
 - 2) 整理整頓を心がけ、事故防止に努める
 - 3) 経路別感染対策の必要性を理解、情報共有し、徹底して行う
 - 4) 適切に防護具を着用し、感染を拡大、自己へ暴露させない
3. 地域との連携を図り、患者の信頼と満足の向上に努める
 - 1) 病棟と情報共有・連携をしながら継続看護を実施する

【部署での取り組み】

- ・化学熱傷対策：流れ込み予防シートの導入と貼付方法統一
- ・器械カウント対策：目視、指差し確認とチェック場面を定期的に確認し評価
- ・ガーゼカウント方法の変更：マニュアル改訂
- ・申し送りの方法：患者の側で目視確認による申し送り
- ・麻薬の準備と管理：マニュアル改訂
- ・単回使用資材への変更：リユース資材の削減 等

【今後の課題】

組織図に基づいた速やかな報告・連絡・相談を徹底し、コミュニケーションを密にすることで情報を共有し、安全文化を醸成していきたいと考えています。また、災害拠点病院の手術室としての役割を果たすため、マニュアルやアクションカードの見直し等を実施していく必要があります。

【概要】

呼吸、循環、代謝その他の急性期疾患、救急患者などで重症管理が必要な時、院内発生による重篤な患者、定期手術の術後管理などを24時間体制で受け入れ、看護を展開しています。病棟スタッフ構成は、看護師長1名、副看護師長1名、主任看護師2名、看護師9名体制で、4対1の看護体制を取っています。患者さんの安全管理に努め、少しでも苦痛なく効果的な治療が受けられるように援助を行っています。

【HCU目標】

1. 円滑なコミュニケーションを図り、医療・看護の質の向上を目指す
2. 医療安全・感染対策に努める
3. 地域との連携を図り、患者の信頼と満足の上昇に努める
4. 経営参画

【取り組み】

円滑なコミュニケーションを図るために、ブリーフィング・ハドル・デブリーフィングを行い、情報の共有や相談・報告ができるシステムづくりを行いました。病態のさまざまな患者さんに対応できるよう、またその患者さんに応じた適切な看護を提供するため、定期的な勉強会を開催し、フィジカルアセスメント能力、判断力が身につくよう自己研鑽を積極的に行なっています。さらに、起こった事例に対してHCUの看護師としての行動を振り返るために、事例カンファレンスを行いました。

4月	人工呼吸器について	10月	肺炎患者のみかた
5月	肺炎について	11月	消化管出血
6月	呼吸器の基本	12月	腎障害 認知症高齢者の看護実践に必要な知識
7月	呼吸器のモニタリング 看護過程	1月	急性期の血糖管理 事例カンファレンス
8月	閉塞性肺疾患	2月	事例カンファレンス
9月	敗血症	3月	重症患者の予防しなければならないこと

【実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均入室期間 (日)	2.8	3.1	2.9	3.1	2.5	2.9	2.3	2.3	2.5	3.6	3.6	2.8	2.9
1日平均人数 (人)	5.4	4.7	5.1	4.7	4.0	4.7	4.5	4.9	4.5	4.6	5.6	4.0	4.7
稼働率 (%)	86.7	75.8	85.0	77.4	67.2	78.3	73.7	81.1	77.4	76.3	92.3	69.4	78.2
看護必要度 (%)	99.4	99.3	98.1	97.9	99.2	98.5	100	99.3	98.6	99.3	100	96.8	98.8

【今後の課題】

入院時より退院の方向性を見据えた関わりを行い医師と協力し病床稼働率を上げる。業務終了前のデブリーフィングが十分に行えていないために、自分たちの看護を振り返ることができていませんでした。来年度はデブリーフィングの徹底と、事例カンファレンスを定期的に行う事でHCUの看護師としての行動の振り返りを行い、今後の看護に活かしていきたいと考えています。

VI 診療技術部紹介

VI 診療技術部紹介

薬剤部

臨床検査科

放射線科

臨床工学科

リハビリテーション科

栄養管理科

歯科技工室

地域医療連携室

医療安全管理部

【概要】

1. 薬剤部の理念

- (1) 薬の知識を活用し公衆衛生の保持および増進に寄与し、地域住民の健康と利益を支えていく。
- (2) 専門職能を生かしチーム医療に貢献する。

2. スタッフ

薬剤部長 : 河崎 尚史
主 任 : 小山 恵理、井上 裕子、宮本 賢典、木村 ナオ子、村田 典代
指 導 員 : 北島 正大
薬 剤 師 : 平井 衣理、西 千尋、森田 匠、松山 真範、大谷 由美（非常勤）、
東 万記子（非常勤）
助 手 : 藤原 千恵子、松浦 めぐみ

薬 剤 師……………計12名

助 手…………… 2名

3. 主な業務と取り組み

- (1) 電子カルテ・調剤部門システムを含むマスタ管理業務
- (2) 全入院患者への一包化調剤業務
- (3) 注射剤の個別払い出し調剤業務
- (4) 医薬品安全管理業務
- (5) 麻薬・覚醒剤原料・毒薬・向精神薬・血液製剤等管理業務
- (6) 医薬品情報提供業務
- (7) 中心静脈と抗悪性腫瘍注射薬の混合業務
- (8) 入院・外来患者さんへの薬剤管理指導業務
- (9) 入院患者さんの持参薬調査および報告業務
- (10) 各種チーム医療への参画

4. 薬局内 勉強会

実施日	内容	メーカー名	
平成30年	4月25日	抗癌剤（テセントリクについて）	中外製薬
	6月5日	長時間作用型気管支拡張吸入薬（スピリーバレスピマット）	日本ベーリンガー
	6月22日	インクレチン関連薬について	日本ベーリンガー
	6月26日	PARP阻害剤について	アストラゼネカ
	7月13日	DOACについて	日本ベーリンガー
	10月22日	過活動膀胱治療薬について	杏林製薬
	10月24日	オピオイド誘発性便秘用薬	塩野義製薬
	11月5日	月経困難症治療薬について	あすか製薬
	12月4日	抗癌剤（乳癌）について	日本イーライリリー
平成31年	1月28日	リコモジュリンについて	旭化成ファーマ
	2月14日	持続性癌疼痛治療薬（ナルサス）	第一三共
	2月21日	選択的ミネルコルコト受容体遮断	第一三共
	3月11日	検査値の見方（WEBセミナー）	小野薬品
	3月18日	SGLT-I,インクレチン関連薬最近の話題	日本ベーリンガー
	3月26日	肝細胞癌の治療薬について	エーザイ
	3月28日	ハイリスクな骨粗鬆症に対する治療薬	アステラス

5. 各種研修会参加

参加日	研修会名	
平成30年	5月13日	「病理と薬理を理解して薬学的ケアを実践する」研修会—肺癌—
	5月25-27日	第12回緩和医療薬学会年会
	6月9日	きのくに緩和ケアPDCAフォーラム
	7月16日	日本臨床腫瘍薬学会 Essential Seminar 2018 A-Program 細胞障害性抗がん薬編
	8月12日	日本臨床腫瘍薬学会 Essential Seminar 2018 B-Program 分子標的抗がん薬編
	8月26日	第7回OHP実務セミナー
	9月9日	2018 ブラッシュアップセミナー2018大阪
	9月16日	日本臨床腫瘍薬学会 APACCアップデートセミナー 2018
	9月22日	和歌山県 肺がんチーム医療ワークショップ
	10月18・19日	第57回全国自治体病院学会
	10月13・14日	第7回くすりと糖尿病学会
	10月28日	第23回和歌山県病院協会学術大会
	10月20・21日	第12回腎臓病薬物療法学会総会
	11月23-25日	第28回日本医療薬学会年会
	12月3日	第10回和歌山県病院薬剤師会 若手スキルアップ研修会
12月15日	和歌山インジェクション・フォーラム	
平成31年	1月19・20日	第40回日本病院薬剤師会 近畿学術大会
	1月26日	平成30年度きのくにがん薬物療法チーム研修会
	2月17日	日本臨床腫瘍薬学会 がん治療の薬薬連携セミナー 大阪

【実績】

1. 平成30年度 薬剤管理指導統計

(単位：人、回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総指導人数	312	289	268	303	235	167	213	203	218	165	137	98	2,547
服薬指導数	424	348	389	364	283	194	233	218	174	180	149	103	3,059
ハイリスク指導	125	116	135	160	105	52	69	78	65	80	62	45	1,092
通常指導	274	232	226	182	157	134	151	131	100	97	85	55	1,824
麻薬指導	5	6	2	8	1	0	0	1	1	2	4	2	32
退院指導	144	158	134	129	113	76	123	134	115	92	104	81	1,403

2. 平成30年 TDM件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
VCM	11	10	2	10	9	8	5	11	9	15	18	4	112
TEIC	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	5
GM	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	2	6

3. 平成30年度 無菌製剤調整件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
TPN	32	42	60	51	23	0	0	0	0	0	0	0	176
抗癌剤(入院)	19	17	29	32	35	18	26	32	24	26	26	25	290
抗癌剤(外来)	111	101	108	108	122	106	133	134	104	120	126	121	1,283

4. 学会発表

「橋本市民病院における多職種によるポリファーマシー対策チームの活動報告」

第57回全国自治体病院学会. 2018年10月18日-19日
北島 正大

「薬剤部と総合内科で採用抗菌薬適正化することで抗菌薬使用数と金額は減少する」

第18回日本病院総合診療医学会. 2019年2月15日-16日
北島 正大

「白内障手術における術後経口第三世代セフェム系抗菌薬中止による術後細菌感染への影響」

第40回日本病院薬剤師会 近畿学術大会. 2019年1月19日-20日
西 千尋

【今後の課題】

- ① 適切な薬物治療を提供するため、病棟薬剤業務を実施する体制を整える。
- ② チーム医療に積極的に参加しNST・糖尿病・がん・感染・緩和・腎臓・医薬品情報等の認定薬剤師制度や専門薬剤師制度などの取得をバックアップする。
- ③ 医薬品安全管理の観点から医師・看護師・他のコメディカルや患者に適切な情報提供を行い、各診療ガイドライン等に基づき医薬品の適正使用に貢献できる業務を展開する。
- ④ 腎機能低下時・肝機能低下時・高齢者など減量が必要な患者に対しては、ポリファーマシーの観点に注目しながら適切な処方提案を実施する。
- ⑤ 薬品購入に際して購入方法の見直しを含め、医薬品採用品目の適正化を図り、院内採用薬で代用可能な薬剤の処方提案を推進する。

【概要】

1. 臨床検査科の基本理念

地域の中核病院としての使命と機能に相応しい、質の高い最善で安全な診療支援を行なうために、以下のことを基本理念としています。

- (1) 日々研鑽し、精度を重視して、正確かつ迅速にデータを提供できるように努力する
- (2) 医療のニーズに応じた検査が提供できるように努力する
- (3) 他部門ともコミュニケーションをとり、お互い協力し病院発展の為に尽くす

2. 人員配置状況

○検体検査部門（一般・免疫・生化学・血液・輸血）	5名
○生理検査部門	5名
○病理検査部門	4名
○超音波検査室	1名
○細菌検査部門（委託）	2名
○中央採血室看護師	3名
○採血室および生理検査受付事務	2名

3. 有資格者数

・細胞検査士	：2名	・認定輸血検査技師	：1名	・二級臨床検査士（微生物）	：1名
・超音波検査士	：4名	・認定管理検査技師	：1名	・二級臨床検査士（血液）	：1名
・糖尿病療養指導士	：2名	・緊急検査士	：1名	・医療安全管理者	：1名
・認定微生物検査技師	：1名				

【実績】

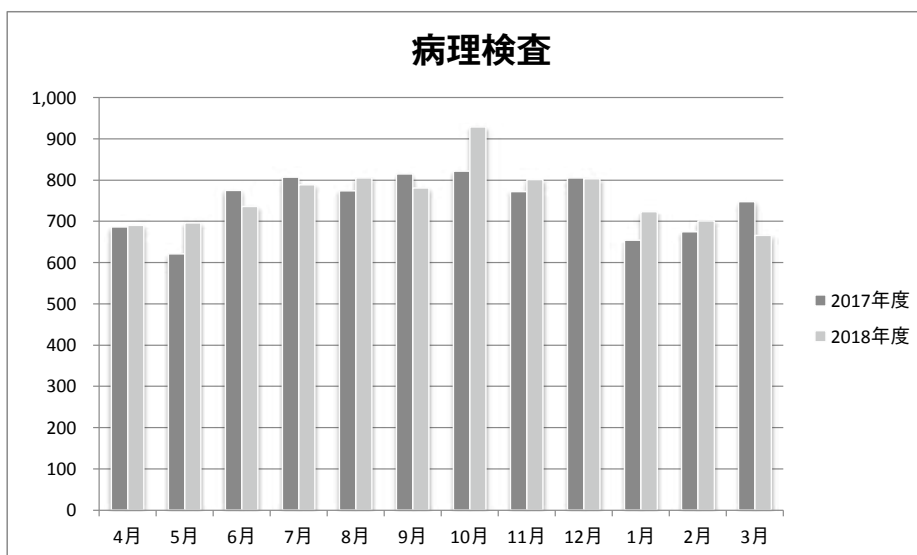
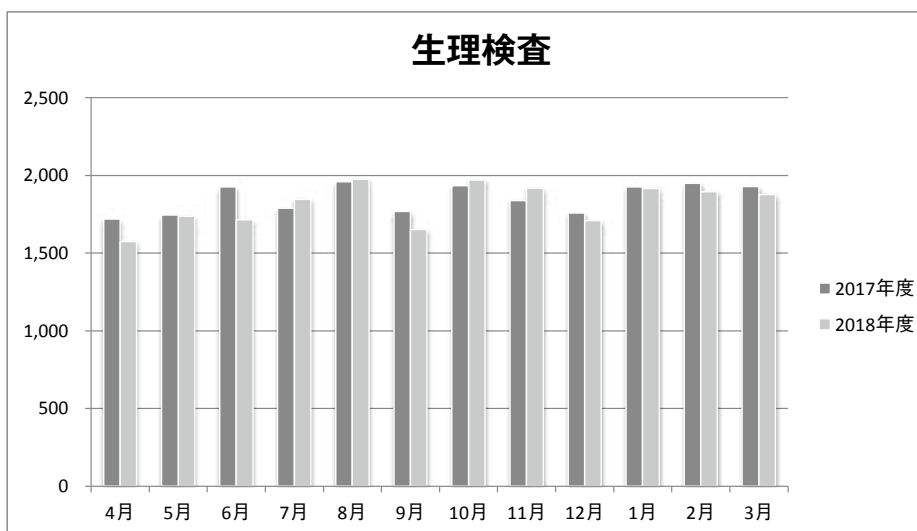
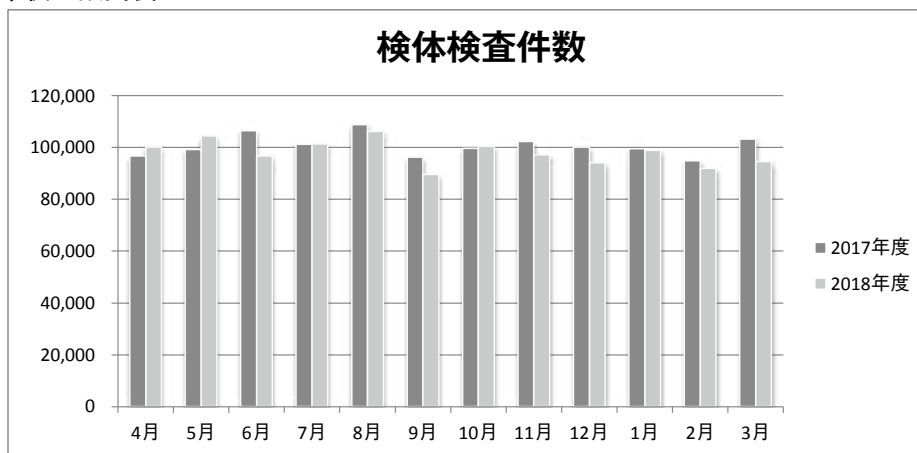
1. 対外実績（学会発表）

発表日	学会名	演題	発表者
2018年10月18日	第57回全国自治体病院学会	細菌検査室の主導による初期研修医を対象としたグラム染色研修について	上岡 奈未
2018年11月24日	第13回医療の質・安全学会	ICT介入による血液培養検査の精度向上に向けた取り組み	秋田 豊和
2018年12月1日	第58回日臨技近畿支部医学検査学会	微生物検査未経験技師の教育研修について微生物担当検査技師への第一歩	喜幡 聖子
2019年2月1日	第30回日本臨床微生物学会	当院におけるCoryne bacterium striatumの検出状況	上岡 奈未
2019年2月16日	第39回和歌山県医学検査学会	平成30年度 和臨技サーベイ結果報告(免疫部門)	前原 純
2019年2月17日	第39回和歌山県医学検査学会	当院で経験した脳死下による臓器提供事例について	秋田 豊和
2019年3月16日	平成30年度和歌山県臓器移植コーディネーター連絡会	脳死下臓器提供事例 ～脳波検査における問題点を乗り越えて～	秋田 豊和

2. 対外講演

発表日	学会名	演題	発表者
2018年8月25日	平成30年度日臨技近畿支部 微生物部門夏季研修会	MALDI Biotyperを導入した細菌検査室の立ち上げと運用	上岡 奈未
2019年2月17日	第39回和歌山県医学検査学会	R-CPC症例②	杉田和寿子

3. 部門別対前年検査数実績



【今後の目標】

医療法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令が平成30年12月より施行されました。具体的には検体検査に必要な精度管理を充実させるための書類を医療機関すべてが作成し、それに基づき業務を遂行するという内容です。書類には標準作業書を始めとし、作業日誌や分析装置の保守管理日誌も含まれています。平成31年度はこれらをスタッフ全員で完成させることを目標にします。

また今年度の学会発表は7題、対外講演が2題と昨年度とほぼ同様の結果となりました。

新しい元号が「令和」に決定しました。

臨床検査科スタッフ一同、新たな気持ちで医療進歩に貢献していきたいと考えております。

技師長：泉本 達治

日本放射線技師会 会員
日本放射線技師会主催 生涯教育課程修了
日本放射線技師会認定 臨床実習指導認定技師

副技師長：藤本 佳文

日本放射線技師会 会員
日本消化器がん検診学会 会員
NPO法人 日本消化器がん検診精度管理評価機構 会員
胃がんX線検診読影部門 B資格検定取得
胃がんX線検診技術部門 B資格検定取得
日本消化器がん検診学会 胃がん検診専門技師
日本医師会医療安全推進者養成講座 修了

主任：新田 伸一

日本放射線技師会 会員
日本放射線腫瘍学会 準会員
日本放射線技師会主催 生涯教育課程修了

主任：三木田 正夫

日本放射線技師会 会員
日本放射線技師会主催 生涯教育課程修了

主任：小坂 将弘

日本放射線技師会 会員 ， 日本放射線技術学会 会員
日本磁気共鳴学会 会員 ， 日本心臓CT研究会 会員
放射線機器管理士 ， 医用画像情報管理士
X線CT認定技師 ， 救急撮影認定技師
日本診療放射線技師会 アドバンス診療放射線技師

主任：森本 拓也

日本放射線技師会 会員
第1種放射線取扱主任者

主任：宮田 政明

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師

主任：武田 有紀

日本放射線技師会 会員
第1種放射線取扱主任者
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師

主任：西村 一真

日本放射線技師会 会員
日本放射線技術学会 会員
X線CT認定技師
放射線管理士

主任：森本 勝士

日本放射線技術学会 会員
日本血管撮影インターベンション専門診療放射線技師
日本磁気共鳴専門技術者

技師：小坂 恵子

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師

他：受付助手1名

『放射線科 理念』

- ・よりよい画像情報を提供します
- ・安心して、安全に検査を受けてもらえるよう心がけます
- ・待ち時間の短縮など、サービスの向上に努めます

『放射線科 行動指針』

- ・はっきり わかりやすく話す
- ・相手の気持ち 立場に立って行動する
- ・不安を取り除き、緊張をほぐしてあげる

『平成30年度 放射線科 目標設定』

- 1 「放射線検査における 患者の信頼と満足の向上 および 患者サービスの向上に向けての総合的取り組み」
 - ・検査に対する医療の質（より良い画像情報・適切な画像情報の提供）と安全性を高めるための知識や技術のさらなる取得
 - ・安心を提供するため、適切な検査説明を行えるための個人の能力の向上に向けての取り組みや、様々なツールを使用し、患者の安全確保のための取り組み等総合的なことを言う
- 2 「チームワーク・協調性の強化から、より良い職場環境づくり」
 - ・協調性の充実等を図り、良質な組織作りを行う
 - ・組織である以上協調性は絶対不可欠要素で有り、そのための良質な組織人としての人間形成を行う

高齢化社会の加速化、また食事環境の変化率によって、骨粗鬆症による骨折事例が増加しており、予防医学の視点からも骨塩定量検査の有用性が見直されています。この点に着目し、院内での骨塩定量検査推進の取り組みを行いました。

超急性期脳梗塞患者の血管内治療を行うため、脳血管治療センターを中心に、救急外来看護師と共に研修会や訓練を行い、「Code Stroke」を開始しました。

放射線科は、技師11名中2名が女性技師で、年々需要が高まるマンモグラフィーやマンモMRI撮影に対して、女性技師が対応することにより検査・検診への抵抗を可能な限り取り除くよう努めています。

また、各検査に於いても 高度な専門性が求められる傾向にあり、各種研修会等への参加および専門資格の取得など、積極的な取り組みを行っています。

【実績】

平成30年度 放射線科実績（検査数） (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般撮影	2,965	3,230	2,824	2,927	2,941	2,484	3,056	2,912	2,690	3,016	2,790	2,757
C T	1,514	1,616	1,552	1,600	1,553	1,341	1,726	1,554	1,583	1,605	1,453	1,518
M R I	425	495	504	470	514	421	506	442	421	428	431	498
T V	137	146	183	145	159	176	154	148	143	114	138	126
Angio	66	86	67	76	63	58	65	81	89	72	66	93
マンモ	58	62	87	126	123	108	121	128	128	102	100	62
歯科撮影	75	75	95	96	110	75	101	95	69	86	89	83
骨塩	49	39	70	50	48	55	55	70	71	44	39	59
ポータブル	326	402	386	346	297	296	360	343	316	374	351	277
核医学検査	44	26	34	42	47	31	42	53	40	40	43	49
放射線治療	157	145	118	140	126	70	162	259	159	247	390	259

平成30年度 参加研修会

日付	研修会名	会場
5月13日	大阪ハンズオンセミナー	ハービスENT ENTオフィスタワー
5月20日	平成30年度近畿支部勉強会 春季勉強会	大阪市立大学医学部学舎
5月26日	第3回 和歌山放射線腫瘍研究会	日本赤十字社和歌山医療センター

6月9日	第48回 CT画像研究会	大阪商工会議所 国際会議ホール
6月9日	第28回 関西Gyaro Meeting ～for next scan～	大阪国際ビルディング
6月9・10日	平成30年度第1回放射線被ばく相談員 フォローアップセミナー	世界貿易センタービル
6月16・17日	(一社)和歌山県放射線技師会 第70回定期総会	新宮ユーアイホテル
6月17日	平成30年度近畿支部勉強会 ステップアップ 臨床セミナー	大阪国際がんセンター
6月30日	放射線技術学会 近畿支部 平成30年度夏期セミナー	ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター
7月27日	第103回関西MRI技術研究会	大阪国際がんセンター
8月11日	医療施設のための改正放射線障害防止法説明会	大阪国際がんセンター
10月28日	第17回和歌山県病院大会 第23回和歌山県病院協会学術大会	ホテルアバローム紀の国
11月8日	第103回 南大阪MRI研究会	大阪労災看護専門学校
11月21日	和歌山放射線技師会 平成30年度第2回研修会	和歌山市中央コミュニティセンター
11月22日	平成30年度 全国自治体病院協議会和歌山支部 医療安全対策研修会	和歌山マリーナシティーホテル
11月28日	第28回 日本乳癌検診学会学術総会	大阪国際会議場
1月13日	第124回 関西IVR撮影技術研究会	大阪市立大学医学部附属病院
1月20日	平成30年度近畿支部勉強会 超基礎講座「IVR」	大阪市立大学医学部学舎
2月2日	和歌山放射線技師会 平成30年度第3回研修会	和歌山市中央コミュニティセンター
2月2日	第10回 Body DWI研究会	千里ライフサイエンスセンター
2月7日	第104回 南大阪MRI研究会	大阪労災看護専門学校
3月12日	第139回 放射線治療かたろう会	兵庫医科大学 平成記念会館
3月23日	THE 7th Osaka Heart Conference	エル大阪
3月30日	胃がん検診従事者講習会	エル大阪

日付	研修会名	演題
10月28日	第17回和歌山県病院大会 第23回和歌山県病院協会学術大会	『負荷あり脳血流SPECT検査における 取り組みとこれから』 発表：三木田 正夫
1月20日	平成30年度近畿支部勉強会 超基礎講座「IVR」	『活躍の視座を掴め！-知識・技術の活 用方法 その展開の可能性について』 座長：小坂 将弘

【今後の課題】

新病院へ移転後十数年が経過し、当時は最新機器であった撮影機器も老朽化の兆しが見えてきました。

平成29年度はMRI（フィリップス社製 1.5T）と、治療計画装置（Pinnacle）の更新を、平成30年度はアンギオ装置（Canon社製）の更新が行われました。来年度はX線TV装置の更新を予定しています。

これらにより、以前よりも精度の高い画像の提供と患者さんへの撮影の負担が軽減ができたと考えており、臨床からのニーズにできるだけ迅速にまた適格に対応できるように努めて行きたいと考えています。

またチーム医療として、造影剤を使用した検査に関する危機意識の向上や、MRI室に入室の際の注意事項等に関する研修会や啓発を継続的に行い、積極的に他部門との情報の共有化・充実化に向けて取り組んで行きたいと考えています。

そして引き続き、骨塩定量検査推進の取り組みと、超急性期脳梗塞患者における血管内治療の体制を強化していきます。

1、概要

平成17年度臨床工学科新設

平成28年度の4月より業務拡大の1つとして、手術室業務開始

それに伴いスタッフ増員し、ME業務4名、手術室業務2名（専従）体制で業務を実施

【理念】

ME機器を安全かつ効率よく使用できる環境を整える

【スタッフ】

ME業務	小嶋 宏之	手術室業務（専従）	西 真吾
	宮本 征士		松本 拓巳
	田嶋 勇介		
	岩谷 亮佑		

【業務内容】

（カテ室業務）

心臓カテーテル検査およびP C Iにおけるポリグラフ及び周辺機器の操作、使用する医療材料の取り扱い。

（手術室業務）

各科手術機器の操作。

専従技士による手術介助業務（直接・間接）

注 手術室業務実績は下表【実績】には件数は入っていません

（血液浄化業務）

病棟における持続血液濾過透析をはじめとする各種血液浄化法の実施。

（人工呼吸器管理業務）

院内で使用する人工呼吸器の保守及び点検業務。

（医療機器管理業務）

人工呼吸器（13台）、輸液ポンプ（136台）、シリンジポンプ（78台）、低圧持続吸引器（14台）などの機器を効率よく使用できるよう中央管理を行う。院内の医療機器の管理台帳を作成し各ME機器の保守点検及び修理業務の管理。

（ペースメーカー外来）

毎月ペースメーカー外来日を設け、定期的にペースメーカーチェックを行う。

（在宅呼吸療法）

在宅での呼吸療法で使用する機器の手配、使用説明およびその指導、管理。

（内視鏡業務）

内視鏡室での検査・治療の補助及び機器の洗浄・管理を行う。

小腸カプセル内視鏡検査の準備・装着・回収・解析記録の処理を行う。

2、実績

平成30年度臨床工学科実績

（数字は件数）

		29年度	30年度	
臨床業務	カテ室業務	P C I	205	245
		心カテ	192	171
		その他	482	565
	内視鏡業務※	内視鏡	4,573	4,700
		カプセル	32	22
	病棟業務	C H D F + H D	31	114
		その他	99	128
ペースメーカーチェック		337	314	
呼出件数		94	100	
修理・点検業務	修理業務	217	225	
	点検業務	1,659	1,402	
合計		7,921	7,986	

3、今後の展望と課題

今後、ますます医療が発達しそれに伴い新しい医療機器を使用する治療が増えてきます。
それらの機器を安心・安全に使用できるよう、研鑽に努めていきたいと思ひます。
また、ME 機器の更新についても積極的に関わっていききたいと思ひます。

業績 発表

No	発表月	学会名	演題	発表者	共同発表者	開催都市
1	平成30年6月	和歌山臨床工学技士会	在宅療法導入説明を見直して	岩谷 亮佑		和歌山
2	平成31年3月	第10回ねごろ医用実学研究会	臨床工学技士の病院での実際	田嶋 勇介		和歌山

【概要】

リハビリテーション科は、理学療法、作業療法、言語聴覚療法の3部門で構成され、それぞれ理学療法士（PT）23名、作業療法士（OT）4名、言語聴覚士（ST）3名が携わっています。役割として、入院後や発症早期からの急性期リハビリテーションを担っており、ベッドサイドからの介入により早期離床、廃用症候群の予防を行い、日常生活動作の早期再獲得を目指しています。リハビリ対象疾患は、高齢化や複数の疾患障害を持つ方も多く、運動器疾患や脳血管疾患に加え、循環器疾患や内科・外科の内部障害、がん患者へのリハビリテーションなどです。理学療法部門では、土日祝日、年末年始も休みなく365日リハビリテーションを行っております。

また、地域の回復期リハビリ医療施設あるいは介護保険下の療養施設や老人保健施設と連携して、適切な転院を模索することで役割を明確にした効率的なリハビリ医療を行っています。一部ですが運動器疾患を中心に退院後も必要に応じて通院しながら外来での継続的なリハビリも提供しています。

<施設基準>

- ・運動器リハビリテーション（I）
- ・脳血管疾患等リハビリテーション（I）
- ・呼吸器リハビリテーション（I）
- ・がん患者リハビリテーション
- ・心大血管リハビリテーション（I）
- ・廃用症候群リハビリテーション（I）

<有資格者>

- ・3学会合同呼吸療法認定士：4名
- ・がんのリハビリテーション研修修了者：13名
- ・和歌山県糖尿病療養指導士：2名
- ・地域包括ケア推進リーダー：2名
- ・介護予防推進リーダー：3名
- ・リンパ浮腫療法士：1名

【スタッフ紹介】（平成30年4月）

理学療法士23名			作業療法士4名	言語聴覚士3名
・梶木 重裕	・左海 登子	・後呂 達哉	・水野 恵子	・坂井 俊文
・浅倉 洋司	・兼井 奈保	・尾家 千尋	・金岡 歩	・片山 季也
・吉岡 徹	・小原 準矢	・上田 健太郎	・汐崎 敦子	・木村 奈央実
・松本 隆幸	・井向 博信	・則岡 優佑	・佐藤 将人	
・内田 利加	・濱田 知也	・中谷 竜也		
・松田 恒輝	・櫻井 諒	・橋角 亮佑		
・菅野 徳央	・佐本 善紀	・大江 光司		
・阪部 陸	・松島 宏治			

【科の取り組み】

・理学療法部門

身体運動機能に障害を持った方に受傷後（発症後）早期より筋力や関節の動きを改善したり、寝返り、起き上がり、坐位、起立、歩行などの日常生活に必要な基本動作の回復や廃用症候群（全身的もしくは局所的な安静による機能低下）の予防を図ります。歩行などの移動能力を獲得することを通じ職場や家庭への早期復帰を進めます。

リハビリテーション処方数 (件)

疾患別	平成30年度	平成29年度
運動器疾患	13,896	15,489
脳血管疾患等	8,284	7,623
廃用症候群	9,569	10,110
呼吸器疾患	4,658	4,808
心大血管疾患	2,323	2,277
がん疾患	3,599	2,379
合計	42,329	42,686

※前年比 0.8%減

疾患別リハ実施単位数 (単位)

疾患別	平成30年度	平成29年度
運動器疾患	22,560	24,236
脳血管疾患等	12,339	11,416
廃用症候群	11,668	12,414
呼吸器疾患	5,702	5,692
心大血管疾患	2,880	2,851
がん疾患	4,605	3,196
合計	59,754	59,805

※前年比 0.1%減

・作業療法部門

障害によって阻害された身の回り動作（食事・整容・更衣・排泄・入浴）を獲得するために、早期より訓練を行っています。動作練習を行ったり、道具を使ったり、手工芸などを通じて日常生活が送れるようにサポートしています。また、必要に応じて自助具の作製・福祉用具の指導・紹介も行っています。

リハビリ実施患者数 (件)

疾患別	平成30年度	平成29年度
運動器疾患	3,214	2,980
脳血管疾患等	4,948	4,232
廃用症候群	537	270
呼吸器疾患	106	96
心大血管疾患	32	31
がん疾患	94	0
合計	8,931	7,609

※前年比 17.3%増

疾患別リハ実施単位数 (単位)

疾患別	平成30年度	平成29年度
運動器疾患	4,236	3,666
脳血管疾患等	8,264	6,986
廃用症候群	818	497
呼吸器疾患	159	157
心大血管疾患	67	35
がん疾患	122	0
合計	13,666	11,341

※前年比 20.5%増

・言語聴覚療法部門

脳卒中後遺症により話す、聴く、書く等が困難となる失語症、麻痺で正しく発音ができない構音障害に対しコミュニケーション能力向上を図ります。また、飲み込むことが困難となる嚥下障害に対しても口から食べることを目標として評価・訓練・指導を行います。近年増加の一途をたどる摂食嚥下障害に対するニーズが高く、各診療科から依頼の多い分野となっています。

リハビリ実施患者数 (件)

疾患別	平成30年度	平成29年度
脳血管疾患等	3,851	3,566
がん疾患	25	14
摂食機能療法	4,220	4,164
合計	8,096	7,744

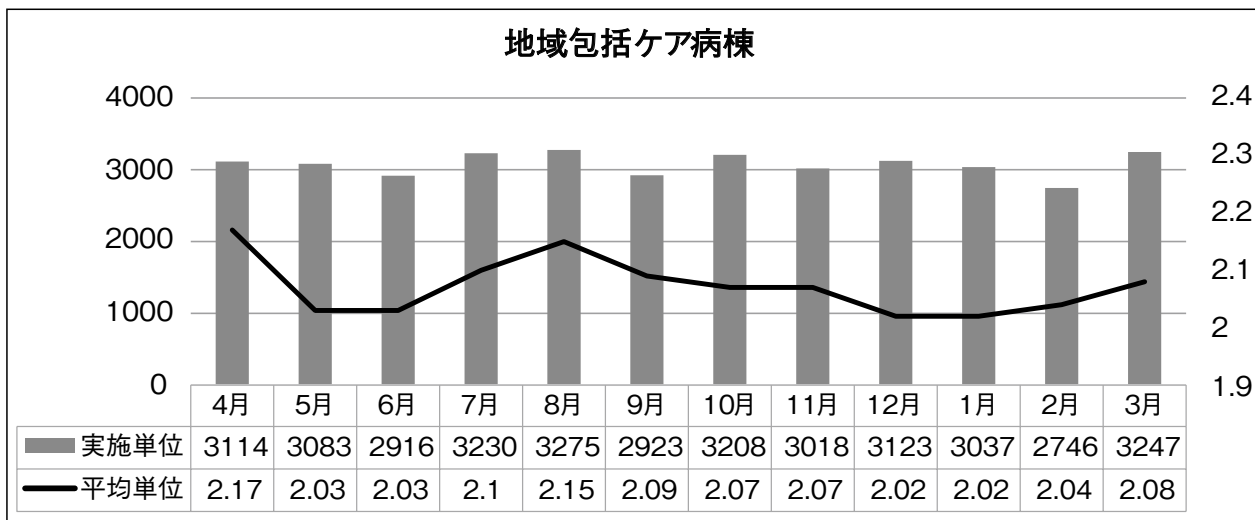
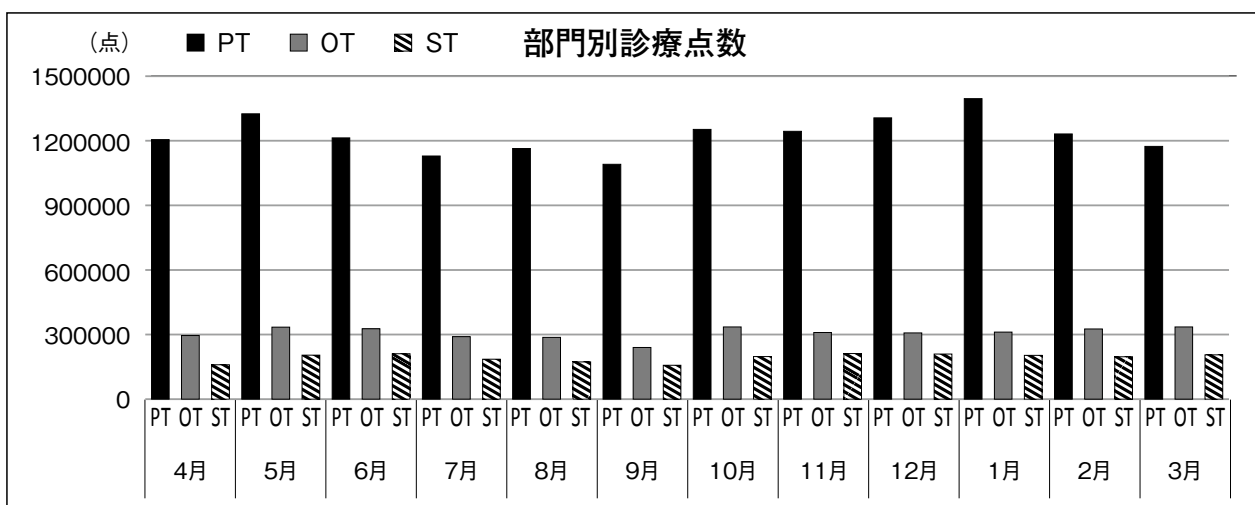
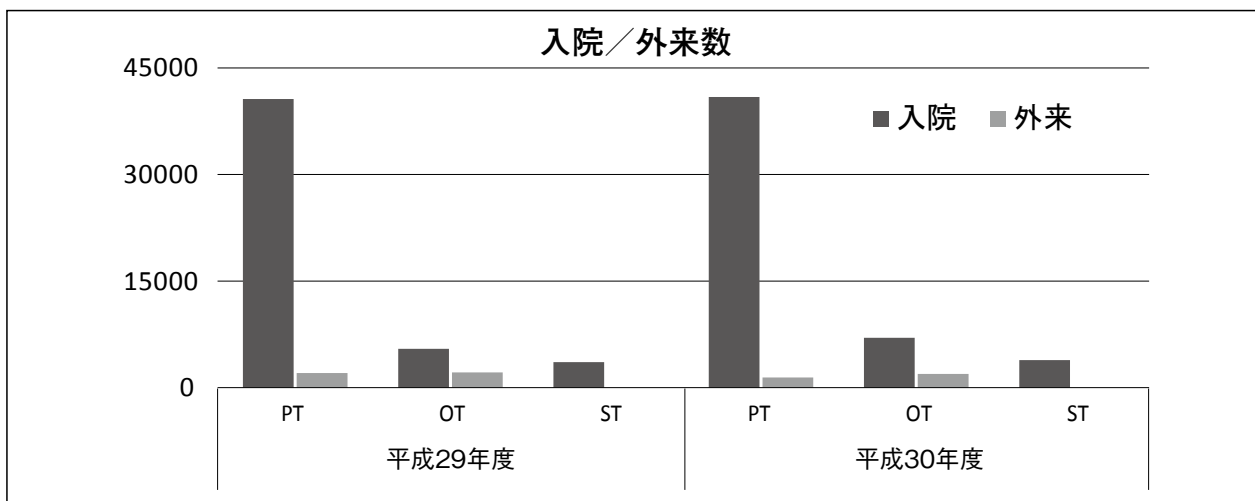
※前年比 4.5%増

疾患別リハ実施単位数 (単位)

疾患別	平成30年度	平成29年度
脳血管疾患等	5,334	5,653
がん疾患	26	15
摂食機能療法	4,220	4,164
合計	9,580	9,832

※前年比 2.6%減

【診療実績】



地域包括ケア病床入院中の患者に対する月平均のリハ実施患者数は48.9名、月平均の総実施単位数は3076.6単位、患者一人1日当たりの平均実施単位数は2.07単位であった。

【今後の課題】

医師の指示のもと早期に機能改善を目指し、廃用症候群を予防して効果的リハビリテーションを行い、できる限りの機能回復が成された状態で回復期や在宅へ繋いでいます。理学療法部門において365日リハビリテーションが定着し、引き続き専門職としての質の向上を課題としています。

個人の資質や自覚が必要な中、各部門とも院内外の研修会や学会への参加、科内での勉強会を積極的に展開し、幅広いニーズに対応できる臨床能力の高いセラピストの育成が不可欠です。さらなる知識・技術の向上に努め、リハビリ治療の質の均質化を図るとともに可能な限り早期リハビリテーション介入により十分な提供量を確保していきたいと考えています。

業績

講演 (院内も含む)

No	発表月	会名	演題	発表者	開催都市
1	平成31年1月	図書館講座	腰痛と膝関節痛の予防 理学療法士の観点から	浅倉 洋司	橋本
2	平成30年4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、平成31年1月、2月、3月	成人片麻痺における環境適応	移動からADL(4～12月)、体幹機能(1～3月)	佐藤 将人	橋本
3	平成30年9月	姫路ハンドリング研修会	成人片麻痺者における障害像と機能的活動	佐藤 将人	姫路
4	平成30年10月	大阪リハビリテーション病院 院内研修会	中枢神経系疾患における洗体・更衣への治療介入	佐藤 将人	阪南
5	平成31年1月	ボトムアップ研修会	成人片麻痺者における障害像	佐藤 将人	泉佐野
6	平成31年1月	姫路ハンドリング研修会	中枢神経系疾患における起居動作への治療介入	佐藤 将人	姫路
7	平成31年2月	和歌山県作業療法士学会	仕事をしながらリンパ浮腫と上手につきあえる方法を模索した1症例	汐崎 敦子	かつらぎ町
8	平成30年12月	和歌山県作業療法士生涯教育研修	屈筋腱損傷 (Zone II) の症例報告	汐崎 敦子	和歌山市
9	平成30年11月	2018 和歌山県紀北ブロック症例発表	右膝関節後顆骨折、後十字靭帯損傷による術後関節内癒着に対する、関節鏡視下受動術を行った症例	尾家 千尋	紀の川市
10	平成30年11月	2018 和歌山県紀北ブロック症例発表	大腿骨転子部骨折術後症例について、中殿筋に着目しアプローチを行った症例発表	中谷 竜也	紀の川市
11	平成30年11月	2018 和歌山県紀北ブロック症例発表	左大腿骨骨幹部・顆部骨折で膝関節屈曲制限を呈した1症例	則岡 優佑	紀の川市
12	平成30年11月	2018 和歌山県紀北ブロック症例発表	第2セッション座長	松島 宏治	紀の川市

【概要】

栄養管理科は管理栄養士3名体制で、主な業務は外来および入院患者の栄養管理です。その中で最も中心となるのは栄養指導業務です。外来個人栄養指導、入院個人栄養指導、妊産婦教室栄養指導なども行っています。糖尿病ワーキングでは院内、院外でのイベント活動や栄養食事指導、NSTでは回診、カンファレンスの参加や定例勉強会等の活動にも力を注いでいます。病院管理栄養士は専門性を高め、個々の患者の栄養管理、栄養補給法を提案する活動に変化しつつあります。

嚥下ワーキング活動においては、食べやすい食事形態の要望も多く、当院の嚥下食の現状と課題について「日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2013」に基づき、重曹や酵素を導入した調理方法や献立の改良を行い嚥下食の充実に向け整備を行いました。食欲不振食は、化学療法、高齢者の食欲不振における食事として導入を行い、改良に向け、現在検討しております。

給食部門は平成11年に直営から給食会社へ全面委託となり、入院患者の食数管理、献立作成、食材発注、在庫管理、調理、盛り付け、配膳、下膳、洗浄は給食会社が行っています。

<理念>

- ◇ 患者さんの病態に応じて適切な食事を提供し、その治癒あるいは回復の手助けをする
- ◇ 治療食であっても個人の嗜好と生活習慣を考慮した食事を提供する
- ◇ 衛生的で、安全・安心な食事を提供する
- ◇ 栄養指導を行い、食事・栄養管理できるように行動の変容に導く
- ◇ 栄養管理を行い、患者さんのQOLを高める手助けをする

<行動指針>

- ◇ いつも笑顔でまごころをこめた対応
- ◇ 「ありがとう」という感謝の気持ちを持って行動
- ◇ 「すみません」という謙虚な気持ちを持って行動

<スタッフ>

副技師長 藤本 佐和子

主任 高橋 佐智

管理栄養士 下垣内 愛奈

(給食会社 シダックスフードサービス株式会社) 27名

(栄養士5名・調理師10名・調理員11名・事務員1名)

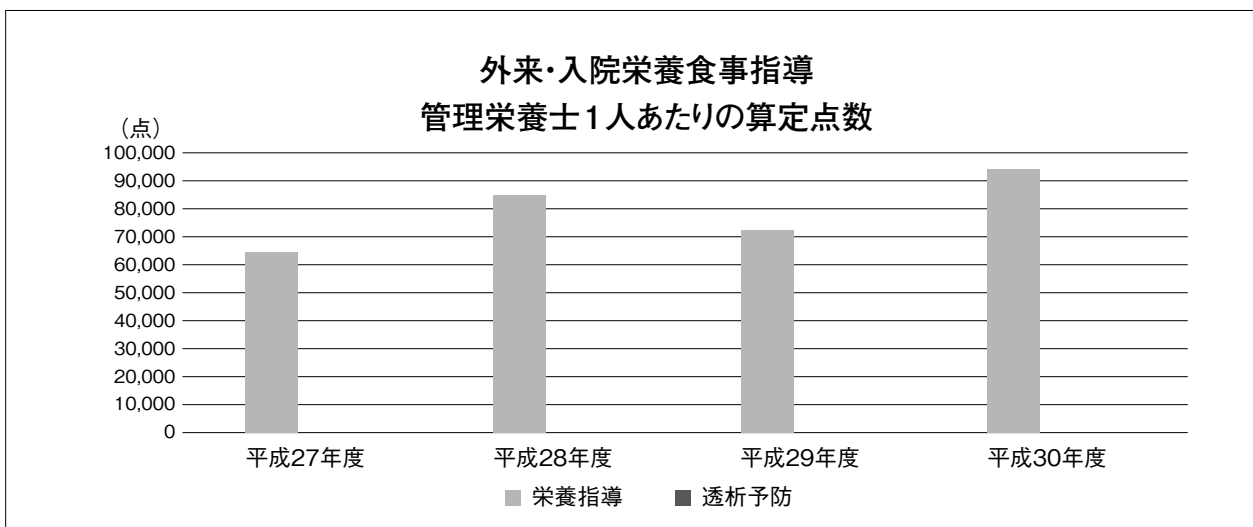
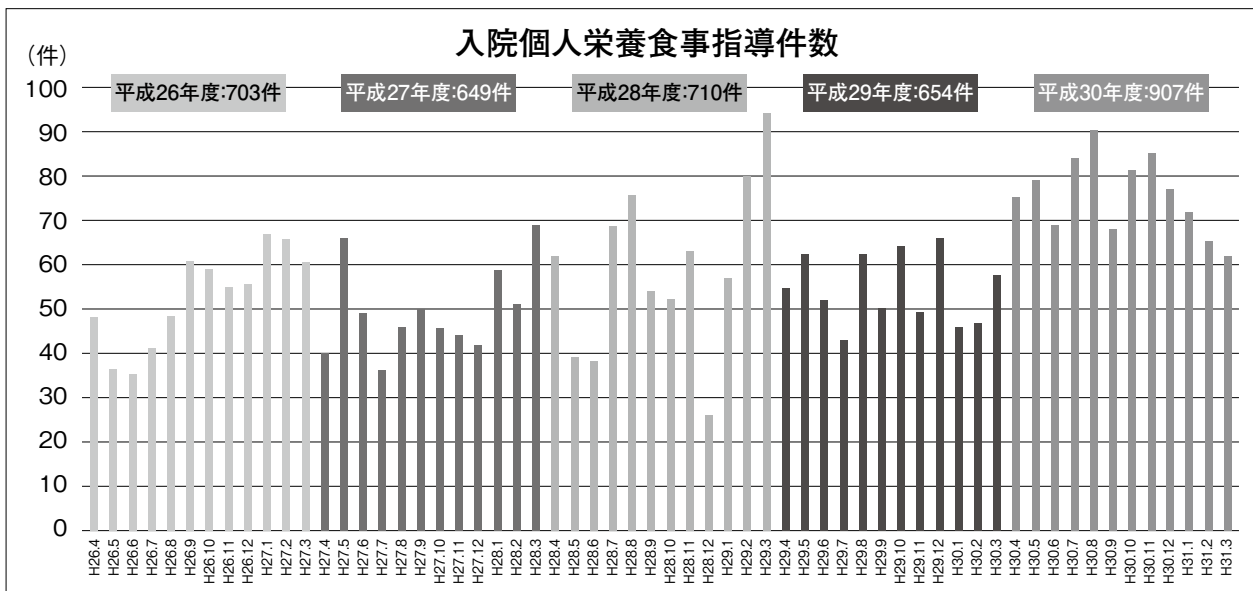
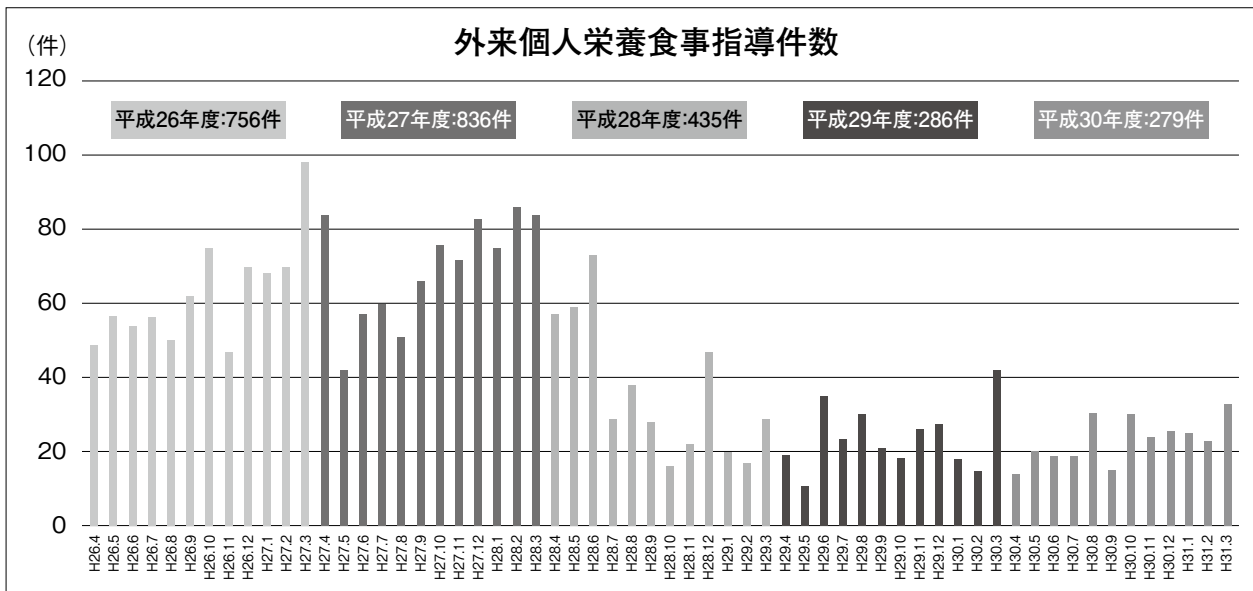
【実績】

平成30年度食数

(件)

食種		月												年度平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
一般食	常食	7,586	8,989	7,551	7,667	7,300	6,612	8,071	7,864	7,415	7,125	6,889	7,128	7,516
	軟食等	6,328	6,790	6,937	6,606	6,906	6,497	6,416	6,769	7,804	7,964	7,257	7,264	6,962
特別食	加算	6,772	6,763	5,788	5,982	5,104	5,369	6,103	6,116	5,837	5,872	6,121	6,030	5,988
	非加算	176	190	314	422	293	311	516	209	282	352	169	174	284
計		20,862	22,732	20,590	20,677	19,603	18,789	21,106	20,958	21,338	21,313	20,436	20,596	20,750
患者外食	職員食	516	532	525	547	590	483	588	582	540	543	537	585	547
その他	託児所	268	259	262	270	283	258	298	282	274	225	274	245	267
計		784	791	787	817	873	741	886	864	814	768	811	830	814
栄養個人指導	外来集団	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	入院集団	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来個人	14	20	19	19	31	15	30	24	26	25	23	33	23
	入院個人	75	79	69	84	90	68	81	85	77	72	65	62	76
計		89	99	88	103	121	83	111	109	103	97	88	97	99

平成30年度 外来・入院栄養食事指導実施件数



【栄養管理委員会とNST関連】

<栄養管理委員会>

平成30年4月12日

- * 入院時栄養スクリーニングMNA-SF稼働に向けて
MNA-SF試験運用実施後アンケート結果報告
現状の課題と問題点～全病棟稼働に向けて～
- * GFO導入に関して
- * 特別治療食 心臓食嗜好調査結果報告

平成30年11月22日

- * 入院時栄養スクリーニングMNA-SF全病棟稼働後 結果報告
～現状の課題と問題点～
- * NSTより加算についての現状報告
- * 経腸栄養剤取扱い一部変更について
- * 食欲不振食「なごみ食」について
- * 嚥下食4（コード4）の粥食追加について

<NST関連・定例勉強会>

平成30年度NST勉強会

- 第1回9月21日 講師：テルモ株式会社 WEBセミナー 「みんなで診る高齢者患者の栄養サポート」
- 第2回10月4日 講師：ミヤリサン製薬株式会社
「経腸栄養の合併症とその対策について～ミヤBMの有用性～」
- 第3回2月7日 講師：キューピー株式会社 「経管栄養の基礎知識とREF-P1の使用方法について」
- 第4回2月28日 講師：大塚製薬株式会社 WEBセミナー 「侮れない肝硬変栄養療法」

<NST関連・毎週1回NST症例検討会>

- * 回診・症例検討会（毎週木曜日）

平成18年5月よりNST稼働

NSTメンバーにて毎週症例検討会を行う。

平成27年2月より、NST加算運用を実施（平成28年9月～平成29年8月加算無）

平成18年5月～平成30年3月までの症例件数 1,082件（新規症例患者）

【食事についての紹介】

行事食は毎月1～2回行われ、暦行事にちなんだ料理・普通食～治療食（特別食）の行事食を提供しています。

オリジナルメッセージカードも添えて提供しています。

【行事食の紹介】

- 1月 1日～3日正月料理（雑煮・黒豆・田作り・数の子・紅白なます・赤飯・鯛）
- 1月 7日七草粥
- 2月 3日節分（巻き寿司・鯛・節分豆）
- 3月 3日ひな祭り
- 4月 4日お花見弁当
- 5月 5日子供の日
- 6月 入梅
- 7月 7日七夕
- 8月 15日夏祭り
- 9月 15日敬老の日
- 10月 秋祭り
- 11月 開院記念日
- 12月 冬至、クリスマス、大晦日

【食種】

院内食事箋規約より、普通食（A～D）、軟菜食（3分粥、5分粥、7分粥、全粥、軟飯）

流動食（流A、流B、流2）食欲不振食（なごみ食）

陣痛食、産褥食、嚥下食（開始～移行）、経管栄養食、術前食、各術後食（術A、術B、術C、術D、術E）、糖尿病食、脂質異常症食、腎臓食、ネフローゼ食、透析食、心臓食（A、心BⅠ、心BⅡ、心C）、肝臓食（A～C）、膵臓食（3分粥～米飯）、胆嚢炎・胆石食（流動～米飯）、潰瘍食（1分粥～米飯）、腸炎食（3分粥～全粥）、貧血食、低残渣食、低ヨード食、大腸検査食、小児食（A～D）、離乳食（A～D）、小児腸炎食（A～D）、小児腎臓食（A-A～D、B-A～D、C-A～D）小児ネフローゼ食（A-A～D、B-A～D）があり、合計200種類以上の食種となる。この食種に加え、多様な個人対応（アレルギー除去食含む）も行っています。

【今後の課題】

安全・安心で且つ患者さんに喜んでいただける食事作りと、各専門性を活かした栄養管理と栄養食事指導の拡充を図り、地域に貢献できるよう発信していきたいと考えております。

業績 発表

No	発表月	学会名	演題	発表者	共同発表者	開催都市
1	平成30年6月	第24回関西PEG・栄養とリハビリ研究会	「当院の近隣医療施設へのアンケート調査で判明した橋本地域の胃療の現状」	高橋 佐智		大阪市
2	平成30年10月	第23回和歌山県病院協会学術大会	「地域連携へ・管理栄養士としてできること」	藤本佐和子		和歌山市
3	平成31年2月	第34回日本静脈経腸栄養学会学術大会	「MNA-SF判定の推移別による在院日数および死亡率の比較検討」	高橋 佐智		東京

講演（院内も含む）

No	講演月	会名	演題	講演者	開催都市
1	平成30年8月	橋本市民病院地域医療ネットワーク会議	「地域での嚥下食内容の統一の試み」	藤本佐和子	橋本市

【概要】

歯科技工室は、歯科口腔外科外来に設置構成された歯科専門技術職です。

<理念>

- 1) 専門職として患者さんに対応する。
- 2) 他職種とのコミュニケーションづくりをする。
- 3) 患者さんが来院しやすい病院づくりをする。

<スタッフ>

歯科技工士 副技師長 下坂洋二
 歯科衛生士 (嘱託) 1名
 歯科衛生士 (臨時) 1名

(1) 技工部門

歯科医師の指示の下、他科から依頼のさまざまな技工物や睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置、手術後の顎欠損患者さんの顎補綴、止血用のシーネ、顎関節治療用のスプリント、歯ぎしり防止用ナイトガード等を迅速に作製し、入院患者さんの生活の質向上に努めています。

(2) 診療部門

歯科衛生士は、歯科診療補助業務の他、外来患者さんと入院患者さんに専門的口腔ケアなどを行います。周術期口腔機能管理では、医科と連携し、歯科医師と共に口腔管理を行います。また、嚥下機能が低下している他科の入院患者さんなどを歯科医師と共に往診し、病棟看護師の協力の下、専門的口腔ケアを行います。チーム医療では、NSTチーム、緩和ケアチームに積極的に参加しています。

【実績】

平成30年度 往診口腔ケア・外来口腔ケア・周術期口腔ケア (延べ件数) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
往診口腔ケア	15	23	19	37	29	22	23	25	28	20	20	17	278
外来口腔ケア	28	25	31	26	36	34	32	27	18	32	37	34	360
周術期口腔ケア	18	11	31	28	50	42	34	32	24	33	36	36	375

【今後の課題】

周術期では、術前・術後の口腔機能管理を行うことにより、術後肺炎などの合併症予防ができることが期待されています。診療部門では、通常外来診療と並行して、歯科医師と共に周術期口腔機能管理を行っているため、術後の口腔ケア介入のタイミングを検討し取り組んでいく必要があると考えています。

【概要】

平成30年4月より、地域医療部では前方支援を地域医療連携室、後方支援を入退院支援室として機構改革を実施し、より一層、地域における中核病院として地域の医療機関及び関係機関と連携を深め、患者さんに対してより質の高い医療を提供できるよう組織強化を行いました。

本年度も地域の医療機関からの診療・検査の予約受付や転院受入れを行うとともに、医師・看護師等と連携して、急性期治療後の在宅復帰・転院の退院調整などの支援を患者さん・ご家族に対して実施しました。また、地域医療部の取り組みとして、「橋本市民病院地域医療ネットワーク会議」の開催や地域医療機関向け広報誌の発行、各診療科の勉強会等の実施等を通じて当院の情報発信を行いました。

【組織図】

組織名	補職名	氏名（職種）	備考	
地域医療部	部長	嶋田 浩介（院長兼務）		
	副部長	西 未知子（看護部長兼務）		
地域医療連携室	室長	兼平 龍一（入退院支援室長兼務）		
	主幹	山本 茂晴（事務員）		
	室長補佐	池田 知将（事務員）		
		染原 佳代子（看護師）		
		中本 優紀（事務員）		
		澤本 真由美（事務員）		
		堀川 祐子（事務員）		
		西山 真由（事務員）		
	入退院支援室	室長	兼平 龍一（地域医療連携室長兼務）	平成30年7月から
		室長	山口 博志（事務員）	平成30年6月まで
室長補佐		竹内 皆男（事務員）	平成30年7月から12月まで	
主任		吉高 賢司（社会福祉士）		
主任		泉本 大佑（社会福祉士）		
主任		松本 美紗（社会福祉士）		
		上中居 幹太（社会福祉士）		
		吉鶴 伸太朗（社会福祉士・精神保健福祉士）		
		金本 純子（退院支援看護師）		
		曾和 倫代（退院支援看護師）	平成30年9月まで	
		香川 真代（退院支援看護師）	平成30年10月から	
		藤木 智子（退院支援看護師）		
		藤井 郁恵（退院支援看護師）	平成30年9月まで	
	岡部 衣利子（退院支援看護師）	平成30年10月から		
	土居 美佳（事務員）	平成30年9月から		
	田中 佐智（事務員）	平成31年1月から		

【地域医療連室】

前方支援業務では連携業務の推進強化のため、渉外活動の促進を行い、伊都医師会の70診療所及び五條市医師会の22診療所と「連携登録医」を締結し、外来に連携登録医ポスターを配置、院内・院外ホームページでの連携登録医を検索できるようにすることで「かかりつけ医」を推奨しました。

また、地域医療連携室窓口は、専属の看護師を配置することで地域の医療機関からのご紹介いただいた患者さんの速やかな受入れをはじめ、受診予約や結果連絡等に関する業務を行っています。平成28年度から運用開始をした土曜日や平日の19時までの受診予約も定着し、平成30年度の受診予約件数は飛躍的に向上しました。

(1) 紹介率・逆紹介率

	紹介率	逆紹介率
平成28年度	22.6%	35.2%
平成29年度	24.8%	43.6%
平成30年度	27.8%	46.0%

(2) 渉外活動の状況

近隣施設、医療機関との医療連携の強化を図る目的で定期的に訪問している。

	伊都医師会	五條市医師会	その他
平成30年度	292件	97件	3件

(3) 「橋本市民病院連携登録医制度」の運用状況
連携登録医契約状況（平成31年3月31日現在）

〈医科〉伊都医師会登録医数 70診療所
五條市医師会登録医数 22診療所
（詳細は巻末連携登録医を参照ください。）

(4) 「橋本市民病院地域医療ネットワーク会議」の開催

開催日：平成30年8月25日（土）15時～
場 所：橋本市保健福祉センター
参加者：74施設 153名

(5) 地域医療機関向け広報誌の発行

- ①「橋本市民病院診療科紹介パンフレット」 7月発行
- ②「橋本市民病院連携だより 創刊号」 1月発行

(6) 診療の予約業務等

地域医療機関からの診療依頼に対して適切な診療科への予約取得を行うとともに、診療経過・検査結果・入院経過などの報告支援や、当日緊急受診の要請・入院要請に対して、迅速かつ適切な受診調整、受入確認を行った。また、医療機関相互の診療情報提供依頼について迅速な対応に努めました。

(7) 研修会等開催

地域の医療機関の先生方と連携を深め、相互の機能連携を通じて地域医療に貢献し、また、近隣施設の医療従事者等の資質の向上を図ることを目的に各種研修会を開催しました。

【入退院支援室】

入退院支援室では、病床の効率的な運用を図るとともに、患者さんの入院から退院まで円滑に安心して医療を受けられるよう、一人ひとりの状況を身体的、社会的、精神的背景からしっかりと把握し、入院中の一貫した支援を管理しています。

また、医療ソーシャルワーク業務を中心に各種相談援助業務に取り組みました。がん相談支援センターでは、がんに関しての情報の発信や外来通院時からの療養支援、がん情報コーナーを設置するとともに、橋本市民病院がん患者サロン「サロン・ド・サクラ」の毎月開催（毎月第3水曜日）を行いました。

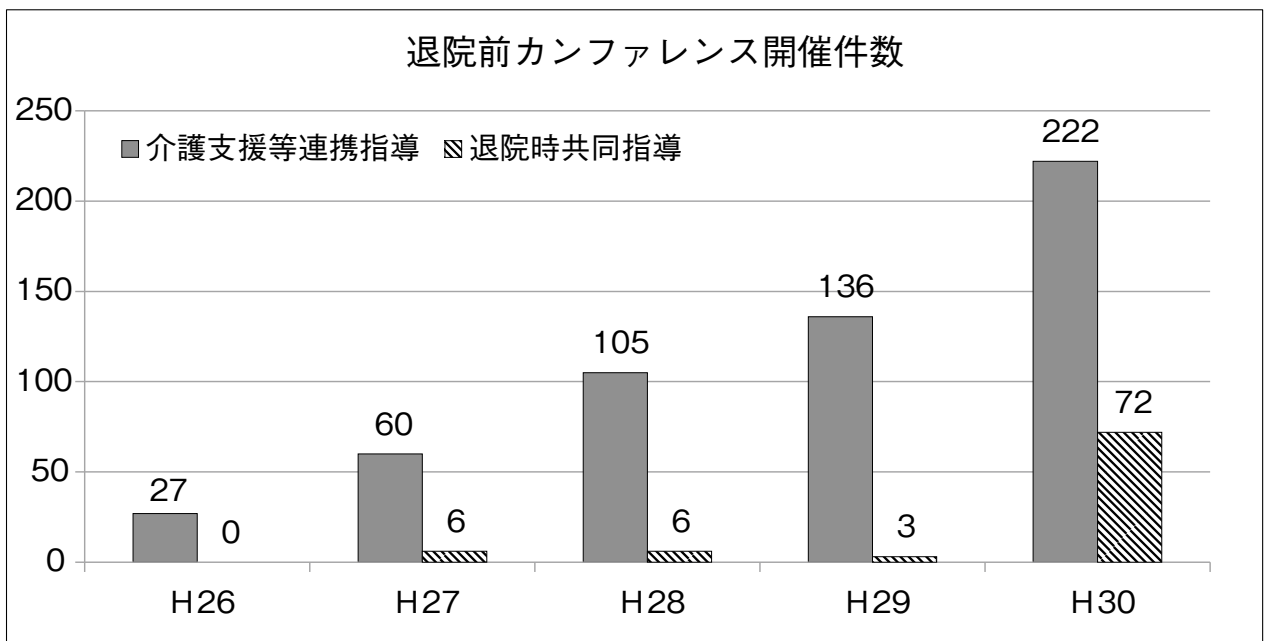
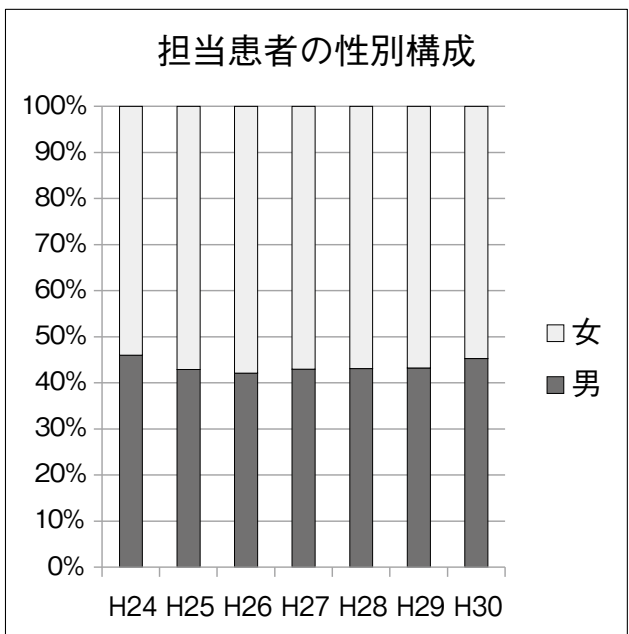
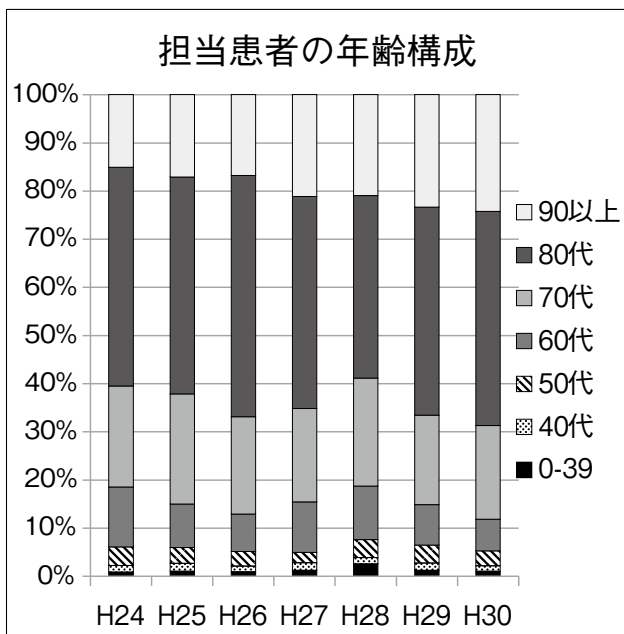
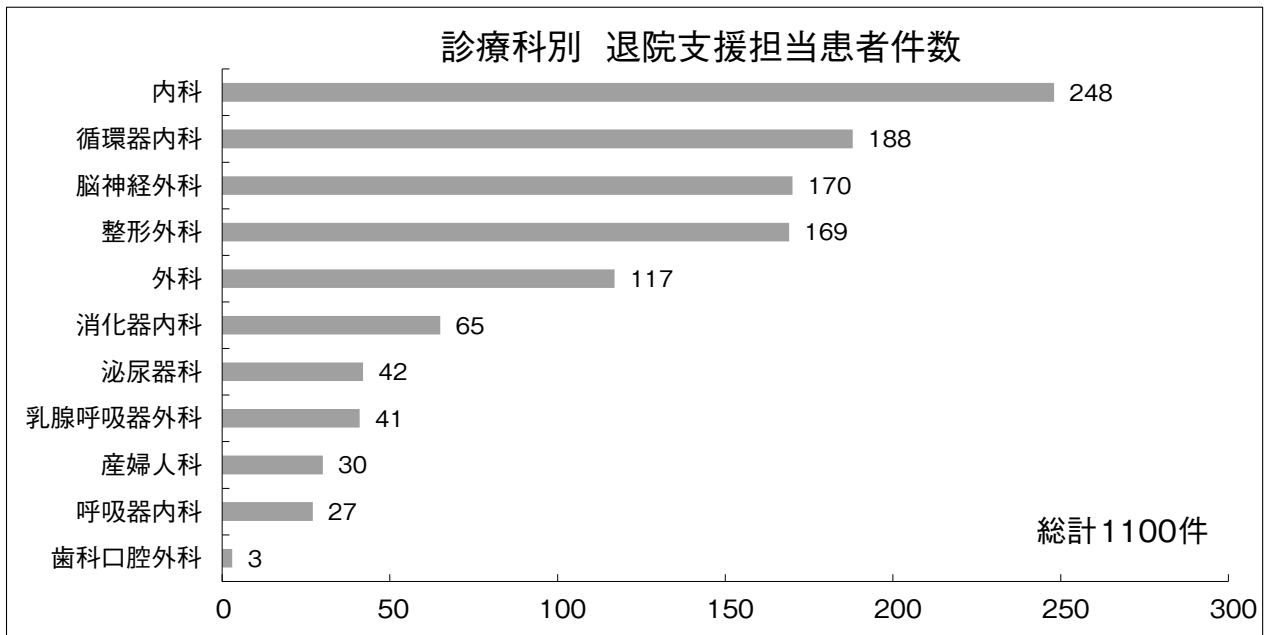
がん相談や緩和ケアチームの活動にも携わり、がん医療に係る相談援助業務等にも積極的に取り組みました。

【今後の課題】

退院前カンファレンスの実施を確実にし、在宅医、訪問看護、ケアマネージャー、介護施設等と連携を密にし退院支援・調整の質の向上を図る。

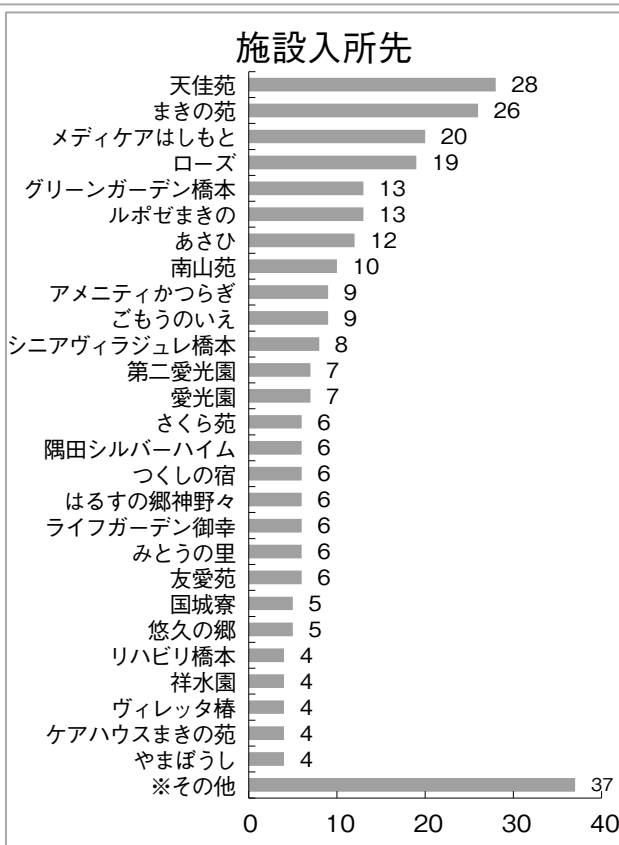
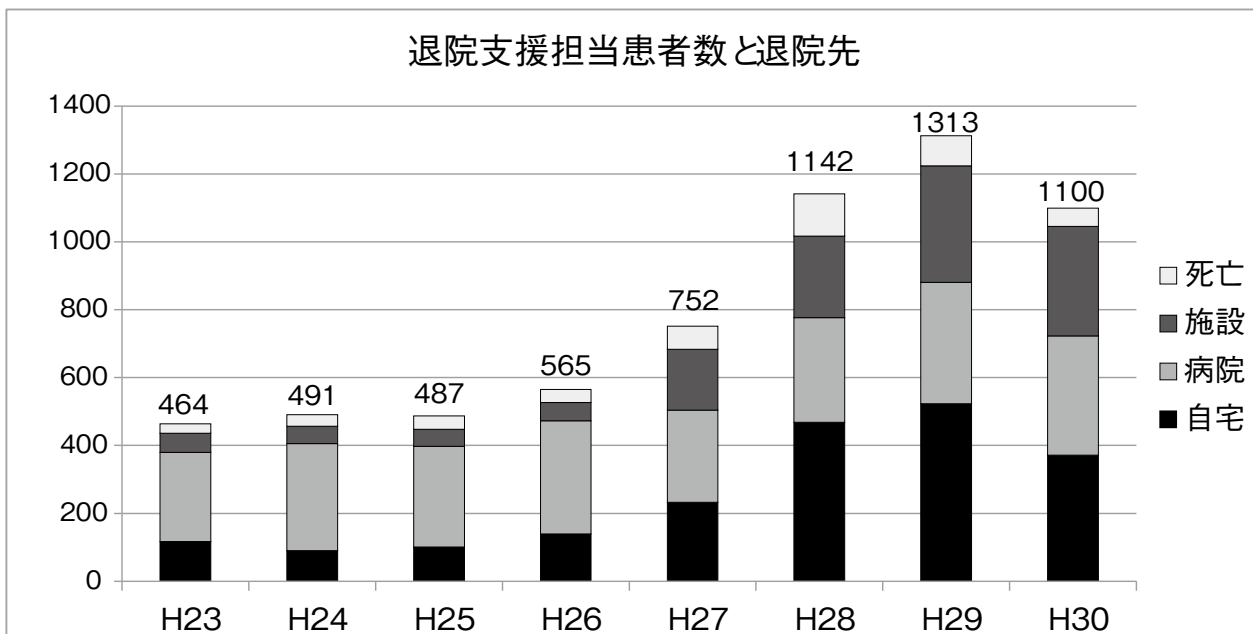
また、紹介率・逆紹介率の向上を目的として、地域医療機関とのより良い医療連携の構築を目指し、返書管理の運用見直しを図る。

◀ 退院支援統計 ▶



Ⅵ 診療技術部紹介

◀ 退院支援統計 ▶



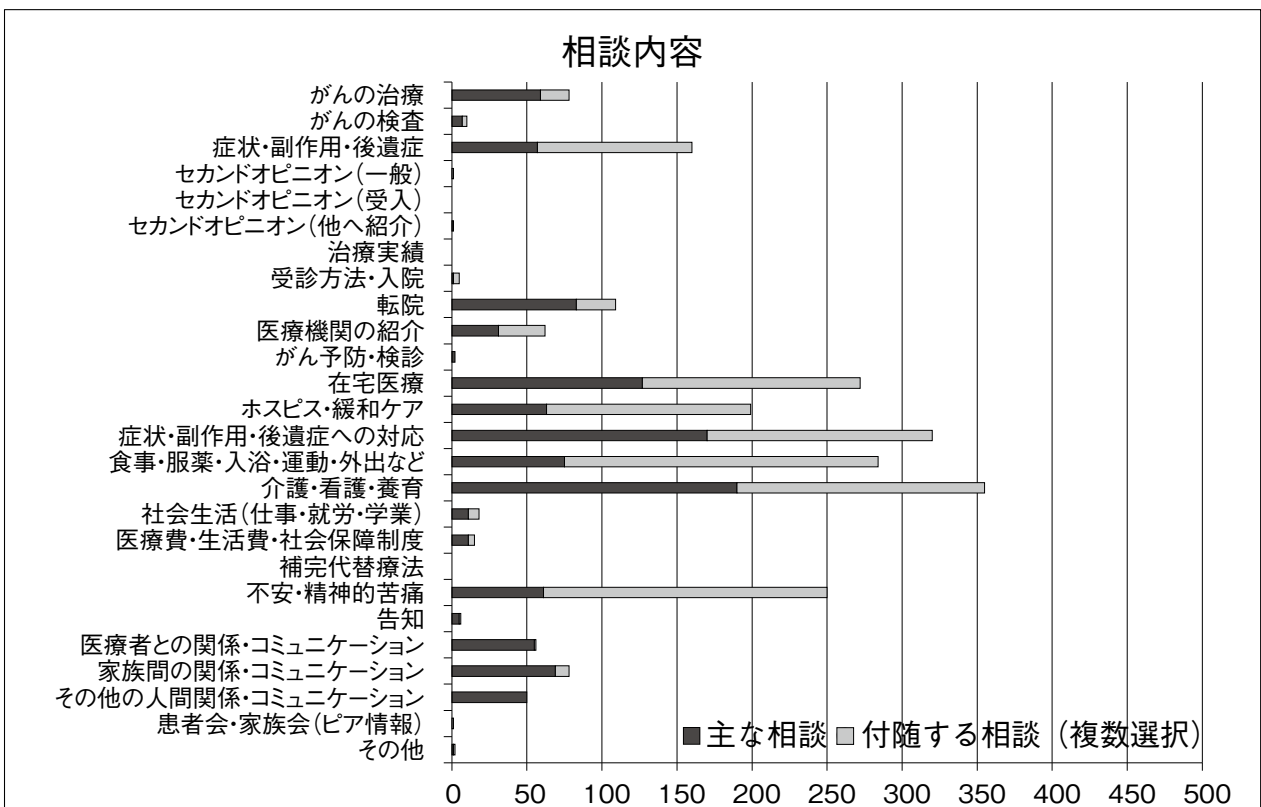
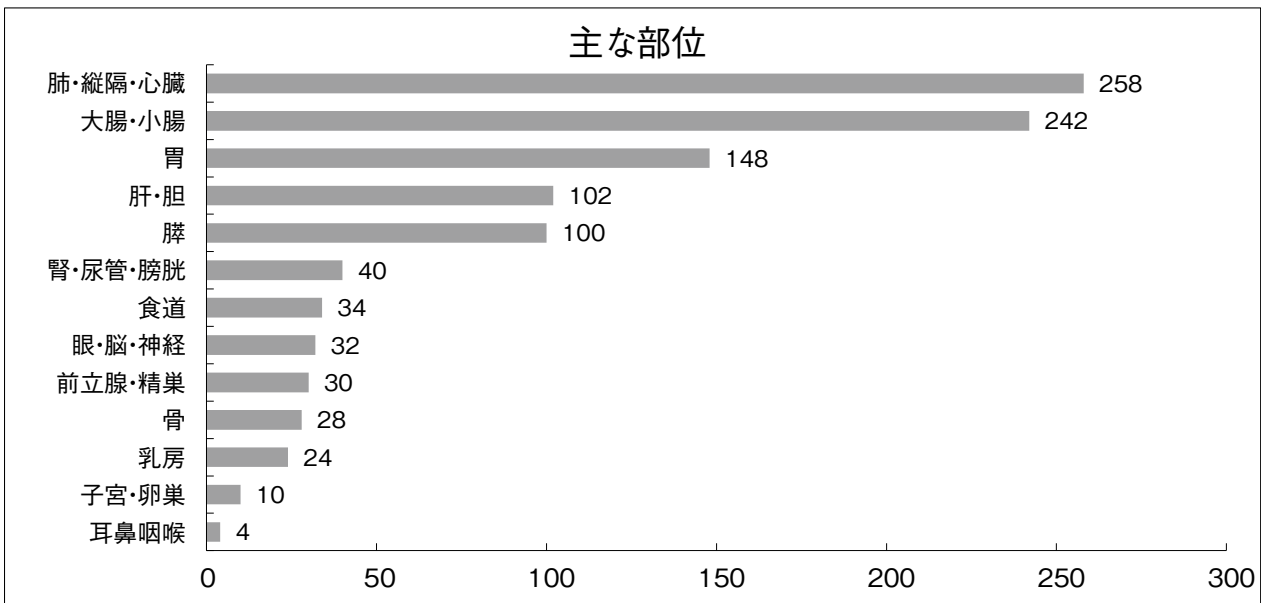
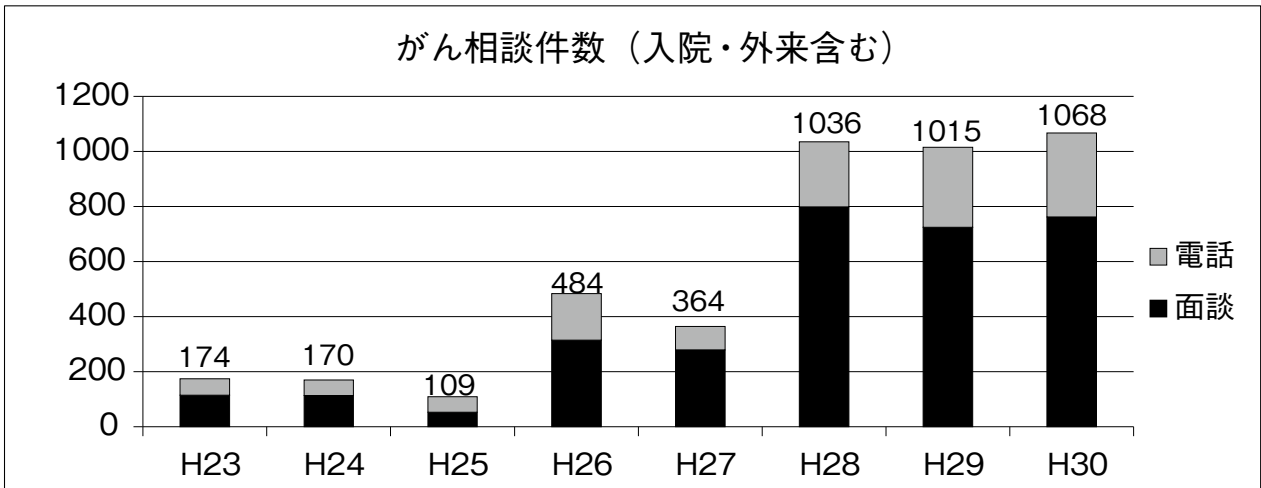
※ その他の転院先に含まれる医療機関

稲穂会病院	和歌山生協病院	大阪市大
秋津鴻池病院	森之宮病院	てらもと医療リハビリ病院
奈良医大	国立循環器病センター	鶴見緑地病院
富田病院	近畿中央胸部疾患センター	土庫病院
日赤和歌山	岡田整形外科	ベルランド総合病院 など

※ その他の施設入所先に含まれる施設

伊都シルバーハイム	パーシモン	花咲寮
博寿苑	白水園	愛がある
国城寮(養護)	友喜苑	ゆうゆう
ケアハウス 幸楽の里	鴻池荘	友幸苑
JOY楽園	かつらぎ乃里	悠久の杜 など

《 がん相談統計 》



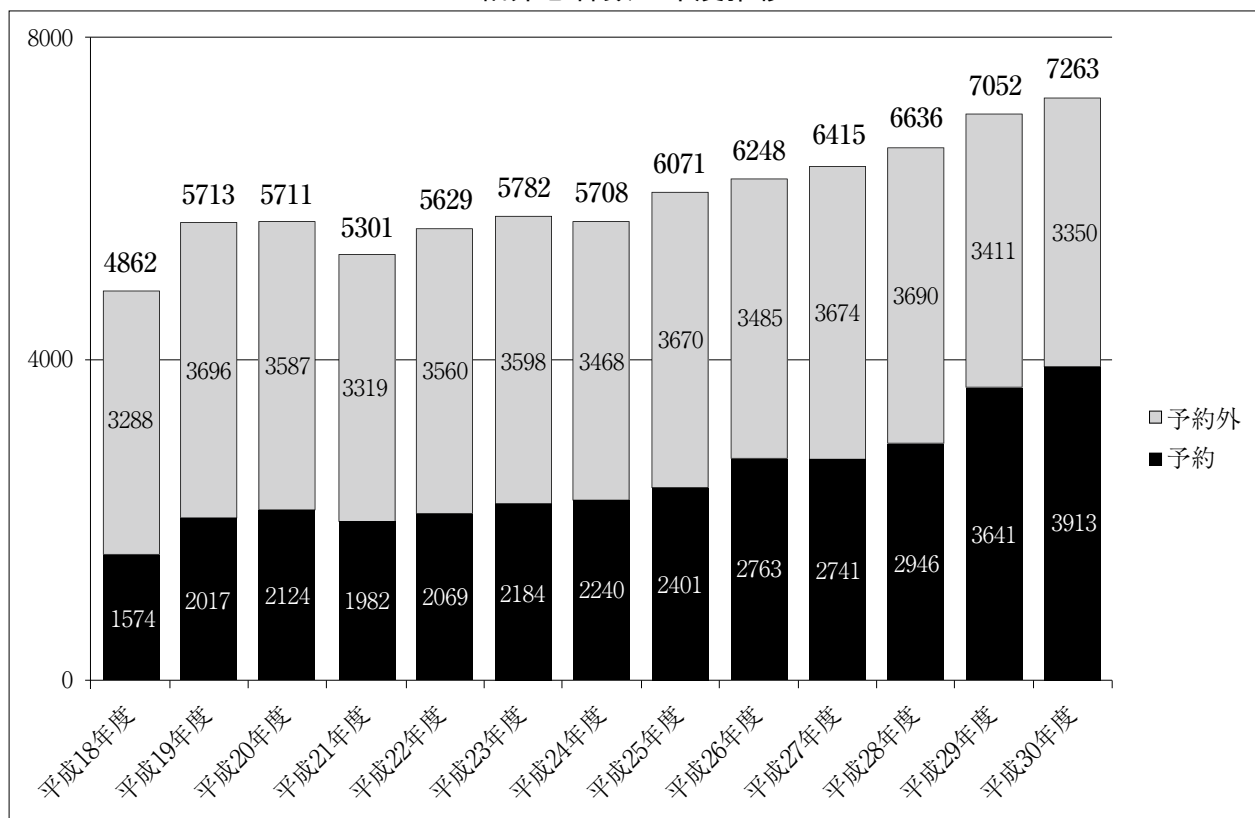
地域医療連携室 事務業務件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
電話対応	1,590	1,783	1,869	2,034	2,236	1,703	2,232	2,159	2,059	2,081	2,160	2,435	2,028.4
FAX 対応	2,229	2,569	2,889	2,558	2,263	2,042	2,474	2,573	2,161	2,457	2,534	2,494	2,436.9
受診報告書	62	81	68	78	72	58	70	81	79	55	80	79	71.9
入院報告書	99	128	107	150	139	108	126	143	122	134	137	115	125.7
退院報告書	92	113	131	141	123	84	128	112	118	104	124	104	114.5
死亡報告書	6	9	5	6	11	5	5	3	3	5	2	9	5.8
紹介予約取得	260	312	289	293	251	244	324	268	249	251	271	281	274.4
逆紹介予約取得	58	52	42	55	61	52	50	56	41	53	63	101	57.0
画像診断結果送付	51	77	65	62	62	60	89	67	65	42	64	66	64.2
経過報告書送付	466	486	541	487	471	375	484	496	489	450	487	506	478.2

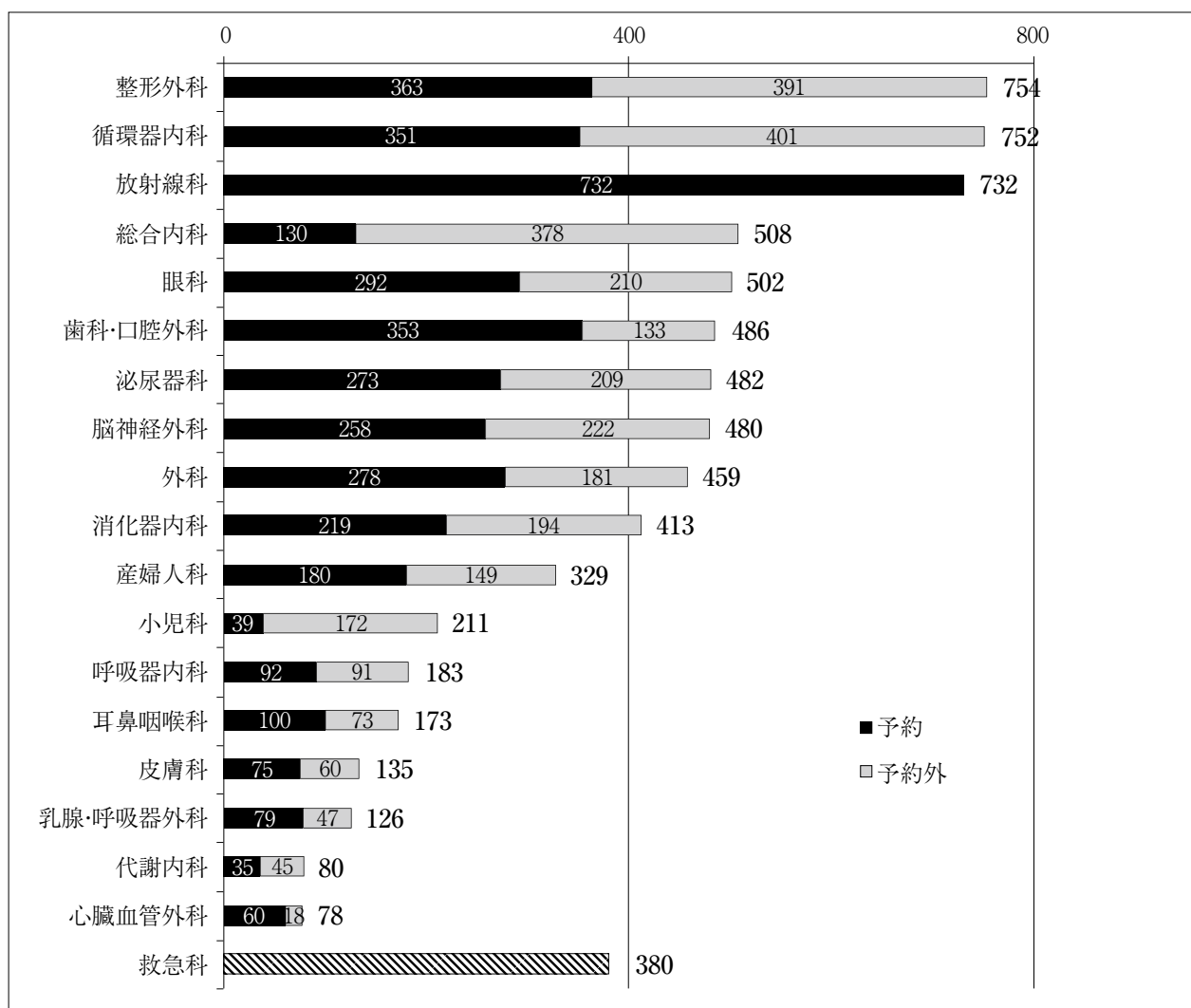
平成30年度 地域医療連携室イベントの開催実績

No	年月日	イベント名	内容	診療科	講師医師	参加人数
1	平成30年4月20日	橋本市症例検討会	浮腫で紹介となった80才代女性	総合内科	橋本 忠幸	14人
2	平成30年5月18日	橋本市症例検討会	発熱と皮疹で紹介となった20才代男性	総合内科	福地 芳浩	14人
3	平成30年6月21日	橋本市症例検討会	左上腹部痛で紹介となった80才代女性	総合内科	西願 誠	15人
4	平成30年7月12日	橋本市症例検討会	発熱、頭痛で救急外来受診した28才男性	総合内科	伊藤 恭平	17人
5	平成30年8月25日	第6回橋本市市民病院地域医療ネットワーク会議	【病院紹介】 ・一般病院の呼吸器外科医から見た肺がん ・薬剤耐性菌を共に考える ・地域での嚥下食内容の統一の試み ・地域医療部状況報告 【講演】 ・人生の最終段階における医療ケアの決定プロセスに関するガイドライン	橋本市市民病院	平井 一成 川畑 仁貴 藤本佐和子 兼平 龍一 山本 勝廣	153人
6	平成30年9月13日	橋本市症例検討会	呼吸苦を主訴に来院された70才代男性	総合内科	伊藤 恭平	16人
7	平成30年9月27日	地域医療連携イベント	消化器内科の紹介・意見交換会	消化器内科	仲地健一郎 荒井 俊夫 山田 裕規	21人
8	平成30年10月11日	橋本市症例検討会	1ヵ月ほど前から発熱、倦怠感が持続する73才男性	総合内科	西願 誠	18人
9	平成30年10月25日	地域医療連携イベント	乳腺外科・呼吸器外科の紹介・意見交換会	乳腺呼吸器外科	平井 一成 内藤 古真	21人
10	平成30年11月8日	橋本市症例検討会	前立腺癌の既往のある90才男性酸素化低下を主訴に来院	総合内科	田中 将規	15人
11	平成30年12月13日	橋本市症例検討会	貧血を主訴に来院した79才女性	総合内科	山田 裕規	16人
12	平成31年1月10日	橋本市症例検討会	自閉症スペクトラムのある41才男性の来院2ヵ月前からの歩行障害	総合内科	田中 将規	19人
13	平成31年1月16日	診療懇話会	当院におけるCREの現状報告と対策について	総合内科	川畑 仁貴	24人
14	平成31年2月9日	地域医療連携イベント	地域で取り組むポリファーマシー	総合内科	橋本 忠幸	39人
15	平成31年2月14日	橋本市症例検討会	前頸部痛を主訴に来院した女性	総合内科	山田 裕規	11人
16	平成31年2月20日	地域医療連携イベント	眼科の紹介・意見交換会	眼科	金 柱洙 廣瀬 順一	14人
17	平成31年2月28日	地域医療連携イベント	外科の紹介・意見交換会	外科	坂田 好史 前田 恒宏 小澤 悟 阪中 俊博	18人
18	平成31年3月14日	地域医療連携イベント	泌尿器科の紹介・意見交換会	泌尿器科	稲垣 武 平林 康男 上野 駿	27人

紹介患者数 年度推移

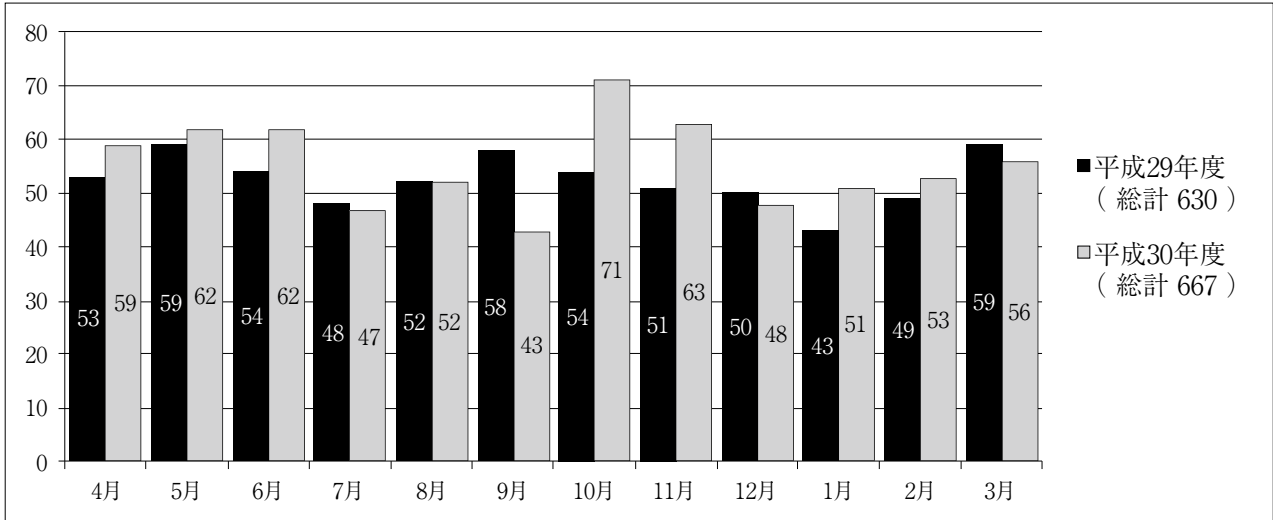


診療科別 紹介患者数

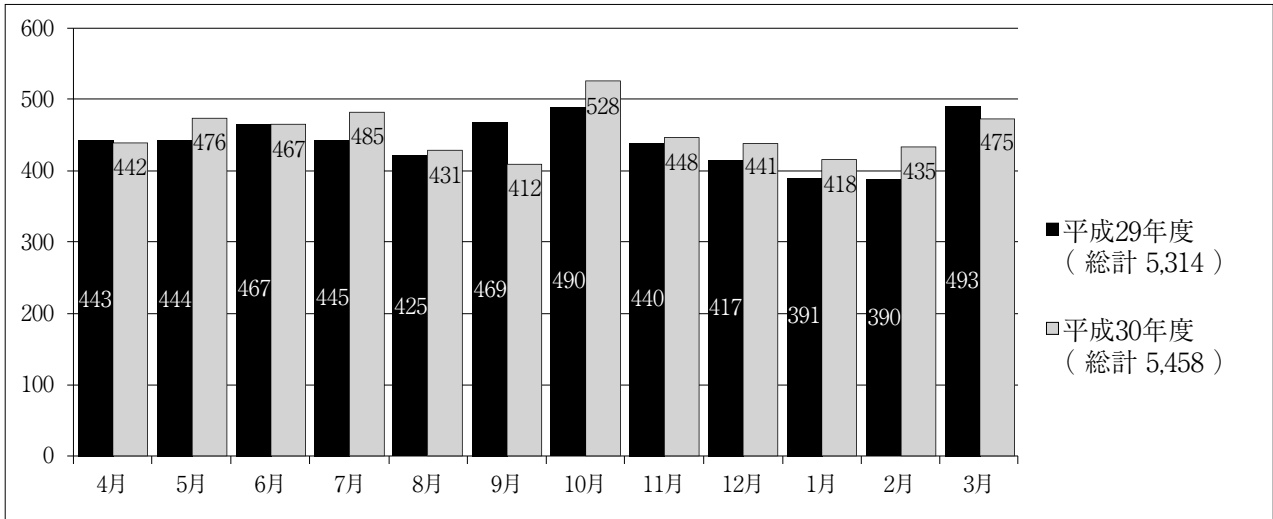


地域別 紹介患者数

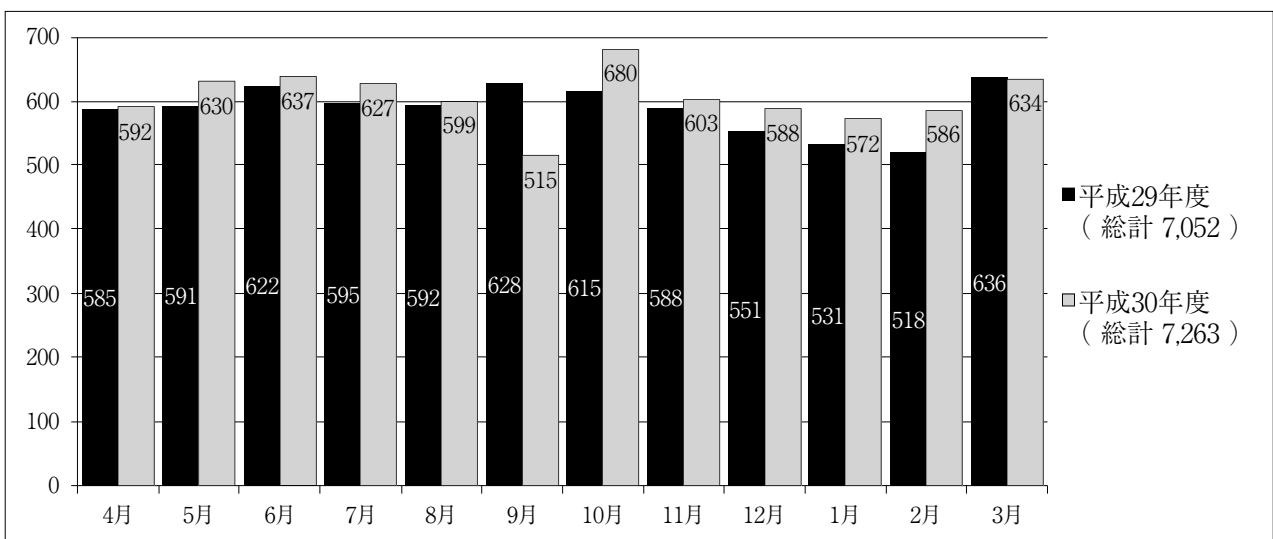
➤ 五條市医療機関からの紹介患者数



➤ 伊都橋本地域医療機関からの紹介患者数

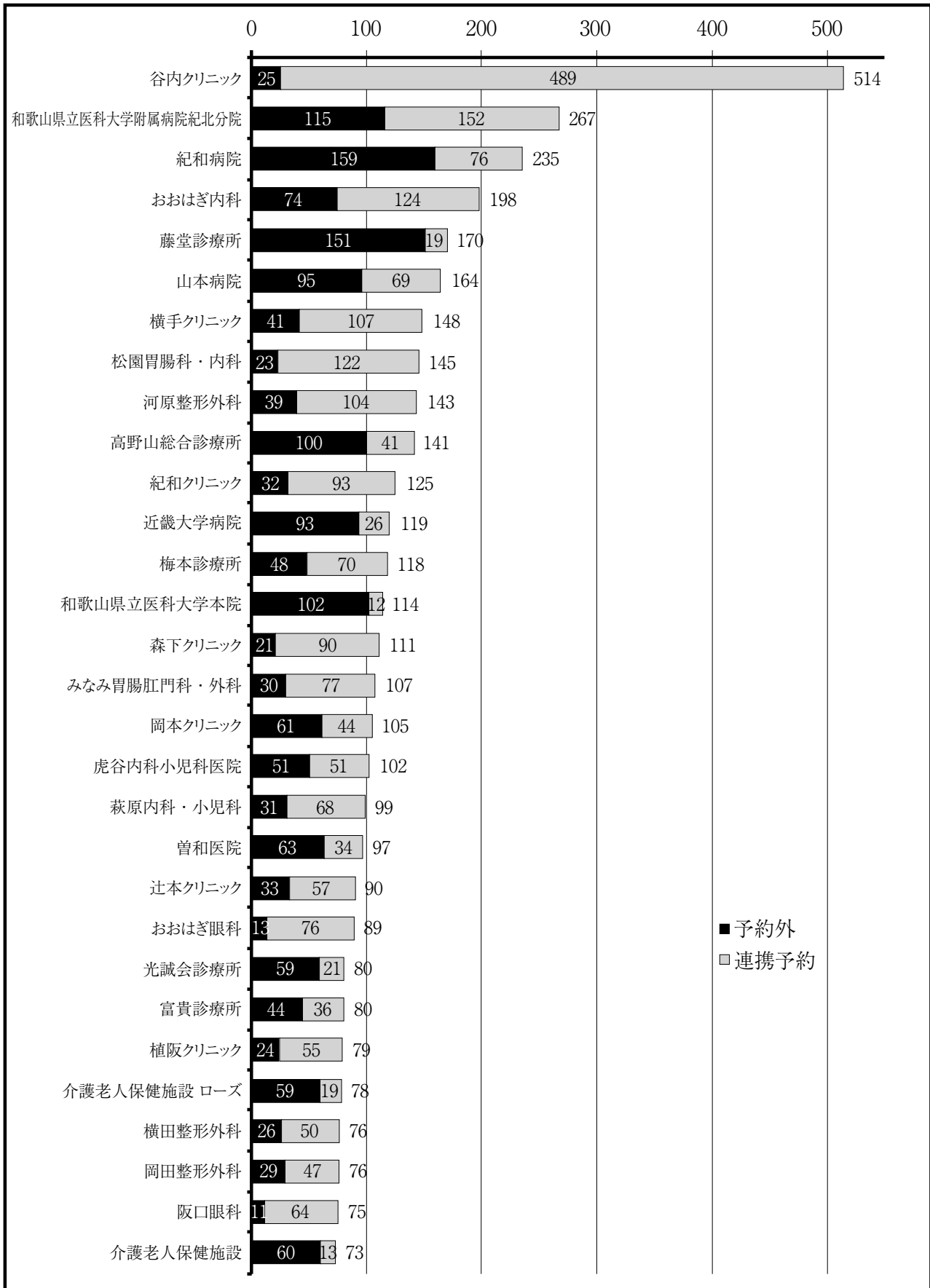


➤ 全地域医療機関からの紹介患者数



◀ 地域医療連携統計 ▶

医療機関等 紹介患者数 (TOP30)



業績 発表

No	発表月	学会名	演題	発表者	共同発表者	開催都市
1	平成31年2月	日本医療マネジメント学会	災害時における福福連携	吉高 賢司		和歌山市
2	平成30年9月	第10回和歌山糖尿病地域連携研究会	超高齢化時代の糖尿病地域連携を考える病院の立場から－看護師－	金本 純子		和歌山市
3	平成30年10月	日本糖尿病学会 近畿地方会	診療所に勤務する看護師の糖尿病患者への療養支援と勤務特性との関連	金本 純子		兵庫県神戸市
4	平成31年1月	EAFONS2019 東アジア看護研究者フォーラム	Care Support to Diabetic Patients Among Nurses Working in Clinics in Japan	金本 純子	大阪市立大学大学院 看護学研究科 熊谷たまき	シンガポール
5	平成31年2月	日本医療マネジメント学会	小児1型糖尿病サマーキャンプにおける災害教育の取り組み	金本 純子	たいようこどもクリニック 古宮 圭	和歌山市

講演 (院内も含む)

No	講演月	会名	演題	講演者	開催都市
1	平成30年6月	和歌山県糖尿病協会総会	糖尿病でもええやん～楽しく糖尿病を生きるコツ～	金本 純子	和歌山市
2	平成30年12月	伊都医師会主催 FITTER 研修会	ホントに正しい？ 患者さんへのインスリン指導	金本 純子	橋本市
3	平成31年2月	和歌山県糖尿病性腎症重症化予防プログラム説明会	糖尿病の基礎知識と糖尿病性腎症患者へのかかわりかた	金本 純子	和歌山市
4	平成31年3月	WLCDE 更新者研修	糖尿病性腎症患者への生活指導	金本 純子	和歌山市

【概要】

医療安全管理と感染管理活動は、院内活動だけでなく、地域の医師会及び歯科医師会・薬剤師会や近隣病院、保健・福祉施設、行政機関との情報交換や連携の強化に努めています。

医療安全、感染管理のそれぞれの立場から、院内外の多職種との協働・連携を推進し、役割を遂行しています。

【スタッフ紹介】

- | | | |
|----------------|--------|-------------|
| ・医療安全管理部部长 | 星屋 博信 | (副院長) |
| ・医療機器安全管理責任者 | 小嶋 宏之 | (臨床工学科技師長) |
| ・医薬品安全管理責任者 | 河崎 尚史 | (薬剤部長) |
| ・医療安全管理者(専従) | 恋中 理恵 | (医療安全管理室長) |
| ・感染管理認定看護師(専従) | 栞田 美加子 | (感染管理認定看護師) |
| *感染管理事務 | 里和 順子 | |

【活動実績】

感染管理

- ・感染防止対策加算1
年4回の共同カンファレンス開催
- ・感染防止地域連携加算
年1回の相互ラウンド評価実施
- ・週1回のICTラウンド会議と院内ラウンド
- ・ICTからのお知らせ発行
- ・感染対策マニュアル改訂
- ・アウトブレイク対応
- ・サーベイランス実施
院内：SSI・UTI・手指消毒実施回数
厚生労働省：SSI
(胃手術)・全入院患者部門・検査部門)
- ・コンサルテーション(院内・院外)
- ・感染対策研修会(院内・院外)
- ・感染管理に関する地域連携
- ・学会発表

【主な活動実績】

月	活動実績内容	
4月	新規採用者オリエンテーション 環境培養実施・結果報告 ICTニュース発行	栢田 ICT ICT
5月	紀和病院との共同カンファレンス開催	ICT
6月	当院の相互ラウンド評価受け入れ 病院感染症連絡会出席 外来ワクチン接種（成人）フロー作成 伊都橋本感染管理ベストプラクティスアドバイザー 感染管理ベストプラクティスと歌山ワーキングアドバイザー	ICT 栢田・里和 ICT 栢田 栢田
7月	紀和病院との共同カンファレンス開催 公立那賀病院ICTによる相互ラウンド評価実施 中材業務及び感染対策研究会参加	ICT ICT 栢田
8月	公立那賀病院相互ラウンド評価実施 院内抗菌薬適正使用ガイドライン作成 病院感染症連絡会出席	ICT ICT 栢田・里和
9月	ICTニュース発行 地域での感染対策研修会開催（介護予防教室） 伊都橋本感染管理ベストプラクティスアドバイザー	ICT 栢田 栢田
10月	紀和病院との共同カンファレンス開催 管轄保健所との結核DOTSカンファレンス開催 中材業務及び感染対策研究会 講演 感染管理ベストプラクティスと歌山ワーキングアドバイザー	ICT ICT 栢田 栢田
11月	職員インフルエンザワクチン接種 院外施設（特養）感染対策研修会（2回）講師 病院感染症連絡会出席 管轄保健所との結核DOTSカンファレンス開催 第1回院内感染対策研修会開催	ICT 栢田 栢田・里和 ICT ICT
12月	地域での感染対策研修会開催（介護予防教室） 病院感染症連絡会橋本市民病院ラウンド評価受け入れ 管轄保健所との結核DOTSカンファレンス開催	栢田 ICT ICT
1月	病院感染症連絡会紀和病院ラウンド評価 病院感染症連絡会紀北分院ラウンド評価 地域での感染対策研修会開催（介護予防教室） 管轄保健所との結核DOTSカンファレンス開催 第2回院内感染対策研修会開催 中材業務及び感染対策研究会 座長 伊都橋本感染管理ベストプラクティスアドバイザー	栢田・里和 栢田・里和 栢田 ICT ICT 栢田 栢田
2月	管轄保健所との結核DOTSカンファレンス開催 感染管理ベストプラクティスと歌山ワーキングアドバイザー 日本環境感染学会参加	ICT 栢田 栢田
3月	病院感染症連絡会 管轄保健所との結核DOTSカンファレンス開催	栢田・里和 ICT

【今後の課題】

院内感染対策推進を図りつつ、行政との連携を強化して地域での感染対策に貢献する。

医療安全

- ・医療安全に関する地域連携
- ・院内医療安全研修会の開催
- ・患者相談窓口等との連携
- ・院内各種委員会と連携し医療安全対策を検討、実施
- ・院内外における医療安全対策情報のお知らせを配布
- ・インシデント、アクシデント報告の事例検討、対策立案・評価などの再発防止活動
0レベル報告書提出推進
- ・院内医療安全に関するマニュアルの整備
- ・院内ラウンドと週1回の医療安全カンファレンスを開催

【主な活動実績】

月	活動実績内容	
4月	新規採用者（医師・看護師）オリエンテーション実施	恋中
6月	プライマリケア連合学会学術集会・ポスター発表 PDA取り扱い研修会開催 インスリン指示箋改定	総合内科・恋中 看護部・恋中 糖尿病ワーキング・医療安全管理 対策委員会共同
7月	院内医療安全研修会開催 不整脈研修会開催 心電図モニター取り扱い説明会開催 院内車椅子点検実施	医療安全管理対策委員会
8月	伊都・橋本医療安全ネットワーク会議へ参加 心電図モニター取り扱い説明会開催	恋中 医療機器安全管理責任者・恋中
9月	心電図モニター取り扱い説明会開催 台風・停電時の対応について院内へアナウンス実施	医療機器安全管理責任者・恋中 医療機器安全管理責任者・恋中
10月	伊都・橋本医療安全ネットワーク会議へ参加 心電図モニター技術チェック実施	恋中 医療機器安全管理責任者・恋中
11月	心電図モニター取り扱い説明会開催	医療機器安全管理責任者・恋中
1月	伊都・橋本医療安全ネットワーク会議へ参加 安全装置付きインスリン針導入に伴う説明会 医療安全管理対策地域連携加算ラウンド開催	恋中 メーカー
2月	画像診断読影結果確認手順作成	医療安全管理対策委員会
3月	伊都・橋本医療安全ネットワーク会議へ参加 院内医療安全研修会開催	恋中 医療安全管理対策委員会

【今後の課題】

多職種とともに院内医療安全対策活動を実施するとともに、伊都・橋本医療安全ネットワークを通して地域連携を行う。

VII 事務局紹介

Ⅶ 事務局紹介

総務課

医事課

診療情報課

【概要】

総務課は、庶務係、経理係、用度係の3係で構成しています。庶務係は、職員の人事、給与、労務、服務や福利厚生などの庶務業務を主な業務とし、経理係は、病院事業に関する総合計画の策定及び推進、病院事業の経営健全化の推進、予算の調整と執行管理を主な業務とし、そして用度係は、施設の整備や維持管理、薬品、診療材料物品などの購入・調達、医療機器の新規購入及び更新などの用度業務を主な業務としています。

【課題】

- ①高額医療機器の更新や、今後、建物及び設備等の更新・修繕が増加対応のための用度係の体制の見直し。
- ②メディカル・コードを活用し、企画経営担当を中心に、医学管理料を中心とした項目の算定状況の分析やチームによる収益改善のための継続的な取組み。原価計算。

【スタッフ紹介】

総務課長・・・・・・・・池之内 正行
 総務課長代理・・・・・・・・高木 誠
 総務課主幹・・・・・・・・山口 博志（平成30年7月から）
 総務課長補佐兼経理係長・・・・・・・・山内 壯一
 総務課庶務係長・・・・・・・・香川 貴俊
 総務課用度係長・・・・・・・・鈴木 昇太

【活動実績】

① 健康セミナー

	開催日	テーマ	講師	開催場所	参加人数
1	8/14	認知症の予防と対応策について	脳神経外科 部長 大饗 義仁	橋本市保健福祉センター	63人
2	8/24	感染対策に関すること	感染管理認定看護師 栢田 美加子	J A 紀北かわかみデ イサービスセンター えびす	47人
3	8/28	めざそう健康長寿 ～まだまだ延ばせる健康寿命～	病院事業管理者 山本 勝廣	隅田地区公民館	76人
4	9/20	認知症の予防と対応策について	脳神経外科 部長 大饗 義仁	高野口地区公民館	19人
5	9/21	がんを防ぐ食べ物、免疫力を高める食生活	栄養管理科 副技師長 藤本 佐和子	橋本市保健福祉センター	19人
6	11/15	腰痛の予防と対策	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 山本 奈保美	神野々ふれあい会館	24人
7	1/26	足腰の痛みの予防と対処について	リハビリテーション科 副技師長 浅倉 洋司	橋本市教育文化会館	20人
8	2/22	めざそう健康長寿 ～人生100年時代に向き合う～	病院事業管理者 山本 勝廣	山内防災センター	93人
9	3/26	緊急対応や急変時の対応について	救急看護認定看護師 池田 景子	J A 紀北かわかみデ イサービスセンター えびす	75人

【平成31年度目標】

人事給与制度を見直しと働き方改革を推進する。

【概要】

医事課の主な業務は保険請求であり、医師の指示の下、ライセンスを持った全ての職員が行う医療行為をお金に変換し、窓口でご負担いただく分と保険請求する分の計算を行う業務です。また、保険請求に必要な近畿厚生局への届け出業務、窓口未収金の管理業務、各種患者数・医業収益等の医療データの作成・管理等々を行っております。また、未収金の回収業務、患者さんからのクレーム対応も行っております。

医事課には、医師事務作業補助者も在籍しております。医師事務作業補助者は、医師が行う医療行為以外の事務的な業務の補助、すなわち、診断書の作成・データの入力代行等の業務を行っております。

平成30年度は、2年に1度の診療報酬改定があり各医療機関にとっても厳しい改定となりました。診療報酬は医療供給の源となり、医療提供体制を整えるために必要不可欠であります。橋本市民病院では、平成30年度も黒字化を目標に掲げスタートしました。

院内での諸所の課題改善に努めながら、医事課では最大限に収益を上げることのできるよう努力してまいりました。平成31年度も可能な限り経営改革に取り組んでまいります。

また、橋本市民病院を利用する患者さんに、より快適にご利用いただけるよう、接遇の改善にも力を注いでいるところです。

【目標】

1. 知識の向上に研磨し、診療報酬請求業務を正確に行う。
2. 常に患者さんの立場になって考え、奉仕する心で行動する。
3. 患者満足度の向上。
4. 救急搬送時等の受付や会計について、迅速な対応を行う。
5. 業務知識・スキルの向上。
6. 未収金を極力少なくすること。

【課題】

医業収益を上げるための課題

医業収益の分析を徹底し、新たな収益増加を検討すると共に、診療報酬を基本としたベットコントロールの提案、病院全体への保険請求制度の理解を広げる取り組みが必要と考えます。

【スタッフ紹介】

医事課課長・・・野口 朋弘

医事課主幹・・・高木 誠（総務課課長代理兼務）

堀 芳彰

医事課係長・・・浅田 浩嘉 他 8名

【概要】

診療情報課は、診療情報管理係、システム係で業務を行っております。

診療情報管理係は、患者管理医療データの作成・報告・厚労省への提出業務、また、紹介状・手術記録等紙ベースでの運用を行っているデータの取り込み、カルテデータの取り出しを行っております。

医療データと言えども多岐にわたっており、主には退院患者の病名コーディング、身体状況、入院経路、退院後の動向等々1人1人の細かい患者データをまとめた様式関係、診療内容をデータ化したE Fファイル等厚労省から提出を義務付けられたデータを初め、癌拠点病院として提出を義務付けられた癌登録を行い、データを作成し報告しております。この報告が当院のD P C係数の基になっており、未来の医療行政の基盤となっております。

また、作成データから見えてくるD P Cコーディング・請求漏れ等も医事課と連携しながら、検討・助言を行い収益上昇の手助けも行っております。

システム係は、電子カルテの管理を主な業務とし、病院内の通信ネットワーク、院内電話の管理までシステム全般に保守・管理を行っております。

診療情報課は、患者・職員のシステム内の個人情報保護の核で有り、他部署には無い大きな権限を持っております。それ故に個人情報漏洩事故が起こらないよう努めております。

天災（雷）・老朽化等でのシステム停止など課題が多い中、診療情報課では円滑なシステム運用、個人情報の保護、正確なデータ作成等、業務が円滑に遂行されるよう、また、正確なデータ作成によるD P C係数の上昇等で収益を上げることのできるよう努力してまいりました。平成31年度も可能な限り経営改革に取り組んでまいります。また、橋本市民病院を利用する患者様に、より快適にご利用いただけるよう、システムの改善にも力を注いでいるところです。

【実績】

・ 提出データ数	様式1等	6,210	件／年
	E Fファイル	105,600	件／年
	がん登録	530	件／年

【目標】

1. がん登録実務中級者の資格取得を平成31年度中に実現すること【がん拠点病院の維持】
2. より正確な患者データの作成し、期日までに提出すること【D P C係数の維持】
3. 個人情報の漏洩が起こらないように注意すること
4. 天災（雷）・老朽化等でのシステム停止などに迅速に対応すること

【課題】

- ・ 電子カルテの老朽化の中、買い換えまでの数年間トラブル無しに運用していけるか。

【スタッフ紹介】

診療情報課課長	・ ・ ・ ・ ・	上垣 芳樹	
診療情報課課長補佐	・ ・ ・ ・	名村 隆	(診療情報管理士・がん登録実務初級者)
診療情報課主査	・ ・ ・ ・ ・	井上 正輔	(診療情報管理士・がん登録実務初級者)
診療情報課主事	・ ・ ・ ・ ・	阪本 実優	(診療情報管理士・がん登録実務初級者)
システム係長	・ ・ ・ ・ ・	飯田 淳	他1名

VIII 委員會介紹

Ⅷ 委員会紹介

薬事委員会
診療材料検討委員会
診療材料システム委員会
救急医療対策委員会
クリニカル・パス推進委員会
診療管理（QC）委員会
健診センター運営委員会
中央手術室運営委員会
内視鏡センター運営委員会
病床運営管理委員会
放射線運営委員会
臨床検査運営委員会
輸血管理委員会
栄養管理委員会
NST ワーキング
嚥下ワーキング
口腔ケアワーキング
糖尿病ワーキング
がん診療対策委員会
緩和ケアワーキング
化学療法ワーキング
がんセンターワーキング
医療機器選定・購入委員会
診療情報管理委員会
電子カルテ運営委員会
院内感染対策委員会
AST
ICT
ICT ワーキング
褥瘡対策委員会
医療安全管理対策委員会
医療ガス安全管理委員会
災害医療対策委員会
DMAT 部会
防火委員会
教育・研修・年報作成委員会
まごころ委員会
院内広報委員会
図書運営委員会
職員安全衛生管理委員会
福利厚生委員会
医療連携運営委員会
倫理・治験審査委員会
臓器提供ワーキング
臨床研修管理委員会
専門研修管理委員会

【目的】

医薬品の採用、医薬品の不良在庫の防止、その他薬剤業務の合理化に資する事項を検討し、病院経営の効率化を図っています。

【開催状況】

原則、3ヶ月に1回開催しています。

平成30年度は5月、7月、10月、1月の計4回開催しました。

【取り組み】

現在、正規採用品目数が1600品目まで増加しており、病院規模に対して適正な品目数とされる1200品目を目標としました。

薬効が重複している薬剤を中心に平成30年度は55品目を採用中止としました。

新規採用薬剤は院内採用27品目、院外採用23品目です。

処方マスタの新機能を導入し、院内の正規採用薬と臨時採用薬を明確に分けることで、臨時採用薬の不良在庫削減に努めています。

【今後の課題】

目標の1200品目は達成できなかったため、引き続き採用品目数の適正化を目指します。そのために、院内の薬剤使用量を把握し、使用量、使用頻度の少ない薬剤の採用中止を検討します。

昨年度は後発医薬品の中で供給停止や出荷調整となった品目が数種類あり、在庫量が不安定になりました。今年度は、薬品の流通状況を常に把握し、安定した在庫量の確保に努めます。

【目的】

各部署からの要望あるいはコスト面等を考慮し、適正な診療材料の採用や変更を目的としています。

【開催状況】

原則奇数月に開催しています。

平成30年度は7月と1月の計2回開催しました。

【取り組み】

- ①医療材料等新規購入の採用に関する事項
- ②既採用医療材料等の削除に関する事項
 - ・発売中止・製造中止になった品目
 - ・同種医療材料等の採用により不要となった材料もしくは不要となる見込みの材料
- ③医療材料等の適正な使用及び管理に関する事項

【今後の課題】

- ①委員会に議題としてあがらずに使用されている材料が多く、委員会にて採用決定してから使用する等のルール化が必要。
- ②職員によってコスト意識の差が顕著であり、期限切れ材料等を数値化し、コスト意識の徹底を図ることが必要。
- ③同じ用途の材料で何種類か購入している材料が数多く存在するため、各部署の好みではなく、コストメリットを考慮し、材料を標準化する必要がある。
- ④他委員会にて材料採用決定した情報が診療材料検討委員会に反映されていないケースがあり、他委員会との連携が必要。

【目的】

橋本市民病院における医用材料諸管理の適正化、標準化、並びに定数の適正化を目的としています。

【開催状況】

原則、偶数月に開催しています。

平成30年度は、7月、12月開催の計2回開催しました。

【取り組み】

- ・材料・物品の定数設定について
- ・長期連休前の物品・材料供給スケジュールの周知徹底
- ・各部署毎の定数カード紛失枚数報告による各部署へのコスト意識付け
- ・診療材料検討委員会に関連した項目についての協議

【今後の課題】

定数カード紛失枚数を更に減少させる等、より一層コストに対する意識を深めていく必要があります。

【目的】

救急医療の充実を目的とし、院内及び地域の救急体制について検討を行います。メディカルコントローラー機能検討、消防との連携、受け入れの検証、外来救急体制等幅広く議論を行っています。また、症例検討会も委員会主導で開催しています。

【開催状況】

本委員会は、2ヶ月に1回程度開催しています。運用等即座に検討が必要な場合はその都度開催しています。

【取り組み】

- (1) 院内救急医療体制の整備
- (2) 地域救急医療体制の確立
- (3) 救急救命士の研修
- (4) 救急に関する研修会
- (5) その他

【今後の課題】

救急科の専従医が配置されてからは、メディカルコントローラー会議の開催や救急ワークステーションの設置など、消防との連携について充実できています。同様に、医療圏の救急受入件数も増加しています。今後は、受け入れ事例での細やかなフィードバックを行い、スムーズな救急の受け入れ体制を構築していくことを目的とします。

【目的】

医療の質の向上のため、院内クリニカルパスの使用推進を行い、適用率の向上を目的としています。

【開催状況】

原則として、毎月第4水曜日に開催しています。

【取り組み】

平成16年に電子カルテが導入されてからは、電子パスの増加に向けて取り組んでいます。パスを使用することによって、医療の標準化や負担軽減を図ることができ、質の向上に寄与すると考えています。

しかしながら、未だに紙パスが存在するのも事実であり、現在、電子化を進めています。今年度も症例数の多い疾患からパス化するため医師にお願いし、システム係と協力してパスの電子化を進めてきました。パス症例も徐々にですが増加傾向になっています。

現在当院のパスの適用率については、30%程度の適用率になっていますが、来年度は今より増加すると予想されます。今後もさらにパス適用率の向上に取り組みたいと考えています。

【今後の課題】

現在、パスの精査が出来ていないため、適用率を向上させることはもちろんのこと、医療の標準化と、DPC制度に沿った効率性を目指して取り組みたいと考えています。

パスの例（一部抜粋）

眼科	白内障	整形外科	人工骨頭挿入術
代謝内科	糖尿病教育入院	整形外科	転子部骨折
外科	単径ヘルニア	整形外科	人工膝関節置換術
外科	大腸ポリペク	乳線呼吸器外科	肺部分切除術
外科	腹腔鏡下胆嚢摘出術	乳線呼吸器外科	肺葉切除術
産婦人科	子宮全摘出術（腹式・膣式）	乳線呼吸器外科	乳癌手術
産婦人科	帝王切開術	乳線呼吸器外科	乳房再建術
泌尿器科	TUL・TURBT	乳線呼吸器外科	気管支鏡検査
泌尿器科	前立腺生検	呼吸器内科	気管支鏡検査
循環器内科	心カテ	呼吸器内科	睡眠時無呼吸検査

等

【目的】

外来・病棟部門の業務及び業務連携を円滑にすること、ならびに患者さんに対する医療の質の向上について検討することを目的としています。

【開催状況】

- ・毎月第4金曜日に開催しています
- ・5月にQC説明会を開催
- ・3月に第13回QCサークル発表大会を開催

【取り組み】

毎月の委員会では、主にQC手法の知識を周知・共有するための演習や、QCサークル活動に対してのレビューやアドバイス等を行っています。

第13回QCサークル発表大会では、
看護部より『ゴールの適正利用についての取り組み』

『はじめよう 働き方改革』

『オムツコストとった？～コスト漏れを減らす～』

薬剤部より『削減しよう！医療廃棄物』

入退院支援室より『スムーズな退院調整をおこなう為の、院内における情報の共有・統一化』

臨床検査科より『時間外に検体を搬送するときは、連絡をしてもらおう！』

などのテーマについて発表がありました。今回も昨年度同様に発表後の経過報告を行うことにより、継続性の有無や改善度の確認をすることが出来ました。今後も職種関係なく全職員を対象にQCサークルへの参加を促し、問題を解決に導くために必要なものの見方・考え方を身につけ、業務改善活動の一環として自己啓発と相互啓発を行い、QCサークル発表大会で全職員に報告し、今後の業務改善に生かしていけるように努めています。

【今後の課題】

医療のTQM推進協議会の施設会員となり、QCに関する研修会等の情報が今まで以上に入手できるようになりました。今後は、職員により多くの研修会等の案内を行い、各職員、各職種の業務改善の意識向上に繋げていきたいと考えています。



【目的】

橋本市民病院健診センターにおける方針管理、運用、各部門の調整を目的としています。健診部門においては、他部署との健診調整が重要であり、計画的な運用のためには密に連携をとっていく必要性が高く、健診センター長を中心に運用方針を決定しています。また、市役所など他機関との調整・連携も行っています。

【開催状況】

適時開催しています。

【取り組み】

健診全体の協議を行っています。

- ・ 検査部門、画像部門との調整
- ・ 多種にわたる健診種別の調整
- ・ 職員健診への取り組み
- ・ 健診啓発への取り組み
- ・ 収益性の拡大

【今後の課題】

健診センターの効率的運用と増収に向けた取り組みを推進していきます。企業が実施する健診を受注していくことで増収を図る計画を立案しています。

【目的】

中央手術室運営委員会の目的は、中央手術室の適切な管理と運営に関する検討を行うことを目的としています。

【開催状況】

委員会は最低年に1回以上、また委員長が必要と認めたときに招集し開催しています。平成30年度は3回開催しました。

【取り組み】

平成30年度は、以下について討議を行いました。

- ・泌尿器科、整形外科手術枠の増枠について
- ・木曜日の麻酔依頼の手術枠について
- ・ゴミ分別について
- ・麻薬処方への取り決め
- ・周術期の抗菌薬について
- ・搬送時の心電図モニターについて
- ・手術入れ替え時間の短縮について

【今後の課題】

今後も効率的な手術運営を図り、患者さんやご家族が安心して手術が受けられるよう、医療の質を担保していく必要があります。また、医師、手術室スタッフが健康的かつ安全に手術が行えるよう業務内容を見直していきたいと考えています。

【手術件数実績】

平成26年度	2,453件
平成27年度	2,407件
平成28年度	2,487件
平成29年度	2,508件
平成30年度	2,507件

【目的】

当院内視鏡室の適正な管理と運営を検討することを目的としています。

【開催状況】

当委員会は、委員長が必要と認めたときに招集し開催します。

【取り組み】

- ・ 検診枠について
 - ・ 鎮静の運用について
 - ・ 内視鏡検査のスケジュールについて
 - ・ 新規内視鏡の購入について
 - ・ COLD POLYPECTOMY の対応について
- 等

【今後の課題】

- ・ 医師変更時の円滑な対応や検査予約枠の効率的なスケジュール管理

【目的】

当委員会は、病床の適切な管理と効率的な運営に関する検討を行い、高度急性期の HCU, 急性期の一般病棟、回復期の地域包括ケア病棟を患者さんの病状に応じて適切な選択すること等を目的としています。

【取り組み】

- 地域医療構想策定ガイドラインによる最低病床数稼働の遵守
- HCU、地域包括ケア病棟の要件の遵守とチェックを行う
- 各データによる入院患者、病床状況管理
- 各診療科の割り当て病床数の決定
- 各病棟内の診療科と病床の決定
- 病床の有効利用に関する事項

【今後の課題】

適正かつ効率的な病床（300床）フル稼働を行うために「環境」や「業務」の情報収集を行い、病院事業の健全経営が図られるよう病床利用率の向上を目指します。

【目的】

放射線領域に於ける患者および従事者の安全に関する検討と、その他 放射線に関する事項全般について審議を行います。

【開催状況】

定期開催が理想ですが、放射線という専門性を考慮し、些細な事項に関しては専門家である放射線科医決済とし、他科への関わりや影響を持つ事項、全体として周知が必要な内容については委員会にて議論・検討を行うという形式をとることで多忙であっても効率的な委員会開催とする目的で臨時開催形式で行っています。

【取り組み】

患者安全を最優先とし、放射線検査の有意利用を推進しています。

- ・ 放射線検査の円滑な実施および検査室の有効利用促進
- ・ 患者サービスにおける外来患者待ち時間短縮のための取組
- ・ 検査に対する不安を取り除き、前向きに検査を受けていただくための支援
- ・ 検査オーダーの最適化のための検討
- ・ 検査室の有効利用のための取組
- ・ 機器更新前における老朽化装置の取扱
- ・ 放射線検査（治療も含む）のチーム医療化に向けての検討

など

【今後の課題】

一部の装置においては機器更新も完了していますが、更新を控えたままサポート終了時期を迎える機器の点検契約・日常管理における重点チェックポイントの割り出しとその対策などの検討を行っていきます。

また、各科の連携を強化していただき、有効かつ効率的な放射線検査の実施に向けての取組も行っていきます。

【目的】

橋本市民病院臨床検査の適正な管理及び合理的な運営を図ることを目的としています。

【開催状況】

平成 30 年度の臨床検査運営委員会の開催は 8 月 21 日の 1 回でした。

【取り組み】

委員会では臨床検査についての話し合いが行われている。

- ・ 定期的な臨床検査の精度管理に関すること
- ・ 臨床検査の適正化に関すること
- ・ その他、必要な事項に関すること

【主な決定事項】

- ・ 日本臨床検査技師会精度保証施設として平成 30 年度 4 月より認定を受けた。
- ・ 平成 29 年度日本医師会サーベイの結果は 97.5 点であった。
全国で最も多い点数の分布は 99 点であるが、当院は C,D 評価が無いので問題はない。
- ・ 医療法等の一部改正に伴う厚生労働省令の整備に関する施行について
ゲノム医療実用化に向けた体制整備で検体検査の精度の保証についての内容が公表された
病院、診療所等、検査を行っている施設が全て対応となる
検体検査精度の確保に係る責任者は医師又は臨床検査技師となる
検体検査精度管理責任者は業務経験についての要件はない。技師会では研修を行う予定となっている
標準作業書及び作業日誌について台帳関係の整備が必要となる
標準作業書に関しては、1 項目につき 1 冊が必要になる
- ・ 僅少項目の外注化について
診療科ごとのヒアリングを行い、下記の通りとする。
トランスフェリン、IgE、CA125、インスリンは外注へ
CA15-3、CPR は院内実施のままとする。
- ・ 血中バンコマイシンを院内実施とする。
件数は少ないが重要な項目であり、迅速な報告が必要となる為。
- ・ 血中薬物濃度検査容器の変更について
血清で検査する血中薬物は「茶 6mL」（分離剤入り）で採血しているが、分離剤の影響で結果が偽陰性や偽陽性になる項目があり、外注先から分離剤なしの採血容器での採取を要望された。運用として、採血容器はそのままで、検体提出後に検査科での速やかな分離を行い、別容器に分注して外注先へ提出することとする。

【目的】

輸血委員会は安全で適正な輸血の在り方をサーベイランスするために設置されました。輸血療法の適応、血液製剤の選択と適正使用、輸血マニュアルの整備、血液製剤の保管・管理と使用状況調査、事故・副作用・合併症の把握と対策、輸血関連情報の伝達、院内採血・自己血採血などのマニュアルの整備などを話し合い、検討しています。

【開催状況】

- ・年間6回
- ・臨時議案がある場合は委員長が別途招集しています。

【取り組み】

1 血液製剤使用に関する統計報告

検査科で血液製剤を一元管理し、使用状況と廃棄率、6単位以上依頼のあった事例の輸血実績などを報告する。

2 事故・副作用・合併症の把握

副作用事例があった場合、その状況や治療に関して調査する。

3 輸血に関する情報の伝達

血液センターや厚労省からの輸血関連情報の伝達を行う。

【今後の課題】

1 血液製剤廃棄率の低下

過度な血液製剤依頼や発注ミスのないようにし、廃棄率を下げる重要性を考える。

2 輸血後感染症検査の実施

院内での輸血後感染症検査実施率が低いので、医師に依頼を行ってもらうように今一度アナウンスし、実施率をあげる。

平成30年度血液製剤使用単位数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
RBC	294	262	224	168	146	152	230	172	264	204	176	184	2,476	2,150	115.2%
FFP	480	178	122	106	24	46	28	86	104	76	32	62	1,344	889	151.2%
PC	60	280	0	0	80	20	0	80	110	110	80	100	920	750	122.7%
自己血	2	4	4	4	0	0	0	0	6	10	6	0	36	46	78.3%

【目的】

栄養管理委員会の目的は患者給食および栄養管理の質向上に資するため、栄養管理、栄養改善に関する事項の検討を目的としています。

【開催状況】

委員会は委員長が必要と認めた際に招集し開催しています。

第1回 平成30年4月12日

第2回 平成30年11月22日

【取り組み】

- * 入院時栄養スクリーニング MNA-SF 稼働に向けて
MNA-SF 試験運用実施後アンケート結果報告
現状の課題と問題点 ～全病棟稼働に向けて～
- * GFO 導入に関して
- * 特別治療食心臓食 嗜好調査結果報告
- * 入院時栄養スクリーニング MNA-SF 全病棟稼働後の結果報告
～現状の課題と問題点～
- * 経腸栄養剤取り扱い一部変更について
- * 食欲不振食「なごみ食」について
- * 嚥下食4（コード4）の粥食追加について

【今後の課題】

NST、嚥下ワーキング・糖尿病ワーキングの活動強化および、院内・院外への啓蒙活動継続と強化、栄養食事指導、給食・栄養管理の充実にむけて取り組み推進していきたいと考えます。

【目的】

患者の栄養状態や QOL 向上のため、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士など他職種連携し、栄養管理・栄養改善について検討することを目的としています。

【開催状況】

毎週木曜日 15 時 00 分～ 回診およびカンファレンスを実施

【取り組み】

- * 栄養管理の必要性の判定および栄養評価の施行
- * 適切な栄養管理が行われているかのチェック
- * 各症例に適した栄養管理方法の提案
- * 栄養管理に伴う合併症の予防・早期発見
- * 栄養管理上のコンサルテーションへの対応
- * 早期退院や社会復帰の促進と QOL の向上
- * 栄養治療ガイドラインに則った新しい知見の修得と啓蒙

【平成 30 年度 N S T 症例件数】

- * 新規介入患者数 77 件（平成 29 年度から継続患者は含まず）
- * 介入延べ件数 329 件
- * 依頼件数 55 件（医師：19 件、看護師：14 件、コメディカル：8 件、MNA からの抽出：14 件）

【平成 30 年度実施 N S T 勉強会】

日 時	内 容	講 師
9 月 21 日	WEB セミナー みんなで診る高齢患者の栄養サポート	近森病院 宮澤 靖氏
10 月 4 日	経腸栄養の合併症とその対策について ～ミヤ BM の有用性～	ミヤリサン製薬株式会社 木上 央氏
2 月 7 日	経管栄養の基礎知識と REF-P1 の 使用方法について	キューピー株式会社 金田 一彦氏
2 月 28 日	WEB セミナー 侮れない肝硬変栄養療法	大阪国際がんセンター 副院長・臨床研修センター長 片山 和宏氏

【今後の課題】

- * コアメンバーの臨床栄養学のレベルの画一化とさらなるレベルアップ
- * リンクナースの栄養療法への積極的介入
- * 各職種の役割分担と円滑な連携
- * 臨床栄養学に関するわかりやすい勉強会の定期開催とその継続

【目的】

入院中の誤嚥性肺炎発症を減らすことを目的としています。

【開催状況】

毎週火曜日に開催しています。(17時～)

【取り組み】

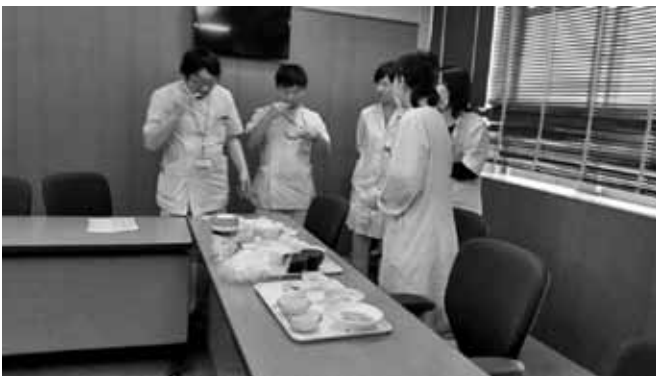
平成27年度から嚥下ワーキングを立ち上げて活動しています。主な構成メンバーは、大饗医師を中心に言語聴覚士・看護師・管理栄養士などです。

嚥下ワーキングの主な内容としては、言語聴覚士が嚥下リハビリテーションを行っている患者さんを中心に問題点を話し合い、嚥下障害に対する共通認識を持ちスムーズな退院支援を目指しています。また入院時の嚥下スクリーニング検査として、看護師による「改訂水飲みテスト」を実施し嚥下障害患者を抽出しています。嚥下障害抽出患者を嚥下ワーキングにて話し合い、早期にSTが介入できるよう取り組んでいます。

他の取り組みとしては、当院における嚥下調整食分類2013（日本摂食嚥下リハビリテーション学会）におけるコード1～4の食事が完成し、提供を開始しています。しかし食事内容の問題点が出てきた際は、栄養科と相談しながら、適宜試食会を行い改善に努めています。

【今後の課題】

当院での入院中の誤嚥性肺炎の発症を防ぐために、嚥下機能評価として入院時の嚥下スクリーニング検査を導入しています。嚥下障害患者の抽出を行い、早期にSTが介入できるようになりましたが、今後も入院中の誤嚥性肺炎の発症を防ぐために嚥下ワーキングでの情報交換、共通認識を大事にして活動していきたいと思っています。



大饗医師、言語聴覚士、管理栄養士による嚥下調整食の試食会の様子

【目的】

院内入院患者の口腔汚染の悪化防止及び改善を目指し、看護師の口腔ケアの知識・技術の向上を目的としています。

【開催状況】

毎月第2水曜日に開催しています。

【取り組み】

- * 口腔内アセスメントツール導入（OAG）
- * 看護師対象のアンケート調査
- * 各病棟でのカンファレンス（OAG 評価日）
- * 口腔ケアのマニュアルを作成、ケア方法の統一
- * チーム患者一覧への登録
- * 口腔ケア学会への参加・発表

【今後の課題】

- * アンケートの再評価
- * OAG・ケアマニュアルを用いた口腔ケアを維持、評価、向上
- * 疾患・患者特性ごとのケア方法
- * セルフケアへの介入
- * 患者を抽出して介入
- * 勉強会、研修会の要否
- * データを利用

【目的】

入院患者さんの糖尿病療養生活を多職種連携し支援します。院内・院外問わず、地域住民の方々に糖尿病をはじめとする生活習慣病への理解と関心を深めて頂けるように啓蒙活動を行います。糖尿病治療の療養支援に関する知識の共有とスキルアップを図ります。

【開催状況】

毎月第3火曜日に開催しています。

【取り組み】

- * 入院中の糖尿病を有する患者や高血糖患者の抽出を行い、チームで情報共有を図り必要な患者において早期に介入、退院できるようチームで支援しています。
- * 院内勉強会 《ジョンソンエンドジョンソン Webセミナー》

開催日時		内容
6月19日	17:30～	院内の血糖異常への関わりについて
7月24日	17:30～	フットケア①
8月21日	17:30～	フットケア②
9月25日	17:30～	災害①
10月23日	17:30～	災害②

* 糖尿病関連のイベント

開催日時		場所	内容	講師及び担当者	参加人数
平成30年 11月9日 (金) 世界糖尿病 デーイベント	13:30～ 15:30	橋本市民病院 2F講堂	講義：糖尿病とは（歯）？ ～口をきれいにして 糖尿病をよくしよう～ 座談会、質疑応答、アンケート	講師：歯科口腔外科田中章夫部長 北河寛子歯科衛生士 医師／看護師／管理栄養士／薬剤 師／理学療法士／歯科衛生士	11名
	13:30～ 15:45	橋本市民病院 1F中央玄関	無料血糖血圧測定	医師／看護師／臨床検査技師	85名
平成30年 11月25日 (日) すこやか橋本 学びの日	9:30～ 15:00	和歌山県立 橋本体育館	大人対象 無料血糖測定	医師／看護師／管理栄養士／臨床 検査技師／薬剤師／理学療法士／ 歯科衛生士 ※日本糖尿病療養指導士及び 和歌山県糖尿病療養指導士含む	324名
			子供対象 糖尿病〇×クイズ		約120名

【今後の課題】

平成31年度より常勤代謝内科医師が配属され、多職種連携を強化し入院・外来糖尿病患者の療養支援を行います。早期に患者の情報共有を図れるようシステム構築を進めます。糖尿病教育入院運用及びパンフレットの見直しを行い、糖尿病療養指導に努めます。糖尿病療養に関わるスタッフの育成を行います。

【世界糖尿病デーイベント写真】



糖尿病ワーキング初の試みとして、11/14 世界糖尿病デー当日限定で6 F レストランのブルーライトアップを行いました。

【すこやか橋本 学びの日の様子】



【目的】

委員会は、がん診療連携拠点病院としてその役割を果たし、機能強化にかかる事業を推進することを目的としています。

【開催状況】（平成 30 年度 実績）

・委員会は、年 1 回開催しています。

月	演 題	講 師
5 月	化学療法セミナー（5/24） 『大腸がん化学療法のベストプラクティス』	県立広島病院 臨床腫瘍科 主任部長 篠崎 勝則 先生
9 月	がん早期診断勉強会（9/13） 『今更聞けない肺がん検診のイロハ -これだけ違う結核検診との違い-』	国立がん研究センター社会と健康研究センター 検診研究部部長 中山富雄 先生
11 月	緩和ケア研修会（11/23）	医師 9 名、看護師 10 名参加
2 月	化学療法セミナー（2/15） 『がんゲノム医療時代にも対応した支持療法』	和歌山県立医科大学附属病院 腫瘍センター 上田弘樹 先生
3 月	放射線療法勉強会（3/1） 『放射線治療の進歩』	近畿大学医学部 放射線医学教室放射線腫瘍学部門講師 中松 清志 先生
3 月	緩和ケア勉強会（3/16） 『よくある間違いから学ぶ緩和ケア』	近畿大学医学部附属病院 腫瘍内科 講師 吉田健史 先生

【取り組み】

上記の開催状況の通り、地域がん診療連携拠点病院を担うため以下の事を念頭に置き、各種研修会・勉強会などを企画・開催し、職員にがん拠点病院としての自覚と専門知識の向上に努めています。

- (1) 手術や放射線、化学療法などを効果的に組み合わせた専門的ながん医療を提供しています
- (2) 治療の初期段階から、不安や痛みなどを和らげる緩和ケアを実施しています
- (3) 診療所や一般病院に診療支援を行い、在宅医療と連携しています
- (4) 『がん相談支援センター』を設置して、患者、医療関係者などからの相談を受付けています

【今後の課題】

がん診療の質の向上及びがん診療の連携協力体制の構築の為にも、より多くの研修会・勉強会の機会を増やし、職員の育成に取り組むたいと考えています。



【目的】

当院における緩和ケアの充実を図ることを目的としています。

【開催状況】

原則として、毎月第4火曜日に開催しています。

【取り組み】

当ワーキングは毎月第4火曜日に開催し、医師・薬剤師・看護師・MSW・作業療法士など多職種により構成されています。当ワーキングでは、緩和ケアに関する組織や運営に必要な事項を決定することを主としています。当ワーキングの中のメンバーから構成された緩和ケアチームが、毎週カンファレンスと病棟ラウンドを行い、緩和ケア対象患者について対策・対応を検討しています。

精神科のない当院では、精神的サポートとしてなかいクリニックの中井先生に月2回来て頂き、精神的ケアの必要な患者を診療し、カンファレンスで助言を頂いています。

緩和ケアワーキング・緩和ケアチームでは、主に以下のことについて話し合っています。

- ・がん性疼痛の緩和（痛みのアセスメント・医療用麻薬の適正使用・用量調整）
- ・疼痛以外の症状の緩和（消化器症状・倦怠感・せん妄など）
- ・告知・再発・終末期の患者の精神的サポート
- ・患者家族の支援、急変時の対応、最期の療養場所の選択

今後も入院患者に限らず、国の進めている『がんと診断されたときから緩和ケア』をスローガンに身体的・精神的な苦痛をやわらげるためのケアを目指して取り組んでいきます。

月	演 題	講 師
11月	緩和ケア研修会（11/23）	医師9名、看護師10名 参加
3月	第13回和歌山県がんの痛みを考える会（3/16） 『よくある間違いから学ぶ緩和ケア』	吉田 健史 先生 （近畿大学医学部附属病院 腫瘍内科 講師）

【今後の課題】

- ・疼痛管理に関するマニュアルの作成
- ・カンファレンスと病棟ラウンドの充実
- ・メンバーの資質の向上と院内全体のレベルアップ
- ・院内の他チームとの連携
- ・地域連携パス等、様々なツールを活用した地域連携体制の構築
- ・各種診療報酬獲得の為に体制整備

【目的】

がん化学療法に関わる諸問題の討議や治療計画（レジメン）を科学的根拠に基づき審査し、組織学的に統括、管理し安全に化学療法を行うことを目的としています。

【開催状況】

毎月第4木曜日に開催

【取り組み】

- ・レジメン審査および管理
- ・化学療法施行に伴う安全管理、副作用対策等の情報共有
- ・化学療法により発症するB型肝炎ガイドイランを遵守し全抗がん薬におけるスクリーニング検査の徹底
- ・外来化学療法の運営
- ・MSI-High フローを作成し運用開始する
- ・薬剤師外来を開始し、がん化学療法の質向上に努める
- ・職業性曝露対策とし、外来化学療法から閉鎖式システムを全抗がん薬に導入

【化学療法件数】

総数：

- ・入院化学療法 309 件
- ・外来化学療法 1,369 件 外来化学療法加算 8,214,000 円
(ホルモン剤、ビスホスホネート製剤は除く)

【今後の課題】

- ・がん化学療法に伴う安全管理の推進
- ・職業性曝露対策とし、入院化学療法についても閉鎖式システムを導入する
- ・チーム医療、ゲノム医療の推進
- ・薬剤師外来の充実により、外来化学療法患者のマネジメントを多職種で介入し質向上につなげていくこと



【目的】

がん患者さんの病態に応じたより適切ながん医療の提供ができるよう、また、地域がん診療連携拠点病院として院内におけるがん治療の把握と共有を図ることを目的としています。

【開催状況】

月1回以上開催。臨時検討症例あれば随時開催。

【取り組み】

当院ではがんボードを毎月定期的で開催しており、問題点を多く抱えた悪性腫瘍や希少がんや多重がんに対し様々な治療法（手術、抗がん剤治療、放射線治療など）を検討するため、各科の医師や画像診断医、病理診断医、看護師、薬剤師、社会福祉士など多くの職種により、意見交換を行い患者さんにとって最良の治療を提供することを目指して行っています。

【今後の課題】

重複がんや原発不明がん、稀ながん腫など診断や治療に難渋する症例があった場合に、速やかに関係する担当者を招集しがんボードを開催できるようにしていくことです。

【目的】

当院の医療機器等の導入に際し、業務効率及び患者サービスの向上にふさわしい機器を整備することを目的としています。

【開催状況】

不定期開催。
平成30年度は年2回開催しました。

【取り組み】

医師の要望、当院としての収益、患者サービス等、多角的な視点から翌年度に購入する選定を実施。限られた予算の中でいかに効率よく機器を更新できるかを協議し、綿密な計画策定を実施しています。

【今後の課題】

高額機器の更新はほぼ完了しましたが、多くの少額機器が未更新の状態であり新規購入機器の購入予算が圧迫されることとなります。今後はより一層適切な機器選定が必要となります。また、更新機器購入額を可能な限り抑制することが課題となっています。

【目的】

診療情報の管理運営及び、医療情報システムの運営、開発についての諸問題を検討し、医療水準・患者サービスの向上及び業務の効率化を図ることを目的としています。

【開催状況】

隔月の第3水曜日に開催しています。

【取り組み】

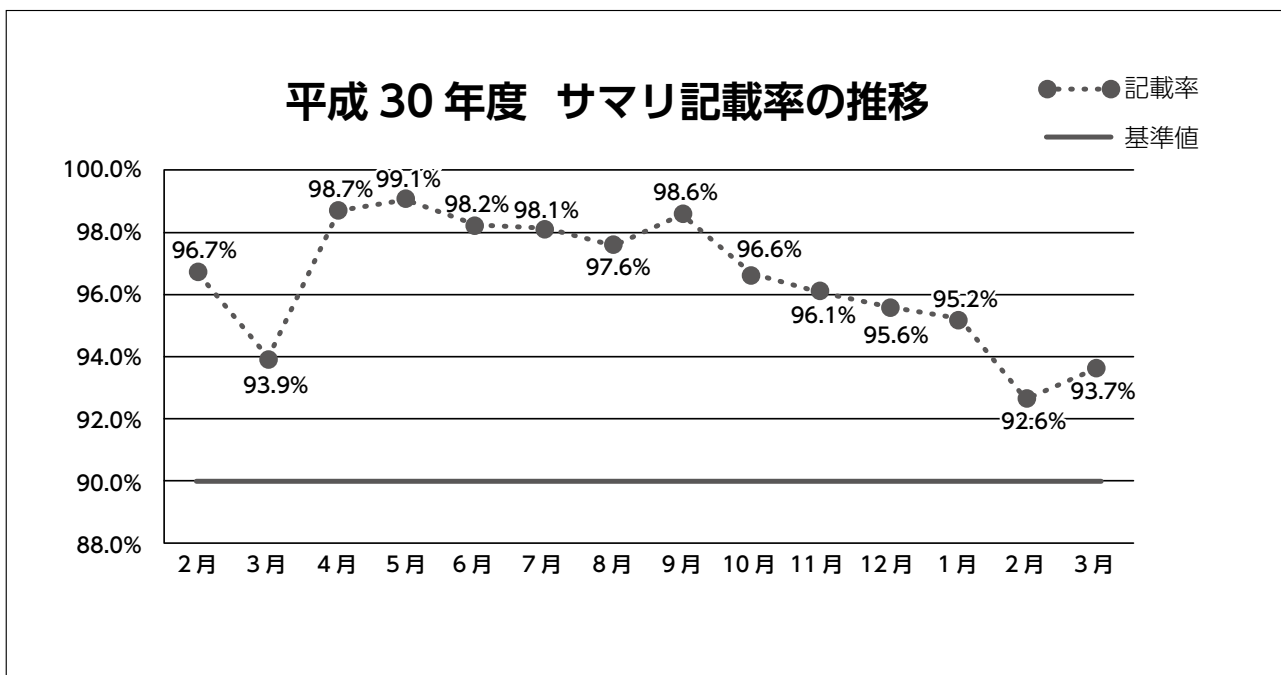
委員会では、診療録・診療情報に関するさまざまな事について検討しています。今年度においては、病院実習生の個人情報保護誓約書とその運用方法の見直しや、紙媒体の診療情報のスキャナ取り込みルールの見直しと整理、一部同意書の内容見直し等を委員会で実施・検討し、運用に乗せました。

また、委員会では退院サマリの記載率と詳細不明傷病名の使用率、診療録の不正閲覧の監視を行っています。退院サマリの記載率は下記のとおりとなっており、最終的に100%となっています。詳細不明傷病名の使用率や傷病名を報告し、適切なコーディングについての検討も行っています。診療録の不正閲覧については、電子カルテのアクセスログを抽出して精査するとともに全職員に注意喚起のメールを定期的を送るなどして、不正閲覧防止に努めています。

小委員会である電子カルテ運営委員会では、より安全で効率の良いシステム運営を目指し取り組んでいます。

【今後の課題】

当院は診療録管理体制加算Ⅰを算定しているため、退院後14日以内の記載率90%以上が必須条件となっていることから、今後も記載率100%を目標に努めていきます。また、診療録に関することについては、量的・質的監査を行い診療録の記載内容の充実と向上を目指していきます。診療情報の管理では個人情報の取り扱いについてなど、病院情報システムでは、システム障害や運用などそれぞれの諸問題を検討し、常に病院業務の向上と効率化に取り組んでいくことが課題です。



【目的】

橋本市民病院での電子カルテの適切な運営・管理・改善に係わる事項を審議することを目的としています。

【開催状況】

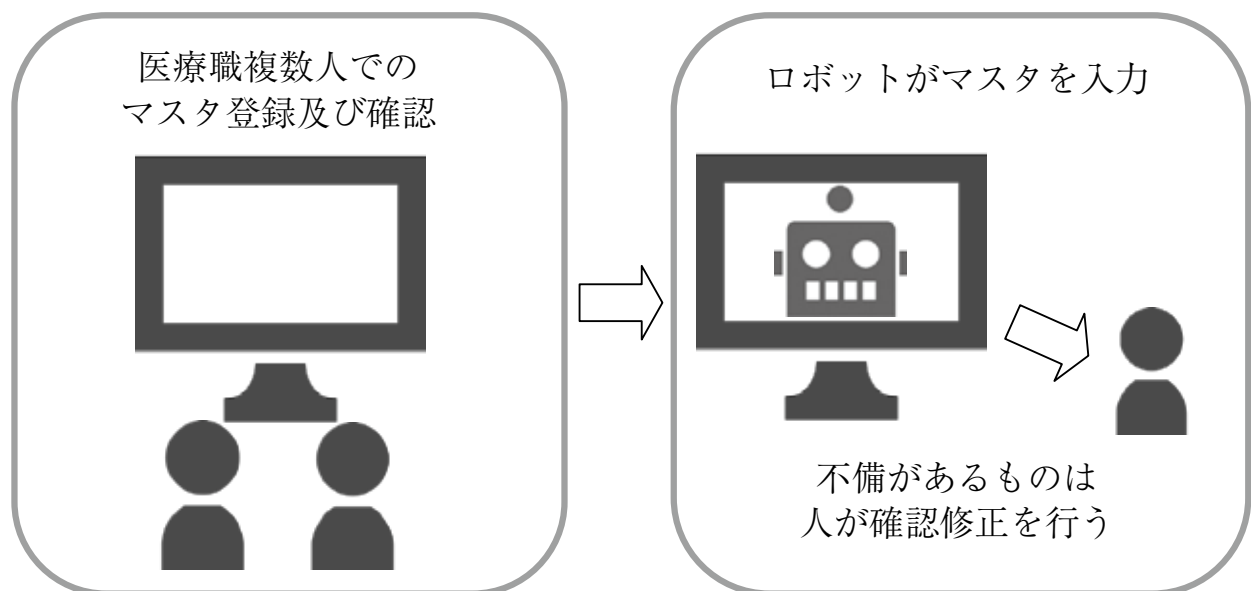
毎月第一火曜日に開催しています。

【取り組み】

委員会では、電子カルテシステムだけでなく院内で運用している全ての病院情報システムの安定稼働を目指して、障害対応だけでなく、業務改善になるシステム改造の要望などを検討し、より安全で効率の良いシステム運営を目指し取り組んでいます。

【今年度の電子カルテ機能強化項目】

- ・RPA（ロボット）機能の導入



【導入効果】

- ・人による単純作業時間及び超過勤務コストの削減
- ・高付加価値業務への転換
- ・作業品質の向上

【今後の課題】

診療報酬改定時のスムーズな運用変更やシステム更新を見据えたシステム整理を行い、病院経営に与える影響を必要最小限におさえることです。

【目的】

院内感染予防と拡大防止を積極的に推進し、院内感染管理の万全を期するとともに、院内感染が発生した際にはその対策を樹立させ、ICT と連携して周知徹底することを目的としています。

【開催状況】

毎月第1火曜日に開催

【取り組み】

- ・ 定期的な研修会の開催を行っています。
- ・ ICT 活動を支援し、ICT からの報告（耐性菌等の監視対象菌報告、特定感染症報告、抗菌薬使用状況、その他感染対策に関する事項について院内感染対策で検討しています。
- ・ 院内感染の発生状況について、継続したサーベイランスを実施し、院内感染の低減を図っています。
- ・ 感染防止対策加算、地域連携感染防止対策加算に伴う共同カンファレンス開催、相互ラウンド評価や感染症連絡協議会などの ICT 活動を支持しています。
- ・ 院内感染の発生状況に応じた対策を樹立し、周知徹底しています。
- ・ 院内アウトブレイクの、連絡体制の確立に努めています。
- ・ 感染管理に関する地域連携に努めています。

【今後の課題】

- ・ AST による抗菌薬の使用適正化の支援
- ・ 院内感染対策マニュアルの見直し・改訂
- ・ ICT と連携した院内清掃手順の見直し
- ・ 地域連携の強化

【目的】

院内感染対策委員会での決定事項に沿って、感染症患者への適時介入や診断の支援、抗菌薬適正使用を現場で支援する組織です。また抗菌薬適正使用に向けたサーベイランスや教育・啓発を行うことを目的としています。

【開催状況】

毎週火曜日に開催

【取り組み】

右記感染症トライアングルを基に、患者の全体像を捉えながら、適切な抗菌薬使用について協議を行っている

- ・ 抗菌薬の使用原則
- ・ 抗菌薬の適正使用を推進
- ・ 抗菌薬適正使用支援
- ・ アウトブレイク時の対応を実施
- ・ 職業感染対策の実施
- ・ 研修会を開催（年2回）

【今後の課題】

- ・ AST 介入後の評価
- ・ 根拠に基づいた抗菌薬使用支援の啓発活動
- ・ 抗菌薬適正使用の充実
- ・ 分かりやすい情報発信



【目的】

院内感染対策委員会の下部組織であり、感染対策を現場で推進する実働組織であり、院内感染状況を把握・介入・評価を行い、感染対策の改善と感染率の低減に努めることを目的としています。

【開催状況】

毎週火曜日に開催

*年1回 ICTW と合同会議開催

【取り組み】

- ・サーベイランスの実施・感染管理ベストプラクティス導入
- ・有効な感染対策の推進
- ・感染管理教育の実施
- ・コンサルテーション
- ・抗菌薬の適正使用を推進
- ・アウトブレイク時の対応を実施
- ・職業感染対策の実施
- ・他医療機関との地域連携
(感染防止対策加算、地域連携感染防止対策加算に伴う共同カンファレンス開催、相互ラウンド評価や感染症連絡協議会などの ICT 活動、地域での感染対策研修会開催)
- ・地域貢献 (地域周辺施設、地域住民への情報提供)



月	平成 30 年度 ICT 活動
4 月	・ ICT ラウンド会議 (ラウンド 5 回) ・ ICT ニュースを発行し情報提供 ・ 地域連携施設 (加算 1・2 施設) との調整 ・ 新規採用者感染管理オリエンテーション実施
5 月	・ ICT ラウンド会議 (ラウンド 6 回) ・ 研修生・学生のワクチン接種規程作成 ・ 麻疹感染症疑い患者トリアージの活用、運用
6 月	・ ICT ラウンド会議 (ラウンド 7 回) ・ 病院感染症連絡会出席 (保健所) ・ 紀和病院との地域連携 第 1 回共同カンファレンス ・ 地域との感染対策研修会
7 月	・ ICT ラウンド会議 (ラウンド 10 回) ・ 感染防止対策研修会開催 ・ 感染防止対策録画研修会実施 ・ 土井先生との院内ラウンド実施 ・ ワクチン外来開設 ・ 地域との感染対策研修会
8 月	・ ICT ラウンド会議 (ラウンド 5 回) ・ 地域との感染対策研修会 ・ ICT ニュースを発行し情報提供 ・ 感染防止対策録画研修会実施
9 月	・ ICT ラウンド会議 (ラウンド 4 回) ・ インフルエンザワクチン接種準備 ・ 地域での感染管理ベストプラクティス開催 (保健所と連携) ・ 紀和病院との地域連携 第 2 回共同カンファレンス
10 月	・ ICT ラウンド会議 (ラウンド 11 回) ・ 外来インフルエンザワクチン予約開始 ・ 公立那賀病院にて相互ラウンド評価実施 ・ CRE 院内説明会開催 ・ 地域との感染対策研修会

11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT ラウンド会議（ラウンド8回） ・ 外来インフルエンザワクチン接種開始 ・ 職員インフルエンザワクチン接種（3日間） ・ 紀和病院との地域連携 第3回共同カンファレンス ・ 公立那賀病院相互ラウンド評価実施（橋本市民病院ラウンド） ・ 大阪大学 朝野先生との院内ラウンド実施 ・ 奈良医大 笠原先生との院内ラウンド実施 ・ ICT ニュースを発行し情報提供 ・ 地域との感染対策研修会
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT ラウンド会議（ラウンド6回） ・ 井上病院感染ラウンド ・ 面会制限のお知らせ掲示、院内周知 ・ 感染症連絡会（橋本市民病院ラウンド） ・ 感染症連絡会出席（山本病院ラウンド）
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT ラウンド会議（ラウンド10回） ・ 院内感染対策研修会開催 ・ 紀和病院との地域連携 第4回共同カンファレンス ・ AST/ICT 合同感染対策研修会開催
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT ラウンド会議（ラウンド6回） ・ ICT ニュースを発行し情報提供
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT ラウンド会議（ラウンド4回） ・ 感染症連絡会出席 ・ ICT ニュースを発行し情報提供 ・ AST/ICT 合同感染対策録画研修会実施 ・ 平成29年度活動の評価 ・ 次年度活動計画立案

【今後の課題】

- ・ 院内感染対策実施の推進
- ・ 抗菌薬適正使用化→抗菌薬適正使用支援チーム（AST）活動開始
- ・ 感染管理における地域連携の拡大
- ・ 職業感染対策の充実



麻疹感染症疑い患者トリアージ



土井先生との院内ラウンド



他施設との院内ラウンド



朝野先生との院内ラウンド



紀和病院共同カンファレンス



AST/ICT 合同研修会

【目的】

ICTW は、院内感染対策委員会での決定事項に沿って、ICT の指示により、感染対策を実践現場で実施・指導する実働組織です。

また、ICT と共にサーベイランスを実施し、感染対策改善と感染率の低減に努めることを目的としています。

【開催状況】

毎月第 1 木曜日に開催

*年 1 回 ICT と合同会議開催

【取り組み】

- ・サーベイランス・感染管理ベストプラクティスの実施
- ・有効な感染対策の推進
- ・感染管理教育の実施
- ・抗菌薬の適正使用を推進

月	内 容
4 月	・平成 30 年度 ICTW 年間計画の調整 ・感染管理ベストプラクティス・手指消毒サーベイランス実施
5 月	・5 月 12 日（土）ベスプラ研修発表 ・院内環境ラウンド
6 月	・標準予防策について、ワーキングメンバーの認識度チェック ・こんな時どうする？をテーマにディスカッション ・環境クロスサンプリング実施
7 月	・感染研修会受講後の振り返り ・標準作業手順書の作成
8 月	・個人防護具着脱手順の見直し、環境クロスの評価（クリネル高評価、採用） ・非感染性廃棄物の分別に関する情報共有、現場指導 ・標準作業手順書作成
9 月	・病棟ラウンド実施 ・今後の ICTW の在り方についての意識調査
10 月	・当院における CRE 検出状況についての情報共有 ・CRE アウトブレイク対応について説明会
11 月	・現場のアルコール使用量の確認、1 患者あたりの実施回数共有 ・アルコールフリー製剤導入にむけたサンプリング ・病棟清掃の実施状況について情報交換
12 月	・CRE スクリーニング実施状況、検出状況について情報共有 ・メンバーによる手指衛生直接観察、指導、評価、課題の確認 ・手洗いキャンペーン計画
1 月	・CRE スクリーニング状況報告 ・手洗いキャンペーン実施 ・手指衛生実施回数目標達成に向けた取り組み報告
2 月	・手指衛生向上に向けた取り組みの成果報告 ・感染対策実施状況について報告
3 月	・平成 30 年度各部署での活動の評価 ・CRE スクリーニング実施状況共有 ・手指衛生（アルコール消毒、手洗い、それぞれ求められる場面）の使い分け 周知 ・次年度の ICTW 活動計画案立案 ・病棟ラウンド

【今後の課題】

- ・ICT と共に院内感染対策を推進する。
手指衛生遵守の向上
防護具適正使用の推進
各部署の感染対策に関する課題の明確化
自らが中心となり活動題

【目的】

入院患者の褥瘡予防と改善を図り、安心・安全な医療を提供するため改善・対策を検討する。

【開催状況】

毎月 第一水曜日 17時～

【取り組み】

- 皮膚科医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、感染管理認定看護師、管理栄養士、褥瘡対策委員、病棟看護師等で毎週1回（水曜日）に褥瘡回診を実施し現場指導を行う。
- 毎月院内の褥瘡保有率ならびに褥瘡推定発生率を確認し、所属長に報告する。
- 診療報酬改定に伴い「褥瘡対策に関する診療計画書」の危険因子の評価に「スキンテア」の項目を追加する。
- 「スキンテア」についてリンクナースに向けて説明し、スタッフが「褥瘡対策に関する診療計画書」の「スキンテア」の評価ができるよう指導を行う。
- 患者に適切なマットレスが使用できるよう運用方法を変更する。

平成30年度 院内褥瘡、スキンテア件数

平成30年度	院内件数	発生	持込	平均年齢
褥瘡	165件	84件	81件	83歳
スキンテア	85件	59件	26件	87歳

褥瘡推定発生率、有病率

平成27年度	推定発生率	2.8%	有病率	3.4%
平成28年度	推定発生率	1.2%	有病率	2.6%
平成29年度	推定発生率	1.3%	有病率	2.8%
平成30年度	推定発生率	0.8%	有病率	3.0%

【今後の課題】

・「褥瘡対策に関する診療計画書」の計画が、患者に適した計画となるよう見直し、修正を行うことが課題です。

【目的】

医療安全管理対策委員会の目的は、病院における医療事故を予防し、安全かつ適切な医療を提供できる体制を確立することを目的としています。

【開催状況】

毎月第4水曜日に定期開催（17時～）

また委員会の指示により必要に応じて臨時医療安全管理対策委員会の開催や事故調査委員会の開催を行っています。

【取り組み】

医療安全に関する事項について次のとおりの取り組みを行っています。

- ・医療安全管理対策の検討及び研究に関する事項
- ・医療事故の分析及び再発防止対策の検討に関する事項
- ・医療安全管理対策を職員に対して啓発や指示に関する事項
- ・医療事故発生防止の啓発、教育、広報及び出版に関する事項
- ・医療紛争の処理に関する事項
- ・その他医療安全管理対策に関する事項

【今後の課題】

セーフティマネジメント部会での検討内容が、多岐に渡り部会開催時間内だけでは十分な検討する時間が無い状態になっており開催方法の変更等を考える必要がある。安全対策に必要な情報については医療安全ニュースなどを通じて通知していく必要もある。また、情報を発信するための方法として医療安全研修会を行っており、参加率向上のため、研修会を出来るだけ参加できるように様々な対応の検討も行っています。

【研修会等の開催状況】

	内容	研修対象者	開催日	講師	参加人数
1	新採用者オリエンテーション (医療安全について)	新規採用医師	平成30年4月3日	医療安全 恋中	8名
2	新人オリエンテーション	新規採用者	平成30年4月4日	医療安全 恋中	25名
3	PDAの取り扱い研修会	看護師	平成30年6月1日他4回	医療安全 恋中	160名
4	不整脈研修会	看護師 その他	平成30年7月10日	循環器科 樹野医師	29名
5	第1回医療安全研修会 暴言暴力について	全職員	平成30年8月2日 他ビデオ研修6回	関西医科大学 看護学部領域 教授 三木 明子	419名
6	心電図モニター取扱説明 (上限・下限設定アラーム対応について)	病棟	平成30年7月～8月5回 (各病棟)	臨床工学科 小嶋	各病棟
7	心電図モニターチャンネル設定について	病棟	平成30年11月 5回 (各病棟)	臨床工学科 小嶋	各病棟
8	安全装置付き静脈留置針説明会	医師	複数日	メデキット	184名
9	第2回医療安全研修会 薬剤について・他職種から学ぶ医療安全	全職員	平成31年3月6日 他5回開催	アルフレッサ 眼科 金医師	399名

【目的】

医療ガス（診療の要に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素等をいう）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的としています。

【開催状況】

年1回開催しています。
平成30年度は3月に開催しました。

【取り組み】

ガス関連設備の定期点検結果・現状の問題点を報告、協議することにより今後のガス設備運営に活かし、より一層患者安全の確保を図ります。

【今後の課題】

災害時のガス・水等のインフラ関連体制構築が不十分であり、今後、災害医療対策委員会とも連携し体制について再考する必要があります。

【目的】

災害医療全般、防災・防火に関することを取り扱い、地域災害拠点病院としての体制整備、日常の防災対策を主として取り扱うことを目的としています。

【開催状況】

平成30年度においては、11月17日（土）に開催した橋本市災害医療フォーラムへの関与が主となり、9月11日に開催しました。

【取り組み】

橋本市災害医療フォーラムは平成30年度で第13回目を迎えました。13回目を迎えた今回は医師会や近隣の医療機関など計20医療機関が参加し、見学者も含めて総勢325名の参加がありました。午前の部では、2018年7月西日本豪雨に見舞われたまび記念病院の院長 村松友義先生による特別講演や、発災初動の災害対策本部の設営訓練等を実施し、午後の部では、例年行っている模擬傷病者を用いた実働訓練に、本部の設営は講堂にし、救護所を廃止するなど、昨年度と変更点を設け実施しました。

【今後の課題】

災害に対しては日常の取り組みと意識付けが重要となります。今後の課題としては、できるだけ多くの職員に、災害マニュアルの周知や災害フォーラム等訓練の参加を促すとともに、訓練のための準備を行うのではなく、常日頃から災害について知識を深め、いつ起こるかかわからない大災害について備えていきたいと考えています。

第13回橋本市災害医療フォーラム



(左：村松友義先生による特別講演　右：実働訓練風景)

【目的】

災害医療対策委員会の下部組織として、主に DMAT 活動の連絡調整を行うことを目的としています。

【開催状況】

隔月で物品の準備を兼ねて開催しています。昨年度は不足物品の洗い出しを行いました。

【取り組み】

ブロック訓練への参加、政府訓練への参加や技能維持研修への参加を行いました。当院からタスクの育成、ロジスティクス強化をはかるため、訓練を継続して実施いたします。上部組織である災害医療対策委員会のイベントである災害医療フォーラムでは、DMAT 職員が中心となって訓練の計画を行います。

【今後の課題】

医師の異動や職員の退職、年齢層の上昇により、若手職員より隊員を募集していくことが重要と考えています。また、DMAT の資格有無にかかわらず、院内の災害対策に携わるメンバーを増加させていくことが大きな課題です。

また、橋本運動公園には航空搬送拠点である SCU を設置する予定であることから、和歌山県及び関係部局と設置にあたっての打合せを行っていく予定です。

【目的】

当院の日常の防火対策及び訓練などについて検討することを目的としています。

【開催状況】

委員会は年2回 各防火訓練前に開催。

訓練は以下の通り行いました。

日 程	開催場所	参加人数	備 考
平成30年12月27日	正面玄関	10人	
平成31年3月22日	6階レストラン	12人	

【取り組み】

防火訓練実施の事前準備として

- ①訓練シナリオの作成
- ②関係者との協議
- ③消防に対する事前通知内容協議 等を実施。

前回は火災発見後の適切な行動が取れていなかったことから、今年度は火災時における適切な行動の説明を行なった。その後、訓練を実施した結果、火災の発見→報告→消火→鎮火の一連の行動を行うことができ、一定の成果が得られました。

【今後の課題】

引き続き、火災時におけるマニュアル及び所属部署における消火設備や避難経路を理解し、日ごろから防火に対する意識付けを行いたい。また、次年度においては、避難者の避難訓練及び消防士立会いによる水消火器を使用した訓練等を実施し、防火に対する意識向上を図りたいと考えています。



【目的】

医療安全管理体制の確立及び、職員の技術・知識等の向上のため、研修会等の開催を企画・管理し、職員の資質向上を図るとともに、病院年報の作成を目的としています。

【開催状況】

月1回第2水曜日に開催しています。

【取り組み】

委員会では、橋本市民病院の医療安全管理の為、各委員会主催の研修会・勉強会の把握し、必要に応じて研修会の企画なども行い、職員の資質向上に取り組んでいます。医療安全研修会では、医療安全管理対策委員会と協力し、暴言暴力について学びました。それに関連して接遇研修会を開催し、高齢者虐待について医療従事者としての対応方法等を学びました。

また年報作成では、橋本市民病院の紹介や取り組みなどを掲載し、地域の医療機関関係者の方に橋本市民病院を知って頂くことを念頭におき作成しています。

【今後の課題】

職員の技術・知識等の資質向上のため、研修会の充実化を図るとともに、今まで以上に研修会のスケジュール管理を徹底し、より多くの職員が出席できるよう周知していくことが必要であると考えています。

年報については、中身を充実させるとともに、レイアウトの見直しや電子化での発行等、市民病院の取り組みをよりわかりやすくより多くの方に知っていただく事が今後の課題であると考えています。

平成 30 年度 研修会一覧

月	演題等	講師
4月	橋本市症例検討会 (4/20) 「浮腫で紹介となった80代女性」	橋本 忠幸 総合内科副医長
5月	院内臓器移植研修会 (5/1 17:40-18:40)	橋本 忠幸 総合内科副医長、小守 博輝 看護師
	橋本市症例検討会 (5/18) 「発熱と皮疹で紹介となった20代男性」	福地 芳浩 研修医
6月	化学療法セミナー (5/24 17:45-19:00) 『大腸がん化学療法のベストプラクティス』	篠崎 勝則 先生 (県立広島病院 臨床腫瘍科 主任部長)
	第1回抗菌薬適正使用チーム (AST) 研修会 (6/6 17:30-18:30) 『抗菌薬適正使用チーム (AST) って何?』	川畑 仁貴 総合内科副医長、北島 正大 薬剤師、栢田 美加子 感染管理認定看護師
	「人生最終段階における意思決定支援」(6/18 17:30-18:30)	
	診療報酬改定説明会 (6/20 17:30-18:30)	山岸 義彦 先生 (日医工株式会社 医業経営コンサルタント)
7月	橋本市症例検討会 (6/21) 「左上腹部痛で紹介となった80代女性」	西願 誠 総合内科医師
	カンサーボード (6/22 17:30～) [小細胞肺癌、重複癌(肺、胃)]	平井 一成 乳腺呼吸器外科部長
	第1回感染研修会 (7/3 17:30～) 『感染対策の"落とし穴"と最新情報 ～それぞれの現場でこんなところに注意してください～』	土井 英史 先生 (特定非営利活動法人 日本感染管理支援協会 理事長)
	橋本市症例検討会 (7/12) 「発熱、頭痛で救急外来を受診した28歳男性」	伊藤 恭平 総合内科医師
7月	カンサーボード (7/23 17:30～) ・多発骨転移、原発性肺癌の疑い ・肺癌癌、胸膜播種による大量胸水貯留 ・リウマチ肺を合併した肺癌	平井 一成 乳腺呼吸器外科部長
	救急症例検討会 (7/27 17:30～)	橋本消防、総合内科、脳神経外科

8月	<p>第1回医療安全研修会 (8/2 17:30-18:30) 『暴言暴力について』</p> <p>がんセミナー (8/17) 「左上腕の腫張と痛みで整形外科受診から、最終的に乳がん診断に至った一例」</p> <p>DMAT 研修報告会 (8/20 17:30～) 8/3～8/4 政府訓練についての報告</p> <p>人権研修会 (8/28,8/30 16:00-17:00) 『高齢者虐待について』</p>	<p>三木 明子 先生 (関西医科大学 看護研究科 教授)</p> <p>森内 俊宜 総合内科医師</p> <p>下条 恵己 先生 (橋本市 いきいき長寿課 社会福祉士)</p>
9月	<p>がん早期診断勉強会 (9/13 17:45-19:00) 『今更聞けない肺がん検診のイロハーこれだけ違う結核検診との違いー』</p> <p>橋本市症例検討会 (9/13) 「呼吸苦を主訴に来院された70代男性」</p> <p>がんセミナー (9/14 17:30～) 「悪性リンパ腫」</p> <p>NS T勉強会 (9/21 17:30-18:10) 『みんなで診る高齢患者の栄養サポート』</p> <p>地域医療連携イベント (9/27) 消化器内科の紹介・意見交換会</p>	<p>中山 富雄 先生 (国立がん研究センター 社会と健康研究センター 検診研究部 部長)</p> <p>伊藤 恭平 総合内科医師</p> <p>平井 一成 乳腺呼吸器外科部長</p> <p>宮澤 靖 先生 (社会医療法人近森会 近森病院 臨床栄養部部長)</p> <p>仲地 健一郎 消化器内科医長、荒井 俊夫 消化器内科副医長、枝川 剛也 消化器内科医師</p>
10月	<p>橋本市症例検討会 (10/11) 「1ヶ月ほど前から発熱、倦怠感が持続する73才男性」</p> <p>地域医療連携イベント (10/25) 乳腺外科・呼吸器外科の紹介・意見交換会</p> <p>がんセミナー (10/26 17:30～) ①左腎癌の疑い、子宮体癌 ②原発不明癌</p> <p>接遇研修会 (10/31 17:30～) 『医療機関の接遇とは』</p>	<p>西願 誠 総合内科医師</p> <p>平井 一成 乳腺呼吸器外科部長、内藤 古真 乳腺呼吸器外科医長</p> <p>①稲垣 武 泌尿器科筆頭部長 ②古川 健一 院長代理</p> <p>直井 みずほ 先生 (おもてなし協会 大阪支部)</p>
11月	<p>橋本市症例検討会 (11/8) 「前立腺癌の既往にある90才男性 酸素化低下を主訴に来院」</p> <p>がんセミナー (11/21 17:30～) 「胆管癌、卵巣腫瘍 (転移性の疑い)」</p> <p>緩和ケア研修会 (11/23)</p>	<p>田中 将規 総合内科医師</p> <p>堀内 優子 産婦人科副医長</p>
12月	<p>橋本市症例検討会 (12/13) 「貧血を主訴に来院した79才女性」</p> <p>臓器移植研修会 (12/14 17:45～) 「8月の臓器移植対応について」</p> <p>がんセミナー (12/21 17:30～) ① 1.乳癌、転移性脳腫瘍、転移性肺腫瘍 2.ALK陽性肺腺癌、転移性副腎腫瘍、転移性脳腫瘍 ② 舌癌、頸部リンパ節転移 ③ EGFR 遺伝子変異陽性肺癌、脊髄転移、脳転移、局所再発</p>	<p>山田 裕規 総合内科医師</p> <p>臓器移植 WG (橋本 忠幸 総合内科医師、秋田 豊和 臨床検査技師長、小嶋 宏之 臨床工学科技師長、宮内 豊路子 看護師長、横芝 真紀 主任看護師、小守 博輝 看護師)</p> <p>①高濱 隆幸 腫瘍内科医師 ②田中 章夫 歯科口腔外科部長 ③平井 一成 乳腺呼吸器外科部長</p>
1月	<p>橋本市症例検討会 (1/10) 「自閉症スペクトラムのある41才男性の来院2ヶ月前からの歩行障害」</p> <p>第406回 診療懇話会 (1/16 20:00～) 「当院におけるCREの現状報告と対策について」</p> <p>第2回感染研修会 (1/18 17:00～) 『薬剤耐性菌の現状と対策』～カルバペネム耐性腸内細菌科細菌を中心に～</p> <p>施設勉強会 (1/25 14:00～15:00)</p> <p>がんセミナー (1/25 17:30～) ① 1.薬剤性間質性肺炎の疑い、小細胞肺癌、転移性脳腫瘍、転移性肝腫瘍 2.薬剤性間質性肺炎の疑い、EGFR 遺伝子変異陽性肺腺癌 3.多発骨転移、EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌 ② 舌癌、頸部リンパ節転移</p>	<p>田中 将規 総合内科医師</p> <p>川畑 仁貴 総合内科副医長</p> <p>笠原 敬 先生 (奈良県立医科大学 感染症センター 准教授・感染管理室長)</p> <p>国城寮・グリーンガーデン橋本・さくら苑・天佳苑・博寿苑・ひかり苑・メディアケアはしもと</p> <p>①高濱 隆幸 腫瘍内科医師 ②田中 章夫 歯科口腔外科部長</p>

<p>2月</p>	<p>NST勉強会 (2/7 16:00～17:00) 「経管栄養の基礎知識とREF-P1の使用方法について」</p> <p>がんセンターボード (2/8 17:00～) ①神経内分泌腫瘍 ②左腎腫瘍 (腎盂癌の疑い)、早期食道癌 ESD 後</p> <p>地域医療連携イベント (2/9) 「地域で取り組むポリファーマシー」</p> <p>「DPC分析サービス 機能評価係数Ⅱ・実績用件分析報告会」(2/14 17:30～)</p> <p>橋本市症例検討会 (2/14)</p> <p>第2回化学療法セミナー (2/15 17:50～19:00) 『がんゲノム医療時代にも対応した支持療法』</p> <p>地域医療連携イベント (2/20) 眼科の紹介・意見交換会</p> <p>がんセンターボード (2/22 17:30～) ①左腎盂癌、早期食道癌 ESD 後 ②神経内分泌腫瘍 ③口底癌、頸部リンパ節転移</p> <p>NST勉強会 (2/28 18:00～18:30) 『侮れない肝硬変栄養療法！』</p> <p>地域医療連携イベント (2/28) 外科の紹介・意見交換会</p>	<p>金田 一彦 先生 (キュービー株式会社 ニュートロンサポート部 学術・営業チーム 学術担当)</p> <p>①高濱 隆幸 腫瘍内科医師 ②上野 駿 泌尿器科医師</p> <p>橋本 忠幸 総合内科医師</p> <p>大平 真也 先生 (ニチイ学館基幹事業統括本部 医療関連事業本部 事業推進部 経営支援課 課長補佐 多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー DPC マネジメント研究会 理事)</p> <p>山田 裕規 総合内科医師</p> <p>上田 弘樹 先生 (和歌山県立医科大学附属病院 腫瘍センター 病院教授)</p> <p>金 桂洙 眼科部長、廣瀬 順一 眼科医長</p> <p>①上野 駿 泌尿器科医師 ②高濱 隆幸 腫瘍内科医師 ③田中 章夫 歯科口腔外科部長</p> <p>片山 和宏 先生 (大阪国際がんセンター 副院長・臨床研修センター長) 大塚製薬株式会社</p> <p>坂田 好史 外科筆頭部長、前田 恒宏 外科部長、小澤 悟 外科部長、阪中 俊博 外科医師</p>
<p>3月</p>	<p>放射線治療勉強会 (3/1 17:30～18:45) 「放射線治療の進歩」</p> <p>第2回医療安全研修会 (3/6) 1. 薬剤研修会 2. 「他職種に学ぶ医療安全」</p> <p>地域医療連携イベント (3/14) 泌尿器科の紹介・意見交換会</p> <p>緩和ケア勉強会 (3/16)</p> <p>がんセンターボード (3/22 17:00～) カルチノイド腫瘍</p>	<p>中松 清志 先生 (近畿大学医学部放射線医学教室放射線腫瘍学部門 講師)</p> <p>1. アルフレッサ 2. 金 桂洙 眼科部長</p> <p>稲垣 武 泌尿器科筆頭部長、平林 康男 泌尿器科部長、上野 駿 泌尿器科医師</p> <p>平井 一成 乳腺呼吸器外科部長</p>

【目的】

まごころ委員会の目的は、橋本市民病院におけるコミュニケーションの強化をはかり、患者サービスの向上を目指すことを目的としています。

【開催状況】

委員会は月1回定期的に開催しています。(第3水曜日)

【取り組み】

委員会では、院内接遇及び、患者サービスに関するさまざまな事項について話し合いを行っています。

- ・ 職員の接遇に対する意識の強化に関する事項
- ・ 患者サービスの向上に関する事項
- ・ 職員間の円滑な関係の保持に関する事項

実施状況としましては、年一回、外部講師を招き病院職員を対象とした接遇研修会を開催し、職員全員に患者さんへのサービスの向上を目指しています。今年度は、おもてなし協会 代表理事 直井みずほ先生に講演をしていただきました。基本的なマナーや医療機関における接遇での心構え等、職員一人一人が日頃のふるまいを見直すきっかけとなり、有意義な研修会になりました。

また、定期的に院内ラウンドを行い、職員の接遇の問題点の見直しを行っています。定期的に行うことで、職員に『常に見られている』という意識が生まれ、出来ているつもりでも出来ていないところがないか、再確認をする良い機会となっています。

【今後の課題】

現状では院内ラウンドの結果などの周知が十分にできていません。今まで以上にわかりやすく職員に発信することで、よかった点を伸ばすとともに、問題点を早急に改善できるよう、活用していきたいと考えています。

【目的】

橋本市民病院の事業活動を正確かつ迅速に職員に周知させると共に市民に対する広報、広聴活動を行うことを目的としています。

【開催状況】

年4回開催しています。(病院だより発行毎 4月、7月、10月、1月末開催)

【取り組み】

- ・年4回(4月、7月、10月、1月)病院だよりを発行し、市民に対し病院の事業活動を周知しています。
- ・当院ホームページの在り方についてホームページのアクセス数等を調査、協議し、魅力あるホームページを構築しています。

【今後の課題】

限られたページの中で、必要な情報を発信するとともに、市民に興味を持ってもらえる情報を掲載することが今後の課題になります。

また、ホームページでは最新の動向・情報を掲示できるように作ることも課題となっています。ホームページの訪問者数や動向について分析し、市民がいま関心のあることを広報として提供できるよう取り組む必要があります。

平成30年度はしもと市民病院だより掲載内容

	4月号	7月号	10月号	1月号
表紙1P	車椅子寄贈	病院の看板	防災ヘリ (臓器移植時)	災害フォーラム 管理者からの挨拶
2P	臨床工学科部署紹介	小児科部署紹介	整形外科部署紹介	橋本市民病院事業会計概要
3P	外科 (消化管の癌)	リハビリテーション科部署紹介	脳血管内治療センター	橋本市民病院事業会計概要 がん相談支援室
4P	入退院支援室開設のお知らせ	熱中症について	DMAT 活動	災害フォーラム結果
5P	職員退職 (医師) のお知らせ 病院の理念と基本方針 敷地内禁煙 患者の権利	抗菌薬適正使用チーム (AST) 感染管理チーム (ICT)	ポリファーマシー	糖尿病デー結果
6P	車椅子寄贈 アンギオ装置	はしか流行 救急トリアージ	糖尿病デー案内 連携登録医制度	手洗い (感染) 入札参加資格受付の実施
7P	市民病院職員募集	市民病院職員募集	市民病院職員募集	市民病院職員募集
8P	外来担当表	外来担当表	外来担当表	外来担当表

【目的】

図書運営委員会の目的は、橋本市民病院図書室の適切な運営管理と利用促進、図書・文献の整理を目的としています。

【開催状況】

委員会は、委員長が必要と認めた時に招集し開催しています。

【取り組み】

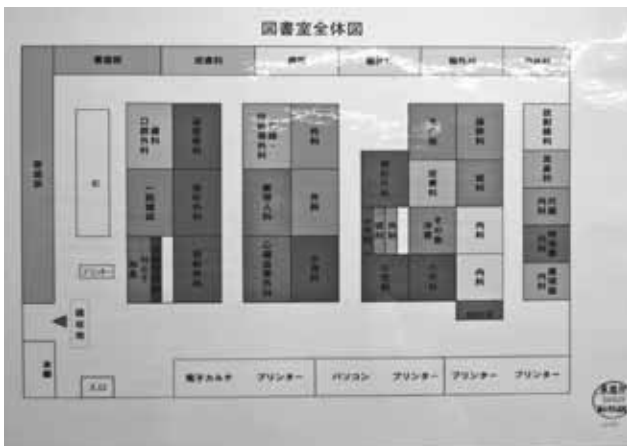
委員会では、下記のような図書室の運営管理及び、図書・文献に関するさまざまな事項について検討しています。

- ・ 図書統括と文献検索の管理、運営に関する事項
- ・ 図書の購入に関する事項
- ・ 図書館利用マニュアルに関する事項
- ・ その他病院長が必要と認めた事項

実施状況としましては、平成 30 年度の購入図書について精査を行い各科との調整を行いました。その結果、購入図書数は、診療部で 96 品目、診療技術部で 48 品目、看護部・その他で 43 品目となり、合計で 187 品目となりました。今後も購入図書については、委員会内で精査を行い購入を進めていきます。

【今後の課題】

図書室内の文献管理の向上に努め、電子書籍などの導入も検討していきます。また、購入図書の精査を強めていきます。



【目的】

労働安全衛生法第18条の規定により次の事項を調査審議し、職員の意見を収集することを目的としています。

- (1) 労働者の健康障害を防止するための基本となるべき対策に関すること
- (2) 労働者の健康の保持増進を図るための基本となるべき対策に関すること
- (3) 労働災害の原因及び再発防止対策で、衛生に係るものに関すること
- (4) 前3号に掲げるもののほか、労働者の健康障害の防止及び健康の保持増進に関する重要事項

【開催状況】

毎月第4水曜日に開催しています。(16時～)

【取り組み】

- ・ 定期健康診断について（和歌山県民総合医療健診センターに健診業務を依頼）
子宮がん健診については、希望者に対して院内で実施
2次検診受診対象者への産業医による面談の実施
- ・ 職員へのB型肝炎ワクチン、インフルエンザ予防接種の実施
（院内感染対策委員会との連携）
- ・ 職員への麻疹・風疹・水痘・ムンプス、HBs抗原・抗体検査の実施
（院内感染対策委員会との連携）
- ・ 結核感染予防対策の実施
（院内感染対策委員会との連携）
- ・ 針刺し事故予防対策の実施
（院内感染対策委員会、医療安全管理対策委員会との連携）
- ・ 年次有給休暇の取得促進について
- ・ ストレスチェック制度実施に伴う協議について
- ・ 時間外勤務時間数の削減について
- ・ 「働き方改革」における院内実施に向けての協議について

【今後の課題】

今後の課題は、「働き方改革」に関する法改正により、当院でも問題となっている長時間労働問題や、年次有給休暇の取得義務化への対応、また、労働組合や職員からの意見や提案等があれば、その都度、当委員会と協議する予定をしています。

【目的】

福利厚生委員会は、院内職員相互の親睦と福利厚生の増進を図ることを目的としています。

【開催状況】

委員会は、委員長が必要と認めた時に招集し開催しています。

【取り組み】

- ・院内における職員間の親睦を図る活動を行う
- ・院内職員の福利厚生の増進を図る活動を行う

実施状況としては、5月に職員運動会、10月に観劇、3月に送別会を開催した。職員運動会については、今年度が2回目の開催であり、多数の職員が参加した。参加者が4チームに分かれ、それぞれの特色を出し、6種目の競技を全力で争い、参加者全員が楽しむことが出来ました。また、競技についても6種目中2種目は病院オリジナル競技でした。

観劇については2回開催し、より多くの職員が参加出来る様計画しました。観劇の内容は、シルク・ドゥ・ソレイユ ダイハツキュリオスを観劇しました。

3月の送別会については、毎年同様参加者が100名を超え、盛大に開催されました。

【今後の課題】

- ・引き続き多くのイベントを企画し、多くの職員の参加を促すことです。



【目的】

病病・病診連携推進、保健・医療・福祉機関との連携協力体制の整備、これらに対する院内・院外への啓蒙活動を図ることを目的としています。

【開催状況】

医師会との病診連携委員会に合わせ、隔月に開催しています。
平成 30 年度は 6 回開催しました。

【取り組み】

・医師会との連携

病診連携委員会で取り上げられた当院に関する議題について、改善策を検討しました。紹介・逆紹介がスムーズに行えなかった例、救急対応についての要望など、提供いただいた問題事例について、病院としての対応を協議しました。また、当院各診療科の概要や、病院としての新たな取り組みについて情報提供し、紹介してもらいやすい関係作りに努めました。

・前方連携について

開業医への渉外活動を強化し、個々のニーズ把握に努め、改善点を抽出して対応を検討しました。各診療科ごとの勉強会や懇親会を開催し、顔の見える連携の強化に取り組みました。

・連携登録医制度について

地域の医療機関との連携強化のため、92 件（伊都医師会 70 件、五條市医師会 22 件）の医療機関に参加していただきました。

・ネットワーク会議について

第 6 回目のネットワーク会議について、会議の内容を協議し、終了後に総括を行いました。第一部に 136 名、第二部懇親会に 78 名の参加をいただきました。次年度の 7 月、第 7 回目の会議に向けて内容を検討しました。

・後方支援について

入退院支援加算 1 の算定について協議しました。介護支援連携等指導料、退院時共同指導料の算定について協議しました。算定件数を適正に維持するための方法を検討し、算定件数の確保に努めました。

【今後の取り組み】

- ・医師会や個々の医療機関との連携を密にとり、患者紹介がよりスムーズに運ぶように努めます
- ・渉外活動で医療機関のニーズ把握に努め、きめ細やかな対応を目指します
- ・ネットワーク会議をより有意義なものにするための協議を行います
- ・その他、連携に関わる様々な問題点について協議します

【目的】

倫理・治験審査委員会は下記の目的を以って組織しています。

- ・ 倫理・治験審査委員会の目的は、臨床倫理的課題（医療行為の妥当性、終末期医療、脳死判定、宗教に関する問題など）に対する病院の方針を審議し明確にする
- ・ 臨床倫理的課題に対する病院の方針を職員に周知する
- ・ 院長が治療及び研究について実施の可否を決定するための諮問機関として審議するため
- ・ 橋本市民病院治験取扱規程（平成 18 年橋本市病管規程 10 号）第 2 条第 1 項の規定により、橋本市民病院において治験を行うことの適否、その他の治験に関する調査審議を行うため

【開催状況】

委員会は、委員長が必要と認めたときに招集し開催しています。

【取り組み】

臨床倫理的課題や治療及び研究の実施可否についての審議

平成 30 年度の実施内容としては、

- ① 「大動脈硬化症の発生機序と原因物質について」
- ② 「成人片麻痺者における更衣への治療的介入効果－修復モデルに基づいたマイクロスリップの分析－」
- ③ 「当院看護師への血液培養採取手順に対する ICT 介入の効果」
- ④ 「血液培養検体採取の現状把握と取り組み－ ICT による介入効果－」
- ⑤ 「成人片麻痺における環境適応 Activity」
- ⑥ 「一般社団法人日本脳神経外科学会データベース研究事業」
- ⑦ 「ピロリ菌除菌後健康人における胃粘膜 DNA メチル化レベルを用いた胃癌発生高危険群の補足に関する多施設共同前向きコホート研究」
- ⑧ 「特発性正常圧水頭症とその他の認知症を併存した症例におけるシャント術の効果に関する研究」
- ⑨ 「身寄りが無く、意思決定が難しい患者に対して侵襲性の高い治療の実施について」
- ⑩ 「本邦における産婦人科悪性腫瘍合併妊娠の調査」
- ⑪ 「フルオレセイン蛍光色素による脳腫瘍摘出時、脳腫瘍可視化に関する研究」
- ⑫ 「肺骨化症症例に関する全国疫学調査」
- ⑬ 「心電図 PR 間隔の変動係数 (CVRR) を指標とした虚血性大腸炎、イレウスの自立神経機能評価」
- ⑭ 「脳血管内治療における NBCA の使用について」の計 14 件が審議された。

また、「解剖に関する遺族の承諾書について」、「遺族の認否確認不能の場合の病理解剖手順について」、「身寄りが無く、意思決定が難しい患者に対して侵襲性の高い治療を行う際の代替的に意思決定が出来る人について」、「CRE 関係について」も委員会内で議論しました。

【今後の課題】

臨床倫理的課題に対する病院の方針を明確にするとともに、より一層、患者へのインフォームドコンセントを徹底し、質の高い医療を提供していきます。また、今後、院内で行っている治験内容については、病院ホームページにて周知していきます。

【目的】

臓器提供の希望があった時に、患者さんのご家族からの希望に添えるよう臓器提供体制を構築することを目的としています。

【開催状況】

原則毎月第3木曜日に開催しています。

【取り組み】

心停止下のフローチャートの見直しを行い臓器提供が発生した場合のシミュレーションを行う予定であったが、2018年8月に実際の患者さんのご家族から臓器提供の希望があり、脳死下での臓器提供を行う事となり、6臓器を8名の方に臓器提供することができました。

活動として院内では、臓器提供時の報告会、外部では和歌山県内臓器移植コーディネーター連絡会での当院の臓器提供の実例をもとに発表等を行いました。

また、実際の臓器提供対応に基づき脳死下でのフローチャートを作成見直すこととしました。

- 2018年2月 心肺停止下でのフローチャート完成
- 2018年5月 院内臓器提供研修会
- 2018年6月 臓器提供希望あり当院で初めての脳死下臓器提供を行った。
提供臓器は6臓器（心臓、肺、肝臓、腎臓、脾臓、眼球）8名に提供
- 2018年12月 院内臓器提供報告会
- 2019年3月 30年度和歌山県院内臓器移植コーディネーター連絡会に講師派遣

【今後の取り組み】

2018年8月に当院で初めて脳死下での臓器移植提供が行われたが、実際の対応ではイレギュラーな対応が多く見受けられました。

2018年度に引き続き脳死下フローチャートの作成見直しを行っていく予定となっています。



ヘリでの搬送



臓器提供時の会議

【目的】

委員会は、橋本市民病院とその協力病院における初期臨床研修に係わるすべての事項について審議しています。

【開催状況】

委員長が必要と認めたときに招集し開催

平成 30 年度開催状況 第 1 回臨床研修管理委員会（平成 30 年 11 月 28 日）

第 2 回臨床研修管理委員会（平成 31 年 3 月 14 日）

【取り組み】

臨床研修プログラムの検討、確認を行う等、医師卒後研修に関するすべての事項を検討しています。

平成 24 年度より再度基幹型臨床研修病院の指定となり、平成 24 年度 1 名、平成 25 年度 2 名、平成 26 年度 2 名、平成 27 年度 1 名、平成 28 年度 4 名、平成 29 年度 6 名、平成 30 年度は 7 名の臨床研修医が研修を実施し、臨床研修プログラムや研修内容等の検討・検証・確認を行っています。

平成 26 年度から和歌山研修ネットワークがスタートし、和歌山県下 9 箇所の基幹型臨床研修病院が互いに協力型病院として臨床研修医の受け入れを行っています。

平成 27 年度には臨床研修医及び医学生のための臨床研修医室が設置されました。

平成 28 年度からは基幹型臨床研修枠が 4 枠に増枠され、卒後臨床研修センターも設置されました。

センターでは研修内容の管理及び充実のため毎月第 1 水曜日に研修センター会議を実施しています。

【研修医向け勉強会の開催】

平成 30 年度若手医師及び臨床研修医に向けた各種研修会を開催

松前町立病院プライマリ・ケアレクチャー &カンファレンス	毎週水・木曜日 7:30～8:00
橋本市民病院臨床研修モーニングセミナー	隔週火曜日 8:00～8:30
若手医師セミナー	毎月 1 回金曜日 19:30～21:00
レジデントデイ	毎月 1 回土曜日午後
救急・集中治療勉強会	毎月 1 回水曜日 17:30～18:00
ハシモトカンファレンス 橋本市診断症例検討会	毎月 1 回第 2 木曜日 18:00～19:00
橋本市民病院ジェネラリスト勉強会	おおよそ 2 ヶ月 1 回（不定期）
	【平成 30 年度実績】 平成 30 年 6 月 14 日 飯塚病院 緩和ケア科 岡村知直 先生 「終末期とは何か？」 ～地域で考える高齢化社会にできること～
	平成 30 年 8 月 8 日 南奈良医療センター 総合内科 天野雅之 先生 「若手在宅医療医が教える！ 在宅で使える小技集」
	平成 30 年 12 月 8 日 聖路加国際大学 教授 Gautam Deshpande 先生 「ハワイ式ケースカンファレンス&レクチャー」
	平成 31 年 1 月 31 日 紀の川病院 医局長 橋本忠浩 先生 「プライマリ・ケア医にも必要な 精神疾患の知識」 ～向精神約から精神疾患を眺めてみた！～
平成 31 年 3 月 9 日～10 日 飯塚病院 総合診療科 診療部長 清田雅智 先生 湯カンファ 2019in 和歌山 「ケースカンファレンス及び講演会」	

【橋本市民病院医師臨床研修プログラム】

平成 29 年度橋本市民病院医師臨床研修プログラムよりプログラム内容を改正しました。

初期臨床研修の目的を「研修の目的 = 2 年後にどうなって欲しいか？」をテーマに、内科・外科・小児科である程度自立して当直ができるようになることを目標としました。

そのための方法として、救急当直と継続的な勉強会を実施し、3 年目に希望する病院で後期研修をスタートできることを目指しました。

【ローテート】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	総合内科		外科		小児	産婦	救急	選択（救急含む）				
2 年次	総合内科		選択（救急含む）		地域医療	精神	選択（救急含む）					

※総合内科からスタートし、外科、小児科を研修後、自由選択

※救急は自由選択期間に研修。但し、1 年次 1 ヶ月間、2 年次 2 ヶ月間以上とする

※地域医療・精神は 2 年次の選択期間で必須

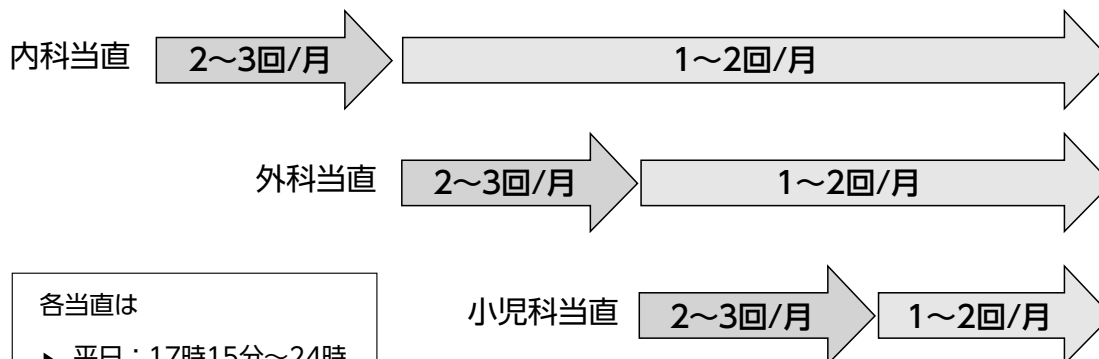
※和歌山研修ネットワークは選択期間で利用可能。年次毎で最大 6 ヶ月間利用可能。

※但し、2 年次 3 月は臨床研修の修了確認及び認定のため院内での研修を必須

【日当直は月 3 回以上】

1 年目

4月5月	6月7月	8月9月10月	以降
総合内科	外科系	1ヶ月小児	どの科を選択しても



各当直は

▶ 平日：17時15分～24時

▶ 土日：8時30分～35時

→翌日は通常勤務

※他病院へのローテ中は免除

※上記を目安に研修医が自身で当直日を設定



(臨床研修医宣誓式)



(臨床研修医の研修風景)



(臨床研修病院説明会)



(ジェネラリスト勉強会)

【目的】

委員会は、橋本市民病院における新専門医制度に係わるすべての事項について審議を目的とします。

【開催状況】

委員長が必要と認めたときに招集し開催します。

平成30年度は11月28日に開催しました。

【取り組み】

専門研修連携施設として専門研修基幹施設が定めた専門研修プログラムに基づいて専攻医に専門研修を提供するための体制づくりを検討していきます。

【今後の課題】

橋本市民病院では専門研修連携施設として指定を受けています。平成30年度より開始された制度の運用等の状況を見ながら、適切な研修体制が整えられるよう検討していきます。

Ⅸ 連携登録医名簿

橋本市民病院連携登録医療機関リスト (92 医療機関)

橋本市民病院連携登録医療機関リスト(92医療機関)

地区	No.	医療機関名称	連携登録医	往診	標榜
橋本北部	1	おおはぎ眼科	大萩 康子		眼科
	2	おおはぎ内科	大萩 晋也	○	内科 胃腸科 呼吸器科 リハビリテーション科 小児科
	3	医療法人 橋本孝佑会 奥野クリニック	奥野 孝	○	脳神経外科 外科 内科 神経内科 放射線科 整形外科 リハビリテーション科
	4	きみが丘クリニック	康 龍男	○	内科 アレルギー科 血液内科 小児科 皮膚科
	5	しらさぎ台クリニック 山内耳鼻咽喉科	山内 一真		耳鼻咽喉科 アレルギー科
	6	医療法人 曾和医院	曾和 正	○	内科 小児科 消化器科 循環器科 アレルギー科
	7	田倉皮膚科クリニック	田倉 学		皮膚科 内科
	8	藤堂診療所	藤堂 泰三		内科 皮膚科 外科 理学療法
	9	ナサコ内科	名迫 由美子		内科 漢方治療
	10	ひふせ耳鼻咽喉科	火伏 宏美		耳鼻咽喉科
	11	みなみ胃腸肛門科・外科	南 浩二	○	胃腸科 肛門科 外科 内科 皮膚科 放射線科
	12	めがね先生の上田こどもクリニック	上田 悟史		小児科
	13	医療法人 緑横会 横田整形外科	横田 英史	○	整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科 放射線科
	14	吉川こどもクリニック	吉川 明男		小児科
17	いわくらクリニック	岩倉 伸次	○	内科 消化器内科 肛門外科	
橋本東部	15	いこまレディースクリニック	生駒 久男		産婦人科 心療内科 内科
	16	稲垣医院	稲垣 侑		皮膚科 泌尿器科 外科
	17	医療法人 博周会 梅本診療所	梅本 博昭	○	内科 消化器内科 外科 整形外科
	18	医療法人 岡田整形外科	岡田 正道		整形外科 リハビリテーション科 放射線科
	19	医療法人 仁清会 岡本クリニック	岡本 一仁	○	麻酔科 (ペインクリニック) 内科
	20	医療法人 久和会 奥村マタニティクリニック	奥村 嘉英		産婦人科 内科 小児科
	21	医療法人 久和会 奥村レディースクリニック	向林 学		婦人科
	22	くらぶち眼科	倉渕 信哉		眼科
	23	小西内科医院	小西 紀彦	○	内科
	24	小林医院	小林 克祐		内科 循環器 東洋医学
	25	医療法人 わかば会 田中診療所	田中 耕治	○	内科 糖尿病 漢方
	26	医療法人 谷内クリニック	谷内 まゆみ / 谷内 俊文		内科 (総合・消化器・循環器・呼吸器) アレルギー科 小児科 リハビリテーション科
	27	医療法人 涼悠会 トメモリ眼科・形成外科	留守 良太 / 留守 祥子		眼科 形成外科 美容整形
	28	豊澤医院	豊澤 浩	○	内科 小児科
	29	医療法人 佑々会 林耳鼻咽喉科	林 泰弘 / 林 佳世		耳鼻咽喉科 アレルギー科
	30	火伏医院	火伏 總子	○	内科
	31	平林醫院	平林 國男		泌尿器 外科 内科
	32	松園胃腸科・内科	松園 泰彦		消化器内科 内科 胃腸科 放射線科
33	医療法人 南クリニック胃腸肛門科	南 光昭	○	内科 外科 肛門外科 皮膚科 消化器内科	
34	森本胃腸肛門科	森本 悟一	○	胃腸科 肛門科 外科 内科	
橋本西部	35	伊藤クリニック	伊藤 洋	○	外科 内科 消化器内科/外科 呼吸器内科 整形外科 脳神経外科 泌尿器 循環器内科
	36	植阪クリニック	植阪 和修	○	胃腸内科 外科 内科 肛門外科
	37	医療法人 狩谷産婦人科	狩谷 功		婦人科 内科
	38	医療法人 河原整形外科	河原 史郎		整形外科
	39	栗山クリニック	栗山 司	○	外科 内科 胃腸科 整形外科 脳神経外科 リハビリテーション科
	40	医療法人 青雲会 小林医院	小林 豊和	○	内科 小児科 循環器 放射線科
	41	医療法人 せせらぎ会 小林診療所	田中 英治	○	内科 循環器内科
	42	阪上医院	阪上 良行		内科
	43	たきわき皮膚科クリニック	瀧脇 弘嗣		皮膚科
	44	医療法人 辻本クリニック	辻本 俊和	○	循環器内科 消化器内科 内科 小児科 脳神経外科 整形外科 禁煙外来
	45	虎谷内科小児科医院	虎谷 彰久	○	内科 小児科 消化器科 循環器
	46	医療法人 康紀会 なかいクリニック	中井 康人	○	心療内科 精神科 内科 神経科
	47	ハギノ眼科クリニック	萩野 雅洋		眼科
	48	前田内科	前田 泰生	○	内科 呼吸器科 消化器科 循環器科 小児科 アレルギー科 神経内科
	49	松岡医院	松浦 良光	○	整形外科 外科 内科
	50	医療法人 森下会 森下クリニック	森下 昌亮	○	内科 循環器内科 呼吸器内科 消化器内科 リハビリテーション科 放射線科

地区	No.	医療機関名称	連携登録医	住診	標榜
かつらぎ町	51	上田内科	上田 和夫		内科
	52	上田消化器・内科クリニック	上田 和樹	○	内科 消化器内科
	53	上田神経科クリニック	上田 英樹		老年精神科
	54	木秀クリニック	横手 秀行		内科 整形外科 脳神経外科 神経内科
	55	医療法人 仁人会 北林医院	北林 佳恵		整形外科 外科
	56	黒岩クリニック	黒岩 丈清	○	内科 胃腸科 循環器科 呼吸器科 放射線科 理学療法科 内視鏡科
	57	阪中外科	阪中 孝三	○	内科 外科 整形外科
	58	たかの耳鼻咽喉科	高野 郁晴	○	耳鼻咽喉科
	59	医療法人 永野医院	永野 公一	○	内科 消化器 循環器 呼吸器
	60	馬場眼科	馬場 幸男	○	眼科
	61	医療法人 九曜會 前田医院	前田 至規	○	内科 小児科
	62	医療法人 恒裕会 吉田クリニック	吉田 裕	○	内科 産婦人科
	63	医療法人 幸生会 米田小児科医院	米田 勝紀		小児科 アレルギー科
九度山町	64	医療法人 萩会 萩原内科・小児科	萩原 正史	○	内科 小児科
	65	医療法人 淳雄会 保島整形外科医院	保島 淳之	○	整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科
	66	医療法人 英裕会 横手クリニック	横手 英義 / 横手 裕子	○	脳神経外科 整形外科 外科 リハビリテーション科 循環器内科 胃腸内科 呼吸内科
高野町	67	花谷医院	花谷 誠也	○	内科
	68	富貴診療所	田中 利平	○	内科
	69	高野町立高野山総合診療所	廣内 幸雄		総合診療
五條市	71	足立医院	足立 聡	○	内科、小児科、婦人科
	72	医療法人 岩井内科・皮膚科	岩井 務 / 岩井 佐代子	○	内科、循環器科、リハビリテーション科、皮膚科
	73	右馬医院	右馬 文彦		内科
	74	医療法人 南和会 大川橋診療所	小延 知暉	○	内科、外科、小児科、放射線科、整形外科、消化器内科、肛門科、リハビリテーション科
	75	鎌田医院	鎌田 修		内科
	76	医療法人 鎌田医院 賀名生診療所	鎌田 勝三郎	○	内科、放射線科
	77	医療法人 鎌田医院 田園診療所	鎌田 勝三郎	○	内科、婦人科
	78	医療法人 社団恵生会 後藤医院	後藤 寛	○	内科、小児科、放射線科、産婦人科
	79	医療法人 阪口眼科	阪口 昌子	○	眼科
	80	寒川医院	寒川 英明	○	内科、外科
	81	医療法人 素心会 杉崎医院	杉崎 俊照	○	内科、外科、消化器科、乳腺科、肛門科、リハビリテーション科
	82	竹本医院	竹本 成一	○	内科
	83	医療法人 桜翔会 田畑医院	田畑 高一	○	泌尿器科、内科、人工透析科
	84	辻田クリニック	辻田 重信		内科、消化器科、放射線科
	85	医療法人 中垣整形外科	中垣 公男		整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科
	86	中谷内科医院	中谷 吉宏	○	内科
	87	中西クリニック	中西 淳	○	泌尿器科、皮膚科、内科、リハビリテーション科
	88	ひらい内科クリニック	平井 妙代子		内科、呼吸器科、アレルギー科
	89	前防医院	前防 則彦	○	内科
	90	横野医院	横野 久春 / 横野 加代子	○	内科、消化器科、眼科
91	医療法人 水本整形外科	水本 茂		整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科	
92	医療法人 山田医院	山田 宏治	○	内科	